

1 調査の概要

調査の概要

1 目的

新たな子ども総合計画(H28年度～H32年度)の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新計画に反映させる。

2 調査票及び対象者数

⇒ 6種類、5,005件

① 就学前児童の保護者用	937件	}	2,000件
② 小学校1～6年生の保護者用	1,063件		
③ 小学校4～6年生用	613件	}	2,000件
④ 中学校1～高校3年生用	1,387件		
⑤ 地域・子ども関連団体用	786件		
⑥ 認定こども園・幼稚園・保育所(園)・学校関係者用	219件		

3 調査期間

平成27年7月21日(火)～平成27年8月20日(木)

4 調査方法

調査対象に応じたアンケート調査票を送付し、同封した返信用封筒による郵送での回答(無記名)

5 報告書の見方

① 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100にならない場合がある。

② 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選んだ人が全体からみて何%なのかという見方としているため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。

調査地域区分表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原(稲葉)、けやき、小柳、栄町、桜川、自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中心地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、東大野、緑、妙見、安田、八ツ役(矢作)
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区A	浅虫、泉野、後菟、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区B	赤坂、桑原(山崎)、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、戸崎、戸山、蛭沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、野沢、細越、八ツ役(芦谷、上林)
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

調査票の回収結果

抽出児童 年齢	標本数			有効 回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
0歳	70	77	147	61	41.5%	34	27	0
1歳	84	66	150	77	51.3%	41	36	0
2歳	88	64	152	76	50.0%	45	31	0
3歳	70	88	158	79	50.0%	36	43	0
4歳	81	86	167	80	47.9%	41	39	0
5歳	75	88	163	93	57.1%	43	50	0
合計	468	469	937	466	49.7%	240	226	0

※児童の年齢は、平成27年4月1日時点の年齢である。

※標本数及び有効回収数の性別は、あくまで児童の性別であり、回答者(保護者)の性別ではない。

回答者の属性

①回答者の子どもの性別

	回答数	構成比
男性	240	51.5%
女性	226	48.5%
無回答	0	0.0%
全体	466	100.0%

②回答者の子どもの年齢

	回答数	構成比
0歳	61	13.1%
1歳	77	16.5%
2歳	76	16.3%
3歳	79	17.0%
4歳	80	17.2%
5歳	93	20.0%
無回答	0	0.0%
全体	466	100.0%

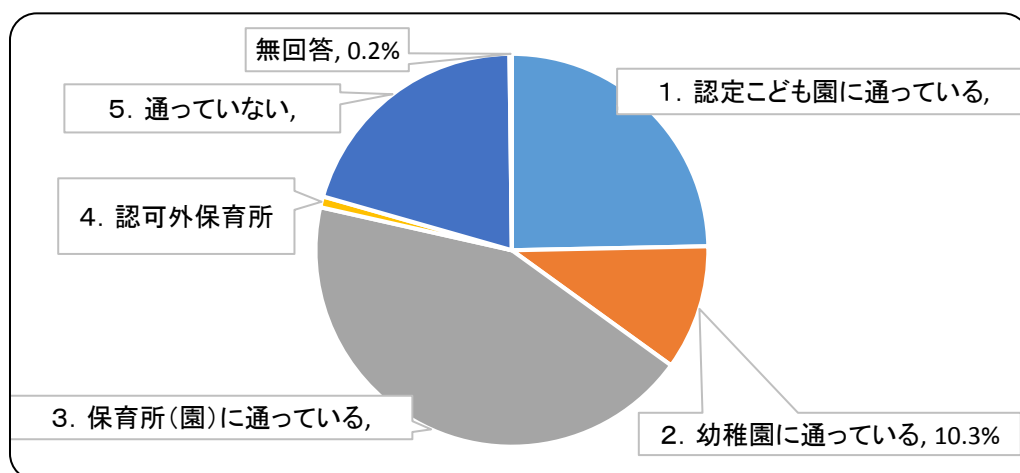
※年齢は平成27年4月1日時点

2 調査結果

Ⅱ 認定こども園・幼稚園・保育所(園)等の満足度についてお伺いします。

問2-1 現在、認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所に通っているお子さんはいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

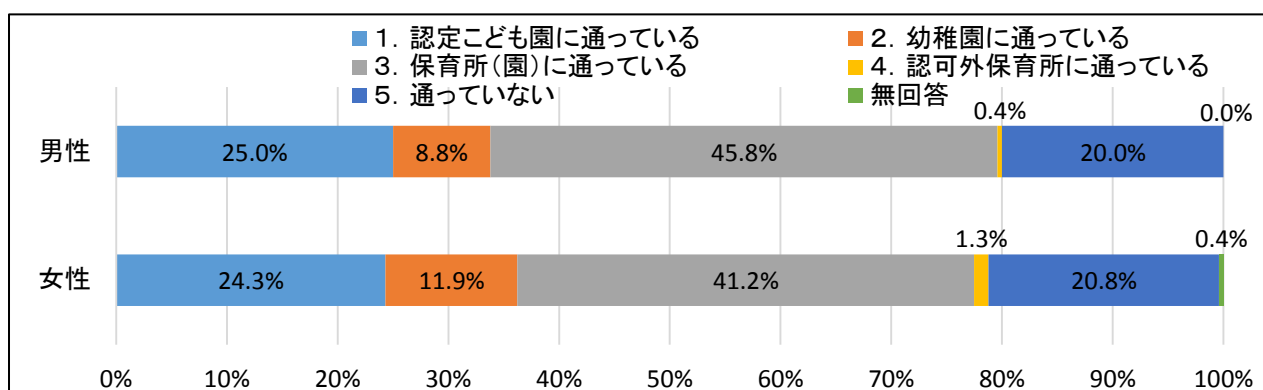
【全体】



	1. 認定こども園	2. 幼稚園	3. 保育所(園)	4. 認可外保育所	5. 通っていない	無回答	合計
平成27年度							
回答数	115	48	203	4	95	1	466
構成比	24.7%	10.3%	43.6%	0.9%	20.4%	0.2%	100.1%
平成22年度							
回答数	-	193	337	9	182	1	722
構成比	-	26.8%	46.7%	1.2%	25.2%	0.1%	100.0%

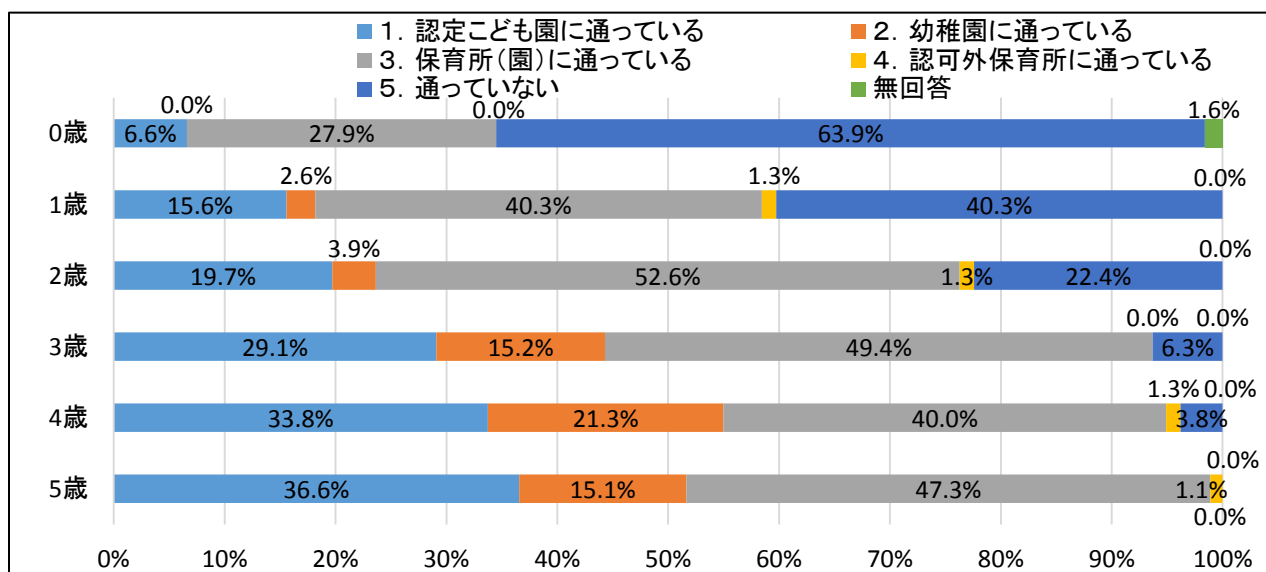
- ◆子ども・子育て支援新制度のスタートに伴い、平成27年度調査時から「認定こども園」の選択肢を追加している。「認定こども園」に通っていると回答した人は24.7%となっている。
- ◆「幼稚園に通っている」と回答した人は10.3%であり、平成22年度(26.8%)から16.5ポイント減少している。
- ◆「保育所(園)に通っている」と回答した人は43.6%であり、平成22年度(46.7%)から3.1ポイント減少している。
- ◆「通っていない」と回答した人は20.4%であり、平成22年度(25.2%)から4.8ポイント減少している。

【子どもの性別】



	1. 認定こども園	2. 幼稚園	3. 保育所(園)	4. 認可外保育所	5. 通っていない	無回答	合計
平成27年度							
男性	25.0%	8.8%	45.8%	0.4%	20.0%	0.0%	100.0%
女性	24.3%	11.9%	41.2%	1.3%	20.8%	0.4%	100.0%
平成22年度							
男性	-	28.8%	48.8%	1.1%	21.4%	0.0%	100.0%
女性	-	24.6%	44.5%	1.4%	29.1%	0.3%	100.0%

【子どもの年齢別】



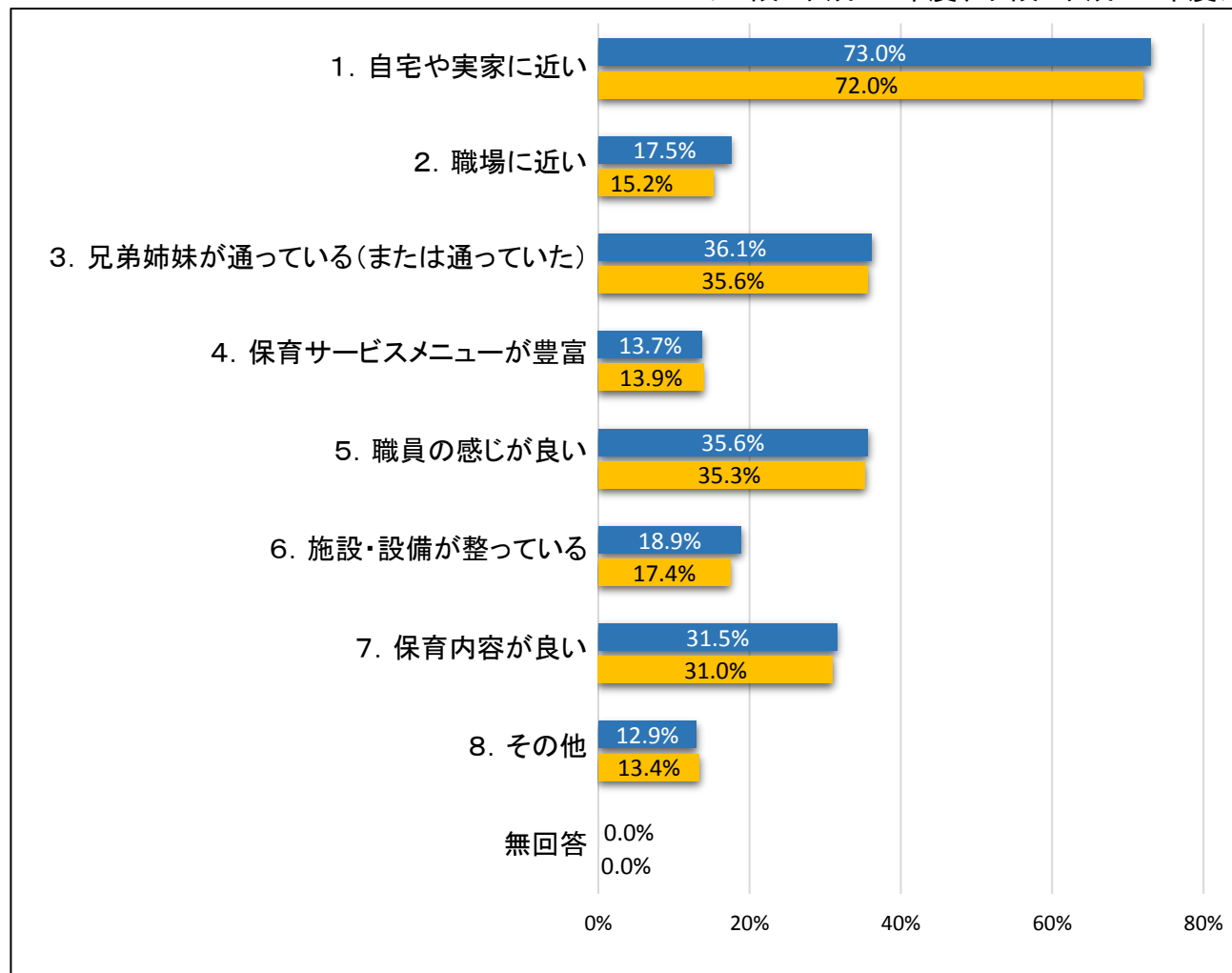
	1. 認定こども園	2. 幼稚園	3. 保育所(園)	4. 認可外保育所	5. 通っていない	無回答	合計
平成27年度							
0歳	6.6%	0.0%	27.9%	0.0%	63.9%	1.6%	100.0%
1歳	15.6%	2.6%	40.3%	1.3%	40.3%	0.0%	100.0%
2歳	19.7%	3.9%	52.6%	1.3%	22.4%	0.0%	100.0%
3歳	29.1%	15.2%	49.4%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
4歳	33.8%	21.3%	40.0%	1.3%	3.8%	0.0%	100.0%
5歳	36.6%	15.1%	47.3%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%
平成22年度							
0歳	-	7.9%	27.0%	1.6%	63.5%	0.0%	100.0%
1歳	-	4.5%	43.2%	1.8%	50.5%	0.0%	100.0%
2歳	-	4.3%	49.1%	0.9%	45.7%	0.0%	100.0%
3歳	-	22.6%	54.0%	1.6%	21.8%	0.0%	100.0%
4歳	-	44.3%	52.5%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
5歳	-	52.6%	46.6%	0.9%	0.0%	0.0%	100.0%

問2-2 現在、通っている施設を選んだ理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

◆施設に通っていると回答した人370人(認定こども園115人、幼稚園48人、保育園203人、認可外保育所4人の合計)に対する割合

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



【その他内訳】

- ・ 自分が通っていた園だから (5)
- ・ そこしか空きがなかったから (5)
- ・ 0歳児を預けられる所がそこだけだった (2)
- ・ 空きのある中で、良さそうな所 (2)
- ・ 以前住んでいた所の側 (2)
- ・ 通勤途中だから (2)
- ・ 子供に選ばせた
- ・ ネットの口コミ
- ・ 早朝、延長、一時保育の実施
- ・ 協力者(祖母)の家の近く
- ・ 2人同時に入れる
- ・ 希望保育園待ち
- ・ 仕方なく
- ・ 経営者の人柄
- ・ アクセスが良い
- ・ 体操着で過ごすから
- ・ 母が勤務している保育園だから
- ・ 友人にすすめられた
- ・ 遅い時間までやっている
- ・ PTAがない

【その他内訳】

- ・ 上の子が近くの幼稚園に通っている
- ・ 未就園児の教室が充実している
- ・ 託児所との協力体制にあった
- ・ アレルギー対応可能だった
- ・ 要望を聞いて頂ける
- ・ 送迎バスがある
- ・ 兄弟が通っている。子供がなついた
- ・ 保育所に入れなかった
- ・ 完全給食
- ・ 近所の子が通っているから
- ・ 卒園後、学童保育を利用できる
- ・ 延長保育、休日保育の実施
- ・ 場所がいい

◆「自宅や実家が近い」(73.0%)と回答した人が最も多く、平成22年度(72.0%)から1.0ポイント増加している。以下、「兄弟姉妹が通っている(または通っていた)」(36.1%)ー平成22年度(35.6%)から0.5ポイント増加ー、「職員の感じが良い」(35.6%)ー平成22年度(35.3%)から0.3ポイント増加ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 自宅や実家が近い	70.3%	76.4%
2. 職場に近い	15.6%	19.7%
3. 兄弟姉妹が通っている(または通って	37.0%	35.4%
4. 保育サービスメニューが豊富	10.9%	16.9%
5. 職員の感じが良い	36.5%	34.8%
6. 施設・設備が整っている	17.7%	20.2%
7. 保育内容が良い	29.2%	34.3%
8. その他	10.9%	15.2%
無回答	0.0%	0.0%

※施設に通っている人370人中、男性192人、女性178人に対する割合
 ※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 自宅や実家が近い	81.0%	69.6%	78.0%	68.9%	75.3%	72.0%
2. 職場に近い	4.8%	28.3%	18.6%	14.9%	16.9%	17.2%
3. 兄弟姉妹が通っている(または通って	52.4%	34.8%	33.9%	36.5%	35.1%	35.5%
4. 保育サービスメニューが豊富	9.5%	10.9%	11.9%	16.2%	19.5%	10.8%
5. 職員の感じが良い	28.6%	41.3%	32.2%	39.2%	31.2%	37.6%
6. 施設・設備が整っている	14.3%	17.4%	10.2%	32.4%	15.6%	18.3%
7. 保育内容が良い	14.3%	17.4%	28.8%	40.5%	33.8%	35.5%
8. その他	28.6%	21.7%	6.8%	9.5%	13.0%	11.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※施設に通っている人370人中、0歳21人、1歳46人、2歳59人、3歳74人、4歳77人、5歳93人に対する割合
 ※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【通っている施設別】

区分	認定 こども園	幼稚園	保育所 (園)	認可外 保育所
1. 自宅や実家が近い	67.8%	70.8%	76.4%	75.0%
2. 職場に近い	11.3%	4.2%	23.6%	50.0%
3. 兄弟姉妹が通っている(または通ってい	39.1%	31.3%	35.5%	25.0%
4. 保育サービスメニューが豊富	17.4%	18.8%	9.9%	25.0%
5. 職員の感じが良い	41.7%	47.9%	29.1%	50.0%
6. 施設・設備が整っている	26.1%	25.0%	12.8%	25.0%
7. 保育内容が良い	41.7%	43.8%	22.2%	50.0%
8. その他	11.3%	18.8%	11.3%	50.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※施設に通っている人370人中、認定こども園115人、幼稚園48人、保育所(園)203人、認可外保育所4人に対する割合

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

1. 認定こども園 2. 幼稚園 3. 保育所(園) 4. 認可外保育所

平成27年度

1. 自宅や実家が近い	67.8%	70.8%	76.4%	75.0%
2. 職場に近い	11.3%	4.2%	23.6%	50.0%
3. 兄弟姉妹が通っている(または通ってい	39.1%	31.3%	35.5%	25.0%
4. 保育サービスメニューが豊富	17.4%	18.8%	9.9%	25.0%
5. 職員の感じが良い	41.7%	47.9%	29.1%	50.0%
6. 施設・設備が整っている	26.1%	25.0%	12.8%	25.0%
7. 保育内容が良い	41.7%	43.8%	22.2%	50.0%
8. その他	11.3%	18.8%	11.3%	50.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

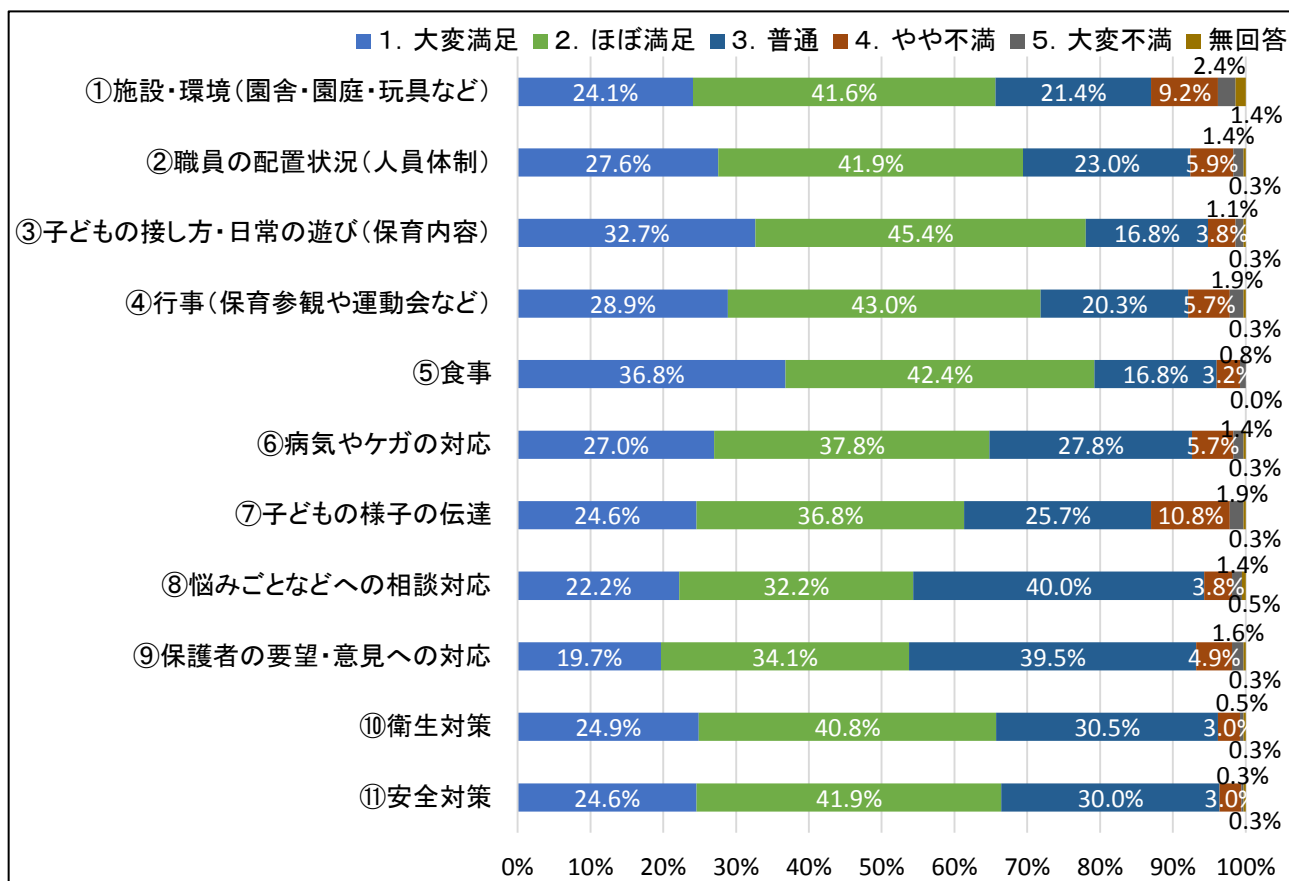
平成22年度

1. 自宅や実家が近い	-	63.2%	77.2%	66.7%
2. 職場に近い	-	6.7%	19.6%	33.3%
3. 兄弟姉妹が通っている(または通ってい	-	36.8%	35.6%	11.1%
4. 保育サービスメニューが豊富	-	14.5%	13.9%	0.0%
5. 職員の感じが良い	-	44.6%	30.3%	22.2%
6. 施設・設備が整っている	-	23.8%	13.9%	11.1%
7. 保育内容が良い	-	43.5%	23.7%	33.3%
8. その他	-	14.0%	12.2%	44.4%
無回答	-	0.0%	0.0%	0.0%

問2-3 現在、通っている施設に対して、どのように感じていますか。それぞれの項目ごとに該当欄に○をつけてください。

【全体】

◆問2-1で施設に通っていると回答した人370人(認定こども園115人、幼稚園48人、保育園203人、認可外保育所4人の合計)に対する割合



	1. 大変満足	2. ほぼ満足	3. 普通	4. やや不満	5. 大変不満	無回答	合計
平成27年度							
①施設・環境(園舎・園庭・玩具など)	24.1%	41.6%	21.4%	9.2%	2.4%	1.4%	100.0%
②職員の配置状況(人員体制)	27.6%	41.9%	23.0%	5.9%	1.4%	0.3%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(保育内容)	32.7%	45.4%	16.8%	3.8%	1.1%	0.3%	100.0%
④行事(保育参観や運動会など)	28.9%	43.0%	20.3%	5.7%	1.9%	0.3%	100.0%
⑤食事	36.8%	42.4%	16.8%	3.2%	0.8%	0.0%	100.0%
⑥病気やケガの対応	27.0%	37.8%	27.8%	5.7%	1.4%	0.3%	100.0%
⑦子どもの様子の伝達	24.6%	36.8%	25.7%	10.8%	1.9%	0.3%	100.0%
⑧悩みごとなどへの相談対応	22.2%	32.2%	40.0%	3.8%	1.4%	0.5%	100.0%
⑨保護者の要望・意見への対応	19.7%	34.1%	39.5%	4.9%	1.6%	0.3%	100.0%
⑩衛生対策	24.9%	40.8%	30.5%	3.0%	0.5%	0.3%	100.0%
⑪安全対策	24.6%	41.9%	30.0%	3.0%	0.3%	0.3%	100.0%

1. 大変満足 2. ほぼ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 大変不満 無回答 合計

平成22年度

①施設・環境(園舎・園庭・玩具など)	23.7%	37.2%	28.2%	10.0%	0.9%	0.0%	100.0%
②職員の配置状況(人員体制)	22.8%	39.4%	29.3%	7.4%	1.1%	0.0%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(保育内容)	28.6%	44.1%	20.6%	5.4%	1.3%	0.0%	100.0%
④行事(保育参観や運動会など)	27.6%	40.3%	23.3%	7.3%	1.5%	0.0%	100.0%
⑤食事	34.3%	34.8%	24.1%	6.1%	0.7%	0.0%	100.0%
⑥病気やケガの対応	25.3%	39.4%	28.6%	5.0%	1.7%	0.0%	100.0%
⑦子どもの様子の伝達	24.2%	36.0%	28.1%	10.2%	1.5%	0.0%	100.0%
⑧悩みごとなどへの相談対応	20.9%	35.4%	38.5%	3.9%	1.3%	0.0%	100.0%
⑨保護者の要望・意見への対応	20.1%	31.7%	39.3%	6.3%	2.6%	0.0%	100.0%
⑩衛生対策	25.8%	38.6%	30.6%	4.1%	0.9%	0.0%	100.0%
⑪安全対策	23.6%	39.1%	34.0%	2.2%	1.1%	0.0%	100.0%

【満足、不満の2つに分類しH22調査時、H27調査時を比較】

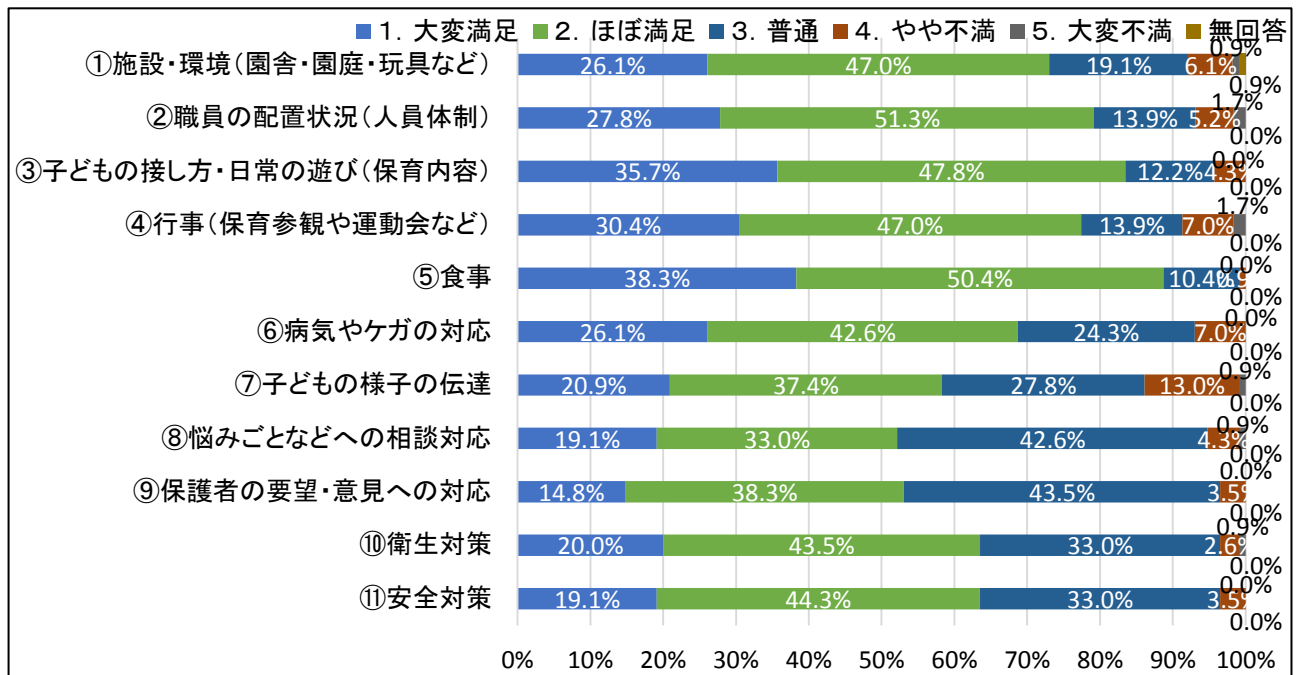
区分	満足(大変満足、ほぼ満足)			不満(やや不満、大変不満)		
	H27(%)	H22(%)	H27-H22	H27(%)	H22(%)	H27-H22
①施設・環境(園舎・園庭・玩具など)	65.7%	60.9%	4.8%	11.6%	10.9%	0.7%
②職員等の配置状況(人員体制)	69.5%	62.2%	7.3%	7.3%	8.5%	-1.2%
③子どもの接し方・日常の遊び(保育内容)	78.1%	72.7%	5.4%	4.9%	6.7%	-1.8%
④行事(保育参観や運動会など)	71.9%	67.9%	4.0%	7.6%	8.8%	-1.2%
⑤食事	79.2%	69.1%	10.1%	4.0%	6.8%	-2.8%
⑥病気やケガの時の対応	64.8%	64.7%	0.1%	7.1%	6.7%	0.4%
⑦子どもの様子の伝達	61.4%	60.2%	1.2%	12.7%	11.7%	1.0%
⑧悩みごとへの相談対応	54.4%	56.3%	-1.9%	5.2%	5.2%	0.0%
⑨保護者の要望・意見への対応	53.8%	51.8%	2.0%	6.5%	8.9%	-2.4%
⑩衛生対策	65.7%	64.4%	1.3%	3.5%	5.0%	-1.5%
⑪安全対策	66.5%	62.7%	3.8%	3.3%	3.3%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

- ◆「満足」「ほぼ満足」と回答した人が最も多かったのは、「食事」(79.2%)であり、平成22年度(69.1%)から10.1ポイント増加している。以下、「子どもの接し方・日常の遊び(保育内容)」(78.1%)ー平成22年度(72.7%)から5.4ポイント増加ー、「行事(保育参観や運動会など)」(71.9%)ー平成22年度(67.9%)から4.0ポイント増加ー、「職員の配置状況(人員体制)」(69.5%)ー平成22年度(62.2%)から7.3ポイント増加ーなどとなっている。
- ◆「やや不満」「大変不満」と回答した人が多かったのは「子どもの様子の伝達」(12.7%)ー平成22年度(11.7%)から1.0ポイント増加ー、「施設・環境(園舎・園庭・玩具など)」(11.6%)ー平成22年度(10.9%)から0.7ポイント増加ーなどとなっている。

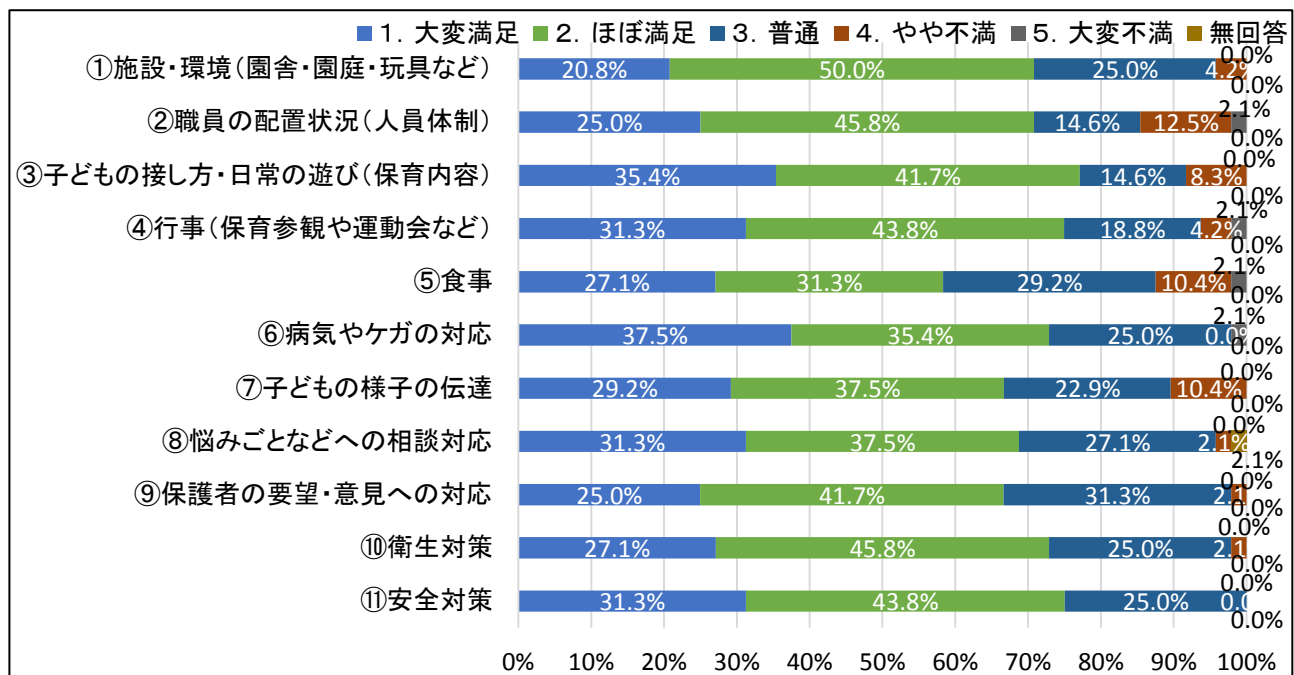
【通っている施設別：認定こども園】

◆認定こども園に通っていると回答した人115人に対する割合



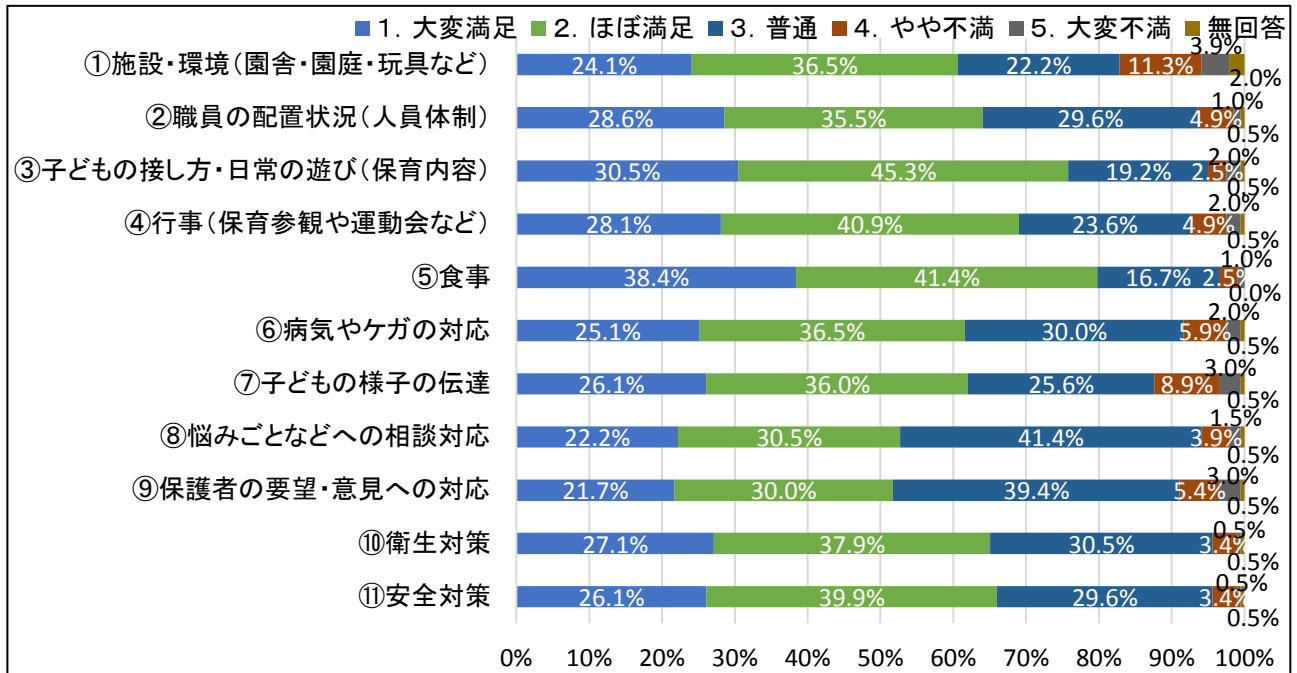
【通っている施設別：幼稚園】

◆幼稚園に通っていると回答した人48人に対する割合



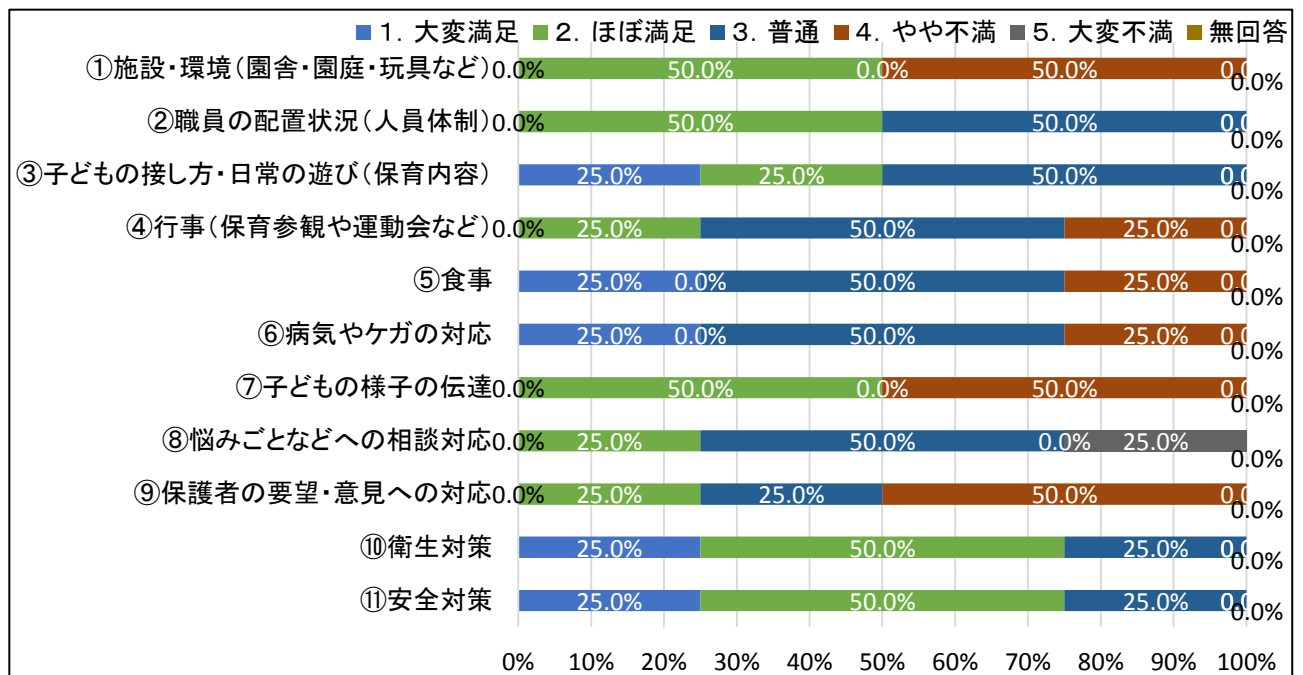
【通っている施設別：保育所(園)】

◆保育所(園)に通っていると回答した人203人に対する割合



【通っている施設別：認可外保育所】

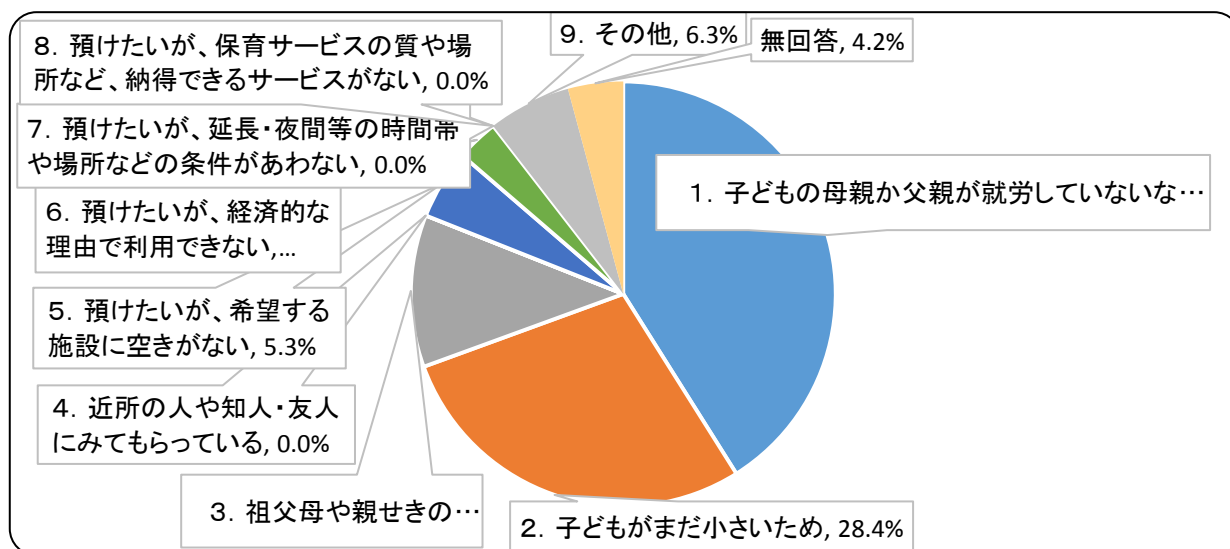
◆認可外保育所に通っていると回答した人4人に対する割合



問2-4 現在、認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所に通っていない理由について、主にあてはまるもの1つに○をつけてください。

【全体】

◆問2-1で施設に通っていないと回答した人95人に対する割合



【その他内訳】

- ・ 仕事を辞め、経済的に無理なため
- ・ 母親が育休中
- ・ インターナショナルスクールに通園
- ・ 風邪をひきやすいため

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で、その必要がない	41.1%	42.3%	-1.2%
2. 子どもがまだ小さいため	28.4%	28.0%	0.4%
3. 祖父母や親せきの人にみてもらっている	11.6%	4.4%	7.2%
4. 近所の人や知人・友人にみてもらっている	0.0%	0.0%	0.0%
5. 預けたいが、希望する施設に空きがない	5.3%	4.9%	0.4%
6. 預けたいが、経済的な理由で利用できない	3.2%	10.4%	-7.2%
7. 預けたいが、延長・夜間等の時間帯や場所などの条件があわない	0.0%	0.5%	-0.5%
8. 預けたいが、保育サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	0.0%	1.1%	-1.1%
9. その他	6.3%	8.2%	-1.9%
無回答	4.2%	0.0%	4.2%
計	100.0%	100.0%	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

- ◆「子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で、その必要がない」(41.1%)と回答した人が最も多く、平成22年度(42.3%)から1.2ポイント減少している。以下「子どもがまだ小さいため」(28.4%)－平成22年度(28.0%)から0.4ポイント増加－、「祖父母や親せきの人にみてもらっている」(11.6%)－平成22年度(4.4%)から7.2ポイント増加－などとなっている。
- ◆最も少ない回答は「預けたいが、経済的な理由で利用できない」(3.2%)であり、平成22年度(10.4%)から7.2ポイント減少している。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で、その必要がない	41.7%	40.4%
2. 子どもがまだ小さいため	31.3%	25.5%
3. 祖父母や親せきの人にみてもらっている	6.3%	17.0%
4. 近所の人や知人・友人にみてもらっている	0.0%	0.0%
5. 預けたいが、希望する施設に空きがない	6.3%	4.3%
6. 預けたいが、経済的な理由で利用できない	2.1%	4.3%
7. 預けたいが、延長・夜間等の時間帯や場所などの条件があわない	0.0%	0.0%
8. 預けたいが、保育サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	0.0%	0.0%
9. その他	6.3%	6.4%
無回答	6.3%	2.1%
計	100.3%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

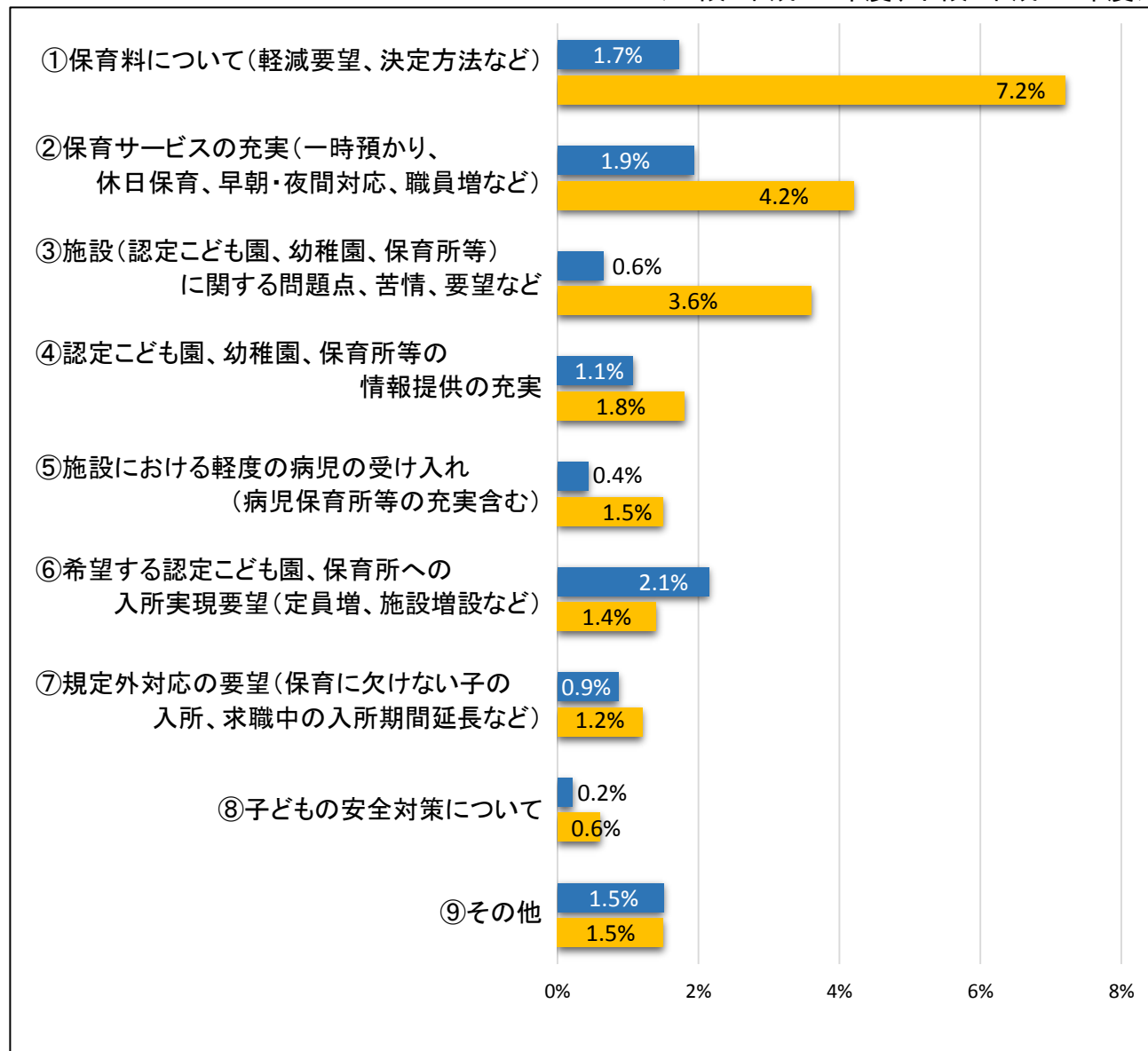
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で、その必要がない	35.9%	54.8%	35.3%	20.0%	33.3%	0.0%
2. 子どもがまだ小さいため	46.2%	12.9%	23.5%	20.0%	0.0%	0.0%
3. 祖父母や親せきの人にみてもらっている	5.1%	16.1%	11.8%	20.0%	33.3%	0.0%
4. 近所の人や知人・友人にみてもらっている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 預けたいが、希望する施設に空きがない	5.1%	3.2%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 預けたいが、経済的な理由で利用できない	0.0%	3.2%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
7. 預けたいが、延長・夜間等の時間帯や場所などの条件があわない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 預けたいが、保育サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. その他	7.7%	0.0%	11.8%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	0.0%	9.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問2-5 認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所を利用するにあたり、ご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

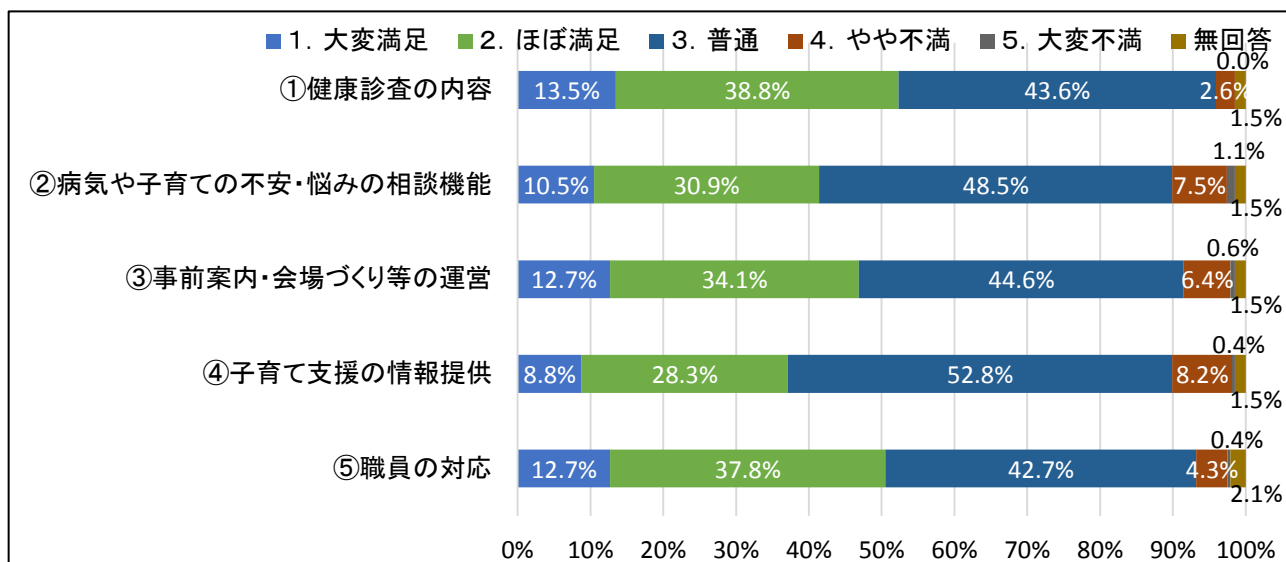
- ・ 0～1歳でも気軽に園庭などで遊ばせて欲しい。
- ・ 在園児の親の口コミを見てみたい。
- ・ 食物アレルギーがあるので、それを考えて入園先を考えたい。
- ・ 公立(市立や県立)の幼稚園があればいいなと思います。
- ・ ねふた運行してもらいたい。全ての保育園、幼稚園、こども園で。
- ・ 体験入園等の機会をもっと増やしてほしい。
- ・ 3才未満でも送迎してほしい。

区分	件数	割合
①保育料について(軽減要望、決定方法など)	8	1.7%
②保育サービスの充実(一時預かり、休日保育、早朝・夜間対応、職員増など)	9	1.9%
③施設(認定こども園、幼稚園、保育所等)に関する問題点、苦情、要望など	3	0.6%
④認定こども園、幼稚園、保育所等の情報提供の充実	5	1.1%
⑤施設における軽度の病児の受け入れ(病児保育所等の充実含む)	2	0.4%
⑥希望する認定こども園、保育所への入所実現要望(定員増、施設増設など)	10	2.1%
⑦規定外対応の要望(保育に欠けない子の入所、求職中の入所期間延長など)	4	0.9%
⑧子どもの安全対策について	1	0.2%
⑨その他	7	1.5%

Ⅲ 母子の健康に関してお伺いします。

問3-1 健康診査(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)に対してどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに該当欄に○をつけてください。

【全体】



	1. 大変満足	2. ほぼ満足	3. 普通	4. やや不満	5. 大変不満	無回答	合計
平成27年度							
①健康診査の内容	13.5%	38.8%	43.6%	2.6%	0.0%	1.5%	100.0%
②病気や子育ての不安・悩みの相談機能	10.5%	30.9%	48.5%	7.5%	1.1%	1.5%	100.0%
③事前案内・会場づくり等の運営	12.7%	34.1%	44.6%	6.4%	0.6%	1.5%	100.0%
④子育て支援の情報提供	8.8%	28.3%	52.8%	8.2%	0.4%	1.5%	100.0%
⑤職員の対応	12.7%	37.8%	42.7%	4.3%	0.4%	2.1%	100.0%
平成22年度							
①健康診査の内容	9.3%	40.1%	47.7%	2.8%	0.1%	0.0%	100.0%
②病気や子育ての不安・悩みの相談機能	8.2%	26.9%	57.5%	6.3%	1.1%	0.0%	100.0%
③事前案内・会場づくり等の運営	9.3%	29.9%	50.7%	8.7%	1.4%	0.0%	100.0%
④子育て支援の情報提供	7.1%	25.8%	55.4%	10.0%	1.7%	0.0%	100.0%
⑤職員の対応	10.3%	32.3%	50.6%	6.1%	0.8%	0.0%	100.0%

【満足、不満の2つに分類しH22調査時、H27調査時を比較】

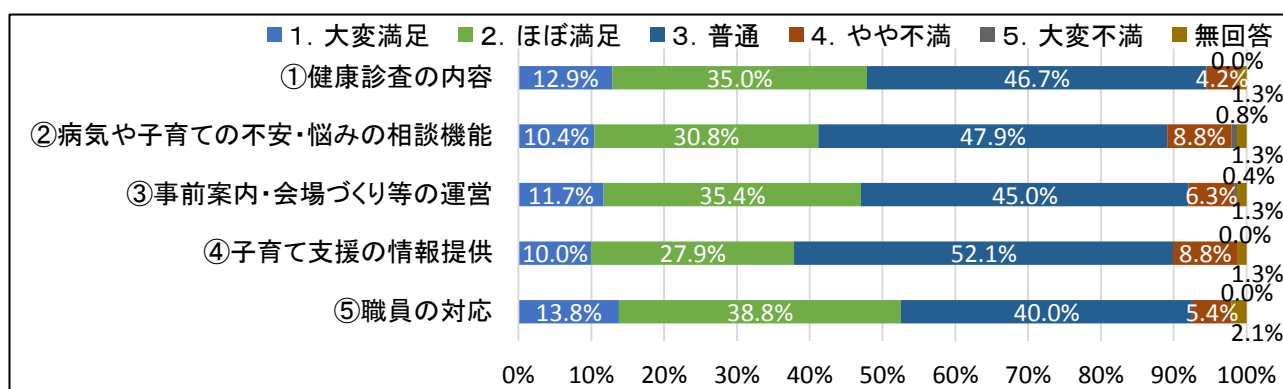
区分	満足(大変満足、ほぼ満足)			不満(やや不満、大変不満)		
	H27(%)	H22(%)	H27-H22	H27(%)	H22(%)	H27-H22
①健康診査の内容	52.3%	49.4%	2.9%	2.6%	2.9%	-0.3%
②病気や子育ての不安・悩みの相談機能	41.4%	35.1%	6.3%	8.6%	7.4%	1.2%
③事前案内・会場づくり等の運営	46.8%	39.2%	7.6%	7.0%	10.1%	-3.1%
④子育て支援の情報提供	37.1%	32.9%	4.2%	8.6%	11.7%	-3.1%
⑤職員の対応	50.5%	42.6%	7.9%	4.7%	6.9%	-2.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

- ◆「大変満足」「ほぼ満足」と回答した人が最も多い項目は「健康診査の内容」(52.3%)で平成22年度(49.4%)から2.9ポイント増加している。以下「職員の対応」(50.5%)－平成22年度(42.6%)から7.9ポイント増加－、「事前案内・会場づくり等の運営」(46.8%)－平成22年度(39.2%)から7.6ポイント増加－などとなっている。
- ◆「やや不満」「大変不満」と回答した人が最も多い項目は「病気や子育ての不安・悩みの相談機能」(8.6%)－平成22年度(7.4%)から1.2ポイントの増加－及び「子育て支援の情報提供」(8.6%)－平成22年度(11.7%)から3.1ポイント減少－となっている。

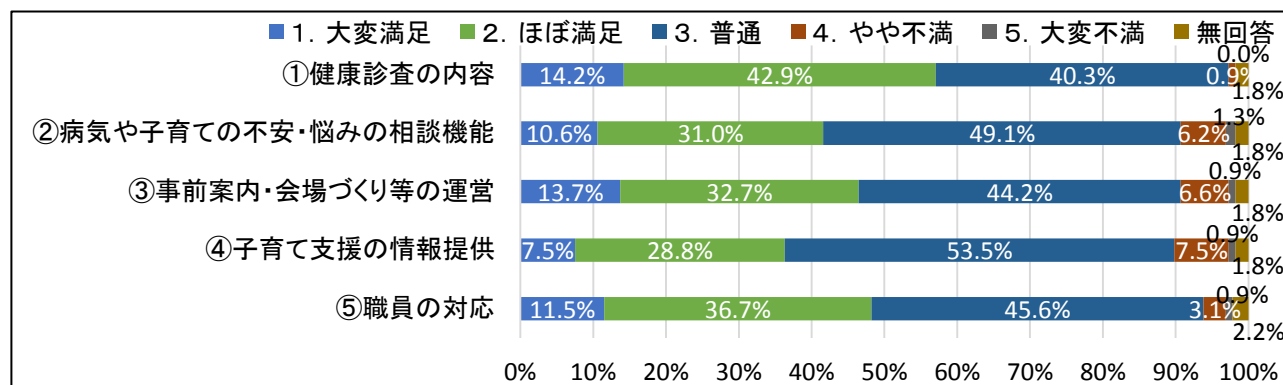
【子どもの性別:男性】

◆子どもの性別が「男性」と回答した人240人に対する割合



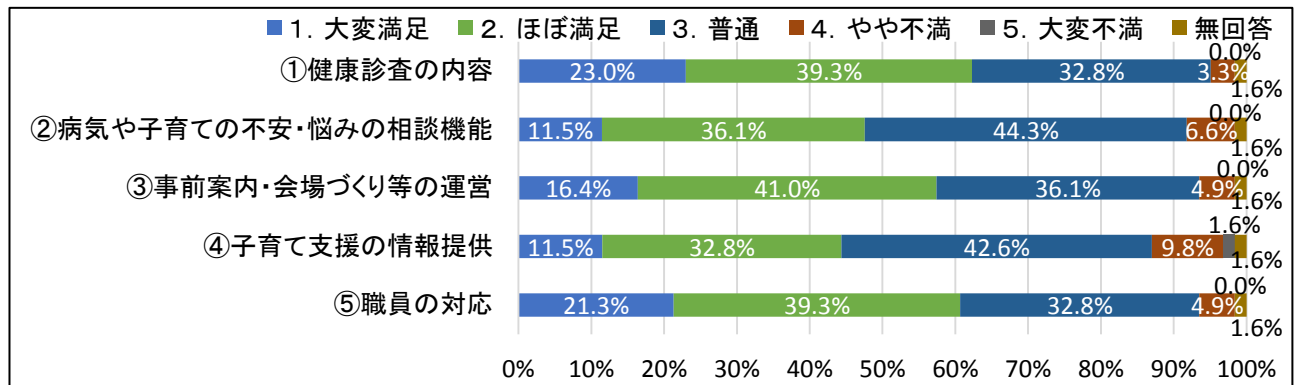
【子どもの性別:女性】

◆子どもの性別が「女性」と回答した人226人に対する割合



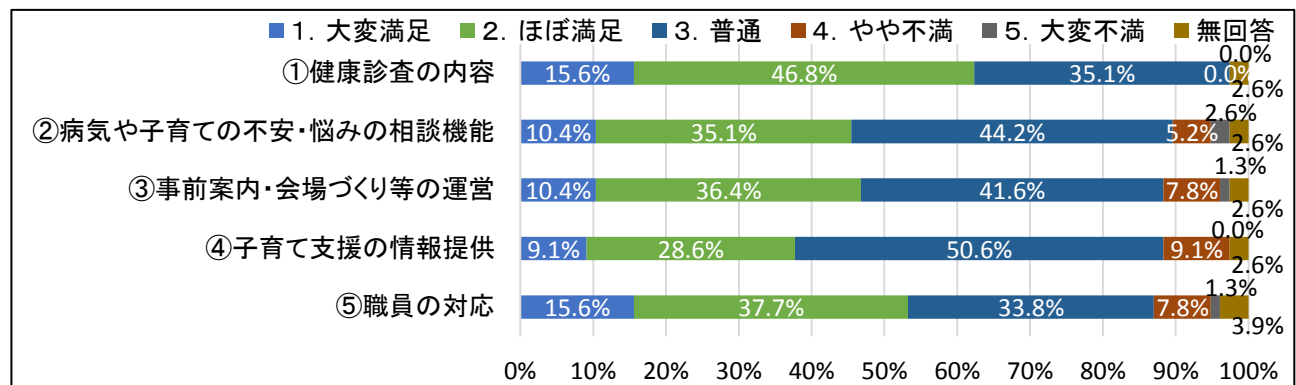
【子どもの年齢別：0歳】

◆子どもの年齢が「0歳」と回答した人61人に対する割合



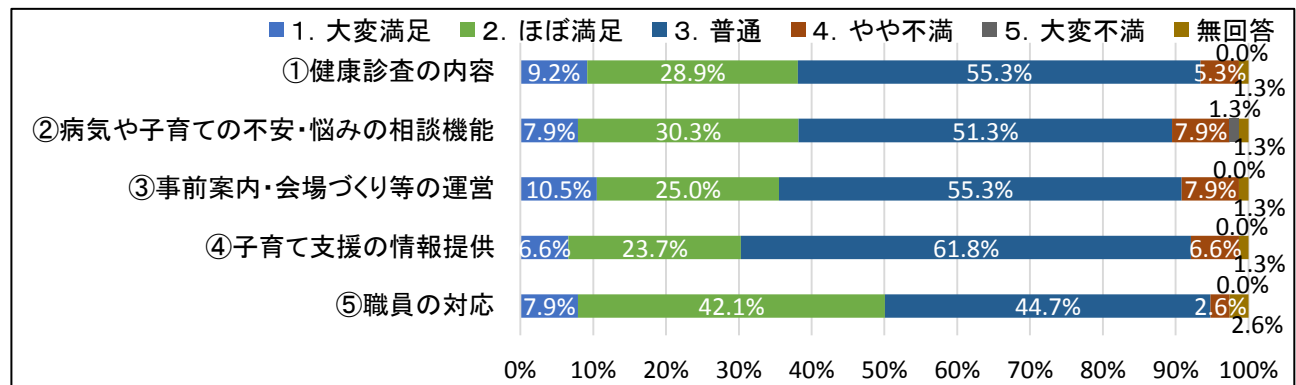
【子どもの年齢別：1歳】

◆子どもの年齢が「1歳」と回答した人77人に対する割合



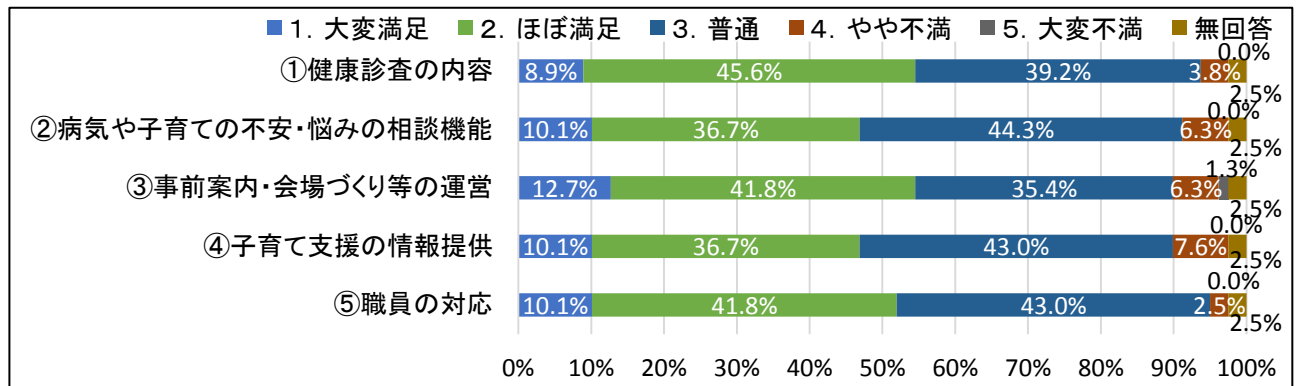
【子どもの年齢別：2歳】

◆子どもの年齢が「2歳」と回答した人76人に対する割合



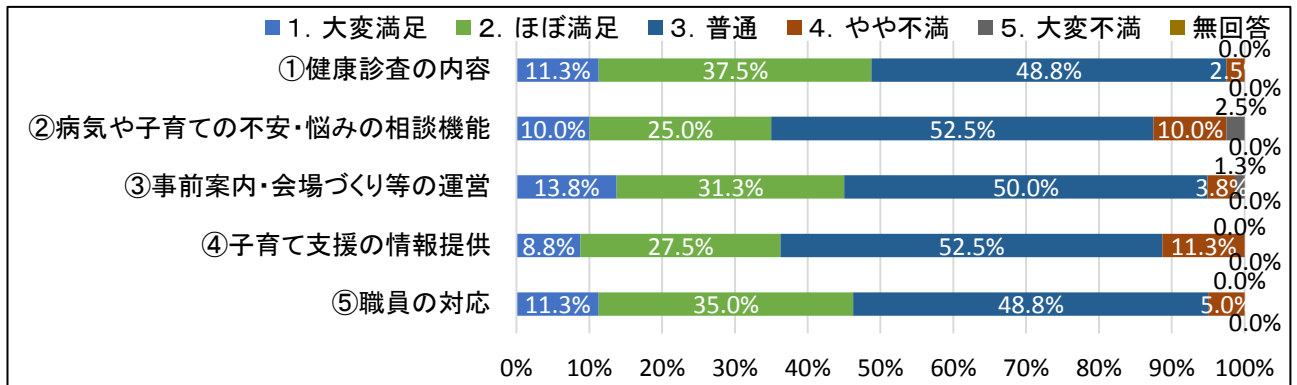
【子どもの年齢別：3歳】

◆子どもの年齢が「3歳」と回答した人79人に対する割合



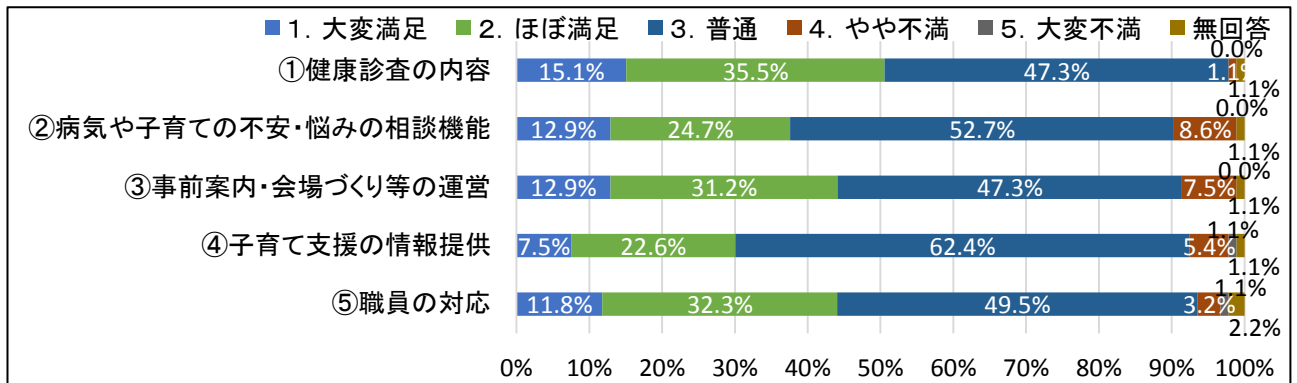
【子どもの年齢別：4歳】

◆子どもの年齢が「4歳」と回答した人80人に対する割合



【子どもの年齢別：5歳】

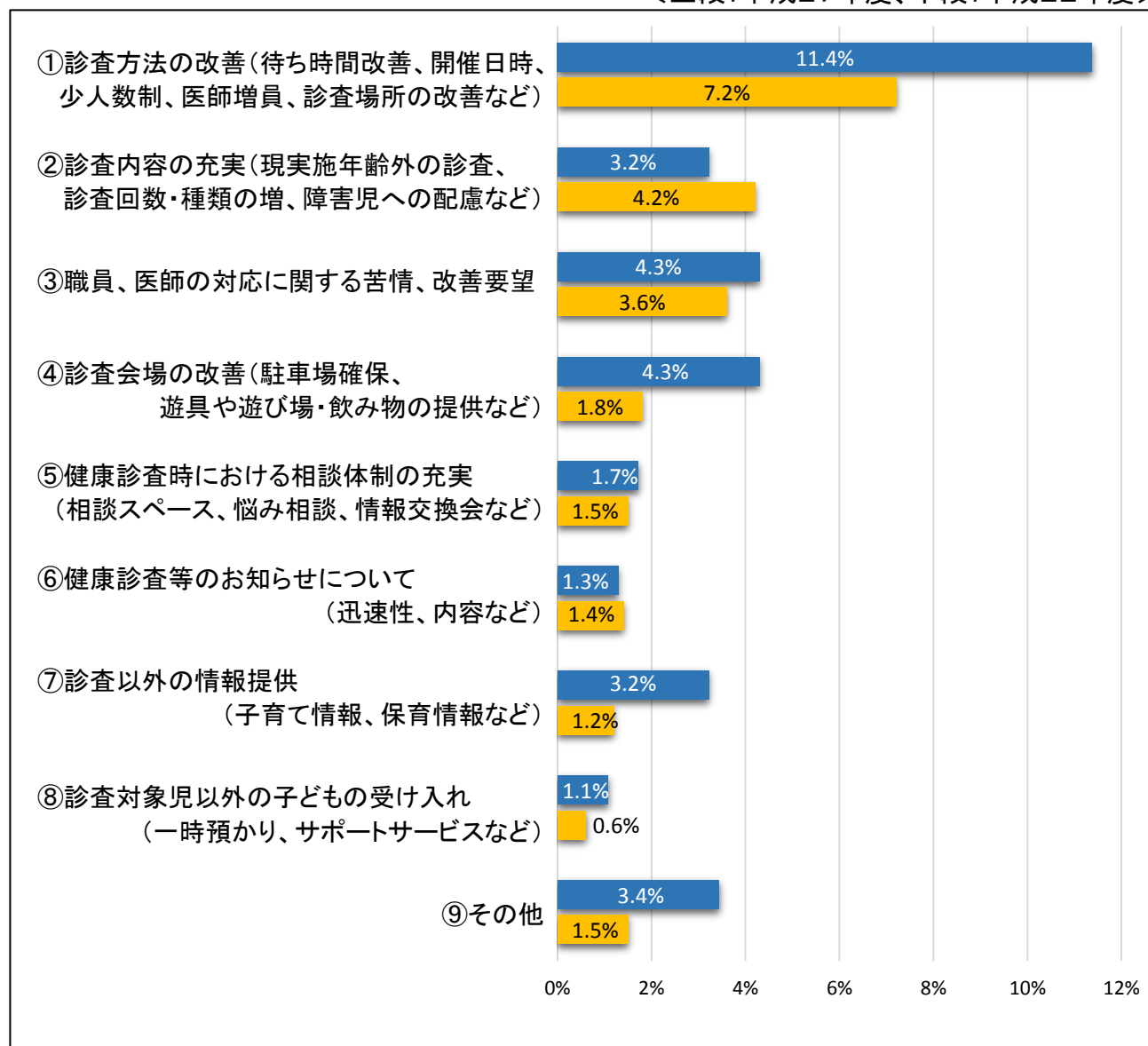
◆子どもの年齢が「5歳」と回答した人93人に対する割合



問3-2 健康診査について、もっと満足していただけるためには、どのようにしたらよいか、具体的な意見やアイデアがありましたらご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>

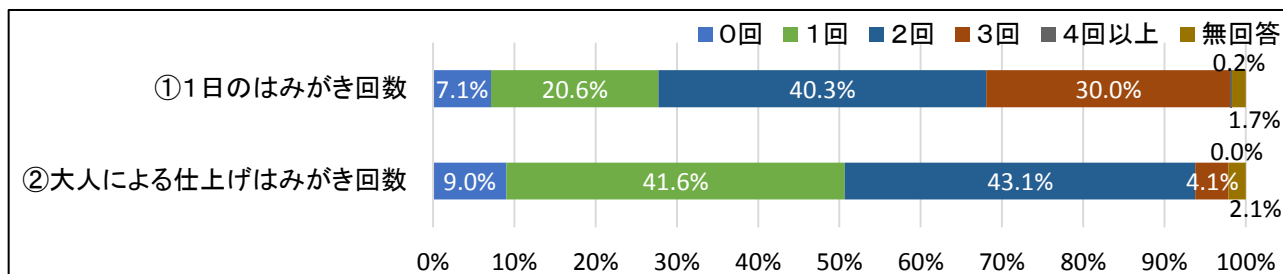


※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①診査方法の改善(待ち時間改善、開催日時、少人数制、医師増員、診査場所の改善など)	53	11.4%
②診査内容の充実(現実実施年齢外の診査、診査回数・種類の増、障害児への配慮など)	15	3.2%
③職員、医師の対応に関する苦情、改善要望	20	4.3%
④診査会場の改善(駐車場確保、遊具や遊び場・飲み物の提供など)	20	4.3%
⑤健康診査時における相談体制の充実(相談スペース、悩み相談、情報交換会など)	8	1.7%
⑥健康診査等のお知らせについて(迅速性、内容など)	6	1.3%
⑦診査以外の情報提供(子育て情報、保育情報など)	15	3.2%
⑧診査対象児以外の子どもの受け入れ(一時預かり、サポートサービスなど)	5	1.1%
⑨その他	16	3.4%

問3-3 子どものはみがき回数について、それぞれの項目ごとに該当欄に○をつけてください。

【全体】

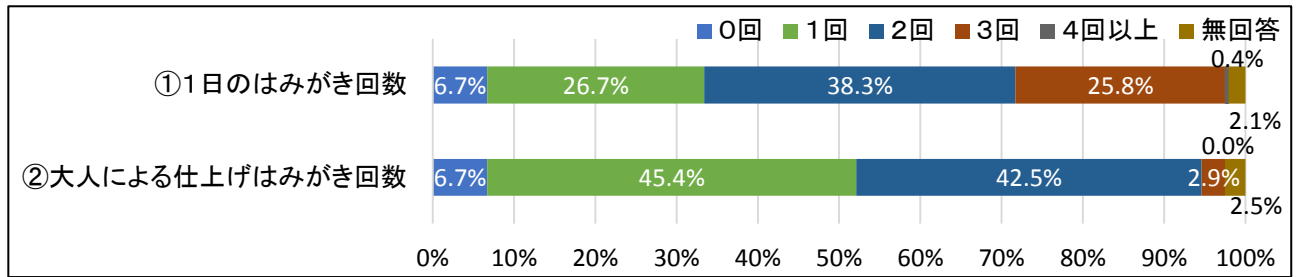


	0回	1回	2回	3回	4回以	無回答	合計
平成27年度							
①1日のはみがき回数	7.1%	20.6%	40.3%	30.0%	0.2%	1.7%	100.0%
②大人による仕上げはみがき回数	9.0%	41.6%	43.1%	4.1%	0.0%	2.1%	100.0%
平成22年度							
①1日のはみがき回数	9.3%	40.1%	47.7%	2.8%	0.1%	0.0%	100.0%
②大人による仕上げはみがき回数	8.2%	26.9%	57.5%	6.3%	1.1%	0.0%	100.0%

- ◆1日のはみがき回数は2回(40.3%)と回答した人が最も多く、平成22年度(47.7%)から7.4ポイント減少している。
- ◆次に3回(30.0%)と回答した人が多く、平成22年度(2.8%)から27.2ポイント増加している一方で、1回(20.6%)と回答した人は平成22年度(40.1%)から19.5ポイント減少している。
- ◆大人による仕上げはみがき回数は2回(43.1%)と回答した人が最も多く、平成22年度(57.5%)から14.4ポイント減少している。
- ◆次に1回(41.6%)と回答した人が多く、平成22年度(26.9%)から14.7ポイント増加している。

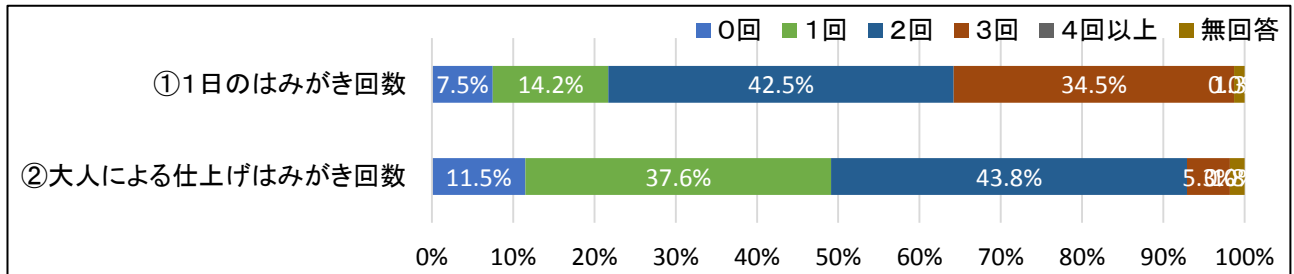
【子どもの性別:男性】

◆子どもの性別が「男性」と回答した人240人に対する割合



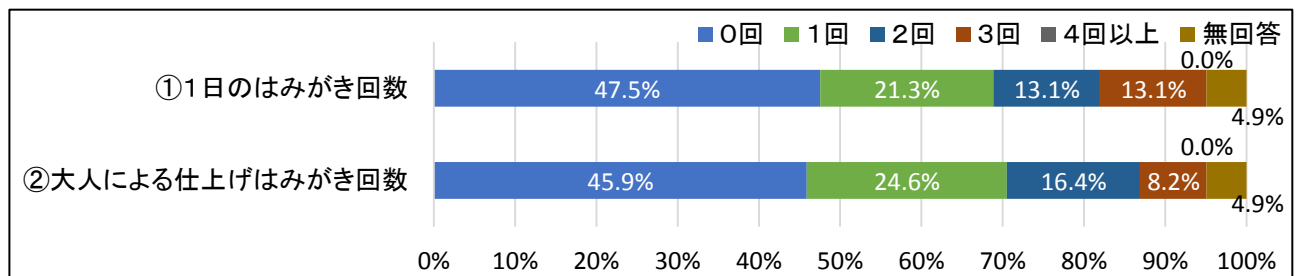
【子どもの性別:女性】

◆子どもの性別が「女性」と回答した人226人に対する割合



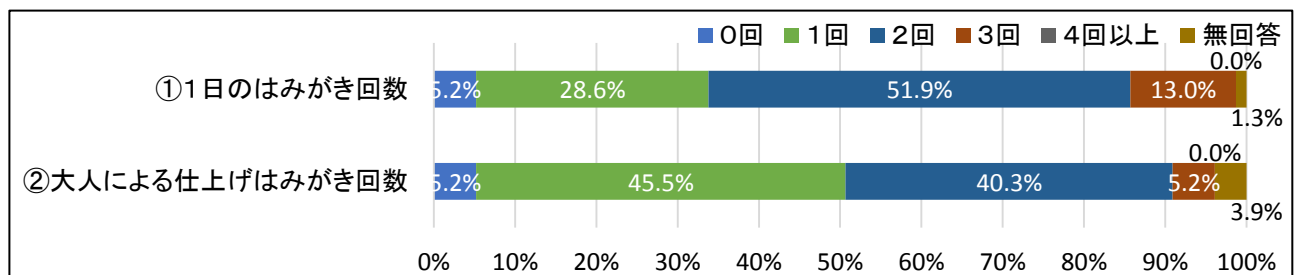
【子どもの年齢別:0歳】

◆子どもの年齢が「0歳」と回答した人61人に対する割合



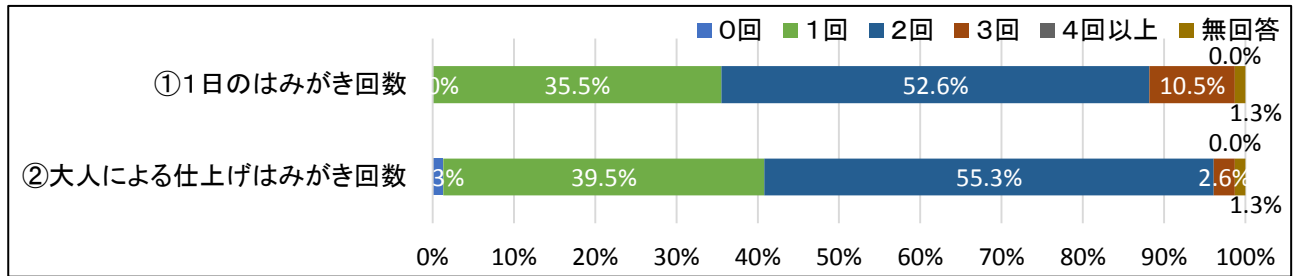
【子どもの年齢別:1歳】

◆子どもの年齢が「1歳」と回答した人77人に対する割合



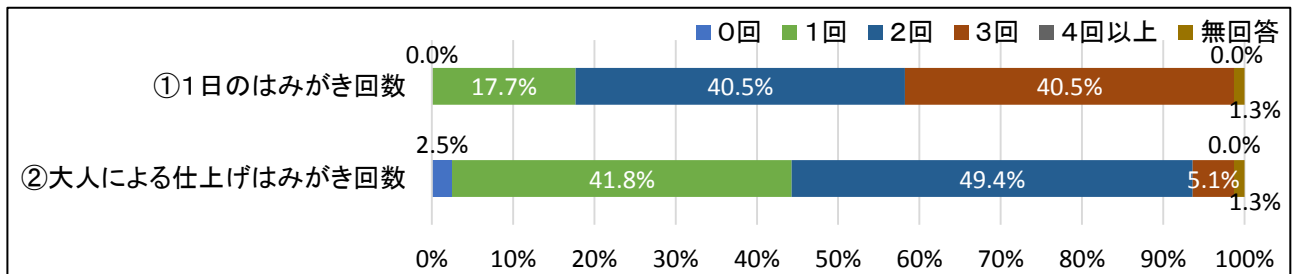
【子どもの年齢別：2歳】

◆子どもの年齢が「2歳」と回答した人76人に対する割合



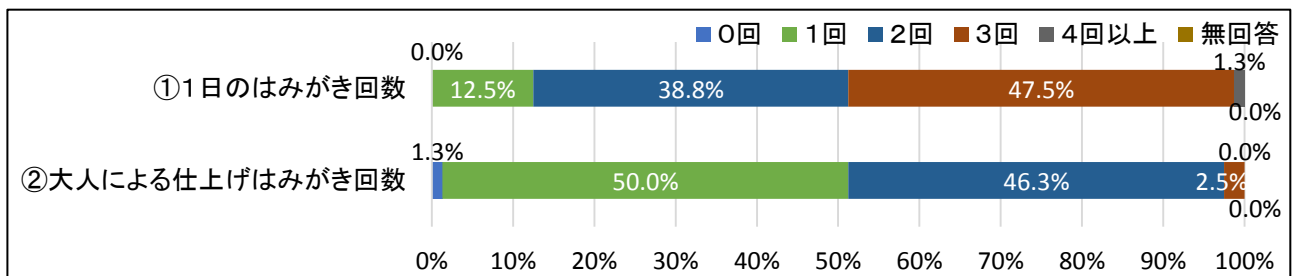
【子どもの年齢別：3歳】

◆子どもの年齢が「3歳」と回答した人79人に対する割合



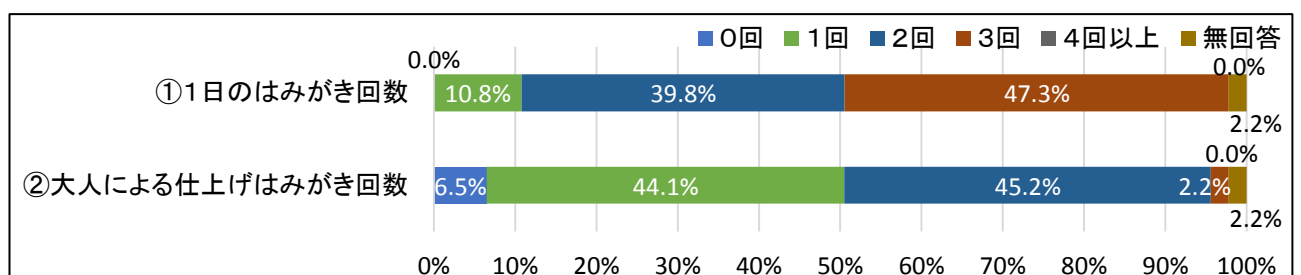
【子どもの年齢別：4歳】

◆子どもの年齢が「4歳」と回答した人80人に対する割合



【子どもの年齢別：5歳】

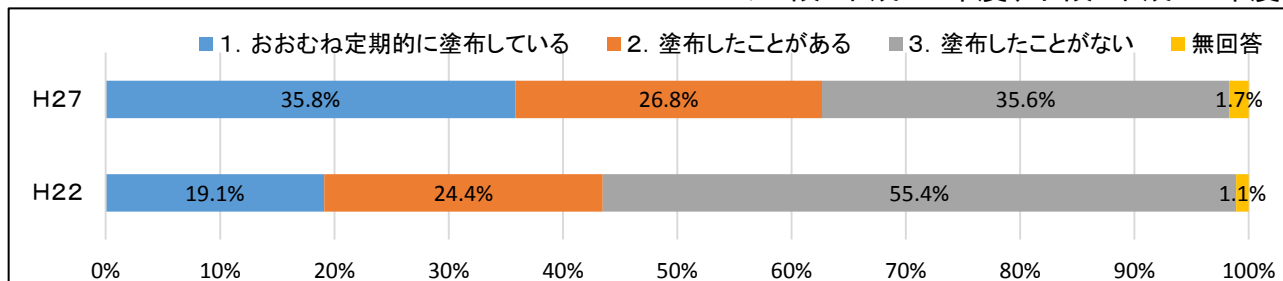
◆子どもの年齢が「5歳」と回答した人93人に対する割合



問3-4 フッ化物(フッ素)によるむし歯予防について、それぞれの項目ごとにあてはまるもの1つに○をつけてください。

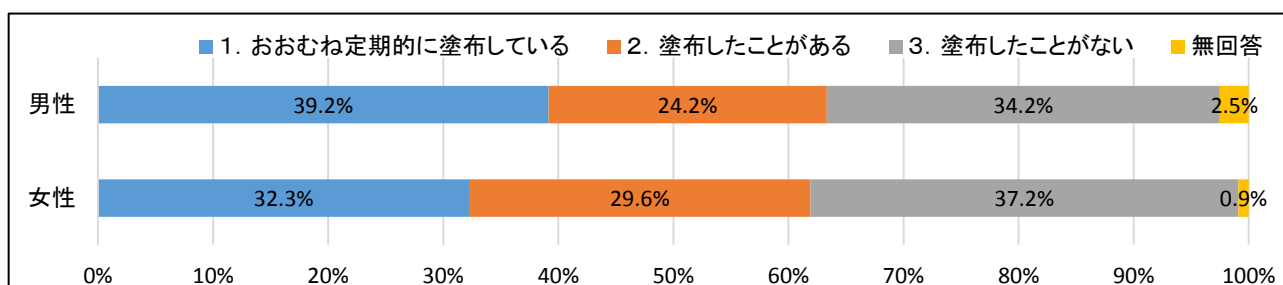
【全体：①歯科医療機関でのフッ化物塗布】

<上段：平成27年度、下段：平成22年度>

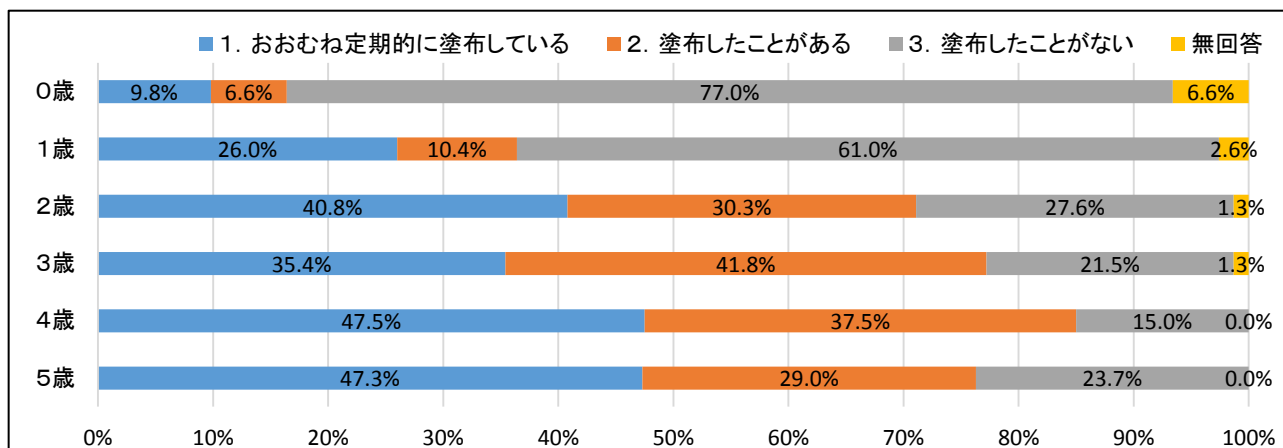


◆「おおむね定期的に塗布している」(35.8%)、「塗布したことがある」(26.8%)と回答した人を合わせると62.6%となり、平成22年度(19.1%、24.4%、計43.5%)から19.1ポイント増加しており、塗布したことがある割合が大きく増加している。

【子どもの性別：①歯科医療機関でのフッ化物塗布】

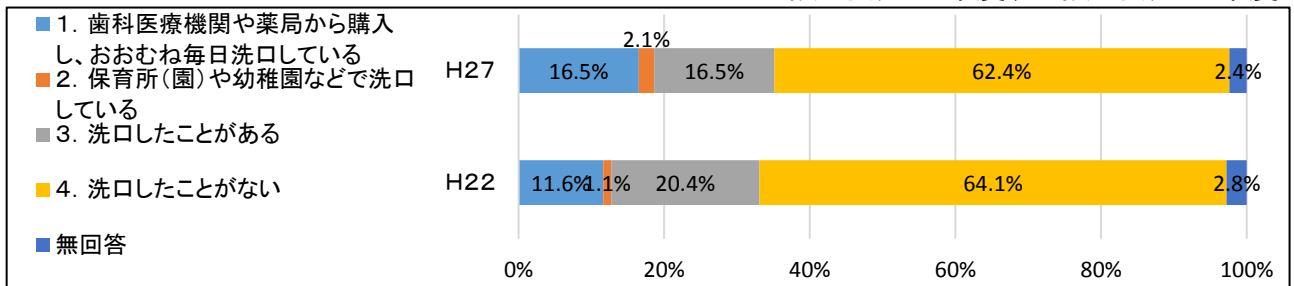


【子どもの年齢別：①歯科医療機関でのフッ化物塗布】

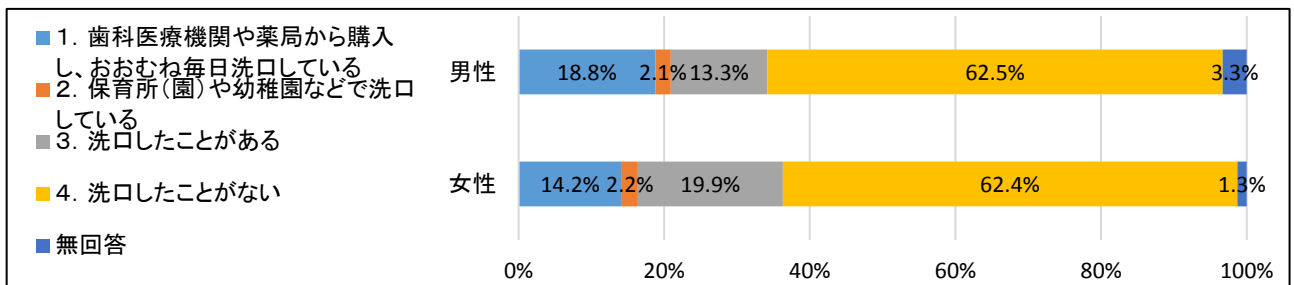


【全体：②フッ化物洗口剤による洗口】

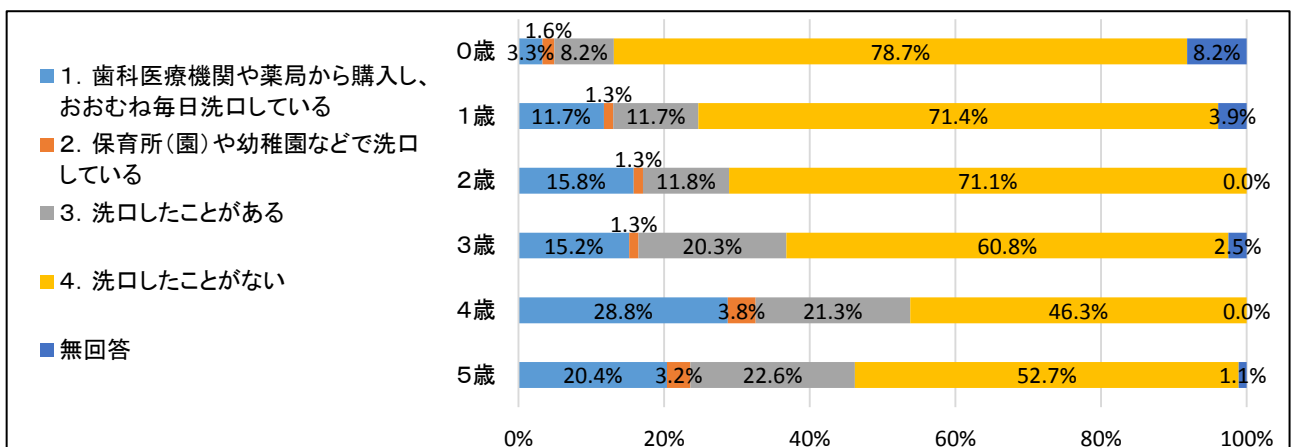
<上段：平成27年度、下段：平成22年度>



【子どもの性別：②フッ化物洗口剤による洗口】

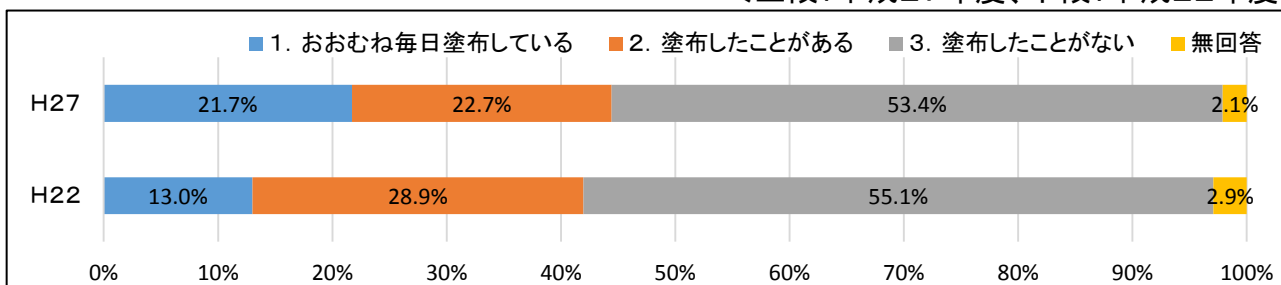


【子どもの年齢別：②フッ化物洗口剤による洗口】

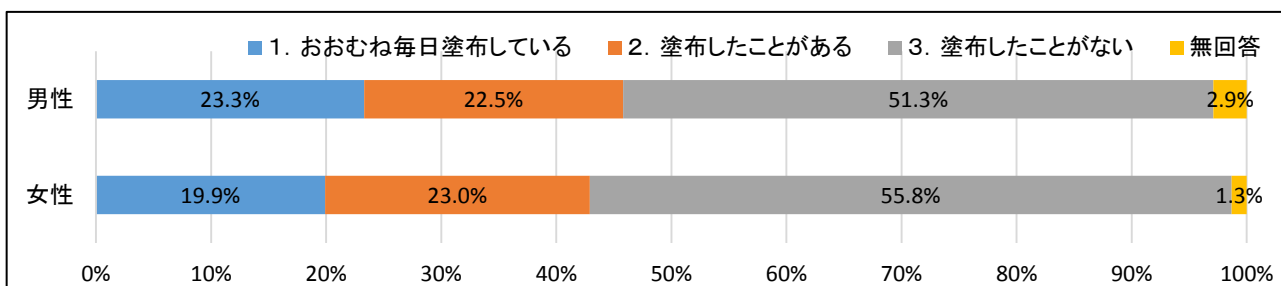


【全体：③ドラッグストアなどで市販している液体状のフッ化物塗布】

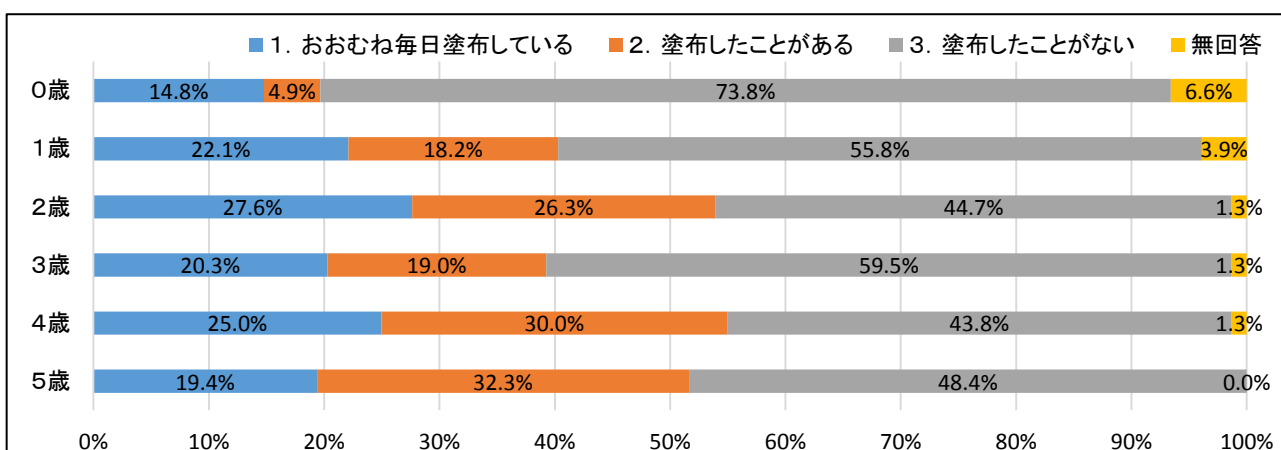
＜上段：平成27年度、下段：平成22年度＞



【子どもの性別：③ドラッグストアなどで市販している液体状のフッ化物塗布】



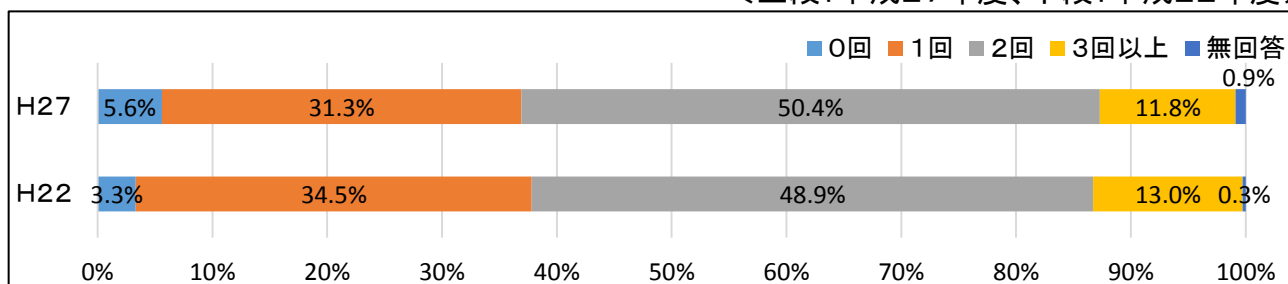
【子どもの年齢別：③ドラッグストアなどで市販している液体状のフッ化物塗布】



問3-5 おやつ(甘い食べ物や飲み物など)について、それぞれの項目ごとにあてはまるもの1つに○をつけてください。

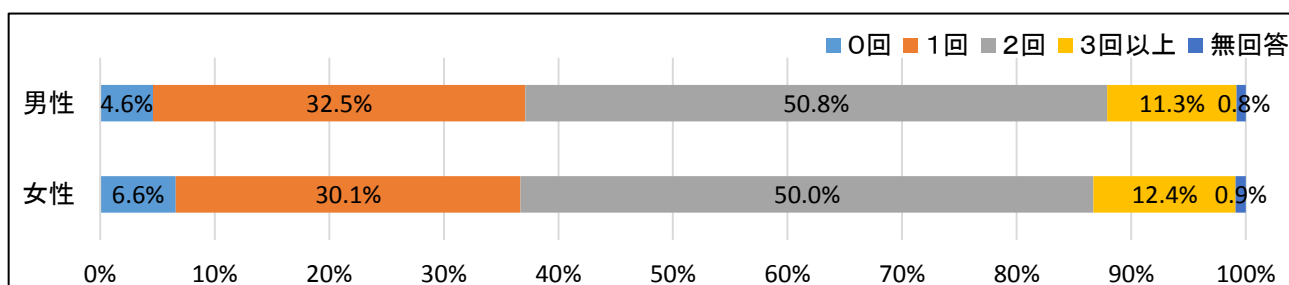
【全体:①1日のおやつ回数】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>

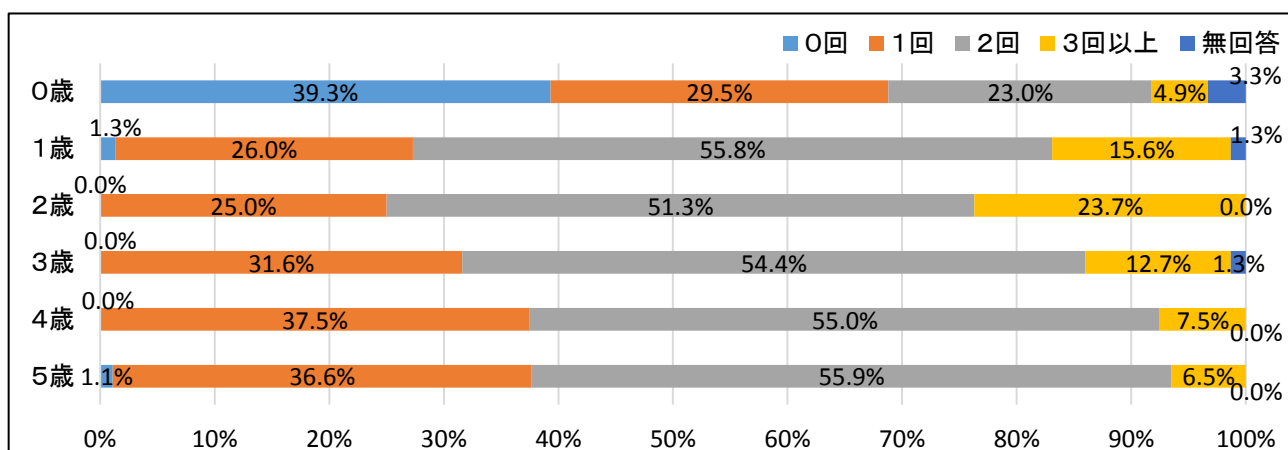


◆1日のおやつ回数については、2回(50.4%)と回答した人が最も多く、平成22年度(48.9%)から1.5ポイント増加している。

【子どもの性別:①1日のおやつ回数】

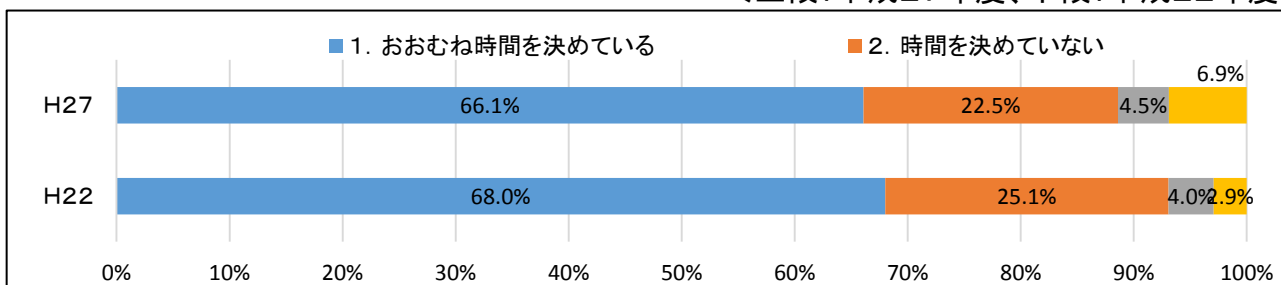


【子どもの年齢別:①1日のおやつ回数】



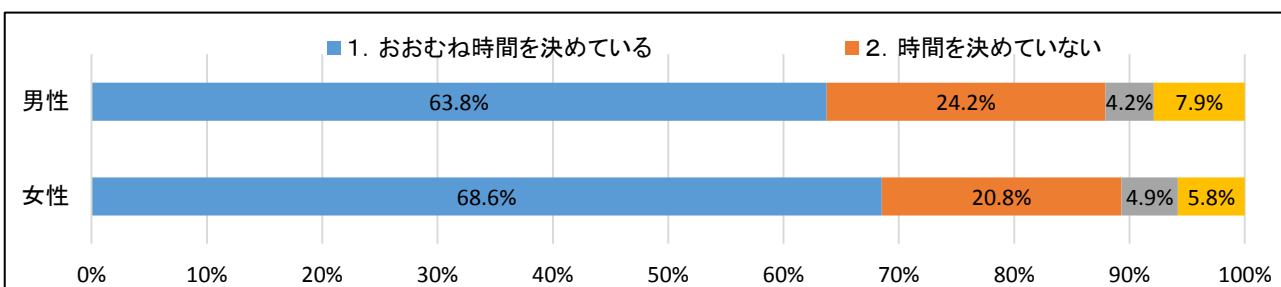
【全体:②おやつとの与え方】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>

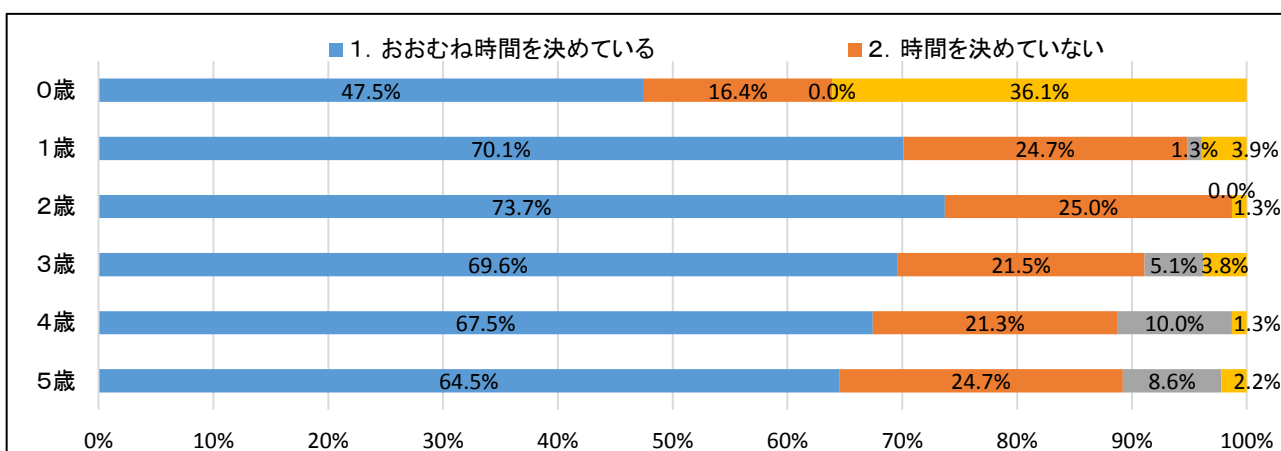


◆おやつとの与え方については、「おおむね時間を決めていない」(66.1%)と回答した人が最も多く、平成22年度(68.0%)から1.9ポイント減少している。

【子どもの性別:②おやつとの与え方】



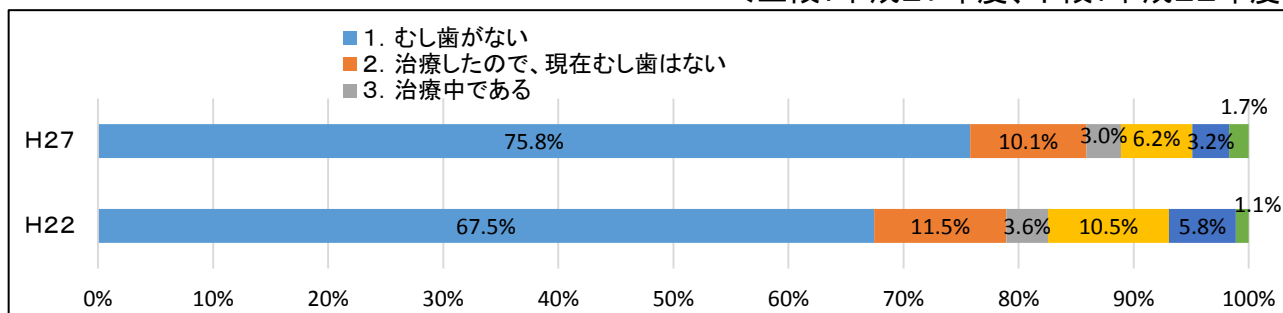
【子どもの年齢別:②おやつとの与え方】



問3-6 子どものむし歯の有無と治療について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

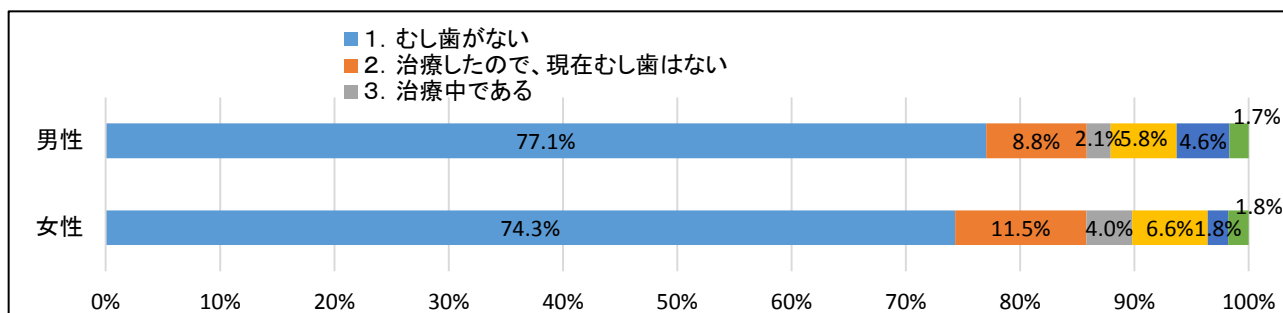
【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>

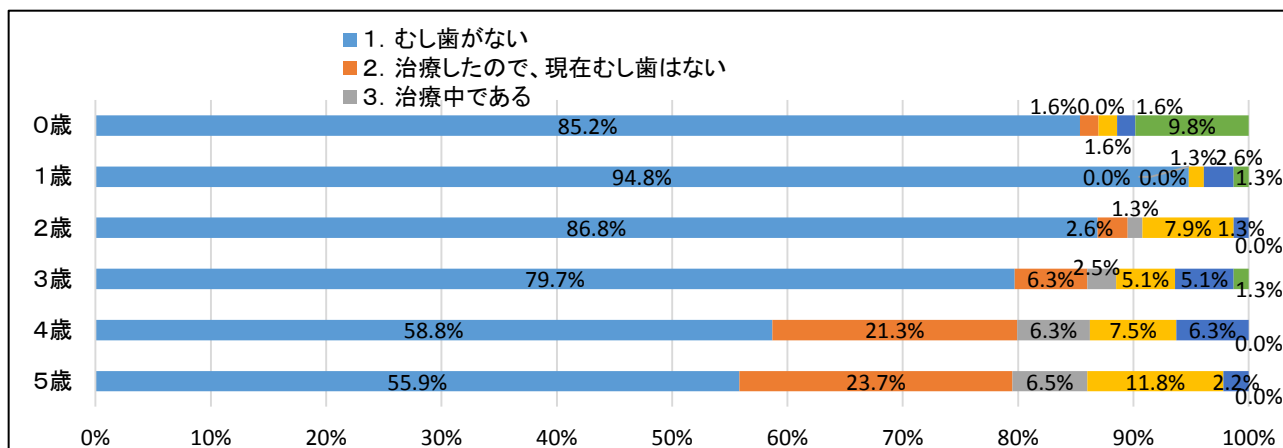


◆子どものむし歯については、「むし歯がない」(75.8%)と回答した人が最も多く、平成22年度(67.5%)から8.3ポイント増加している。

【子どもの性別】



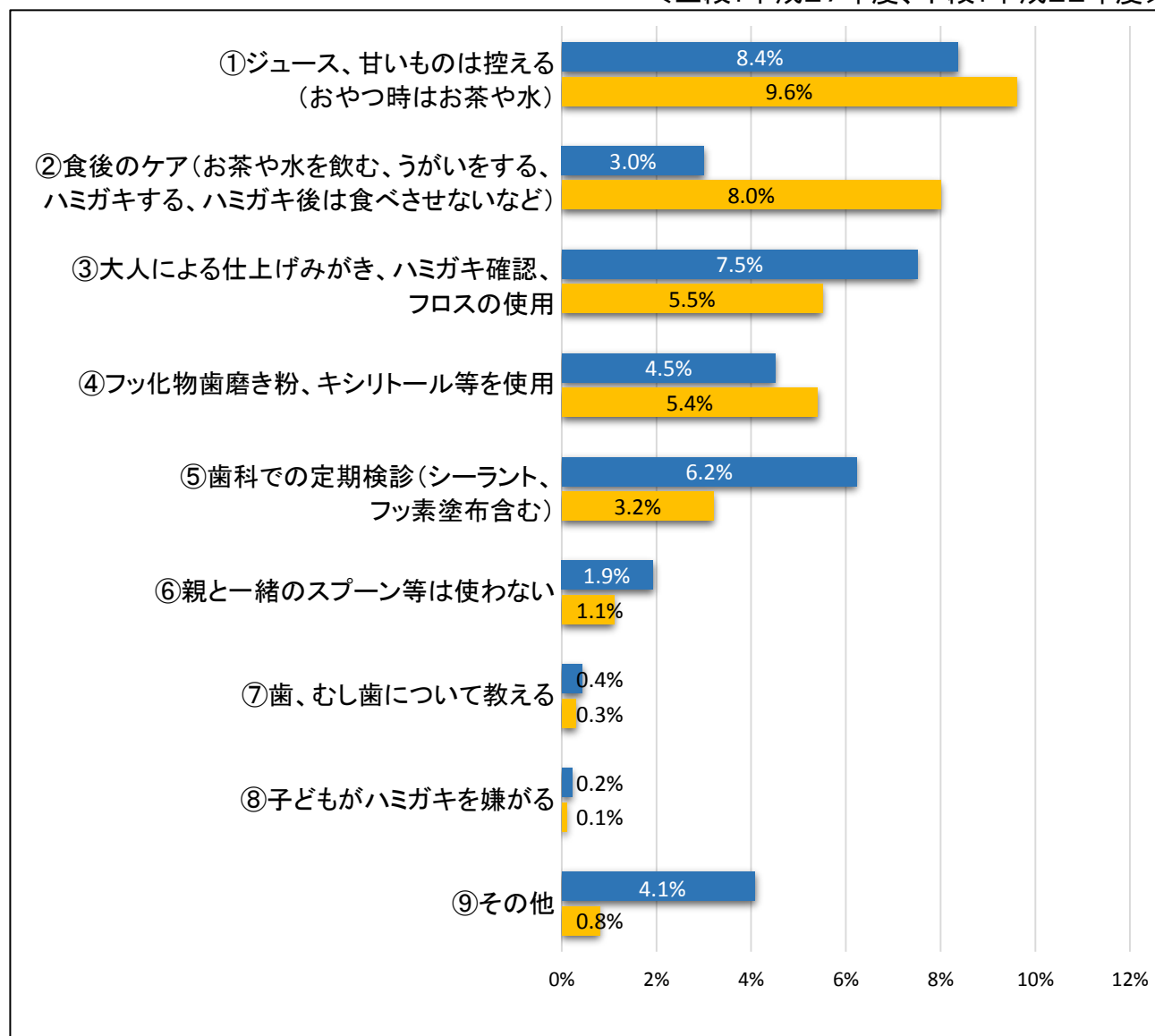
【子どもの年齢別】



問3-7 その他、子どものむし歯予防のためにしていることがありましたらご記入ください。
【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



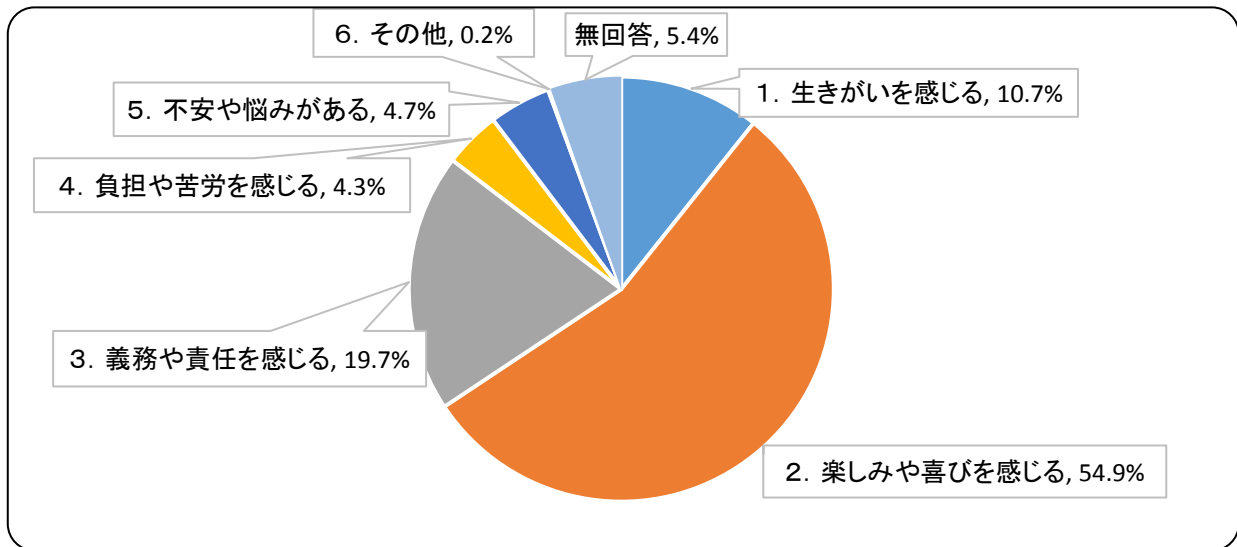
※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①ジュース、甘いものは控える(おやつ時はお茶や水)	39	8.4%
②食後のケア(お茶や水を飲む、うがいをする、ハミガキする、ハミガキ後は食べさせないなど)	14	3.0%
③大人による仕上げみがき、ハミガキ確認、フロスの使用	35	7.5%
④フッ化物歯磨き粉、キシリトール等を使用	21	4.5%
⑤歯科での定期検診(シーラント、フッ素塗布含む)	29	6.2%
⑥親と一緒にのスプーン等は使わない	9	1.9%
⑦歯、むし歯について教える	2	0.4%
⑧子どもがハミガキを嫌がる	1	0.2%
⑨その他	19	4.1%

IV 子育てについてお伺いします。

問4-1 あなたはお子さんを育てることについて、どのように感じていますか。強く感じること1つに○をつけてください。

【全体】



【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 生きがいを感じる	10.7%	9.8%	0.9%
2. 楽しみや喜びを感じる	54.9%	58.4%	-3.5%
3. 義務や責任を感じる	19.7%	18.4%	1.3%
4. 負担や苦勞を感じる	4.3%	3.3%	1.0%
5. 不安や悩みがある	4.7%	4.7%	0.0%
6. その他	0.2%	0.8%	-0.6%
無回答	5.4%	4.6%	0.8%
計	100.0%	100.0%	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「楽しみや喜びを感じる」(54.9%)と回答した人が最も多く、平成22年度(58.4%)から3.5ポイント減少している。以下「義務や責任を感じる」(19.7%)－平成22年度(18.4%)から1.3ポイント増加、「生きがいを感じる」(10.7%)－平成22年度(9.8%)から0.9ポイント増加などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 生きがいを感じる	8.8%	12.8%
2. 楽しみや喜びを感じる	59.2%	50.4%
3. 義務や責任を感じる	17.5%	22.1%
4. 負担や苦勞を感じる	3.8%	4.9%
5. 不安や悩みがある	5.8%	3.5%
6. その他	0.0%	0.4%
無回答	5.0%	5.8%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

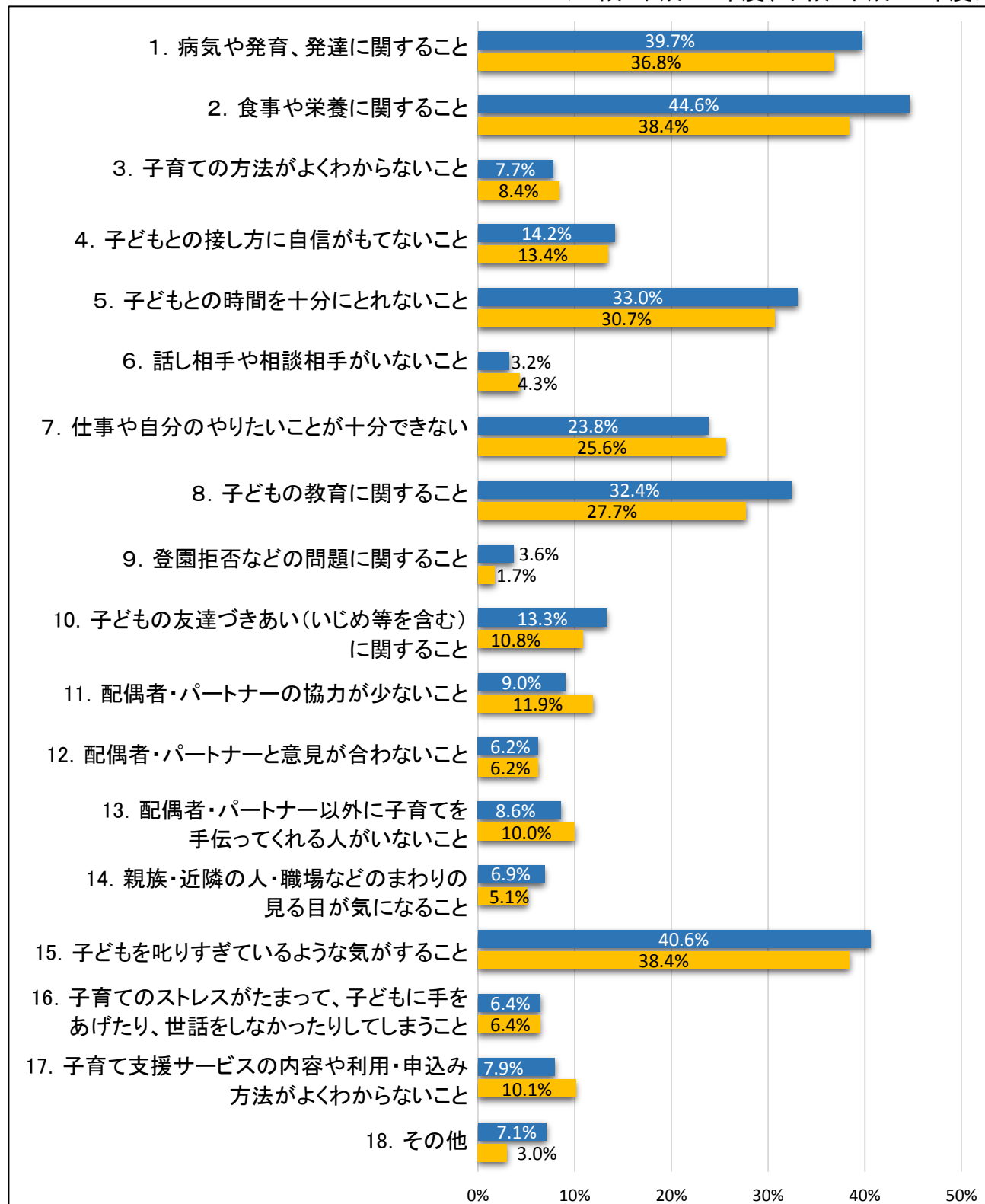
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 生きがいを感じる	9.8%	14.3%	6.6%	8.9%	10.0%	14.0%
2. 楽しみや喜びを感じる	65.6%	55.8%	65.8%	51.9%	47.5%	47.3%
3. 義務や責任を感じる	21.3%	16.9%	18.4%	21.5%	21.3%	19.4%
4. 負担や苦勞を感じる	0.0%	5.2%	6.6%	5.1%	5.0%	3.2%
5. 不安や悩みがある	3.3%	5.2%	1.3%	1.3%	7.5%	8.6%
6. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
無回答	0.0%	2.6%	1.3%	11.4%	7.5%	7.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問4-2 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 悩みはない (6)
- ・ 金銭的なこと (3)
- ・ イライラして、ガミガミ言ってしまう (2)
- ・ 義父母の育児に対する意見、手や口を出しすぎる (2)
- ・ 子育て相談できる場所がない
- ・ 配偶者がいない為、十分な子育てが出来ないのではないか
- ・ 寝る時間が遅い(23:00過ぎ)
- ・ 義理の親が、ご飯の前にお菓子を与える事
- ・ 子供が反発、口答えばかりする
- ・ 子供が病気で職場を休まなければならない時、気を使う。
- ・ ひとり親なので、子供が寂しい思いをするのではないか
- ・ 下の子に手がかかり、我慢ばかりさせ、ストレスが溜まっているのではないか
- ・ 近所に遊ぶ場所がない
- ・ 自分の時間が取れない
- ・ 仕事が忙しかったり、職場に気を使い、なかなか病院を受診できない
- ・ 収入が少ないので、子育て支援のサービスがあっても使いにくい
- ・ 配偶者が育児にかかる時間を「何もしていない」時間として考え、怒る
- ・ 離婚して、パパがいないので、全て悩んでいます。
- ・ 自己嫌悪に陥ります。言いたくない事を言ってしまうたり、疲れて遊ぶ気になれない
- ・ 子供同士の間人間関係
- ・ 仕上げ磨きを嫌がって、とても大変
- ・ 不審者による連れ去り、性犯罪に巻き込まれないか

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 病気や発育、発達に関する事	39.7%	36.8%	2.9%
2. 食事や栄養に関する事	44.6%	38.4%	6.2%
3. 子育ての方法がよくわからない事	7.7%	8.4%	-0.7%
4. 子どもとの接し方に自信がもてない事	14.2%	13.4%	0.8%
5. 子どもとの時間を十分にとれない事	33.0%	30.7%	2.3%
6. 話し相手や相談相手がいらない事	3.2%	4.3%	-1.1%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	23.8%	25.6%	-1.8%
8. 子どもの教育に関する事	32.4%	27.7%	4.7%
9. 登園拒否などの問題に関する事	3.6%	1.7%	1.9%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関する事	13.3%	10.8%	2.5%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ない事	9.0%	11.9%	-2.9%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わない事	6.2%	6.2%	0.0%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない事	8.6%	10.0%	-1.4%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になる事	6.9%	5.1%	1.8%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする事	40.6%	38.4%	2.2%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう事	6.4%	6.4%	0.0%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからない事	7.9%	10.1%	-2.2%
18. その他	7.1%	3.0%	4.1%

◆「食事や栄養に関する事」(44.6%)と回答した人が最も多く、平成22年度(38.4%)から6.2ポイント増加している。以下「子どもを叱りすぎているような気がする事」(40.6%)－平成22年度(38.4%)から2.2ポイント増加－、「病気や発育、発達に関する事」(39.7%)－平成22年度(36.8%)から2.9ポイント増加－、「子どもとの時間を十分にとれない事」(33.0%)－平成22年度(30.7%)から2.3ポイント増加－、「子どもの教育に関する事」(32.4%)－平成22年度(27.7%)から4.7ポイント増加－などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 病気や発育、発達に関すること	41.3%	38.1%
2. 食事や栄養に関すること	45.8%	43.4%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	9.6%	5.8%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	13.8%	14.6%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	30.8%	35.4%
6. 話し相手や相談相手がいないこと	4.2%	2.2%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	25.4%	22.1%
8. 子どもの教育に関すること	32.5%	32.3%
9. 登園拒否などの問題に関すること	3.3%	4.0%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること	13.8%	12.8%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	6.7%	11.5%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	5.4%	7.1%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	8.3%	8.8%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見る目が気になること	7.5%	6.2%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする	35.8%	45.6%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	4.6%	8.4%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	6.3%	9.7%
18. その他	7.5%	6.6%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの年齢別】

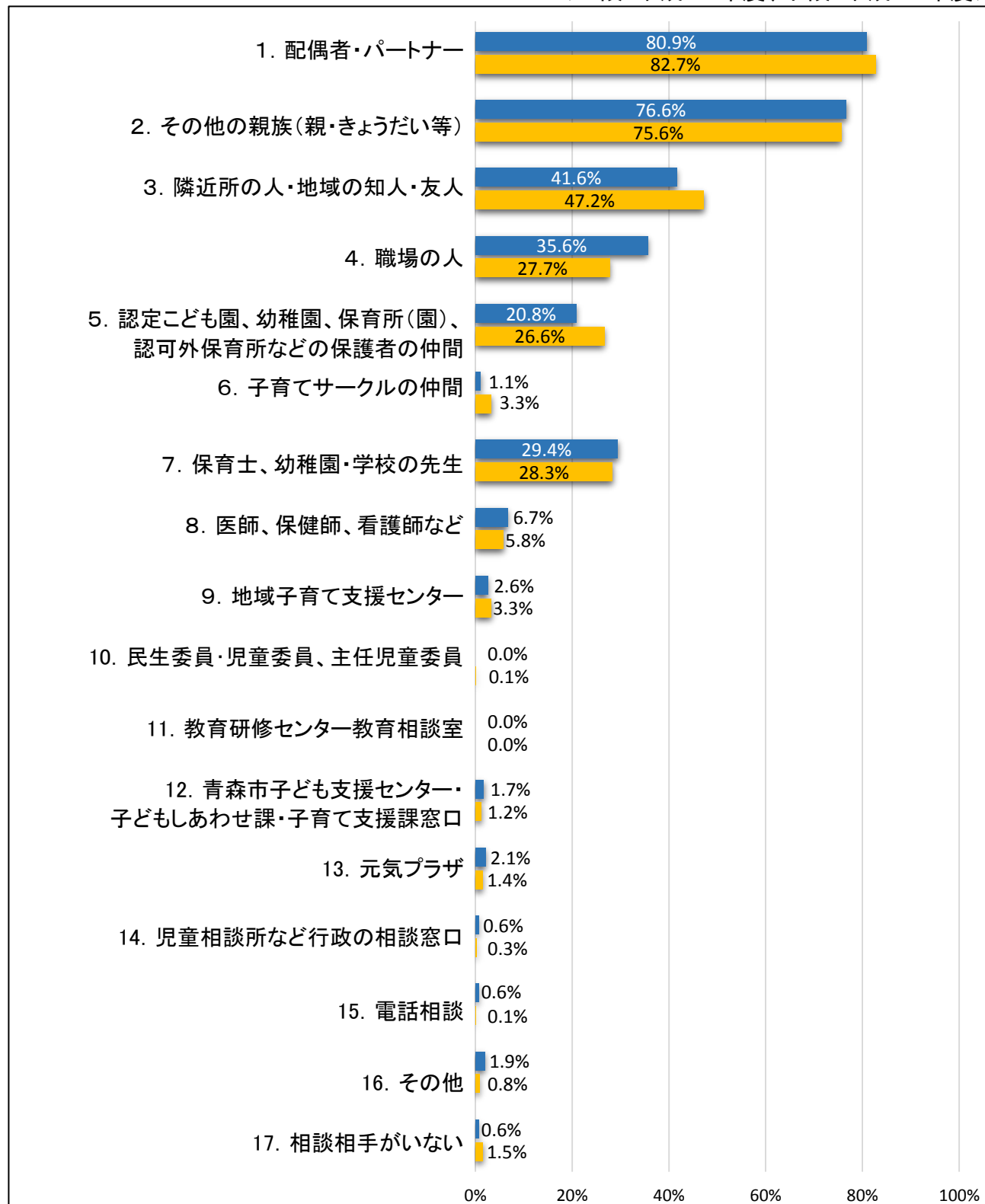
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 病気や発育、発達に関すること	54.1%	42.9%	38.2%	38.0%	33.8%	35.5%
2. 食事や栄養に関すること	68.9%	51.9%	51.3%	39.2%	40.0%	25.8%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	6.6%	11.7%	10.5%	5.1%	12.5%	1.1%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	13.1%	13.0%	13.2%	11.4%	18.8%	15.1%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	23.0%	44.2%	40.8%	22.8%	33.8%	32.3%
6. 話し相手や相談相手がないこと	1.6%	3.9%	5.3%	2.5%	3.8%	2.2%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	24.6%	27.3%	28.9%	19.0%	22.5%	21.5%
8. 子どもの教育に関すること	26.2%	31.2%	34.2%	26.6%	38.8%	35.5%
9. 登園拒否などの問題に関すること	0.0%	2.6%	2.6%	5.1%	3.8%	6.5%
10. 子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること	4.9%	7.8%	10.5%	13.9%	16.3%	22.6%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	8.2%	9.1%	9.2%	6.3%	10.0%	10.8%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	1.6%	9.1%	6.6%	3.8%	7.5%	7.5%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	6.6%	11.7%	7.9%	10.1%	12.5%	3.2%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になること	4.9%	10.4%	9.2%	3.8%	10.0%	3.2%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする	19.7%	24.7%	48.7%	46.8%	50.0%	47.3%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	3.3%	3.9%	10.5%	2.5%	7.5%	9.7%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	16.4%	7.8%	7.9%	12.7%	1.3%	4.3%
18. その他	3.3%	7.8%	9.2%	3.8%	6.3%	10.8%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

問4-3 身近な地域で、子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 相談しない
- ・ 元職場の人
- ・ ココネットあおもり
- ・ 友人
- ・ ヨーカドー育児相談室の相談員
- ・ 療育先
- ・ 病院の先生
- ・ 悩みなし

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 配偶者・パートナー	80.9%	82.7%	-1.8%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	76.6%	75.6%	1.0%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	41.6%	47.2%	-5.6%
4. 職場の人	35.6%	27.7%	7.9%
5. 認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所などの保護者の仲間	20.8%	26.6%	-5.8%
6. 子育てサークルの仲間	1.1%	3.3%	-2.2%
7. 保育士、幼稚園・学校の先生	29.4%	28.3%	1.1%
8. 医師、保健師、看護師など	6.7%	5.8%	0.9%
9. 地域子育て支援センター	2.6%	3.3%	-0.7%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.0%	0.1%	-0.1%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.0%	0.0%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	1.7%	1.2%	0.5%
13. 元気プラザ	2.1%	1.4%	0.7%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.6%	0.3%	0.3%
15. 電話相談	0.6%	0.1%	0.5%
16. その他	1.9%	0.8%	1.1%
17. 相談相手がいない	0.6%	1.5%	-0.9%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「配偶者・パートナー」(80.9%)と回答した人が最も多く、平成22年度(82.7%)から1.8ポイント減少している。以下「その他の親族(親・きょうだい等)」(76.6%)ー平成22年度(75.6%)から1.0ポイント増加ー、「隣近所の人・地域の知人・友人」(41.6%)ー平成22年度(47.2%)から5.6ポイント減少ー、「職場の人」(35.6%)ー平成22年度(27.7%)から7.9ポイント増加ー、「保育士、幼稚園・学校の先生」(29.4%)ー平成22年度(28.3%)から1.1ポイント増加ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 配偶者・パートナー	82.9%	78.8%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	77.5%	75.7%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	40.8%	42.5%
4. 職場の人	34.2%	37.2%
5. 認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所などの保護者の仲間	22.1%	19.5%
6. 子育てサークルの仲間	0.8%	1.3%
7. 保育士、幼稚園・学校の先生	28.8%	30.1%
8. 医師、保健師、看護師など	7.1%	6.2%
9. 地域子育て支援センター	3.8%	1.3%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.0%	0.0%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.0%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	2.1%	1.3%
13. 元気プラザ	2.5%	1.8%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.0%	1.3%
15. 電話相談	0.8%	0.4%
16. その他	2.5%	1.3%
17. 相談相手がいない	0.8%	0.4%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの年齢別】

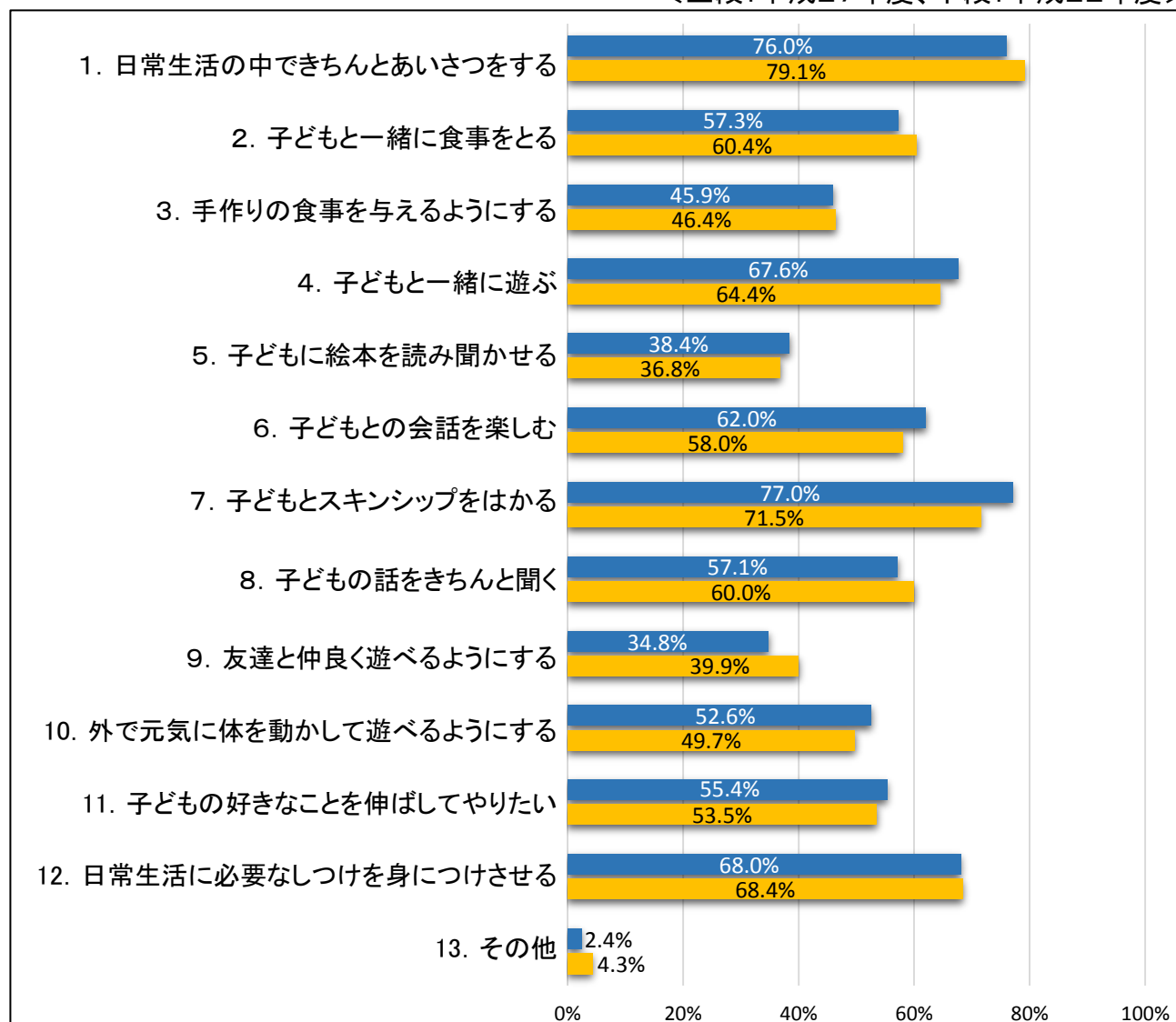
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 配偶者・パートナー	83.6%	77.9%	82.9%	83.5%	77.5%	80.6%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	85.2%	75.3%	81.6%	69.6%	67.5%	81.7%
3. 隣近所の人・地域の知人・友人	45.9%	37.7%	40.8%	36.7%	41.3%	47.3%
4. 職場の人	26.2%	31.2%	38.2%	40.5%	32.5%	41.9%
5. 認定こども園、幼稚園、保育所(園)、認可外保育所などの保護者の仲間	8.2%	10.4%	21.1%	20.3%	25.0%	34.4%
6. 子育てサークルの仲間	4.9%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 保育士、幼稚園・学校の先生	19.7%	26.0%	28.9%	29.1%	26.3%	41.9%
8. 医師、保健師、看護師など	6.6%	9.1%	3.9%	7.6%	8.8%	4.3%
9. 地域子育て支援センター	4.9%	3.9%	6.6%	1.3%	0.0%	0.0%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11. 教育研修センター教育相談室	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 青森市子ども支援センター・子どもしあわせ課・子育て支援課窓口	3.3%	2.6%	1.3%	2.5%	0.0%	1.1%
13. 元気プラザ	3.3%	3.9%	0.0%	2.5%	2.5%	1.1%
14. 児童相談所など行政の相談窓口	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	1.1%
15. 電話相談	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.1%
16. その他	1.6%	3.9%	2.6%	1.3%	1.3%	1.1%
17. 相談相手がない	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	2.5%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

問4-4 あなたのご家庭では、お子さんを育てていくうえで、どのようなことを心がけていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・感情的にしっかりつけない
- ・父親の存在を一番上だと意識づける
- ・相手の気持ちを考えて話す
- ・自分の事を大切に思う気持ちを持てるようにする
- ・栄養が取れる食事をつくる
- ・語りかける、英語、わらべうた
- ・太らないようにする
- ・注意する時は、なぜダメなのかを教える
- ・子供の意思を尊重する
- ・良い、悪いの理由を伝える
- ・言葉づかい
- ・自分の思いを言葉で相手に伝える、褒める、しかる
- ・0歳なので、特別なことはしていない

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 日常生活の中できちんとあいさつをする	76.0%	79.1%	-3.1%
2. 子どもと一緒に食事をとる	57.3%	60.4%	-3.1%
3. 手作りの食事を与えるようにする	45.9%	46.4%	-0.5%
4. 子どもと一緒に遊ぶ	67.6%	64.4%	3.2%
5. 子どもに絵本を読み聞かせる	38.4%	36.8%	1.6%
6. 子どもとの会話を楽しむ	62.0%	58.0%	4.0%
7. 子どもとスキンシップをはかる	77.0%	71.5%	5.5%
8. 子どもの話をきちんと聞く	57.1%	60.0%	-2.9%
9. 友達と仲良く遊べるようにする	34.8%	39.9%	-5.1%
10. 外で元気に体を動かして遊べるようにする	52.6%	49.7%	2.9%
11. 子どもの好きなことを伸ばしてやりたい	55.4%	53.5%	1.9%
12. 日常生活に必要なしつけを身につけさせる	68.0%	68.4%	-0.4%
13. その他	2.4%	4.3%	-1.9%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「子どもとスキンシップをはかる」(77.0%)と回答した人が最も多く、平成22年度(71.5%)から5.5ポイント増加している。以下「日常生活の中できちんとあいさつをする」(76.0%)ー平成22年度(79.1%)から3.1ポイント減少ー、「日常生活に必要なしつけを身につけさせる」(68.0%)ー平成22年度(68.4%)から0.4ポイント減少ー、「子どもと一緒に遊ぶ」(67.6%)ー平成22年度(64.4%)から3.2ポイント増加ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 日常生活の中できちんとあいさつをする	72.5%	79.6%
2. 子どもと一緒に食事をとる	52.9%	61.9%
3. 手作りの食事を与えるようにする	42.9%	49.1%
4. 子どもと一緒に遊ぶ	67.9%	67.3%
5. 子どもに絵本を読み聞かせる	38.8%	38.1%
6. 子どもとの会話を楽しむ	62.5%	61.5%
7. 子どもとスキンシップをはかる	75.0%	79.2%
8. 子どもの話をきちんと聞く	53.3%	61.1%
9. 友達と仲良く遊べるようにする	32.9%	36.7%
10. 外で元気に体を動かして遊べるようにする	52.1%	53.1%
11. 子どもの好きなことを伸ばしてやりたい	51.7%	59.3%
12. 日常生活に必要なしつけを身につけさせる	64.2%	72.1%
13. その他	2.1%	2.7%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

【子どもの年齢別】

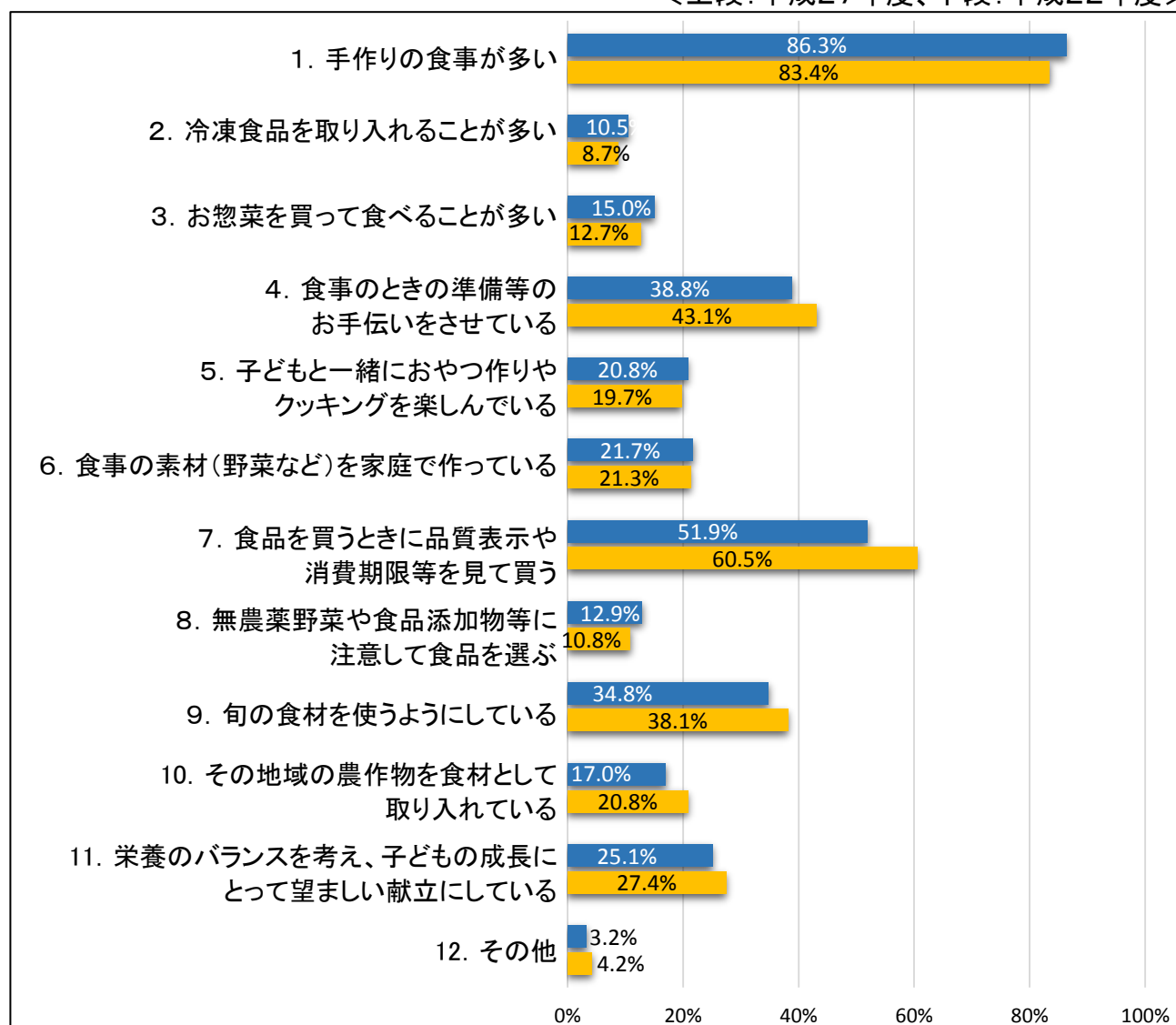
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 日常生活の中できちんとあいさつをする	59.0%	72.7%	72.4%	84.8%	76.3%	84.9%
2. 子どもと一緒に食事をとる	39.3%	55.8%	59.2%	64.6%	56.3%	63.4%
3. 手作りの食事を与えるようにする	42.6%	48.1%	43.4%	48.1%	53.8%	39.8%
4. 子どもと一緒に遊ぶ	75.4%	72.7%	72.4%	59.5%	66.3%	62.4%
5. 子どもに絵本を読み聞かせる	47.5%	46.8%	38.2%	38.0%	35.0%	29.0%
6. 子どもとの会話を楽しむ	47.5%	66.2%	63.2%	60.8%	66.3%	64.5%
7. 子どもとスキンシップをはかる	90.2%	79.2%	77.6%	70.9%	78.8%	69.9%
8. 子どもの話をきちんと聞く	26.2%	45.5%	63.2%	63.3%	62.5%	72.0%
9. 友達と仲良く遊べるようにする	9.8%	23.4%	47.4%	36.7%	42.5%	41.9%
10. 外で元気に体を動かして遊べるようにする	29.5%	62.3%	59.2%	51.9%	55.0%	52.7%
11. 子どもの好きなことを伸ばしてやりたい	41.0%	57.1%	65.8%	55.7%	55.0%	54.8%
12. 日常生活に必要なしつけを身につけさせる	39.3%	66.2%	68.4%	78.5%	73.8%	74.2%
13. その他	3.3%	3.9%	1.3%	2.5%	0.0%	3.2%

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

問4-5 あなたのご家庭での食事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27: アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 外食はベビーフードを利用している (2)
- ・ 食べたいものを用意する (2)
- ・ 同じものしか食べてくれない
- ・ 食事の片付けをさせる
- ・ 食べやすい大きさ、硬さにしている
- ・ ダシをとっている
- ・ 時間がないので、手料理だが簡単な物しか作っていない
- ・ 晩御飯は、保育園に頼んでいる
- ・ アレルギーがありそうなものは、少量ずつ、様子を見ながら与える
- ・ アレルギーがあるので、気をつける
- ・ 彩り良く
- ・ 時間とお金に余裕がない
- ・ おやつばかり食べている。そこまで気を使う余裕がない

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 手作りの食事が多い	86.3%	83.4%	2.9%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	10.5%	8.7%	1.8%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	15.0%	12.7%	2.3%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	38.8%	43.1%	-4.3%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	20.8%	19.7%	1.1%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	21.7%	21.3%	0.4%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	51.9%	60.5%	-8.6%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	12.9%	10.8%	2.1%
9. 旬の食材を使うようにしている	34.8%	38.1%	-3.3%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	17.0%	20.8%	-3.8%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	25.1%	27.4%	-2.3%
12. その他	3.2%	4.2%	-1.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「手作りの食事が多い」(86.3%)と回答した人が最も多く、平成22年度(83.4%)から2.9ポイント増加している。以下「食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う」(51.9%)ー平成22年度(60.5%)から8.6ポイント減少ー、「食事のときの準備等のお手伝いをさせている」(38.8%)ー平成22年度(43.1%)から4.3ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 手作りの食事が多い	85.8%	86.7%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	11.7%	9.3%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	16.7%	13.3%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	32.9%	45.1%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	17.9%	23.9%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	18.3%	25.2%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	47.1%	57.1%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	12.1%	13.7%
9. 旬の食材を使うようにしている	32.1%	37.6%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	14.6%	19.5%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	23.3%	27.0%
12. その他	3.3%	3.1%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

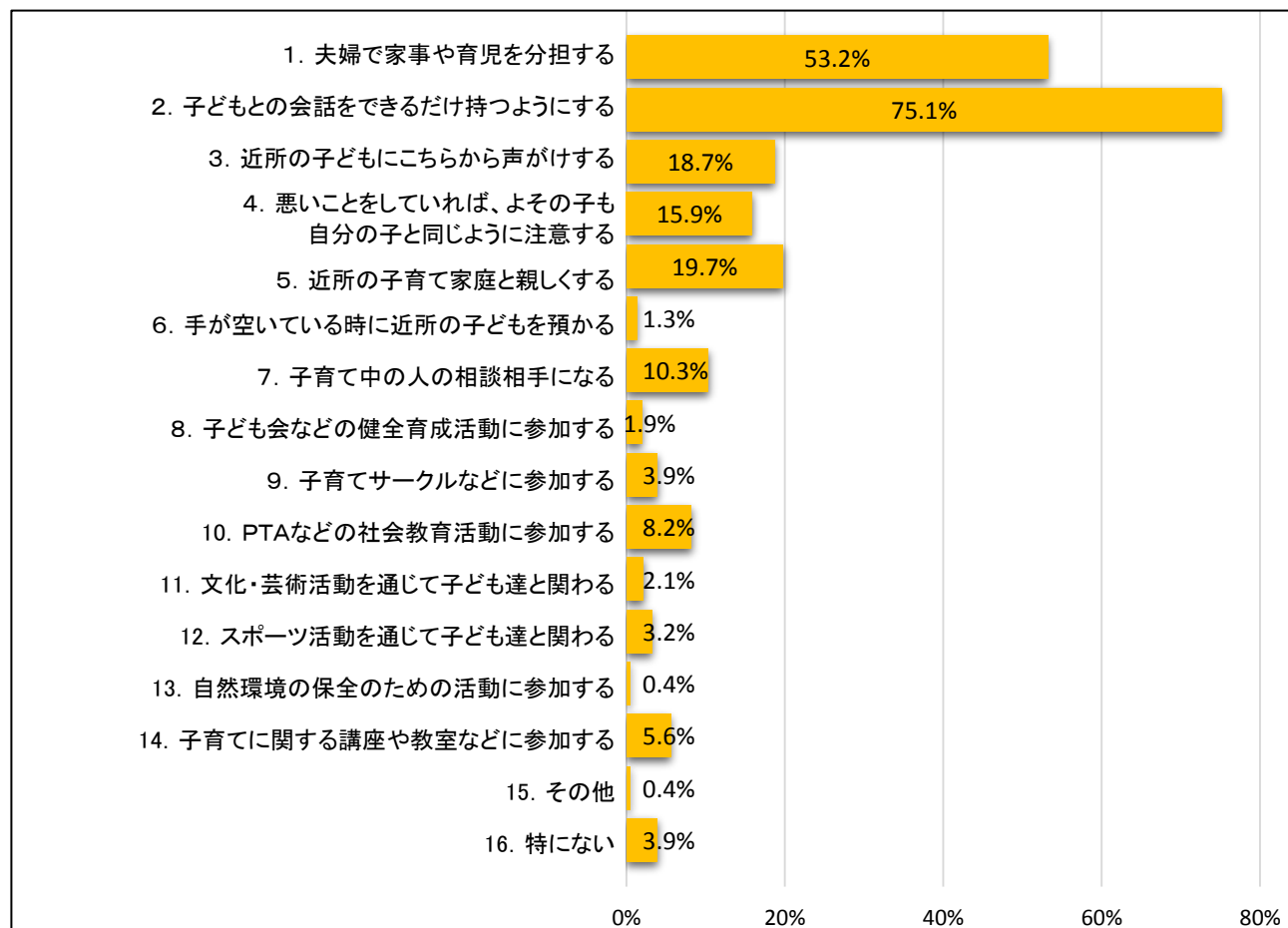
【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 手作りの食事が多い	82.0%	85.7%	88.2%	87.3%	91.3%	82.8%
2. 冷凍食品を取り入れることが多い	13.1%	10.4%	11.8%	7.6%	6.3%	14.0%
3. お惣菜を買って食べる人が多い	13.1%	18.2%	17.1%	7.6%	15.0%	18.3%
4. 食事のときの準備等のお手伝いをさせている	11.5%	22.1%	38.2%	51.9%	48.8%	51.6%
5. 子どもと一緒におやつ作りやクッキングを楽しんでいる	8.2%	14.3%	13.2%	27.8%	22.5%	33.3%
6. 食事の素材(野菜など)を家庭で作っている	18.0%	16.9%	14.5%	27.8%	26.3%	24.7%
7. 食品を買うときに品質表示や消費期限等を見て買う	45.9%	48.1%	59.2%	62.0%	42.5%	52.7%
8. 無農薬野菜や食品添加物等に注意して食品を選ぶ	9.8%	14.3%	10.5%	19.0%	11.3%	11.8%
9. 旬の食材を使うようにしている	34.4%	32.5%	34.2%	32.9%	36.3%	37.6%
10. その地域の農作物を食材として取り入れている	14.8%	14.3%	17.1%	21.5%	18.8%	15.1%
11. 栄養のバランスを考え、子どもの成長にとって望ましい献立にしている	19.7%	26.0%	26.3%	27.8%	23.8%	25.8%
12. その他	1.6%	9.1%	1.3%	1.3%	2.5%	3.2%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

問4-6 あなたは、子どもを健やかに育むために、
 ① どのようなことを行っていますか。② 今後行ってみたいことは何ですか。
 あてはまるものをそれぞれ3つまで選んで記入欄に番号をご記入ください。

【全体:①行っていること】



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 子供が興味を持ったことを一緒に楽しむ

◆行っていることについては、「子どもとの会話をできるだけ持つようにする」(75.1%)と回答した人が最も多く、次に「夫婦で家事や育児を分担する」(53.2%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別：①行っていること】

区分	男性	女性
1. 夫婦で家事や育児を分担する	55.4%	50.9%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	73.3%	77.0%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	17.5%	19.9%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	15.4%	16.4%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	18.8%	20.8%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	0.8%	1.8%
7. 子育て中の人との相談相手になる	8.8%	11.9%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	2.5%	1.3%
9. 子育てサークルなどに参加する	5.0%	2.7%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	7.9%	8.4%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	2.5%	1.8%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	2.9%	3.5%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	0.8%	0.0%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	4.6%	6.6%
15. その他	0.4%	0.4%
16. 特にない	2.5%	5.3%

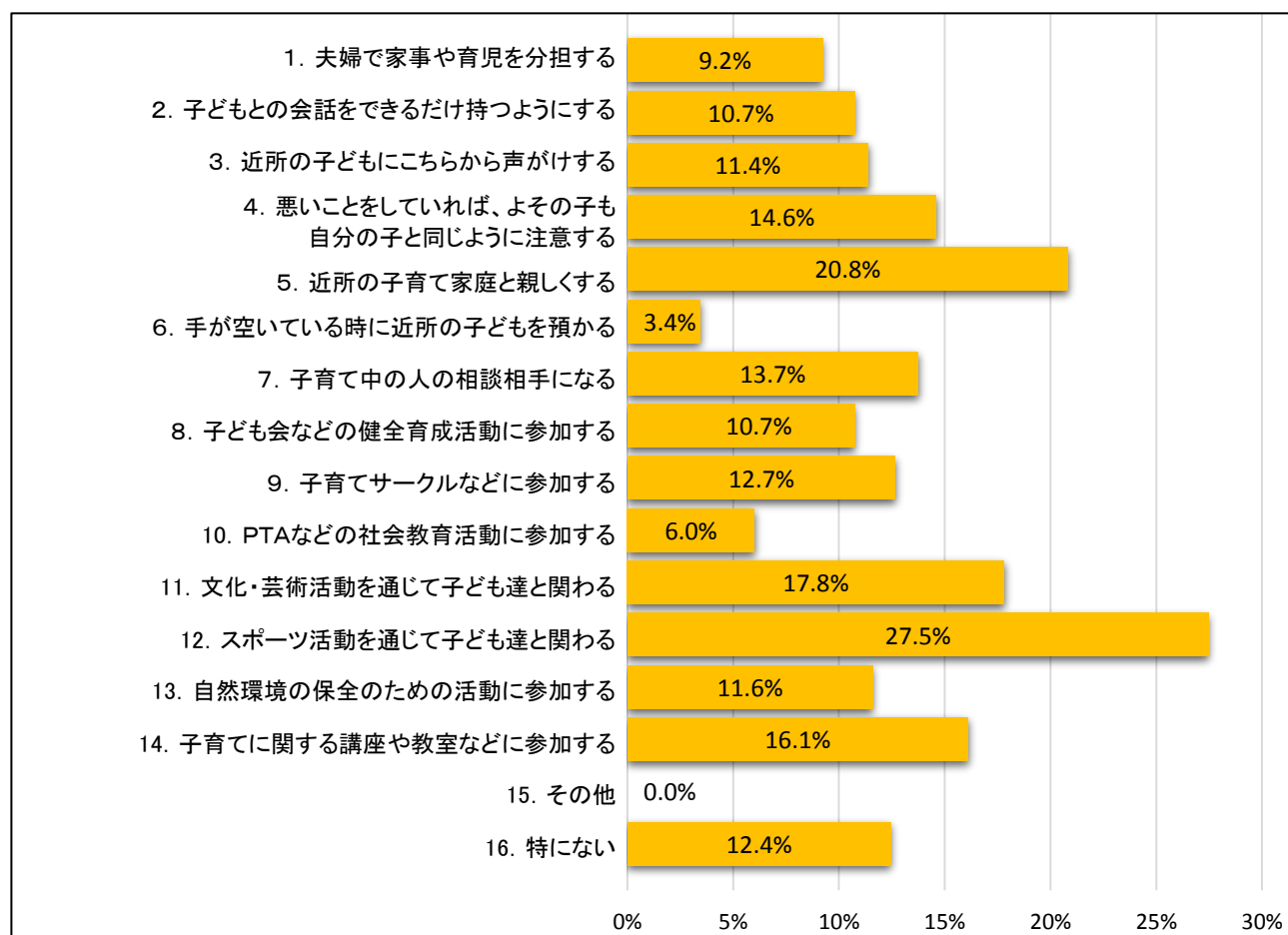
※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの年齢別：①行っていること】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 夫婦で家事や育児を分担する	50.8%	54.5%	64.5%	51.9%	52.5%	46.2%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	52.5%	66.2%	80.3%	81.0%	81.3%	82.8%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	13.1%	18.2%	17.1%	20.3%	22.5%	19.4%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	4.9%	11.7%	13.2%	17.7%	15.0%	28.0%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	23.0%	23.4%	9.2%	16.5%	20.0%	25.8%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.3%	3.2%
7. 子育て中の人との相談相手になる	14.8%	7.8%	11.8%	10.1%	13.8%	5.4%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	0.0%	3.9%	0.0%	2.5%	2.5%	2.2%
9. 子育てサークルなどに参加する	9.8%	7.8%	3.9%	3.8%	0.0%	0.0%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	3.3%	5.2%	5.3%	6.3%	13.8%	12.9%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	0.0%	1.3%	1.3%	3.8%	2.5%	3.2%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	1.6%	1.3%	1.3%	3.8%	2.5%	7.5%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	14.8%	2.6%	9.2%	3.8%	3.8%	2.2%
15. その他	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%
16. 特にない	9.8%	2.6%	2.6%	3.8%	6.3%	0.0%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【全体：②今後行ってみたいこと】



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ (記載なし)

◆今後行ってみたいことについては、「スポーツ活動を通じて子ども達と関わる」(27.5%)と回答した人が最も多く、次に「近所の子育て家庭と親しくする」(20.8%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別：②今後行ってみたいこと】

区分	男性	女性
1. 夫婦で家事や育児を分担する	9.2%	9.3%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	11.3%	10.2%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	10.8%	11.9%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	12.5%	16.8%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	21.7%	19.9%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	4.2%	2.7%
7. 子育て中の人との相談相手になる	15.4%	11.9%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	10.4%	11.1%
9. 子育てサークルなどに参加する	10.0%	15.5%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	4.6%	7.5%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	17.1%	18.6%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	28.8%	26.1%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	10.4%	12.8%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	16.7%	15.5%
15. その他	0.0%	0.0%
16. 特にない	10.8%	14.2%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの年齢別：②今後行ってみたいこと】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 夫婦で家事や育児を分担する	9.8%	10.4%	7.9%	10.1%	8.8%	8.6%
2. 子どもとの会話をできるだけ持つようにする	24.6%	10.4%	11.8%	5.1%	11.3%	5.4%
3. 近所の子どもにこちらから声がけする	9.8%	13.0%	13.2%	15.2%	12.5%	5.4%
4. 悪いことをしていれば、よその子も自分の子と同じように注意する	6.6%	11.7%	17.1%	20.3%	17.5%	12.9%
5. 近所の子育て家庭と親しくする	24.6%	15.6%	27.6%	22.8%	20.0%	16.1%
6. 手が空いている時に近所の子どもを預かる	3.3%	2.6%	5.3%	2.5%	3.8%	3.2%
7. 子育て中の人との相談相手になる	6.6%	15.6%	13.2%	10.1%	17.5%	17.2%
8. 子ども会などの健全育成活動に参加する	11.5%	11.7%	10.5%	8.9%	7.5%	14.0%
9. 子育てサークルなどに参加する	24.6%	18.2%	10.5%	5.1%	16.3%	5.4%
10. PTAなどの社会教育活動に参加する	3.3%	11.7%	3.9%	5.1%	8.8%	3.2%
11. 文化・芸術活動を通じて子ども達と関わる	13.1%	15.6%	14.5%	22.8%	21.3%	18.3%
12. スポーツ活動を通じて子ども達と関わる	23.0%	31.2%	21.1%	36.7%	23.8%	28.0%
13. 自然環境の保全のための活動に参加する	6.6%	10.4%	10.5%	15.2%	12.5%	12.9%
14. 子育てに関する講座や教室などに参加する	19.7%	15.6%	14.5%	15.2%	15.0%	17.2%
15. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. 特にない	13.1%	9.1%	9.2%	11.4%	17.5%	14.0%

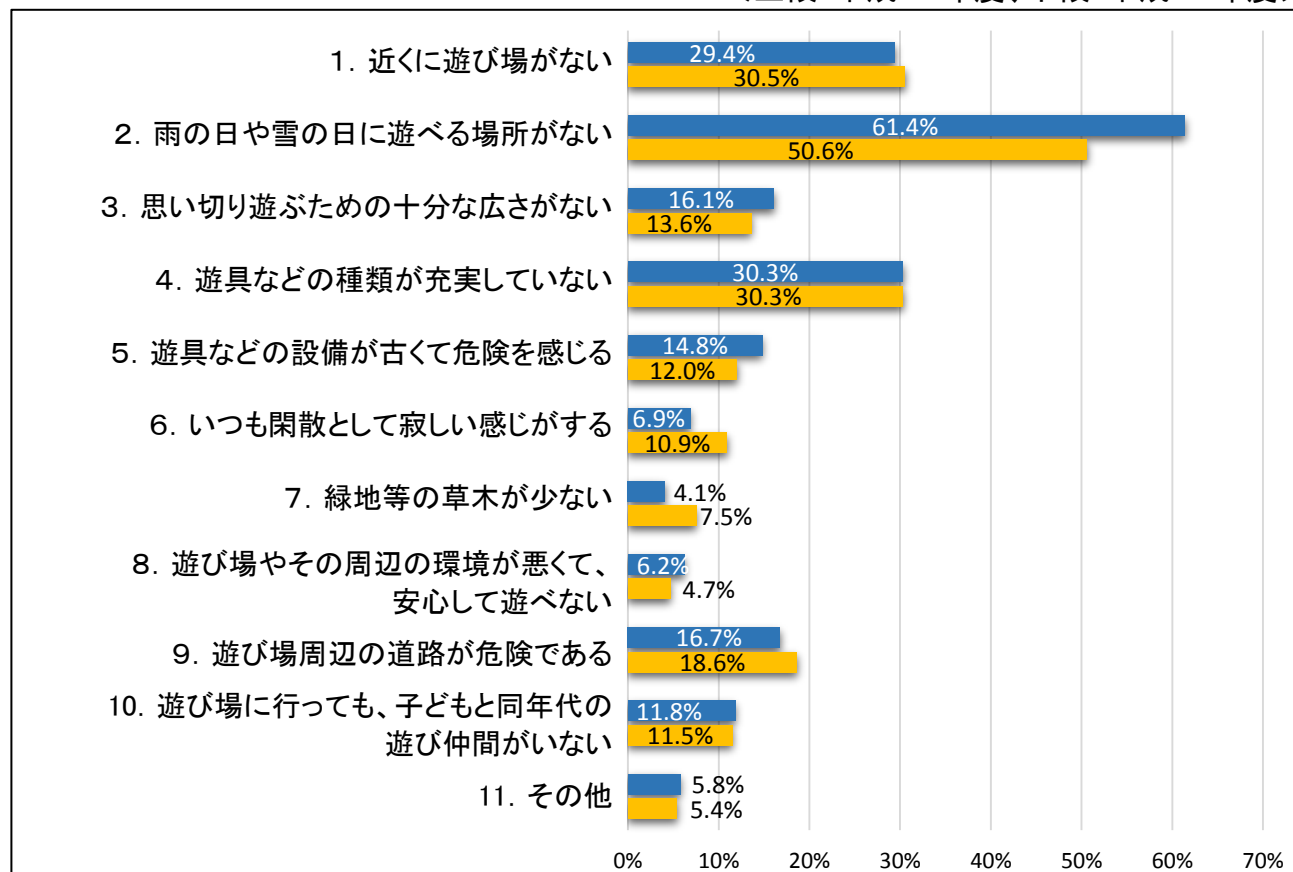
※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

V 地域での子育て環境についてお伺いします。

問5-1 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ たくさんゴミが落ちていて、行きたくない (2)
- ・ 小学生が乱暴、マナーが悪い (2)
- ・ トイレが設置されていない (2)
- ・ バス、電車で行ける所がない。自家用車でしか行く所がない
- ・ 不審者が多いので心配
- ・ 家の近くにない
- ・ 夕方、中高生の男女が来て、子供には目にさせたくない行為をする
- ・ 近くに公園があり、子供も多い為、交流できている
- ・ 公園はあるが、いつも混んでいる
- ・ ボール遊びが禁止されている
- ・ 中高生が危険
- ・ 県営、市営の広い遊び場が欲しい
- ・ 毛虫の駆除をして欲しい
- ・ 雑草が多く、カラスもいて安心して遊べない
- ・ 小学生が遊具から離れないので、幼児が遊べない
- ・ プレーパークが欲しい
- ・ 交通量が多いのに信号が無いので心配
- ・ 近くに公園があり、不満はない

【その他内訳】

- ・ 特になし
- ・ 近くの公園で楽しく遊んでいる
- ・ 自分が人見知りなので、公園に行きたくない
- ・ 大野市民センターのブランコの座面が低すぎて子供でもこげない
- ・ まだ小さすぎて分からない

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 近くに遊び場がない	29.4%	30.5%	-1.1%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	61.4%	50.6%	10.8%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	16.1%	13.6%	2.5%
4. 遊具などの種類が充実していない	30.3%	30.3%	0.0%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	14.8%	12.0%	2.8%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	6.9%	10.9%	-4.0%
7. 緑地等の草木が少ない	4.1%	7.5%	-3.4%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	6.2%	4.7%	1.5%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	16.7%	18.6%	-1.9%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	11.8%	11.5%	0.3%
11. その他	5.8%	5.4%	0.4%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「雨の日や雪の日に遊ぶ場所がない」(61.4%)と回答した人が最も多く、平成22年度(50.6%)から10.8ポイント増加している。以下「遊具などの種類が充実していない」(30.3%)ー平成22年度(30.3%)から増減なしー、「近くに遊び場がない」(29.4%)ー平成22年度(30.5%)から1.1ポイント減少ーなどとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 近くに遊び場がない	27.5%	31.4%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	64.2%	58.4%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	16.3%	15.9%
4. 遊具などの種類が充実していない	27.5%	33.2%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	15.0%	14.6%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	7.5%	6.2%
7. 緑地等の草木が少ない	5.0%	3.1%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	6.3%	6.2%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	15.8%	17.7%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	8.8%	15.0%
11. その他	5.0%	6.6%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

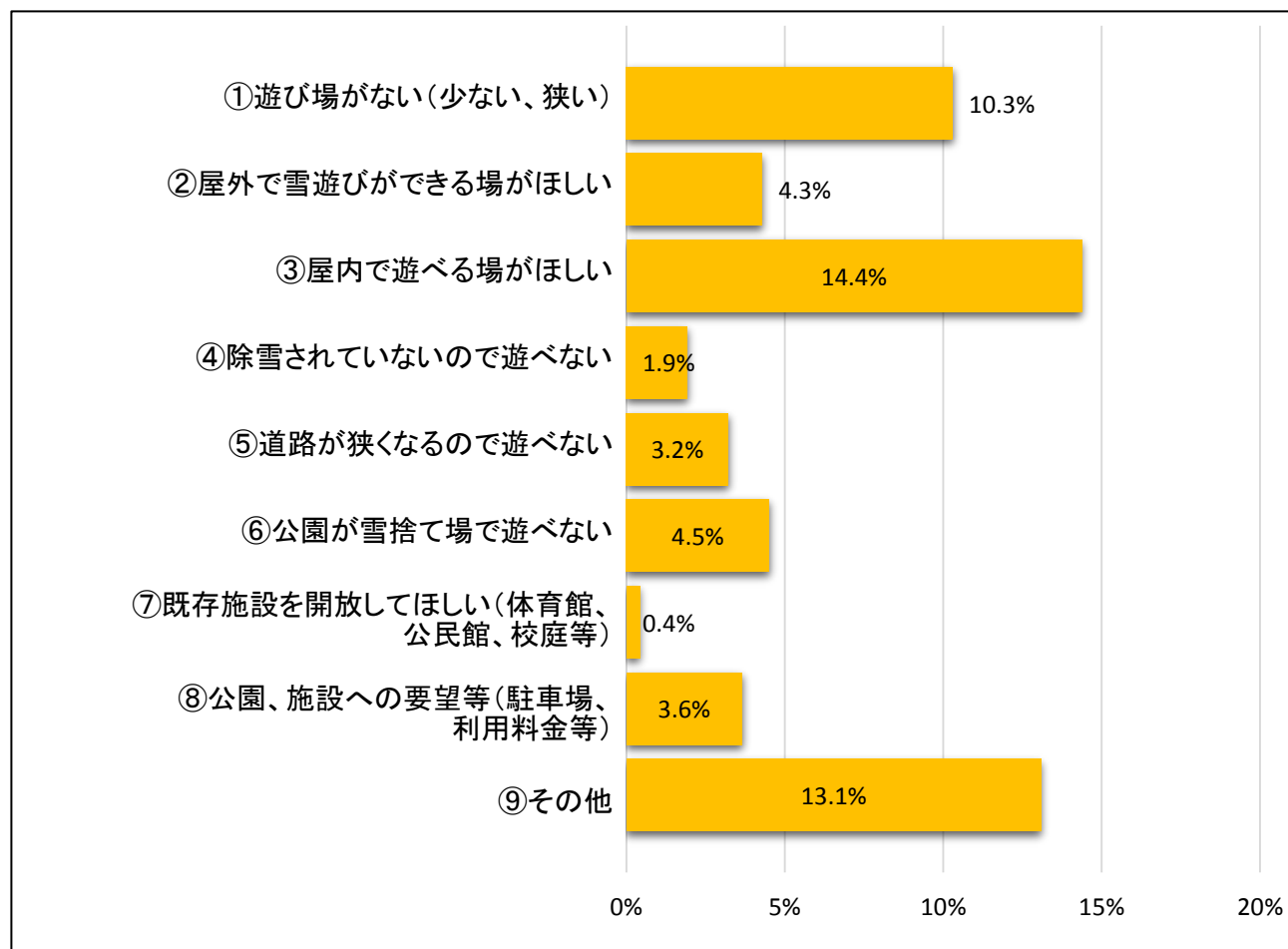
【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 近くに遊び場がない	26.2%	20.8%	26.3%	30.4%	36.3%	28.0%
2. 雨の日や雪の日に遊べる場所がない	42.6%	33.8%	60.5%	75.9%	68.8%	55.9%
3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない	11.5%	9.1%	15.8%	16.5%	21.3%	17.2%
4. 遊具などの種類が充実していない	21.3%	16.9%	40.8%	26.6%	28.8%	32.3%
5. 遊具などの設備が古くて危険を感じる	11.5%	9.1%	13.2%	12.7%	16.3%	12.9%
6. いつも閑散として寂しい感じがする	4.9%	3.9%	5.3%	5.1%	8.8%	10.8%
7. 緑地等の草木が少ない	0.0%	0.0%	6.6%	5.1%	2.5%	3.2%
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	3.3%	2.6%	6.6%	8.9%	3.8%	8.6%
9. 遊び場周辺の道路が危険である	9.8%	7.8%	13.2%	17.7%	21.3%	18.3%
10. 遊び場に行っても、子どもと同年代の遊び仲間がいない	27.9%	22.1%	9.2%	12.7%	7.5%	6.5%
11. その他	8.2%	6.5%	5.3%	5.1%	5.0%	5.4%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

問5-2 降雪期の子どもの遊び場について、日頃感じていることやご意見などありましたら、ご記入ください。【自由記載】

【全体】



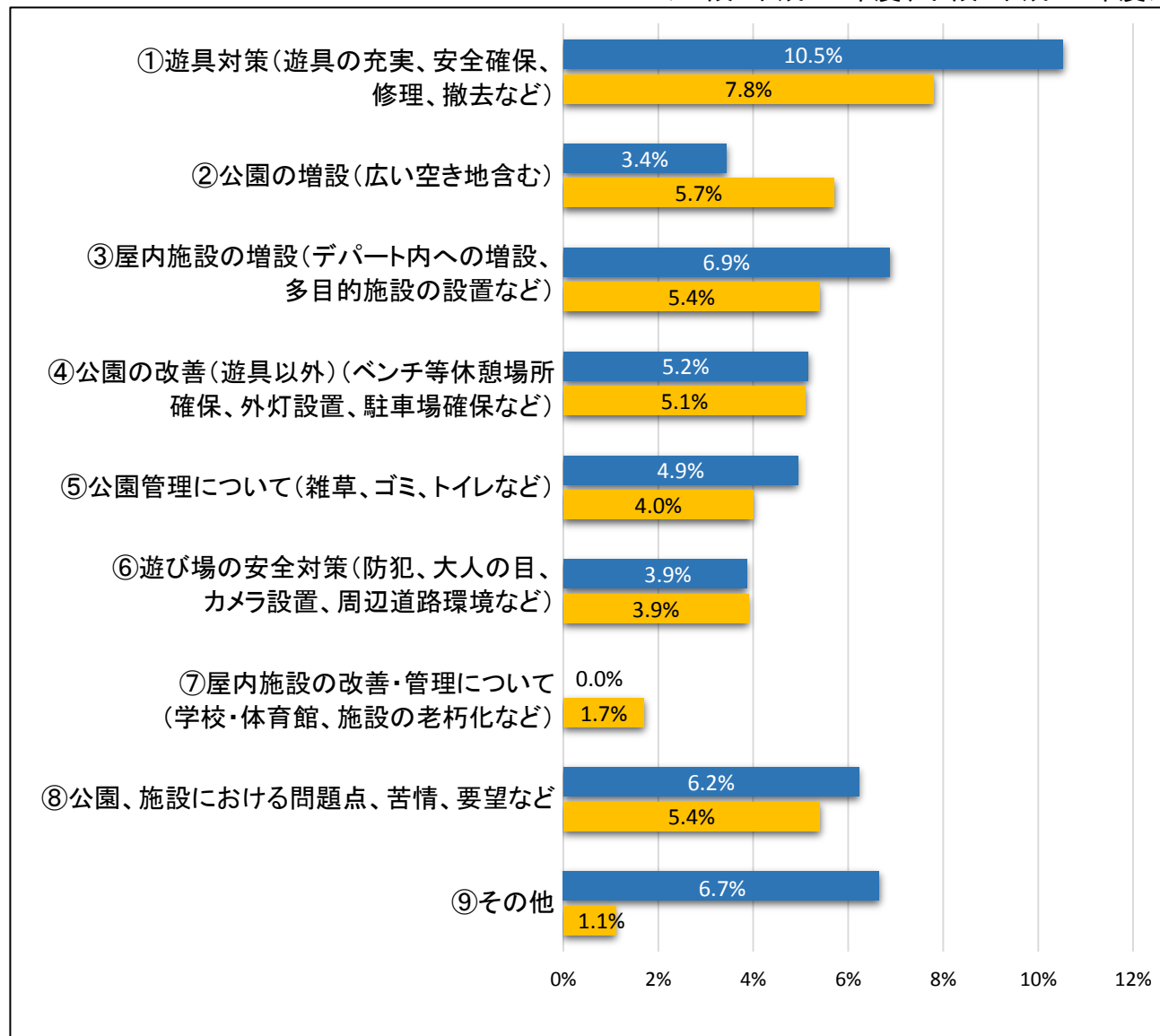
※H27: アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①遊び場がない(少ない、狭い)	48	10.3%
②屋外で雪遊びができる場がほしい	20	4.3%
③屋内で遊べる場がほしい	67	14.4%
④除雪されていないので遊べない	9	1.9%
⑤道路が狭くなるので遊べない	15	3.2%
⑥公園が雪捨て場で遊べない(狭い、危険)	21	4.5%
⑦既存施設を開放してほしい(体育館、公民館、校庭等)	2	0.4%
⑧公園、施設への要望等(駐車場、利用料金等)	17	3.6%
⑨その他	61	13.1%

問5-3 地域の子どもの遊び場を居心地よい場所にするためには、どのようにしたらよいか、具体的な意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



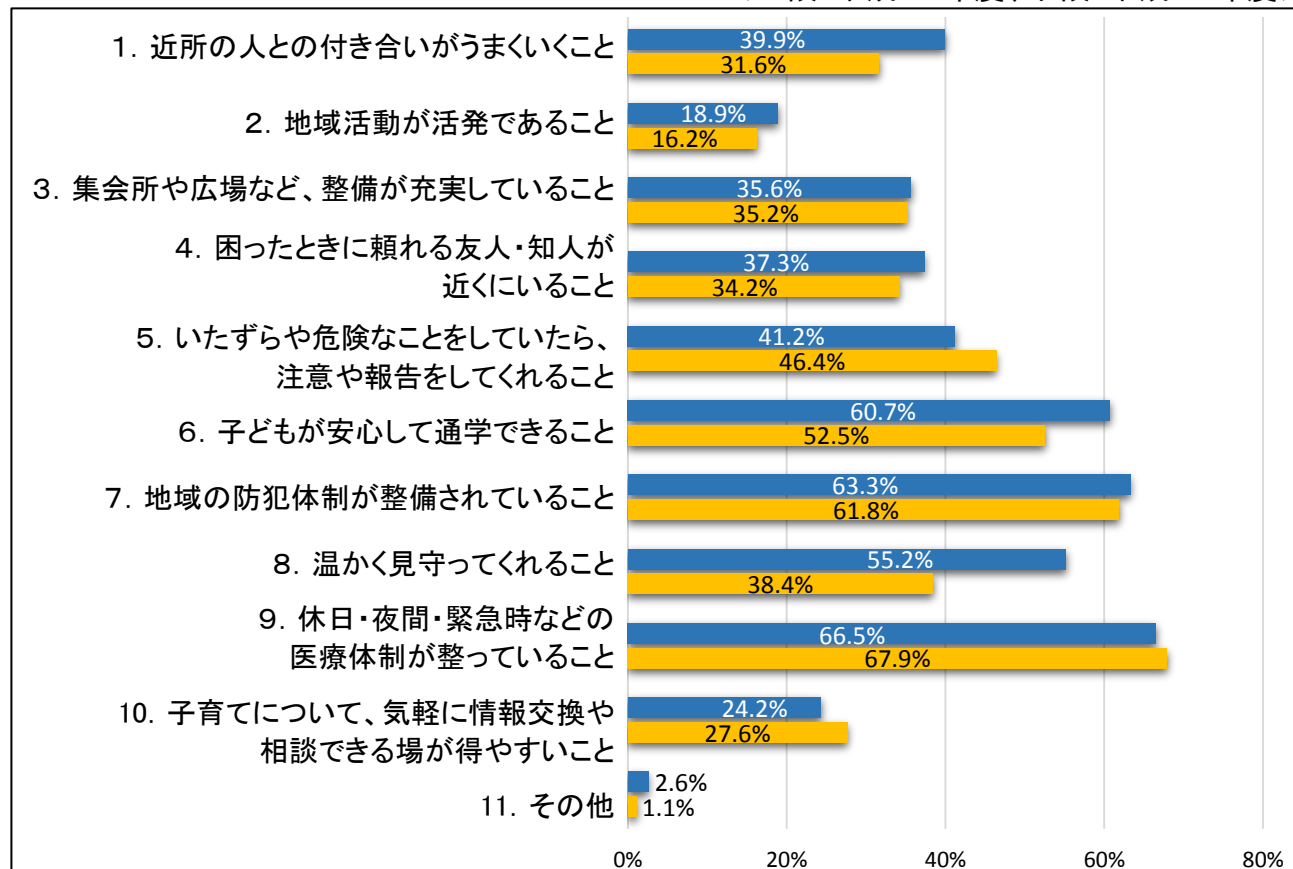
※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①遊具対策(遊具の充実、安全確保、修理、撤去など)	49	10.5%
②公園の増設(広い空き地含む)	16	3.4%
③屋内施設の増設(デパート内への増設、多目的施設の設置など)	32	6.9%
④公園の改善(遊具以外)(ベンチ等休憩場所確保、外灯設置、駐車場確保など)	24	5.2%
⑤公園管理について(雑草、ゴミ、トイレなど)	23	4.9%
⑥遊び場の安全対策(防犯、大人の目、カメラ設置、周辺道路環境など)	18	3.9%
⑦屋内施設の改善・管理について(学校・体育館、施設の老朽化など)	0	0.0%
⑧公園、施設における問題点、苦情、要望など	29	6.2%
⑨その他	31	6.7%

問5-4 子育てをしていくうえで、地域に期待することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 保育料を下げたい
- ・ ママ友をつくる場所が欲しい
- ・ 歩道、道路が整備されている
- ・ 降雪期の通園時に利用する道路が危険なので、何とかして欲しい
- ・ 低額で子供を預かってくれる所があると助かる
- ・ 保育園の充実、希望の園に入れる
- ・ 近くに、一時預かりの施設があるば、うれしい
- ・ 町内の子供会の行事の充実
- ・ 定期的に声をかけてくれる人がいること
- ・ 子供が親以外の心のゆるせる場所や人がいること
- ・ 日曜日にやっている小児科(日中)をつかって欲しい

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	39.9%	31.6%	8.3%
2. 地域活動が活発であること	18.9%	16.2%	2.7%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	35.6%	35.2%	0.4%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	37.3%	34.2%	3.1%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	41.2%	46.4%	-5.2%
6. 子どもが安心して通学できること	60.7%	52.5%	8.2%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	63.3%	61.8%	1.5%
8. 温かく見守ってくれること	55.2%	38.4%	16.8%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	66.5%	67.9%	-1.4%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	24.2%	27.6%	-3.4%
11. その他	2.6%	1.1%	1.5%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること」(66.5%)－平成22年度(67.9%)から1.4ポイント減少－と回答した人が最も多く、以下「地域の防犯体制が整備されていること」(63.3%)－平成22年度(61.8%)から1.5ポイント増加－、「子どもが安心して通学できること」(60.7%)－平成22年度(52.5%)から8.2ポイント増加－、「暖かく見守ってくれること」(55.2%)－平成22年度(38.4%)から16.8ポイント増加－などとなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	42.1%	37.6%
2. 地域活動が活発であること	17.1%	20.8%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	38.3%	32.7%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	40.4%	34.1%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	42.1%	40.3%
6. 子どもが安心して通学できること	59.6%	61.9%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	65.4%	61.1%
8. 温かく見守ってくれること	53.8%	56.6%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	69.2%	63.7%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	22.9%	25.7%
11. その他	3.3%	1.8%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

【子どもの年齢別】

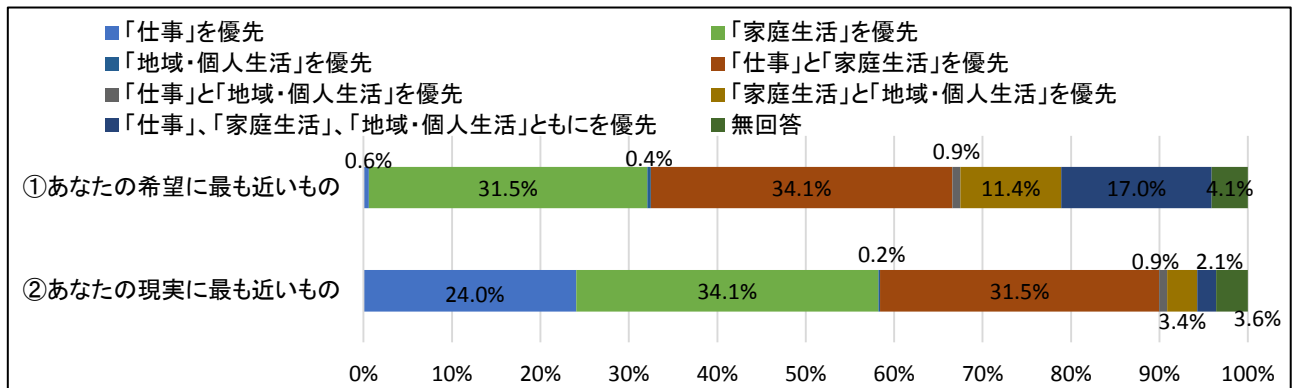
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 近所の人との付き合いがうまくいくこと	47.5%	40.3%	39.5%	35.4%	37.5%	40.9%
2. 地域活動が活発であること	18.0%	22.1%	18.4%	20.3%	16.3%	18.3%
3. 集会所や広場など、整備が充実していること	32.8%	33.8%	39.5%	38.0%	35.0%	34.4%
4. 困ったときに頼れる友人・知人が近くにいること	55.7%	39.0%	48.7%	20.3%	32.5%	33.3%
5. いたずらや危険なことをしていたら、注意や報告をしてくれること	36.1%	41.6%	39.5%	40.5%	46.3%	41.9%
6. 子どもが安心して通学できること	65.6%	68.8%	55.3%	60.8%	56.3%	59.1%
7. 地域の防犯体制が整備されていること	60.7%	58.4%	60.5%	67.1%	66.3%	65.6%
8. 温かく見守ってくれること	52.5%	58.4%	59.2%	53.2%	58.8%	49.5%
9. 休日・夜間・緊急時などの医療体制が整っていること	78.7%	63.6%	64.5%	68.4%	66.3%	61.3%
10. 子育てについて、気軽に情報交換や相談できる場が得やすいこと	29.5%	32.5%	25.0%	21.5%	26.3%	14.0%
11. その他	1.6%	2.6%	3.9%	0.0%	2.5%	4.3%

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

VI 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についてお伺いします。

問6-1 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、「あなたの希望に最も近いもの」と「あなたの現実に最も近いもの」をそれぞれ1つずつ選んで該当欄に○をつけてください。

【全体】



	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」を優先	「仕事」と「地域・個人生活」を優先	「家庭生活」と「地域・個人生活」を優先	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」ともに優先	無回答	合計
--	---------	-----------	--------------	----------------	-------------------	---------------------	----------------------------	-----	----

平成27年度

①あなたの希望に最も近いもの	0.6%	31.5%	0.4%	34.1%	0.9%	11.4%	17.0%	4.1%	100.0%
②あなたの現実に最も近いもの	24.0%	34.1%	0.2%	31.5%	0.9%	3.4%	2.1%	3.6%	100.0%

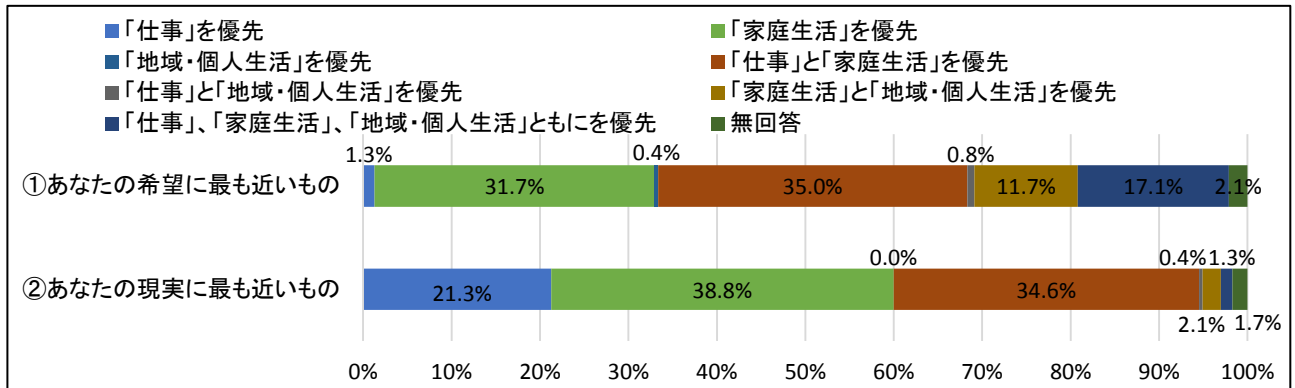
平成22年度

①あなたの希望に最も近いもの	0.4%	26.3%	0.1%	34.8%	1.1%	14.5%	18.6%	4.2%	100.0%
②あなたの現実に最も近いもの	20.8%	39.2%	0.3%	29.4%	0.7%	3.2%	2.4%	4.0%	100.0%

- ◆希望では「『仕事』と『家庭生活』を優先」(34.1%)と回答した人が最も多く、平成22年度(34.8%)から0.7ポイント減少している。以下「家庭生活を優先」(31.5%)ー平成22年度(26.3%)から5.2ポイント増加ー、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人生活』をともに優先」(17.0%)ー平成22年度(18.6%)から1.6ポイント減少ーなどとなっている。
- ◆現実では「『家庭生活』を優先」(34.1%)ー平成22年度(39.2%)から5.1ポイント減少ーと回答した人が最も多く、以下「『仕事』と『家庭生活』を優先」(31.5%)ー平成22年度(29.4%)から2.1ポイント増加ー、「『仕事』を優先」(24.0%)ー平成22年度(20.8%)から3.2ポイント増加ーなどとなっている。

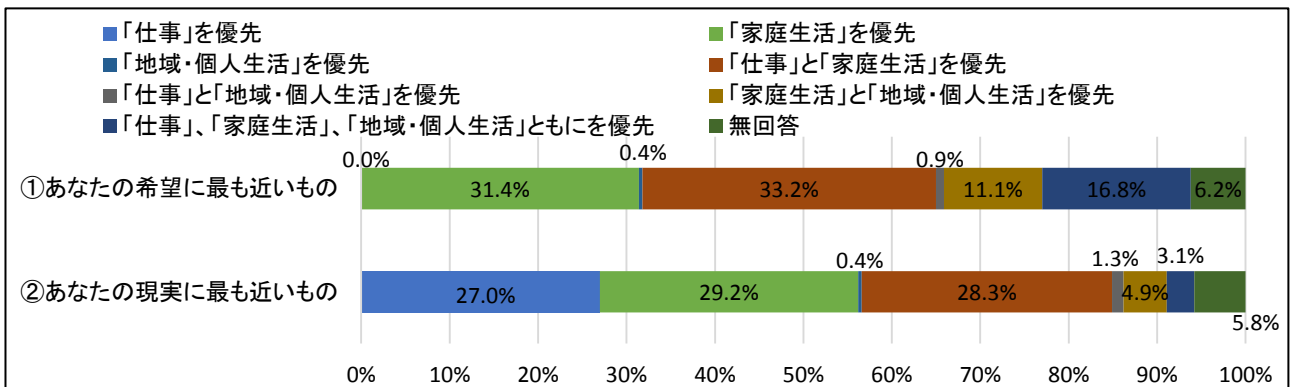
【子どもの性別：男性】

◆子どもの性別が「男性」と回答した人240人に対する割合



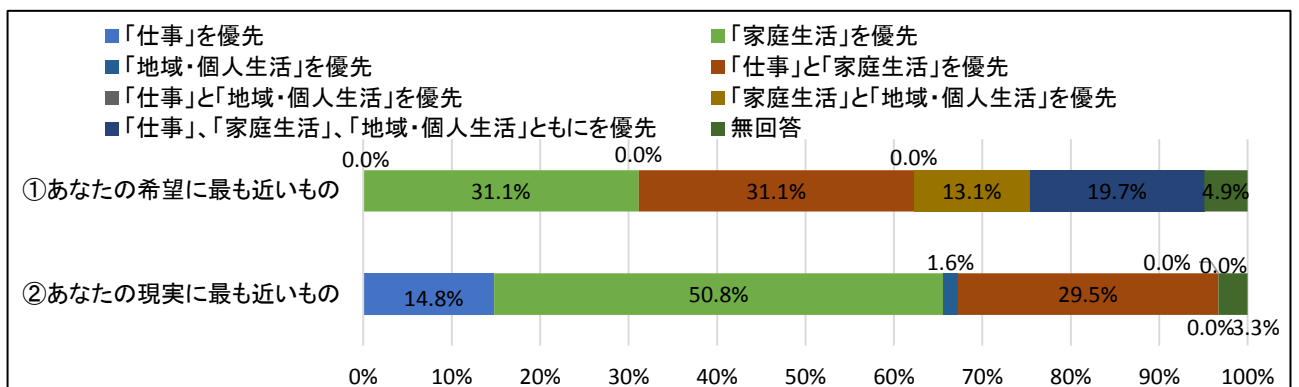
【子どもの性別：女性】

◆子どもの性別が「女性」と回答した人226人に対する割合



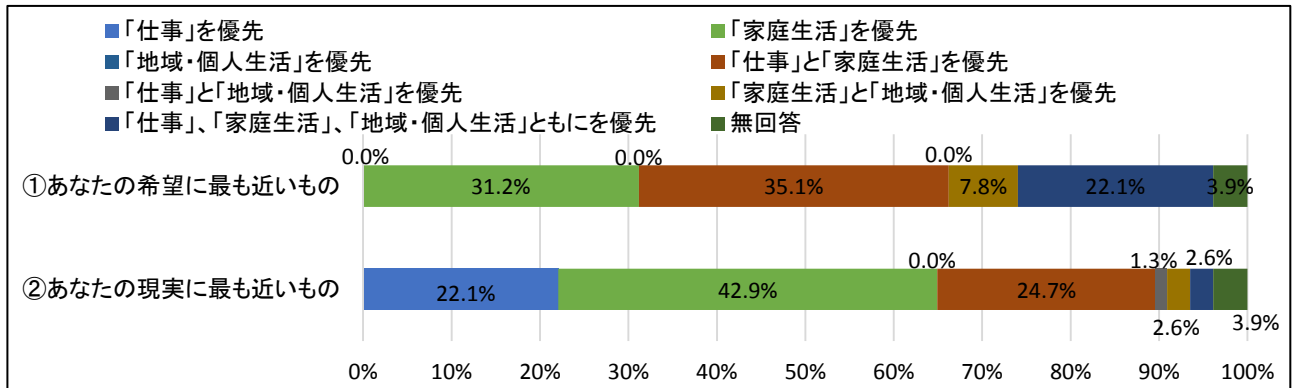
【子どもの年齢別：0歳】

◆子どもの年齢が「0歳」と回答した人61人に対する割合



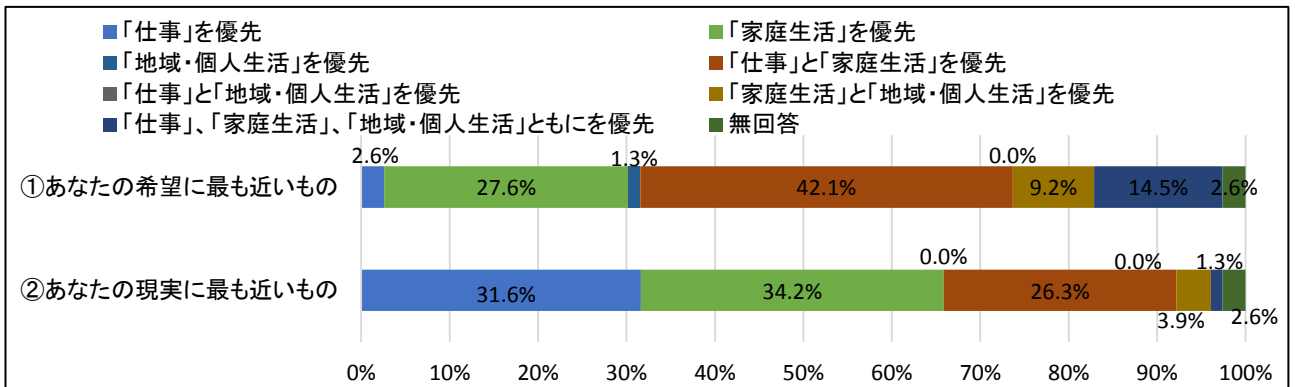
【子どもの年齢別：1歳】

◆子どもの年齢が「1歳」と回答した人77人に対する割合



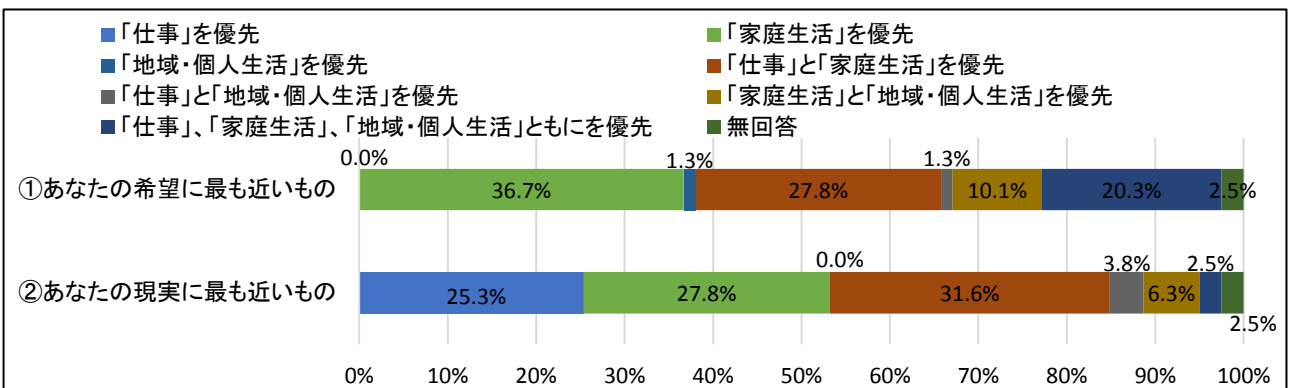
【子どもの年齢別：2歳】

◆子どもの年齢が「2歳」と回答した人76人に対する割合



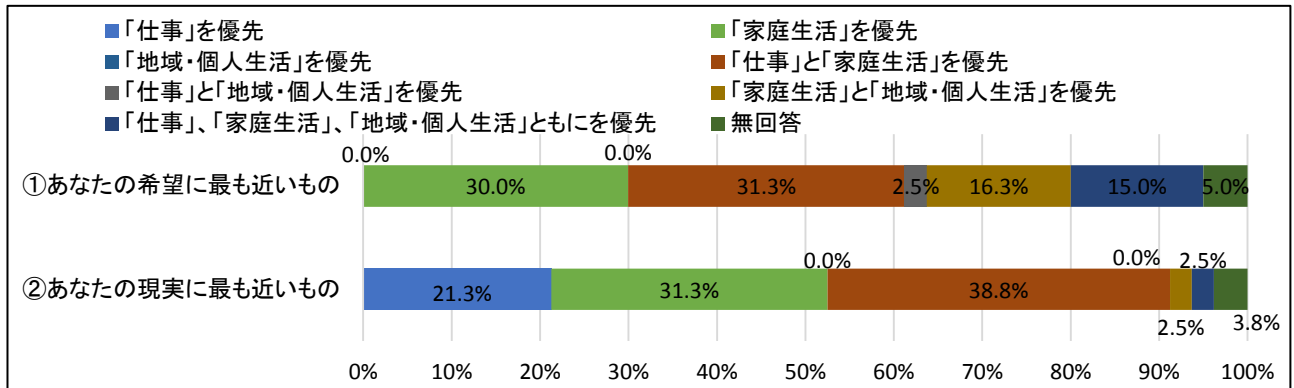
【子どもの年齢別：3歳】

◆子どもの年齢が「3歳」と回答した人79人に対する割合



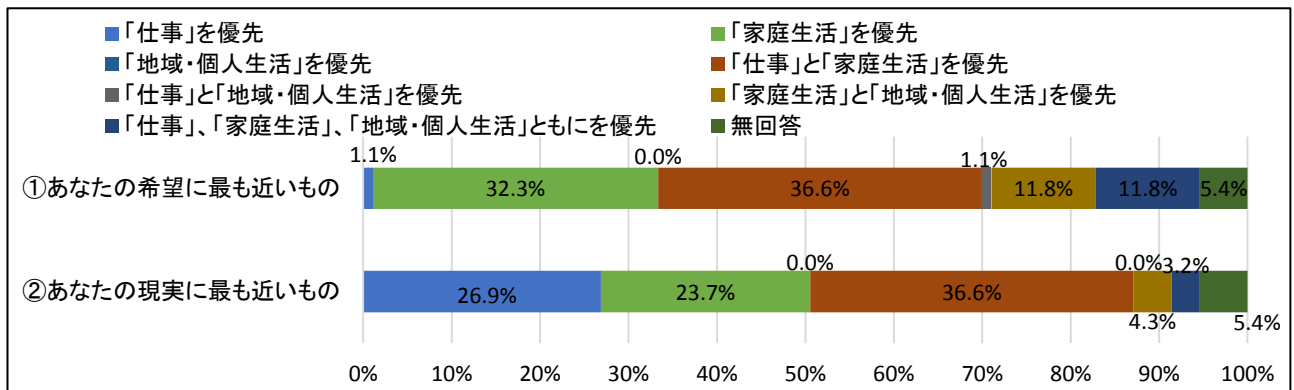
【子どもの年齢別：4歳】

◆子どもの年齢が「4歳」と回答した人80人に対する割合



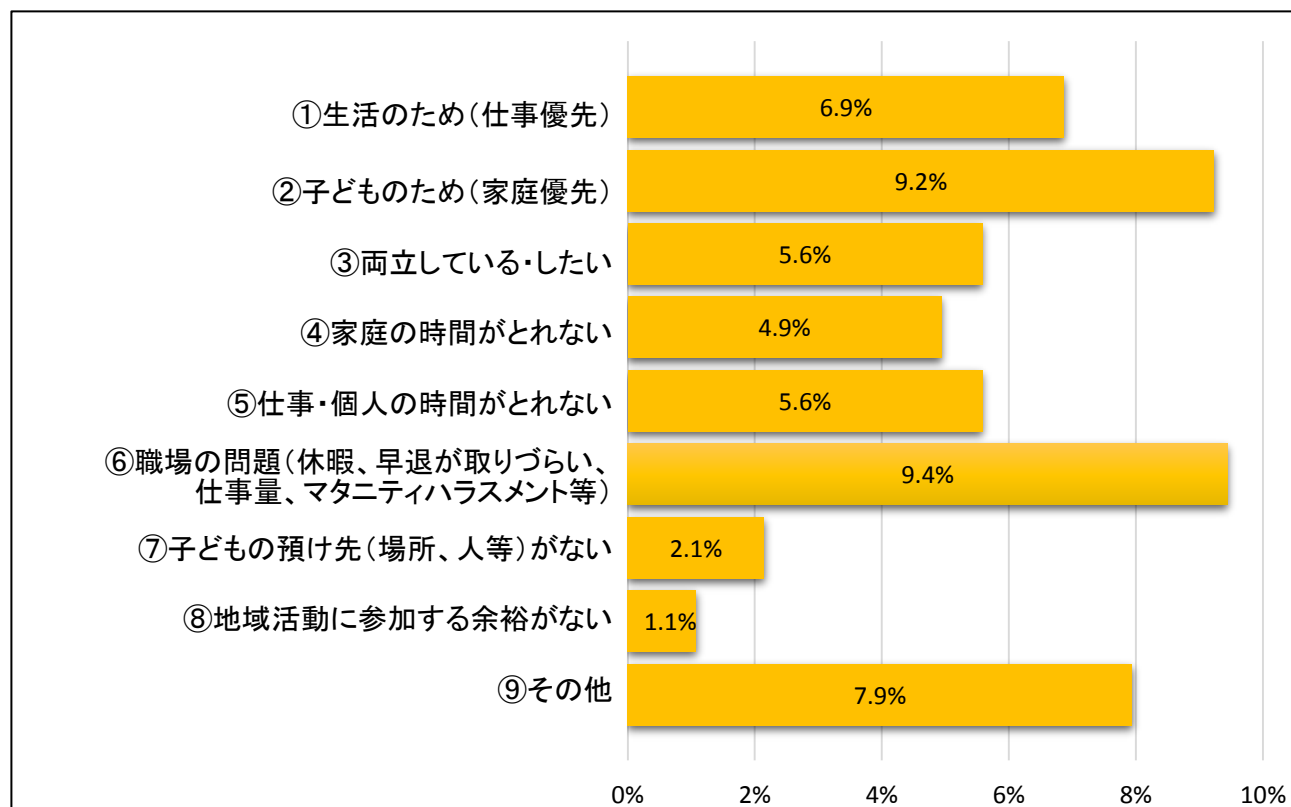
【子どもの年齢別：5歳】

◆子どもの年齢が「5歳」と回答した人93人に対する割合



問6-2 問6-1のワークライフバランスの優先度に関する①、②の設問において、あなたが上記のように選択した具体的な理由などありましたらご記入ください。【自由記載】

【全体】



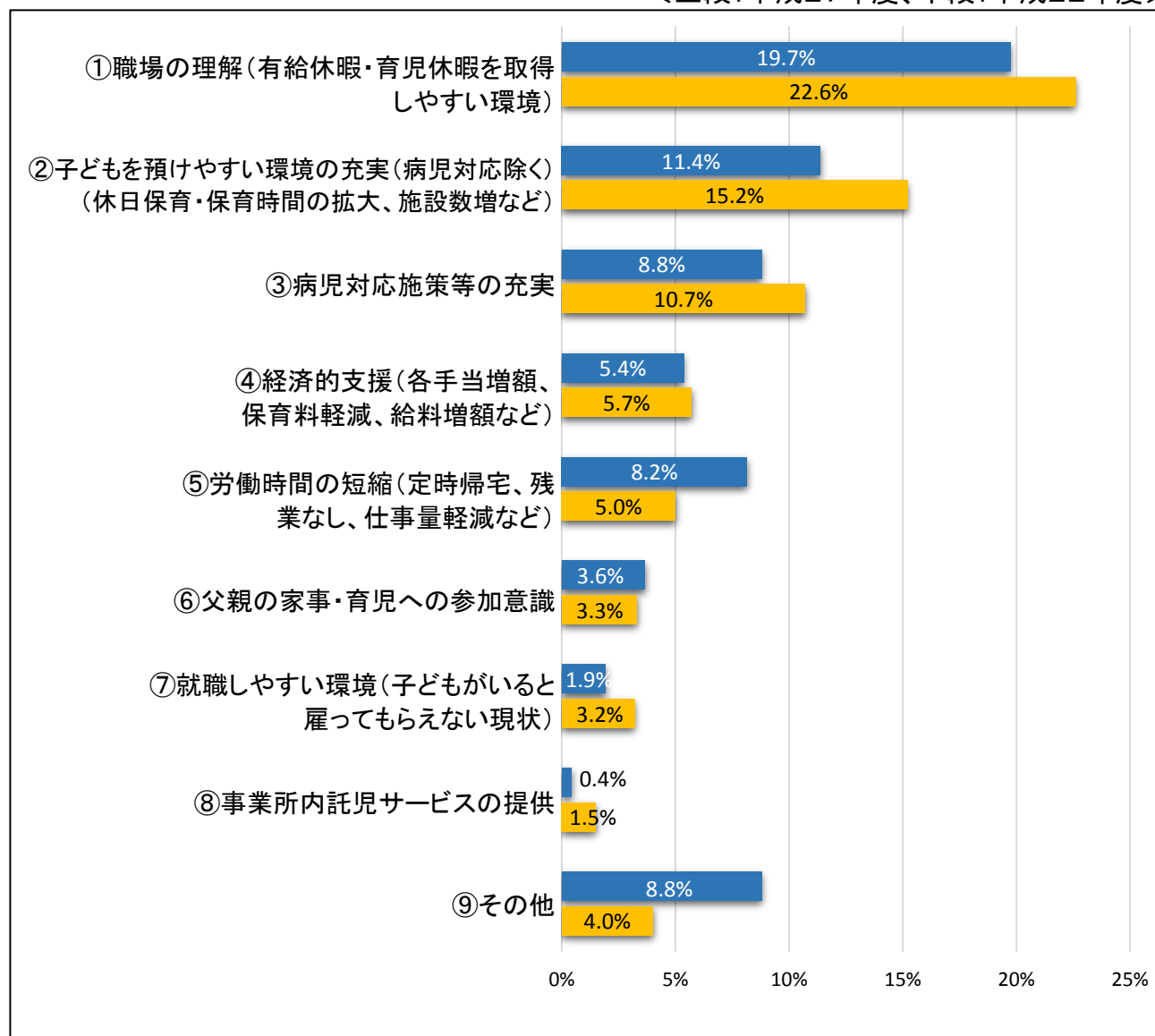
※H27: アンケート回答者424人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①生活のため(仕事優先)	32	6.9%
②子どものため(家庭優先)	43	9.2%
③両立している・したい	26	5.6%
④家庭の時間がとれない	23	4.9%
⑤仕事・個人の時間がとれない	26	5.6%
⑥職場の問題(休暇、早退が取りづらい、仕事量、マタニティハラスメント等)	44	9.4%
⑦子どもの預け先(場所、人等)がない	10	2.1%
⑧地域活動に参加する余裕がない	5	1.1%
⑨その他	37	7.9%

問6-3 男女がともに“子育てしながら働き続ける”ために、どのような支援が必要と感じているか、具体的な意見がありましたらご記入ください。【自由記載】

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



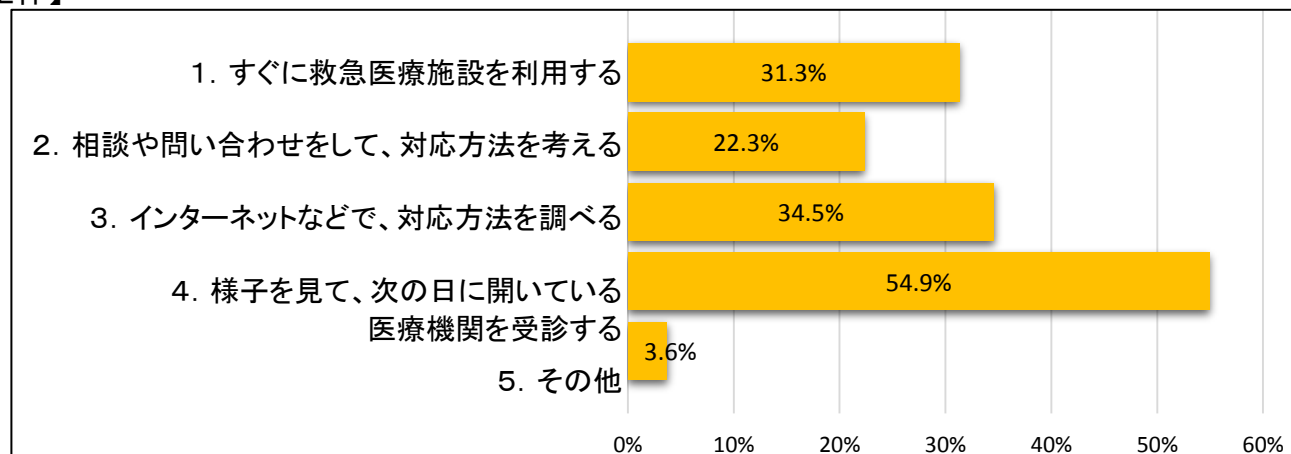
※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①職場の理解(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境)	92	19.7%
②子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、施設数増など)	53	11.4%
③病児対応施策等の充実	41	8.8%
④経済的支援(各手当増額、保育料軽減、給料増額など)	25	5.4%
⑤労働時間の短縮(定時帰宅、残業なし、仕事量軽減など)	38	8.2%
⑥父親の家事・育児への参加意識	17	3.6%
⑦就職しやすい環境(子どもがいると雇ってもらえない現状)	9	1.9%
⑧事業所内託児サービスの提供	2	0.4%
⑨その他	41	8.8%

VII 夜間や休日にお子さんが急な病気になったときのことについてお伺いします。

問7-1 あなたのお子さんが、夜間や休日に急に発熱するなどの軽い病気やケガをしたときに、最初にどのようにしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



※H27: アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ まだ、夜間の発熱や急病になったことがない (6)
- ・ #8000 (3)
- ・ 様子を見て、すぐ病院に行く時と、次の日に行く時の両方
- ・ 自宅に対応できるものは、すぐ実行。熱さましなど
- ・ 軽い場合は、常備薬で対応
- ・ 熱なら様子を見る。ケガなら、安心して大丈夫だと伝えてから処置
- ・ 嫁が看護師なので、まかせている
- ・ 行った事がない

- ◆ 「様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する」(54.9%)と回答した人が最も多く、次に「インターネットなどで対応方法を調べる」(34.5%)と回答した人が多くなっている。
- ◆ 「すぐに救急医療施設を利用する」と回答した人は31.3%となっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. すぐに救急医療施設を利用する	29.2%	33.6%
2. 相談や問い合わせをして、対応方法を考える	25.4%	19.0%
3. インターネットなどで、対応方法を調べる	37.9%	31.0%
4. 様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する	53.3%	56.6%
5. その他	2.9%	4.4%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

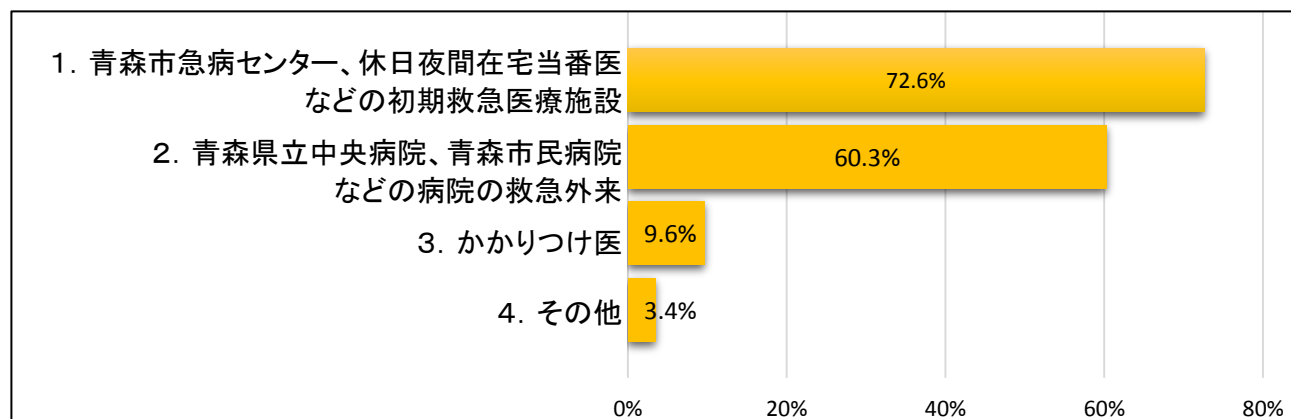
【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. すぐに救急医療施設を利用する	26.2%	32.5%	36.8%	30.4%	31.3%	30.1%
2. 相談や問い合わせをして、対応方法を考える	18.0%	28.6%	22.4%	26.6%	22.5%	16.1%
3. インターネットなどで、対応方法を調べる	31.1%	35.1%	36.8%	40.5%	36.3%	28.0%
4. 様子を見て、次の日に開いている医療機関を受診する	41.0%	46.8%	52.6%	50.6%	62.5%	69.9%
5. その他	8.2%	1.3%	1.3%	6.3%	3.8%	2.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問7-2 利用したことがある救急医療施設について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



◆問7-1で「1. すぐに救急医療施設を利用する」と回答した人146人に対する割合

【その他内訳】

- ・ 弘前市内の救急外来 (4)
- ・ 電話をして紹介してもらった病院

◆「青森市急病センター、休日夜間在宅当番医などの初期救急医療施設」(72.6%)と回答した人が最も多く、次に「青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来」(60.3%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 青森市急病センター、休日夜間在宅当番	20.8%	24.8%
2. 青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来	18.3%	19.5%
3. かかりつけ医	1.7%	4.4%
4. その他	0.4%	0.9%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの性別】

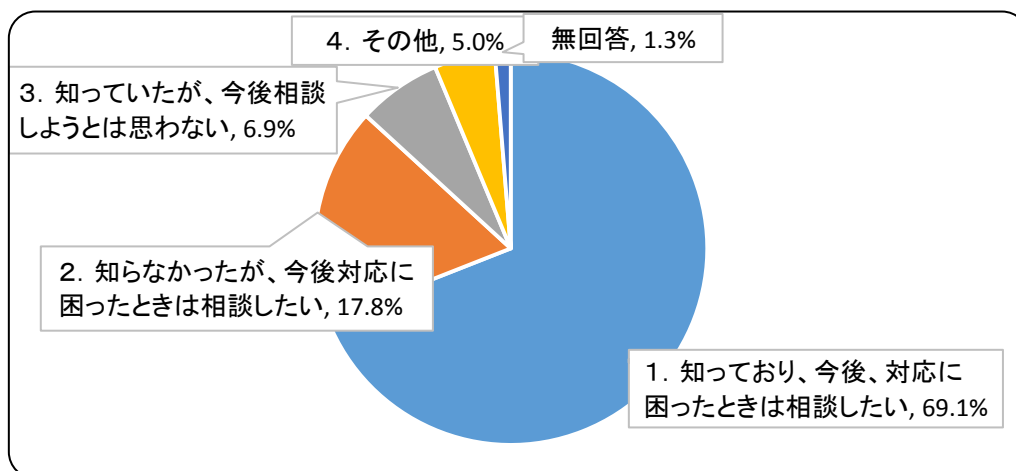
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 青森市急病センター、休日夜間在宅当番	11.5%	18.2%	26.3%	26.6%	25.0%	25.8%
2. 青森県立中央病院、青森市民病院などの病院の救急外来	14.8%	18.2%	23.7%	19.0%	18.8%	18.3%
3. かかりつけ医	8.2%	1.3%	2.6%	5.1%	5.0%	1.1%
4. その他	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.3%	2.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問7-3 青森県では、夜間の急な子どもの病気等で対応に困った時に電話で相談に応じる「こども救急電話相談(右頁を参照)」を行っておりますが、そのことを知っていましたか。
また、今後、相談したいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

【全体】

◆問7-1で「1. すぐに救急医療施設を利用する」と回答しなかった人320人に対する割合



【その他内訳】

- ・ 利用したことがある (12)
- ・ 相談しようとは思わない (2)
- ・ 医療関係のため、特に相談しない
- ・ 看護師の経験があるため、時と場合による

◆「知っており、今後、対応に困ったときは相談したい」(69.1%)と回答した人が最も多く、「知っていたが、今後、相談しようとは思わない」(6.9%)と回答した人が最も少なくなっている。

「こども救急電話相

青森県では、小さなお子さんをお持ちのかたが、夜間の急な子どもの病気等で対応に困った時に電話で相談に応じる「こども救急電話相談」を行っています。

「こども救急電話相談」では、すぐに受診したらよいのか、それとも家で様子をもても大丈夫なのか不安な時、緊急受診の目安や家庭での看護の仕方などについて、医師の支援を受けながら看護師がアドバイスします。

① 相談日時

毎日 夜7時から翌朝8時まで

② 電話番号

局番なしの「#8000」(携帯電話からもかけられます。)
※ダイヤル回線電話、公衆電話からは「017-722-1152」



③ 利用上の注意

- ・ 対象は、おおむね15歳未満の子どもの保護者等です。
- ・ 「こども救急電話相談」は、子どもの急な病気やけが等への応急的な対処方法等に関する助言と情報提供を行うもので、治療や処置を指示するものではありません。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 知っており、今後、対応に困ったときは相談したい	70.6%	67.3%
2. 知らなかったが、今後対応に困ったときは相談したい	14.7%	21.3%
3. 知っていたが、今後、相談しようとは思わない	8.8%	4.7%
4. その他	4.7%	5.3%
無回答	1.2%	1.3%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 知っており、今後、対応に困ったときは相談したい	71.1%	76.9%	64.6%	69.1%	58.2%	73.8%
2. 知らなかったが、今後対応に困ったときは相談したい	17.8%	9.6%	22.9%	16.4%	23.6%	16.9%
3. 知っていたが、今後、相談しようとは思わない	4.4%	3.8%	6.3%	9.1%	10.9%	6.2%
4. その他	6.7%	5.8%	6.3%	3.6%	5.5%	3.1%
無回答	0.0%	3.8%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

「こどもの救急」(おかあさんのための救急&予防ノート)

「こどもの救急」では、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断のおよその目安を提供しています。

対象年齢は、生後1か月から6歳までのお子さんです。

下記の症状について、参考にいただけます。

- 発熱(38℃以上)
- せき、ゼゼエする
- 下痢
- 意識がおかしい
- 誤飲
- 動物に咬まれた
- 頭を強くぶつけた
- けいれん、ふるえ
- 腹痛、便秘
- おしっこが出ない
- 耳を痛がる
- ウンチが変
- 虫に刺された
- 吐き気
- 皮膚のブツブツ
- 泣き止まない
- 頭痛
- 鼻血
- やけど



① 冊子で見たいかた

冊子は、下記の施設に設置しておりますので、ご自由にお持ち帰りください。

- 子ども支援センター
- つどいの広場「さんぽぽ」
- 西部市民センター
- 青森市役所子育て支援課
- 青森市保健所 健康づくり推進課(元気プラザ内)
- 浪岡事務所 健康福祉課

② インターネットで見たいかた

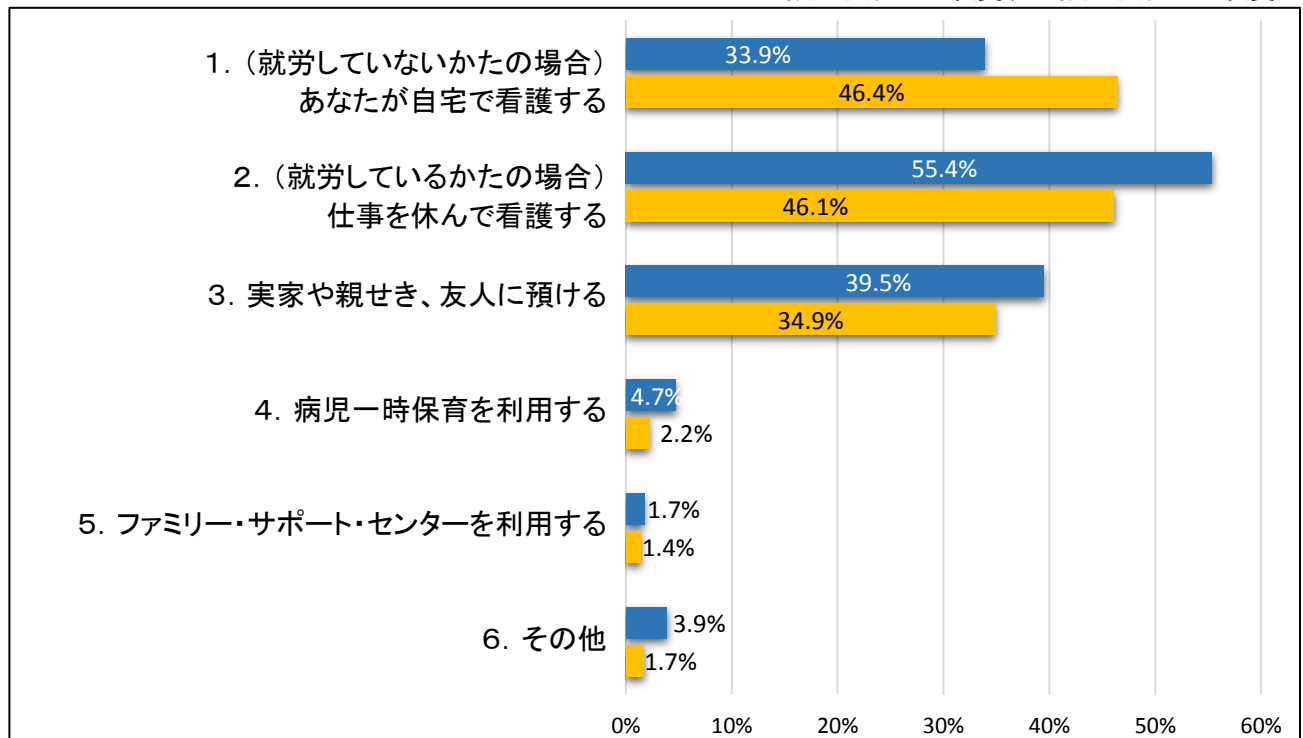
Webを見ることができ環境をお持ちのかたは、「こどもの救急-おかあさんのための救急&予防サイト」(<http://kodomo-qq.jp>)でご覧になれます。

Ⅷ お子さんが病気の際の対応についてお伺いします。

問8-1 お子さんが病気の際、どのように対応していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27: アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 妻にまかせる
- ・ まだない
- ・ まだ、そのような場面がない
- ・ 親と同居している為、親にみてもらっている
- ・ 同居なので、義母に看護してもらっています。
- ・ 経験なし
- ・ 配偶者が看護する。
- ・ 母親が看る
- ・ 妻に仕事を休んで対応してもらう
- ・ 夫、夫の両親が看護する
- ・ 仕事の都合で休めない時、同居の義父母に看護してもらおう。
- ・ まだ、そういったことがない
- ・ 実家にもサポートしてもらおう。
- ・ 親に預ける
- ・ 夫婦のどちらかが対応する。
- ・ 様子を見て、早期に病院、看護にあたってます。
- ・ 祖母が看護

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. (就労していないかたの場合)あなたが自宅で看護する	33.9%	46.4%	-12.5%
2. (就労しているかたの場合)仕事を休んで看護する	55.4%	46.1%	9.3%
3. 実家や親せき、友人に預ける	39.5%	34.9%	4.6%
4. 病児一時保育を利用する	4.7%	2.2%	2.5%
5. ファミリー・サポート・センターを利用する	1.7%	1.4%	0.3%
6. その他	3.9%	1.7%	2.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

◆「(就労しているかたの場合)仕事を休んで看護する」(55.4%)と回答した人が最も多く、平成22年度(46.1%)から9.3ポイント増加している。以下「実家や親せき、友人に預ける」(39.5%)－平成22年度(34.9%)から4.6ポイント増加－、「(就労していないかたの場合)あなたが自宅で看護する」(33.9%)－平成22年度(46.4%)から12.5ポイント減少－となっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. (就労していないかたの場合)あなたが自宅で看護する	34.2%	33.6%
2. (就労しているかたの場合)仕事を休んで看護する	54.2%	56.6%
3. 実家や親せき、友人に預ける	39.6%	39.4%
4. 病児一時保育を利用する	4.2%	5.3%
5. ファミリー・サポート・センターを利用する	2.1%	1.3%
6. その他	4.2%	3.5%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

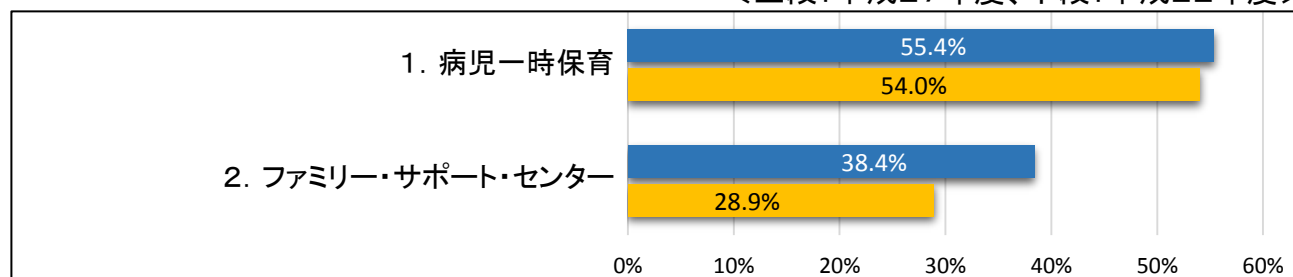
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. (就労していないかたの場合)あなたが自宅で看護する	50.8%	41.6%	26.3%	31.6%	37.5%	21.5%
2. (就労しているかたの場合)仕事を休んで看護する	37.7%	45.5%	65.8%	60.8%	52.5%	64.5%
3. 実家や親せき、友人に預ける	31.1%	31.2%	39.5%	40.5%	42.5%	48.4%
4. 病児一時保育を利用する	3.3%	6.5%	3.9%	7.6%	1.3%	5.4%
5. ファミリー・サポート・センターを利用する	0.0%	5.2%	1.3%	1.3%	2.5%	0.0%
6. その他	8.2%	2.6%	3.9%	2.5%	3.8%	3.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問8-2 お子さんが病気の際に利用できる市のサービスについて知っているものに○をつけてください。

【全体】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. 病児一時保育	55.4%	54.0%	1.4%
2. ファミリー・サポート・センター	38.4%	28.9%	9.5%

- ◆「病児一時保育」の認知度は55.4%であり、平成22年度(54.0%)から1.4ポイント増加している。
- ◆「ファミリー・サポート・センター」の認知度は38.4%であり、平成22年度(28.9%)から9.5ポイント増加している。

【子どもの性別】

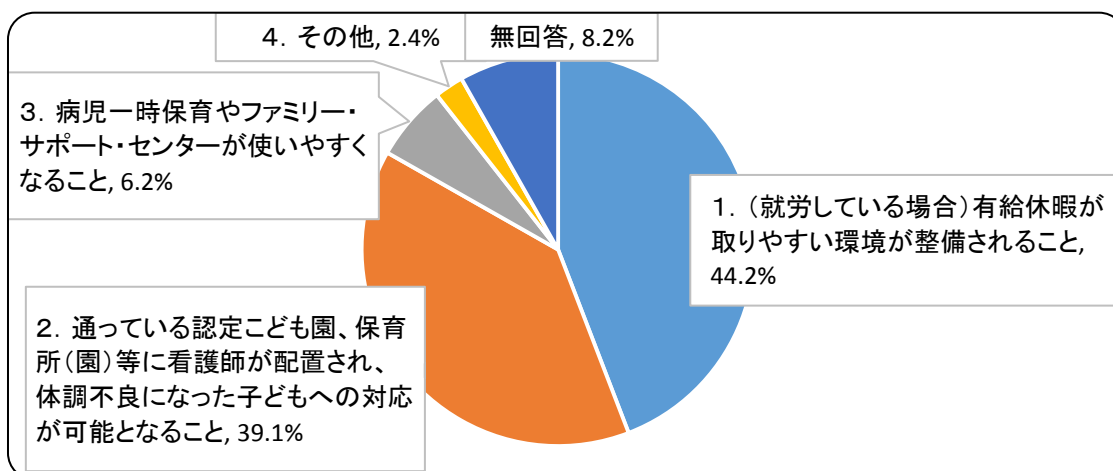
区分	男性	女性
1. 病児一時保育	56.7%	54.0%
2. ファミリー・サポート・センター	35.8%	41.2%

【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 病児一時保育	47.5%	55.8%	53.9%	62.0%	62.5%	49.5%
2. ファミリー・サポート・センター	27.9%	36.4%	39.5%	45.6%	41.3%	37.6%

問8-3 お子さんが病気の際の対応について、強く思うこと1つに○をつけてください。

【全体】



【3. と回答した人の具体的な意見内訳】

- ・ 料金が安い (6)
- ・ 数を増やす (2)
- ・ もっと身近に利用できる場所があるとよい (2)
- ・ サポーターさんに直接連絡して、当日でも、すぐ頼めること
- ・ サービス内容、病児一時保育場所がわからず、利用できない
- ・ 人数や体制で多くの方が利用しやすいように
- ・ 事前の会員登録は不必要
- ・ インフルなど、保育園に行けない時にも見てもらいたい
- ・ 夜中(PM12:00過ぎでも)対応する病院があれば良い
- ・ 前日までの予約が必要だと、突然保育園に行けなくなったら困る
- ・ 医師の診察なしで、預かってもらえると助かる
- ・ 場所や、どんな方なのか知りたい
- ・ 施設が少ない

【その他内訳】

- ・ 特になし (5)
- ・ 認定こども園配置看護師が、かかりつけへ連れて行ってくれること
- ・ 自宅で看病できる
- ・ 運転しない人のために、タクシーが安く利用出来れば助かります
- ・ すぐ、子供の所へかけつけられること

- ◆「(就労している場合)有給休暇が取りやすい環境が整備されていること」と回答した人の割合は44.2%であり、平成22年度(28.3%)から15.9ポイント増加している。
- ◆「通っている認定こども園、保育所(園)等に看護師が配置され、体調不良になった子どもへの対応が可能となること」と回答した人の割合は39.1%であり、平成22年度(28.1%)から11.0ポイント増加している。

【H22調査時との比較】

区分	H27	H22	H27-H22
1. (就労している場合)有給休暇が取りやすい環境が整備されること	44.2%	28.3%	15.9%
2. 通っている認定こども園、保育所(園)等に看護師が配置され、体調不良になった子どもへの対応が可能となること	39.1%	28.1%	11.0%
3. 病児一時保育やファミリー・サポート・センターが使いやすいようになること	6.2%	6.6%	-0.4%
4. その他	2.4%	2.9%	-0.5%
無回答	8.2%	11.5%	-3.3%
※子どもの医療費が低減されること	-	22.6%	-
計	100.0%	100.0%	-

※「子どもの医療費が低減されること」の選択肢は、H27調査時に削除

【子どもの性別】

平成27年度

区分	男性	女性
1. (就労している場合)有給休暇が取りやすい環境が整備されること	42.1%	46.5%
2. 通っている認定こども園、保育所(園)等に看護師が配置され、体調不良になった子どもへの対応が可能となること	41.7%	36.3%
3. 病児一時保育やファミリー・サポート・センターが使いやすいようになること	5.0%	7.5%
4. その他	2.1%	2.7%
無回答	9.2%	7.1%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

平成27年度

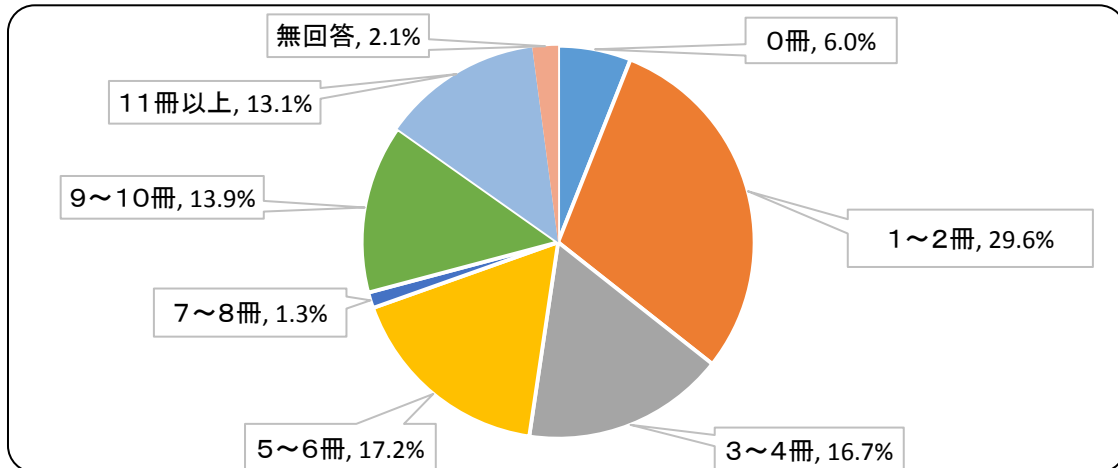
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. (就労している場合)有給休暇が取りやすい環境が整備されること	41.0%	36.4%	44.7%	48.1%	47.5%	46.2%
2. 通っている認定こども園、保育所(園)等に看護師が配置され、体調不良になった子どもへの対応が可能となること	39.3%	39.0%	36.8%	39.2%	36.3%	43.0%
3. 病児一時保育やファミリー・サポート・センターが使いやすいようになること	4.9%	5.2%	7.9%	3.8%	8.8%	6.5%
4. その他	1.6%	3.9%	3.9%	1.3%	1.3%	2.2%
無回答	13.1%	15.6%	6.6%	7.6%	6.3%	2.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

Ⅷ 子どもの読書への関わり方についてお伺いします。

問9-1 お子さんは、1か月の間にどのくらい本を読んでいますか。おおよそでお答えください。(読み聞かせをした本も含めてお答えください。)

【全体】



◆「1~2冊」(29.6%)と回答した人が最も多く、以下「5~6冊」(17.2%)、「3~4冊」(16.7%)、「9~10冊」(13.9%)、「11冊以上」(13.1%)、「0冊」(6.0%)、「7~8冊」(1.3%)の順となっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
0冊	6.7%	5.3%
1~2冊	31.3%	28.0%
3~4冊	17.1%	16.4%
5~6冊	16.3%	18.2%
7~8冊	1.7%	0.9%
9~10冊	14.2%	13.8%
11冊以上	10.8%	15.6%
無回答	2.1%	1.8%
計	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

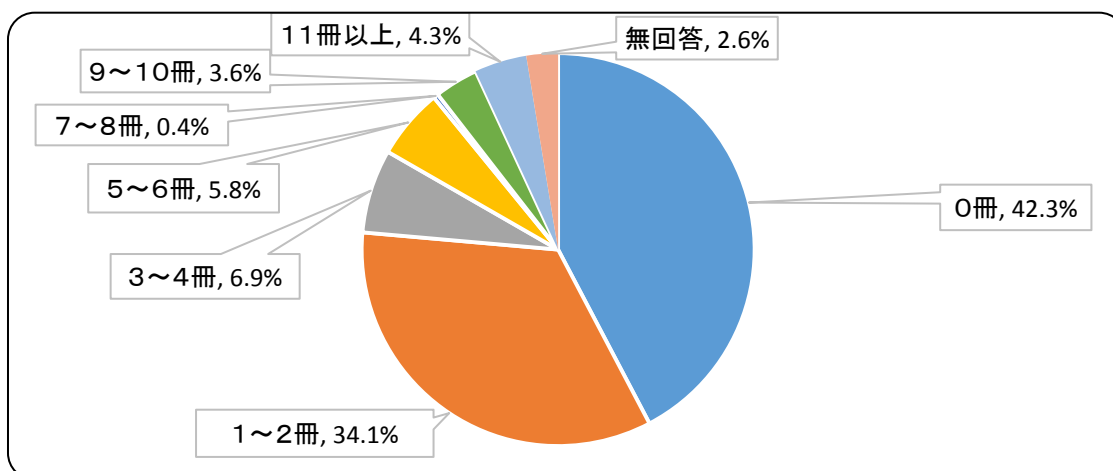
【子どもの年齢別】

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
0冊	11.5%	7.8%	6.6%	5.1%	2.5%	4.3%
1~2冊	24.6%	29.9%	30.3%	34.2%	31.3%	26.9%
3~4冊	16.4%	23.4%	9.2%	17.7%	17.5%	16.1%
5~6冊	21.3%	13.0%	18.4%	13.9%	10.0%	25.8%
7~8冊	1.6%	1.3%	2.6%	0.0%	1.3%	1.1%
9~10冊	11.5%	11.7%	17.1%	12.7%	18.8%	11.8%
11冊以上	8.2%	13.0%	14.5%	15.2%	17.5%	9.7%
無回答	4.9%	0.0%	1.3%	1.3%	1.3%	4.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問9-2 あなたは、1カ月の間にどのくらい本を読んでいますか。おおよそでお答えください。

【全体】



◆「0冊」(42.3%)と回答した人が最も多く、以下「1~2冊」(34.1%)、「3~4冊」(6.9%)、「5~6冊」(5.8%)、「11冊以上」(4.3%)、「9~10冊」(3.6%)、「7~8冊」(0.4%)の順となっている。

【親が読む本の冊数と子どもが読む(読み聞かせを含む)本の冊数(問9-1)との関係】

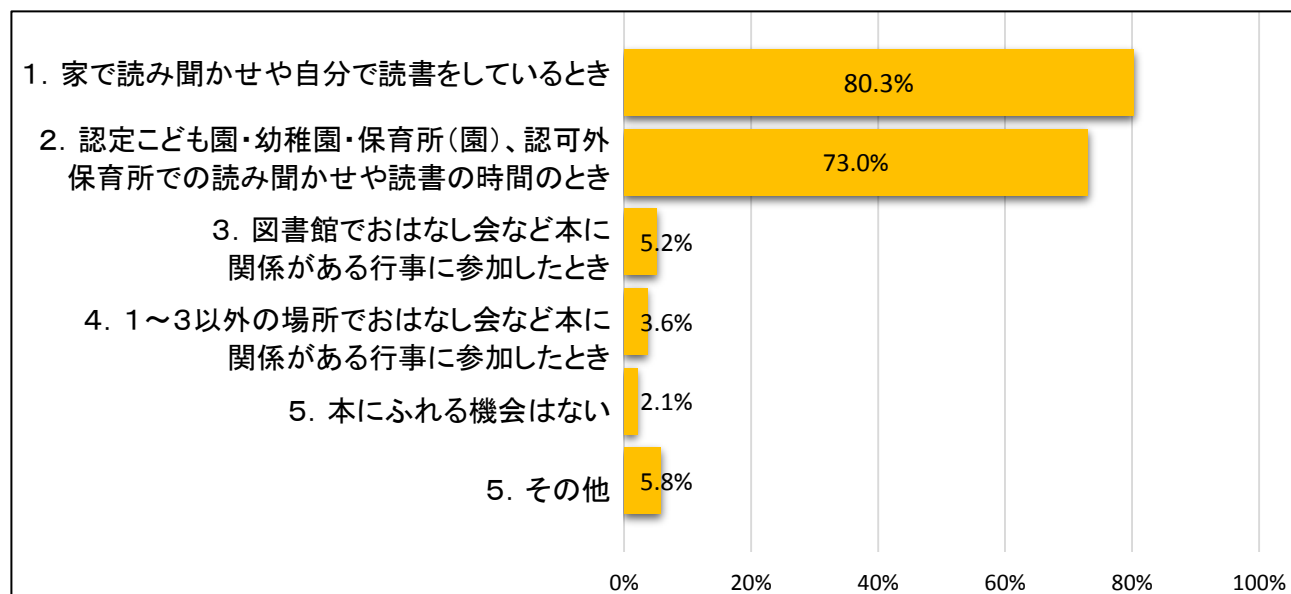
区分	0冊	1~2冊	3~4冊	5~6冊	7~8冊	9~10冊	11冊以上	無回答	計
0冊(親)	13.2%	36.5%	12.7%	14.7%	2.0%	10.7%	8.6%	1.5%	100.0%
1~2冊(親)	0.6%	34.0%	20.1%	19.5%	0.6%	13.8%	11.3%	0.0%	100.0%
3~4冊(親)	3.1%	15.6%	43.8%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
5~6冊(親)	0.0%	11.1%	18.5%	40.7%	0.0%	14.8%	14.8%	0.0%	100.0%
7~8冊(親)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
9~10冊(親)	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%	0.0%	58.8%	17.6%	0.0%	100.0%
11冊以上(親)	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	20.0%	70.0%	0.0%	100.0%
無回答(親)	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	58.3%	100.0%

※縦が親が読む本の冊数、横が子どもに読み聞かせる冊数

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

問9-3 お子さんは、どのような機会に本にふれますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【全体】



※H27: アンケート回答者466人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 図書館 (8)
- ・ 病院の待合室 (6)
- ・ 本屋、書店 (5)
- ・ 通信教育で本が送られてくる (2)
- ・ 幼稚園から本を持ってきた時
- ・ 職場の託児所
- ・ 寝る前
- ・ いい本を見つけた時
- ・ 繰り返し聞かせる
- ・ 時間がない、お金がない

◆「家で読み聞かせや自分で読書をしているとき」(80.3%)と回答した人が最も多く、次に「認定子ども園・幼稚園・保育所(園)・認可外保育所での読み聞かせや読書の時間のとき」(73.0%)と回答した人が多くなっている。

【子どもの性別】

区分	男性	女性
1. 家で読み聞かせや自分で読書をしているとき	77.9%	82.7%
2. 認定子ども園・幼稚園・保育所(園)、認可外保育所での読み聞かせや読書の時間のとき	73.8%	72.1%
3. 図書館でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	4.2%	6.2%
4. 1～3以外の場所でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	4.2%	3.1%
5. 本にふれる機会はない	3.3%	0.9%
6. その他	5.4%	6.2%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

【子どもの年齢別】

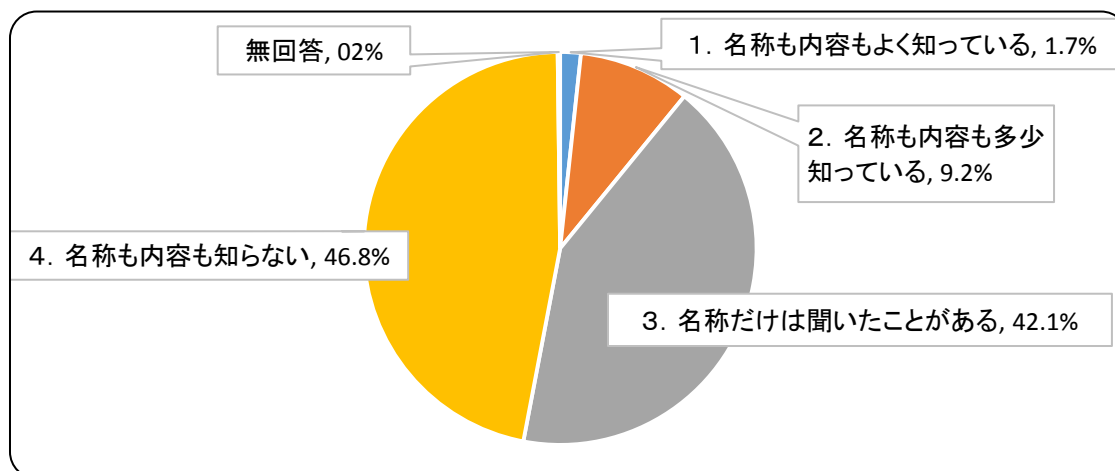
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1. 家で読み聞かせや自分で読書をしているとき	82.0%	83.1%	75.0%	82.3%	78.8%	80.6%
2. 認定子ども園・幼稚園・保育所(園)、認可外保育所での読み聞かせや読書の時間のとき	32.8%	54.5%	76.3%	88.6%	86.3%	87.1%
3. 図書館でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	9.8%	6.5%	3.9%	1.3%	7.5%	3.2%
4. 1～3以外の場所でおはなし会など本に関係がある行事に参加したとき	3.3%	3.9%	5.3%	3.8%	3.8%	2.2%
5. 本にふれる機会はない	3.3%	2.6%	2.6%	0.0%	3.8%	1.1%
6. その他	1.6%	2.6%	5.3%	8.9%	7.5%	7.5%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

X 「青森市子どもの権利条例」等についてお伺いします。

問10-1 あなたは、青森市に子どもにとって大切な権利の保障を図ることを目的とした「青森市子どもの権利条例」があることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【全体】



1. 名称も内容もよく知っている	2. 名称も内容も多少知っている	3. 名称だけは聞いたことがある	4. 名称も内容も知らない	無回答	合計
------------------	------------------	------------------	---------------	-----	----

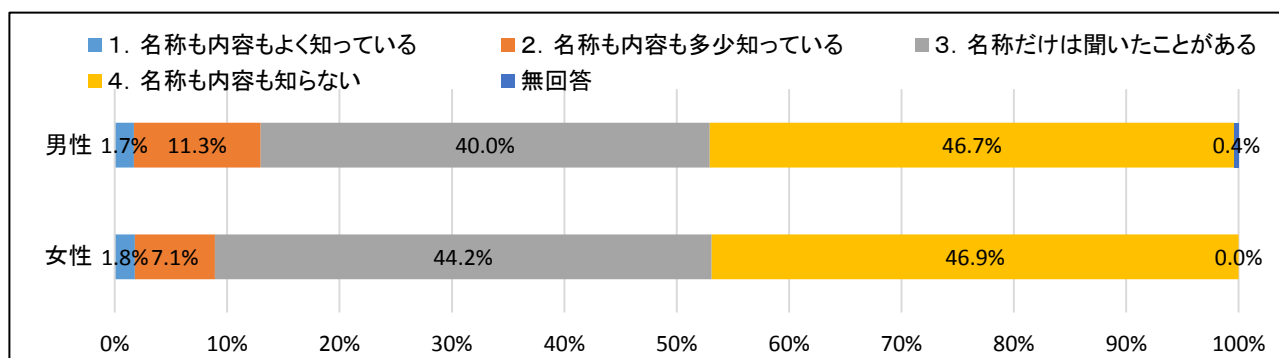
平成27年度

回答数	8	43	196	218	1	466
構成比	1.7%	9.2%	42.1%	46.8%	0.2%	100.0%

◆「名称も内容も知らない」(46.8%)と回答した人が最も多く、以下「名称だけは聞いたことがある」(42.1%)、「名称も内容も多少知っている」(9.2%)、「名称も内容もよく知っている」(1.7%)となっている。

◆「よく知っている」「多少知っている」を合わせた、知っている人の割合は10.9%となっている。

【子どもの性別】

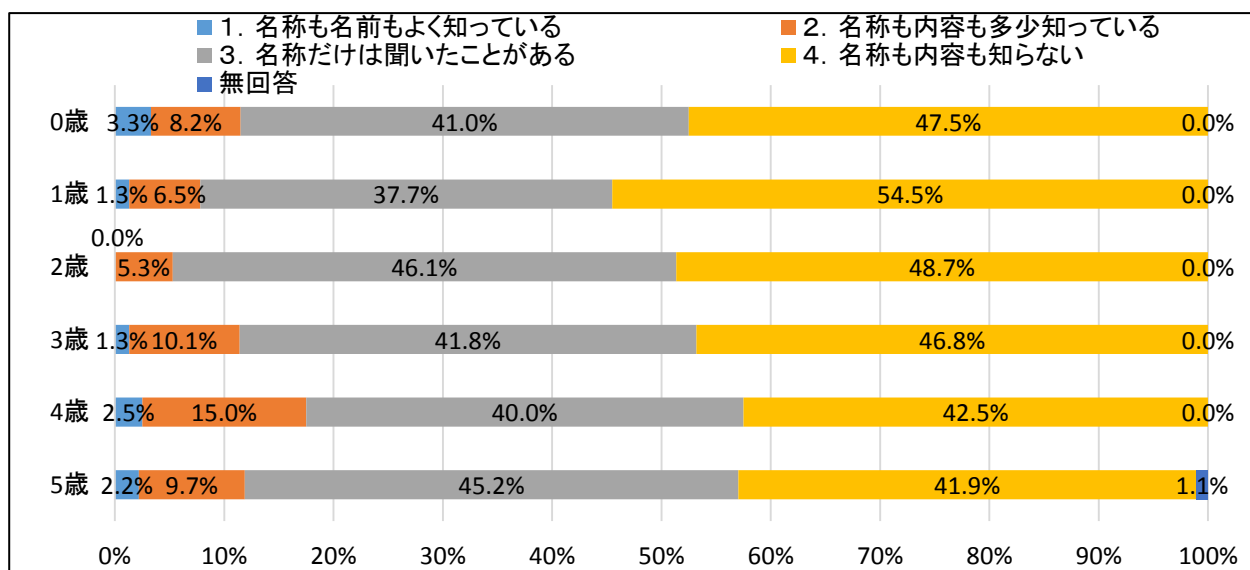


1. 名称も名前もよく知っている
2. 名称も内容も多少知っている
3. 名称だけは聞いたことがある
4. 名称も内容も知らない
無回答 合計

平成27年度

男性	1.7%	11.3%	40.0%	46.7%	0.4%	100.0%
女性	1.8%	7.1%	44.2%	46.9%	0.0%	100.0%

【子どもの年齢別】



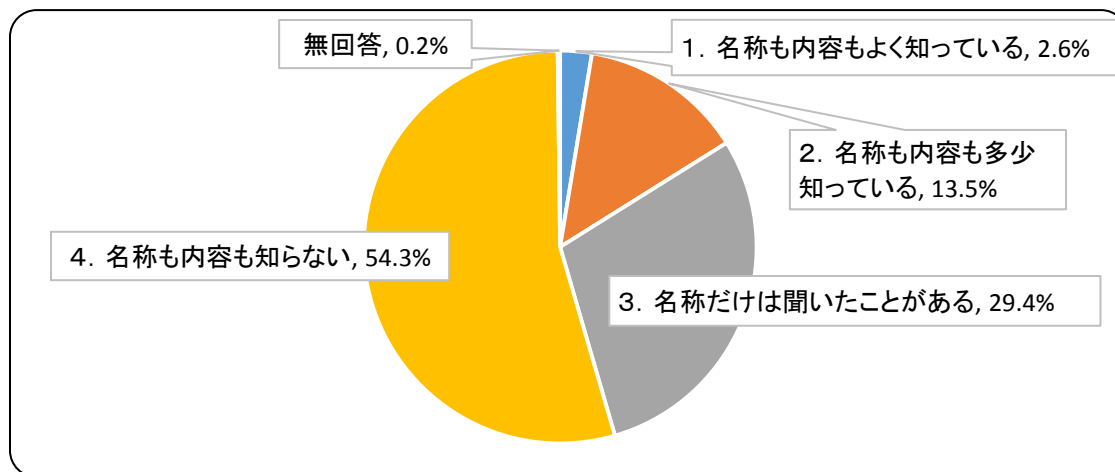
1. 名称も名前もよく知っている
2. 名称も内容も多少知っている
3. 名称だけは聞いたことがある
4. 名称も内容も知らない
無回答 合計

平成27年度

0歳	3.3%	8.2%	41.0%	47.5%	0.0%	100.0%
1歳	1.3%	6.5%	37.7%	54.5%	0.0%	100.0%
2歳	0.0%	5.3%	46.1%	48.7%	0.0%	100.0%
3歳	1.3%	10.1%	41.8%	46.8%	0.0%	100.0%
4歳	2.5%	15.0%	40.0%	42.5%	0.0%	100.0%
5歳	2.2%	9.7%	45.2%	41.9%	1.1%	100.0%

問10-2 あなたは、いじめ、虐待、体罰等の子どもの権利侵害に関して、その救済と権利の回復を図るための相談・救済機関(※青森市子どもの権利相談センター)があることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

【全体】



1. 名称も 名前もよく 知っている	2. 名称も 内容も多 少知って いる	3. 名称だ けは聞い たことが ある	4. 名称も 内容も知 らない	無回答	合計
--------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------	-----	----

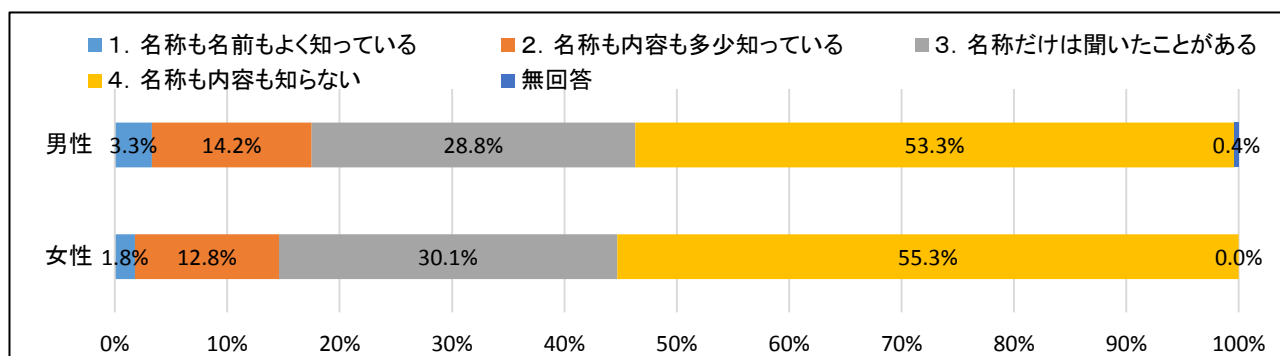
平成27年度

回答数	12	63	137	253	1	466
構成比	2.6%	13.5%	29.4%	54.3%	0.2%	100.0%

◆「名称も内容も知らない」(54.3%)と回答した人が最も多く、以下「名称だけは聞いたことがある」(29.4%)、「名称も内容も多少知っている」(13.5%)、「名称も内容もよく知っている」(2.6%)となっている。

◆「よく知っている」「多少知っている」を合わせた、知っている人の割合は16.1%となっている。

【子どもの性別】

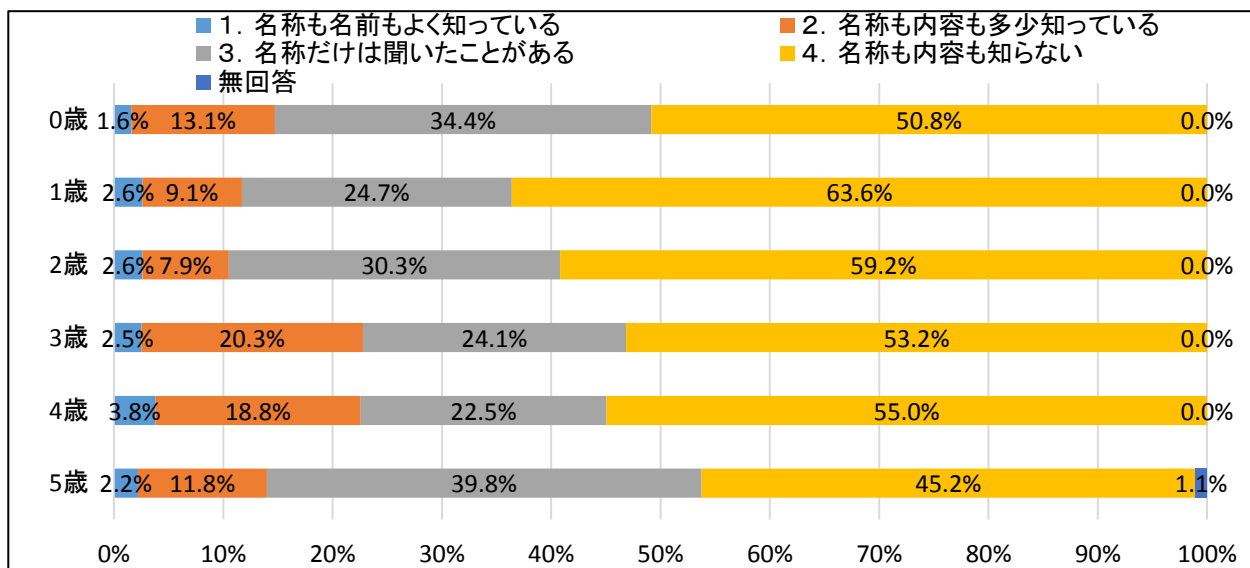


1. 名称も名前もよく知っている
 2. 名称も内容も多少知っている
 3. 名称だけは聞いたことがある
 4. 名称も内容も知らない
 無回答 合計

平成27年度

男性	3.3%	14.2%	28.8%	53.3%	0.4%	100.0%
女性	1.8%	12.8%	30.1%	55.3%	0.0%	100.0%

【子どもの年齢別】



1. 名称も名前もよく知っている
 2. 名称も内容も多少知っている
 3. 名称だけは聞いたことがある
 4. 名称も内容も知らない
 無回答 合計

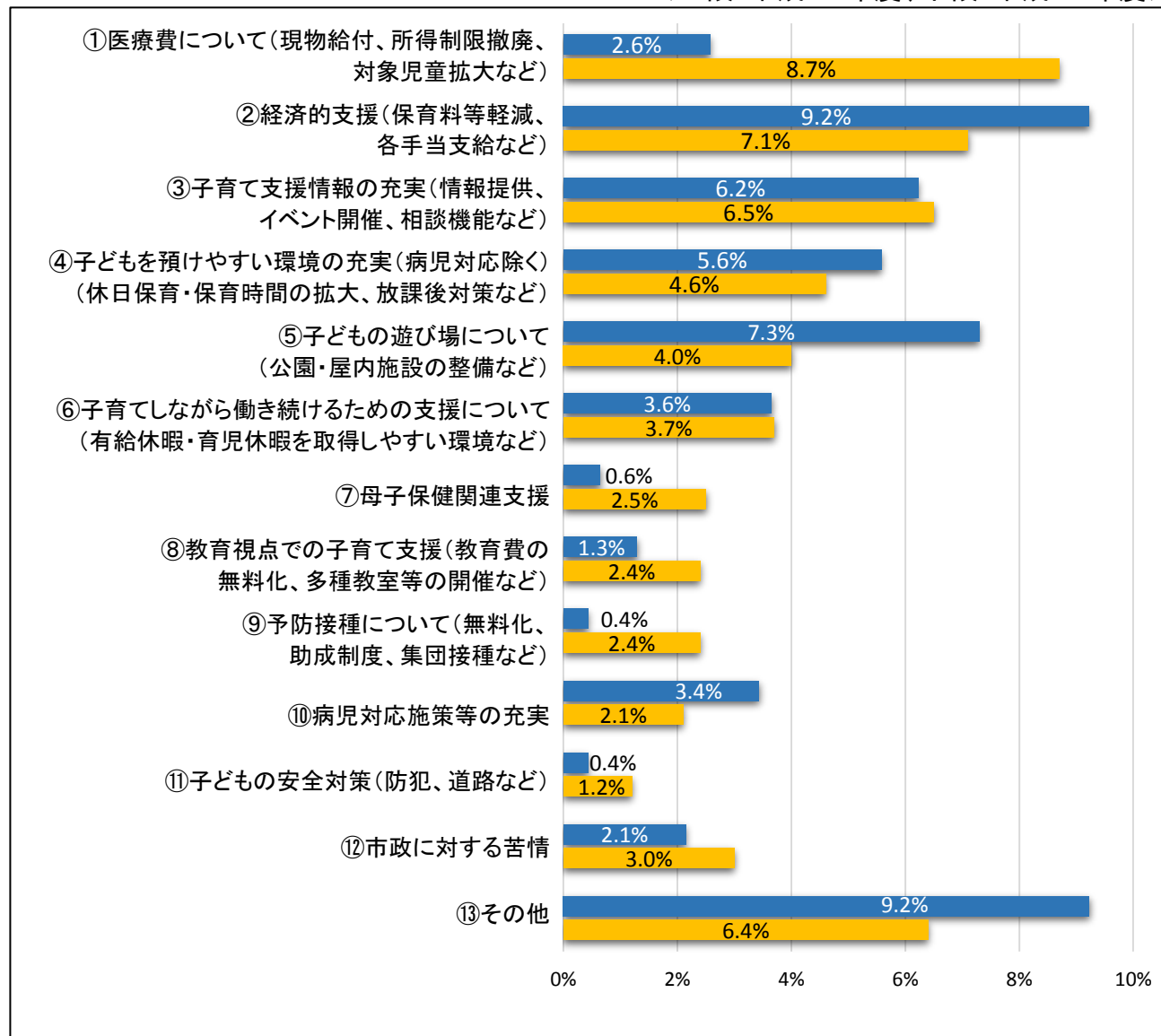
平成27年度

0歳	1.6%	13.1%	34.4%	50.8%	0.0%	100.0%
1歳	2.6%	9.1%	24.7%	63.6%	0.0%	100.0%
2歳	2.6%	7.9%	30.3%	59.2%	0.0%	100.0%
3歳	2.5%	20.3%	24.1%	53.2%	0.0%	100.0%
4歳	3.8%	18.8%	22.5%	55.0%	0.0%	100.0%
5歳	2.2%	11.8%	39.8%	45.2%	1.1%	100.0%

XI 行政サービスへ期待することについてお伺いします。

問11 子育て支援に関するご要望、ご意見がありましたら、ご記入ください。【自由記載】

<上段:平成27年度、下段:平成22年度>



※H27:アンケート回答者466人(全員)に対する割合

区分	件数	割合
①医療費について(現物給付、所得制限撤廃、対象児童拡大など)	12	2.6%
②経済的支援(保育料等軽減、各手当支給など)	43	9.2%
③子育て支援情報の充実(情報提供、イベント開催、相談機能など)	29	6.2%
④子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、放課後対策など)	26	5.6%
⑤子どもの遊び場について(公園・屋内施設の整備など)	34	7.3%
⑥子育てしながら働き続けるための支援について(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境など)	17	3.6%
⑦母子保健関連支援	3	0.6%
⑧教育視点での子育て支援(教育費の無料化、多種教室等の開催など)	6	1.3%
⑨予防接種について(無料化、助成制度、集団接種など)	2	0.4%
⑩病児対応施策等の充実	16	3.4%
⑪子どもの安全対策(防犯、道路など)	2	0.4%
⑫市政に対する苦情	10	2.1%
⑬その他	43	9.2%

3 自由記載覧の意見一覧

問2-5【記載内容】

①保育料について(軽減要望、決定方法など)	
1	幼稚園を利用するにあたり、働く人も多くなってきている中でも就労していないお母さん方又は家族の方もいる事を把握してもらい、その中での保育料というものが結構な負担になっている事を知ってほしい。(保育料の減額要求)
2	保育料が高くて、入園できるか不安。
3	利用料金の減額を希望します。保育園は世帯年収で決められているみたいですが、周りから話を聞く限りでは高いイメージしかありません。その他の園も同様で、預けて働きたいとは思っていても料金が high となると、なかなかパートとかでは意味がなくなるので、もう少し預けやすさを重視して決めて欲しいです。
4	保育料を下げてもらいたい。少子化対策に繋がると思う。
5	保育料が高いと思います。
6	仕事をするためには、子供を預けなければならないが、そもそも預けるお金が無いので、仕事も探せない。保育料以上の収入を得られるか分からないので、利用出来ない。
7	保育料も高く、働かず、家でお世話していた方が良い気になってしまいます。子供のために集団生活に入りたいので、もっと安くしてもらいたいです。
8	(保育園)利用料金をもっと下げて欲しい。
②保育サービスの充実(一時預かり、休日保育、早朝・夜間対応、職員増など)	
1	利用時間の延長制限を緩和してほしい。
2	休日保育、病児保育が、希望する時に受けられる。
3	一時預かりを利用したくても、予約が取れないことも多く、なかなか活用できない。
4	一時保育の日数を増やしてほしい。(月15日ではなく、月30日まで)
5	一時預かりの保育園、幼稚園をもっと増やして欲しい。
6	共働きが増えている中で、年末年始、お盆、祝日も、預かってもらいたい。
7	少し預けたい時がある…。具合が悪く病院に行く際、近くの園、保育所などであると助かる。
8	早い時間から見て欲しいです。仕事が早朝からのためAM6:00～見てもらえると、ありがたいです。
9	職場復帰を予定している母親としては、延長保育の時間も、もう少し遅くなる方が復帰しやすいです。
③施設(認定こども園、幼稚園、保育所等)に関する問題点、苦情、要望など	
1	保育士さん達が大変なのは分かりますが、出来るだけ良い保育をしてほしいです。
2	子供が裸足で安全に遊べる環境を整備して欲しい。例えば、砂場など外で遊ぶ事が少なくなってきて
3	子供の個性を伸ばせるような保育サービスを提供していただきたい。
④認定こども園、幼稚園、保育所等の情報提供の充実	
1	幼稚園に通わせたいと思っているのですが、3歳児から入園させた方が良いのか4歳からでも良いのかがわかりません。青森市の入園の年齢の割合などが知りたいです。
2	料金表(市のHP)の「教育」とか「保育」が分かりづらい。認定こども園の場合どうなのか、場合分けして分かりやすくして欲しい。
3	制度が分かりにくい。分かりやすく提示して欲しい。入れたい所があっても市役所の管理になってしまうのかなと思うと、申し込みがおっくう。
4	預けてない人でも、1日だけ預けられるなど、各自のHPで見たりするが、市でもそういう園、保育所があるという取り組みをHPで見れたらいいと感じる。
5	未就園児のための支援活動は、各園のHPを探さないと日程や活動内容等わからないのが、とても不便。市のHPで統一して欲しい。
⑤施設における軽度の病児の受け入れ(病児保育所等の充実含む)	
1	病児でも見てほしいです。発熱があっても、元気な時などは、みてもらえると大変助かります。
2	病気(内部障害)があり、ストーマが付いているのですが、知的、身体ともに、何も問題ないので、入園するのにスムーズに受け入れてもらえたらと思います。
⑥希望する認定こども園、保育所への入所実現要望(定員増、施設増設など)	
1	今後、認可外保育所を利用する予定です。認可保育所をまず探しましたが、どこも定員いっぱい、預けられませんでした。
2	保育園の充実

3	今年の8月復帰予定だったが、保育園が空いてなさそうで、入れなかった。4月だと比較的内れそうらしいが、不安です。
4	預けたい保育所が数ヶ所あるが、どこも空きがなく、ただただ困っている状態です。現在、子供を職場の託児所に預けていますが、保育園に空きがないため転職したくてもできず、仕方がないので空きが出るまで、空きのある違う保育園に入れるしかないのかと考えています。親としては、出来れば転園など、あまりさせたくないのを希望する保育園に入れることが出来る様になるといいなあと思います。
5	認定こども園の定員数が少ないので、もっと増やしてほしい。
6	4月でないとうりにくいと聞いたので、年度途中で育休復帰しても大丈夫なように育休枠のような定員があったら嬉しい。
7	兄弟で同じ保育所に入所できるようにしてほしい。
8	募集時期に園見学や市役所に足を運びましたが、入所に空きがなく、又、変更申請で他の園を見学し役所に行きましたが、空きがないと言われ、常に待機状態が続きます。親の仕事関係で中央地区に園児がかたまってしまうのは仕方ないですが、それなら、園児の枠を広げたり、保育ボランティアを増やすなりして、待機ゼロの案はないのでしょうか？ 母子家庭で、祖父母に頼むにも限度があるので、求職で選別があとなってしまうのでは、子育て支援、親への支援にはなっていないと思います。支援施設だけでは集団生活外なので、大事な子の成長の時期を逃してしまうと思います。
9	近い保育園に通いたい。
10	家の近く、職場の近くに預けられたら良いと思います。
⑦規定外対応の要望(保育に欠けない子の入所、求職中の入所期間延長など)	
1	幼稚園の入園する年齢が、誕生日で3才にならないと入園できないのが、ちょっと疑問を感じます。4月から通っている子と、途中から入園する子との差が出てきて、通わせるのに4才になってからじゃないと入園させられない。だからといって認定こども園に入れる経済的余裕がないので入れさせられない。3才になる年から入園できるようにしてほしい。
2	両親がそろっているが、片親が就職していないため、預けられない。(上の子の時入園をことわれた)
3	夏休みや冬休みの有り無しで、預けてからの働き方が変わります。子供を園に預けてから、家計のために働けるように、保育所のように、統一をお願いしたいです。家の近所の保育所は認定子ども園にならず、幼稚園も認定にならなかったの、困っています。
4	親の仕事時間で保育時間が変わるという制度に反対でしたが、そう決まってしまう本当に残念です。子どもにとって、保育園は生活の場所であり、本来楽しめる場所なのに、時間だから帰ってくださいというのは変です。以前の制度に戻してほしいですね。
⑧子どもの安全対策について	
1	最近ニュースで保育園の先生がたたいたり、虐待しているのを見かけるので心配。
⑨その他	
1	0～1歳でも気軽に園庭などで遊ばせて欲しい。(現況では、各園で月1、2回予約制なので)平日の午前中10時～12時頃まで遊ぶ場所があまり無く、同じ年頃の子供同士の交流を気軽に持てる場所や機会が少ない。
2	在園児の親の口コミを見てみたい。
3	食物アレルギーがあるので、それを考えて入園先を考えたい。
4	公立(市立や県立)の幼稚園があればいいなと思います。
5	ねぶた運行してもらいたい。全ての保育園、幼稚園、こども園で・・・。
6	体験入園等の機会をもっと増やしてほしい。
7	3才未満でも送迎してほしい。

問3-2【記載内容】

①診査方法の改善(待ち時間改善、開催日時、少人数制、医師増員、診査場所の改善など)	
1	待ち時間が長く、仕方なく下の子をつれていく時に大変。
2	待ち時間が長い。
3	待ち時間を子供の為に有効活用
4	1度に健診を受ける人数がもっと少なく、ゆっくり、しっかりみてほしい。

5	泣いたり騒いだりする年代をあやしなから、順番を待つのは、とても大変だと思います。その点を改善してほしい。
6	4ヶ月健康診査の時、時間がかかりすぎて、お腹が空いて泣いている赤ちゃんばかりいたので、トータル時間を短くしてほしい。
7	働く親が休みを取りにくい。人手不足、繁忙期等で時間が取りにくい等もあるので、会場ごとに健診の曜日が限られているというのが、とても不便です。
8	待ち時間を少なくしてほしい。昼からだ、お昼寝時間と重なるので午前の方がいい。
9	とても混むので、時間指定ができればいいのでは。
10	待ち時間の短縮
11	荒川市民センター、西部市民センターなどで、できる回数を増やしてほしい
12	AM、PMで分けるなどの対応をして欲しい。
13	1日当たりの対象児を減らして、かかる時間を減らしてほしい。
14	待ち時間が長いので、それをどうにかしてほしい。
15	健診できる日を増やして、自分の都合の良い日を選べるようにしてほしい。
16	時間帯が、お昼寝の時間とかぶる為、もっと早い午前中の方がいいと思います。
17	昼寝の時間にやらないでほしい。グズって大変です。
18	お昼ご飯の時間だったので、ご飯が遅れ、更に昼寝がズレて大変だった。先生に合わせるならば、土日でも良いのでは。
19	平日ではない日も設けて欲しい。
20	子供が小さいうちは、待ち時間が長いと飽きてしまったり、いつもと違う環境の中でテスト等をしてその時の結果で診断されてしまうと親側の精神的不安も高まりますし、混んでいる中で保健師への相談もしづらと思います。大変だと思いますが、受付時間をずらして対応する等してもらえればと思います。
21	お昼寝の時間帯は、さけてほしい。4ヶ月は、まだ良いが、1才6ヶ月や、3才は、お昼ご飯を食べた後で、(ほぼお昼寝の時間にかぶり)ねむたい時間で、ぐずってしまう。
22	もう少し、少人数での健診にしてほしい。
23	混んでおり、待ち時間も長い。日程、人数をもっと細分化してほしい。
24	1才6か月健診の時、午後1時からという時間を午前に変えた方が良くと思います。お昼寝の時間からなので、きげんも悪く大変だった。
25	病院の先生の都合だと思うのですが、時間帯がお昼なので、出発する時間を考えると、食事の時間にぶつかってしまうので、できれば時間帯をずらしていただくと、子どもが、ぐずりにくいかと思います。
26	待ち時間が長い(子供があきる)
27	会場までが遠いので、もう少し会場を増やしてもらえたら、うれしいし、風邪等の理由で受けられなかった場合も回数があれば適切な時期に受けることが可能かと思えます。
28	遅く行くと待ち時間が長くて子供が飽きてしまうので、診査の順路を1つだけでなく逆回りもできたらいいと感じた。
29	医師の診断のところで大変混雑しており、子供達は飽きてしまっている。先生を増やす、順番を変える等、スムーズにできる工夫が必要と思う。(4ヶ月、1才6ヶ月) 子供は3才2ヶ月になるが、まだ健診案内なし。
30	会場での待機時間が長過ぎる。もう少し、何とかならないものか。
31	午後からの健診だと、お昼寝の時間に重なることが多く、子供がぐずってしまい大変なことが多い。ただでさえ、時間がかかって飽きやすくなるので、時間帯を変えてもらう等して頂けると助かる。
32	順番が来るまで、かなり時間がかかりました。子供がぐずり大変でした。
33	流れ作業でどんどんこなしている感じが少しだったので、もう少し少人数でやってもらえると行く側も助かります。
34	1歳6か月健診は、時間帯がちょうど昼寝の時間とかぶって、健診中グズってしまったりして、とても大変です。
35	診察や相談時間より待機時間が長く、子供がぐずったり寝てしまったり・・・と母子のみで来たときは、せっかくの機会なのにあまり話が聞けないこともあるので、午前、午後の2部制にしてほしい。
36	子供が眠いお昼寝の時間は、1番グズグズしていて大変。出来れば、朝が望ましい。
37	待ち時間の短縮
38	待ち時間が長い

39	時間がかかりすぎる。
40	集団健診の待ち時間を少なくして欲しい。元氣プラザまで出て行くのが大変なので、学区で1カ所で実施した方が良いと思う。
41	元氣プラザだけでなく、西か中央でもやってほしい。
42	健康診査日に行けなかった場合でも、相談のうえ、他の日に受診出来たら良いと思う。
43	とにかく混んでいて、何とかして欲しい。
44	時間が、ちょうどお昼ということもあり、子供の食事時間と重なったりして、困ったので、もう少し早めに始めてもらえたら助かります。(午前中で終わるとか)
45	待ち時間を少なくするために、少なく人数を分けて受付時間を少しずつ、ずらすといいと思う。
46	待ち時間が長い時があるので、できれば短い方が助かります。もう少し、少人数での健診だと、いろいろ相談しやすいです。
47	歯科検診の先生が来るのが遅く、早く行っても結局待たされる。どうしても遅くなるなら、受付時間を遅くするとかしてほしい。
48	仕事をしている人がいると、休みを取らなくてはいけないので土日もやってほしい。フッ素を市でも土日やってほしい。
49	泣く子もいて大変かと思いますが、もう少し健診の時間(開始～終了までの長さ)をとってほしいです。時間が短いせいで、子供の機嫌が悪くても、急かしていかないと間に合わない。(機嫌が悪いせいで、泣いて時間がかかる子が減るのでは)
50	時間を何回かに分けて、ずらして健診できるようになればいいと思う。
51	もう少し、人数を絞って、少人数が集まるようだ効率がいい気がする。待ち時間が長い。
52	待ち時間が長いと飽きてしまう。実際、4ヵ月や1歳6ヵ月の健診で、なれない環境にさらされ、待つとなると、泣き続けて診察にも支障がでると思います。
53	曜日が決まっているので、他の曜日にも行って欲しい。例えば、火曜日は毎週予定があるが、他の曜日は空いているのに、振り替えることができないので
②診査内容の充実(現実実施年齢外の診査、診査回数・種類の増、障害児への配慮など)	
1	3歳児健康診査で行われる視力検査は、少々3歳児には難しいと思う。他の(青森県外)健診所では、動物の絵などを使用している所もあると聞いた。言葉の理解力も加わっているのだろうが…。事前に家で何度も練習しなければならないので大変です。
2	健診と健診の間が長いと感じる。
3	1歳6ヶ月なくてもいいから、1才と2才の健診を増やしてほしい。
4	健康診査の間隔をもっと短くしてもいいと思います。4ヶ月のあと1歳6ヶ月だと、間があきすぎではないでしょうか。
5	1歳児健診もあればうれしいです。
6	間隔が空き過ぎることに不満を感じる。(母子手帳には、もっと細かく記入欄があるので) 半年間隔ぐらいで健康診査があっても良いと思う。
7	4か月から1才6か月の間に健診があと、もう1回あってもいいかと思われれます。
8	母子手帳に書いてある年齢で、もっと期間をせばめてやって欲しい。
9	4ヵ月健診、1歳健診、2歳健診、3歳健診と、1年ごとに実施できないか。(上の子は3歳健診で、鼻と耳が悪いことがわかりました) 1歳半の時から、一年半もたっている時に分かったので、もっと早く分かれば、言葉の障害も改善されたのに…と大変後悔しています。
10	他の年もあれば…2才とかも
11	診査の回数が少な過ぎる。(他の県や市は、1才や2才でもある。) 診査で、できていない項目があると後日個別にフォローしてほしい。(他の県は実施している)
12	健診が少ない。特に3歳が終わったら、就学前まで何もないのは心配。
13	他県に比べて診査回数が少ないと思う。特に3歳児診査後は、就学前まで行われぬ事が不思議。内容より、回数が少ない事に不満。
14	耳鼻科検診も希望者だけでなく、メニューに組み込んだ方が良くと思う。
15	弘前に住んでいたころは、4ヵ月児健診のあと、7～8ヵ月、9～10ヵ月、1歳と何度も子供の成長を確認できる機会がありました。しかし、青森では4ヵ月健診のあとは、1歳6ヵ月まで健診等がなく、とても心配しています。1歳までにあと、1回くらいあるといいと思いました。

③職員、医師の対応に関する苦情、改善要望	
1	職員の対応にバラつきがあるため、対応の良い職員と悪い職員の差が大きいと感じる。子育てに対して不安のある人もいるし、慣れている人もいるはずなので、安心して健診を受けられるようにしてほしい。また、健診中、空きブースとつまるブースがあるので、効率よく診査を進めてほしい。職員も忙しいのはわかるが、態度に出したり、キツイ口調は本当に不快である。
2	約束(言語の件で、1年後の3歳時にまた、連絡するということがあった)は、守って欲しい。
3	歯磨き指導・・・直接磨いて教えて頂きたい。
4	「そんなことも知らないのか?」「知ってて当たり前」というような医者がいた。良い先生ほど都合がつかないかもしれないが、医師選びをもう少し考えたほうが良い。
5	態度の悪い医師がいて、聞きたい事が聞けないことがあったので、何とかしてほしい。
6	先生(小児科、歯科など)の雰囲気は怖くて、少し気になることがあっても聞きづらい。
7	職員の人気が気持ち悪いというか、流れ作業的な感じで、冷たく接しているような気分になる人もいた。それで相談したくても話がうまくできなかつたりする。
8	栄養士の方が指導しているのなら・・・。 ネームプレートにも、栄養士と記載したほうが、もっと説得力がアピールできるのではないかと思います。
9	健診時、子供を産んだことがないような若い方に相談しても何もならない。相談員は、子育てを終えたようなベテランの人をお願いしたい。
10	子供の発達について不安を訴えている保護者に対し、あまりに安易に「大丈夫」と言いすぎている面を感じる。
11	病院の先生や保健師さんの雰囲気が冷たいと思う。みなさんは、たくさんの子供を見てきて“これくらい”と感じているかもしれないが、ほとんどのお母さんは、“初めて”で不安だらけなんです。とても孤独感を感じながら育児をしているかもしれません。もっと話しやすい環境をお願いします。
12	内診で、前後する時があった。診察する時に名前と番号を十分確認していただきたい。
13	職員の対応の差が激しい。良い人に当たるといいが、事務的な人だと話しづらい。
14	全体的に人員にゆとりがないのか、バタバタしていた。
15	受付の人の対応が暗かった
16	画一的に平均に達していないと、発達に問題があるかのように判断されたことが一度あり、「一人一人、違うので・・・」という意見に耳をかさず、子供のこともっと関心を持って・・・という感じでした。こちら心配している話を聞いての結論だったので、一日中不愉快でした。話をきちんと聞かずに決めつけてしまうのはやめてほしいです。
17	流れ作業的な所が嫌である。
18	会話など、話し方が事務的に感じる。診てくれる先生も、スピード重視的な感じ。気になる所等ないか、もっと聞いて欲しい。
19	育児に関して困っていることを聞いたら、親身になって対応して欲しい。
20	手際が悪すぎて、待ちくたびれました。(西部市民センター) 診察のお医者さんも、いっぱい待たされ怒ってました。保健師さんに相談しても「大丈夫。そのうち何とかなるよ」と・・・。答えになってません。
④診査会場の改善(駐車場確保、遊具や遊び場・飲み物の提供など)	
1	駐車場が少ない。
2	健診目的ではありますがイベント的に子供が飽きない事をしてほしかった。
3	子供が飽きて、ぐずる事が多いため、待ち時間でも楽しくすごせるようにしてほしい。例えば、子供の為の絵本の読み聞かせを増やす、キッズスペースの充実など。
4	会場に入って、赤ちゃんとお母さんが待機する所が不満。下が固い、場所の割に寝かせる所が狭かった。私が行った時は4か月の時で、2つに分かれたのですが、自分だけ女の子1人だった。もっと、他の女の子と見比べてみたかったのに、それができなかったのが残念でした。
5	1回に受ける人数が多いため、待ち時間を過ごしやすいようにしてほしい。
6	椅子も少なく、それを改善して欲しい。待ち時間結構つらい時もある。おもちゃ少ない。
7	待ち時間(並んでいる時)に、飽きさせないようにすれば良いと思います。
8	4か月健診で赤ちゃんを待たせる時は、裸でバスタオルにくるんで待っている時間が長いので、前開きのシャツ等を羽織って待たせるのはどうでしょうか? バスタオルだと動いてすぐ、はだけてしまうので。
9	終わった後、ジュースか何か配れば良いと思う。

10	荷物を預かってくれることや、おっぱいをあげる場所を増やす。子供をゴロゴロさせられる場所を作るなど、色々工夫して頂きたい。
11	十分な駐車スペースの確保。
12	待ち時間が長いと、子供が飽きてしまうので、絵本やおもちゃが置いてあると良いと思いました。
13	4ヶ月児健診でマットに寝せる時、隣との距離をもっと、離してほしいです。バッグもあるので、狭く感じました。
14	駐車場が狭く、車を止められず、毎回困りました。
15	遊んで待っていただける場所を設けてほしい。(列に並んで待っているのは、結構つらいです)
16	問診等、完全個室で行った方が良い。
17	待ち時間に子供が飽きない様な工夫。
18	番号札を渡すなどして、遊び室を1部屋づくり、相談に対応してはいかがでしょうか？
19	本もいいが、小さいおもちゃ等もいいのでは？ 離乳食もいろんな野菜、食品等の冊子、見本があればいいと思う。
20	駐車場が足りない。
⑤健康診査時における相談体制の充実(相談スペース、悩み相談、情報交換会など)	
1	兄弟がいる場合、同じ内容を聞くだけでなく何かプラスしてもらえるとためになる。
2	言葉の遅れなど気になる点について今後どのように対応していけば良いか具体的な話を聞きたい。また、1歳半健診から3歳までと間隔があるので、サポートを忘れずにして頂けると心強いです。
3	子育て相談ブース的な所があれば、周りを気にせず相談することができた気がする。
4	歯のお話など、ちゃんと聞けないことが多いので、何人かで、ゆっくり聞けるようにしてもらいたいです。
5	母親は自分の時間がないので、健診の時に、子供を預かってくれて、母親のコミュニティー形成として2時間位、お食事会を無料で行う等の特典があっても良いと思う。
6	集団健診は人数も多い為、ゆっくり相談できなかった。もっと、相談する時間を確保してほしい。
7	個別に相談できる時間をもっとほしい。その場限りのアドバイスだけでなく、アフターフォローしてもらえると良い。
8	あまり相談できない。
⑥健康診査等のお知らせについて(迅速性、内容など)	
1	よければ、年間計画みたいなのがあれば、仕事を休みやすいし、相談等ができる。以前はカレンダーがあったような気がする。
2	日程の事前案内は、1ヶ月以上前に行ってほしい。休みの希望提出に間に合わない。
3	仕事の休み希望のため、もっと早く知らせたい。
4	案内は早めに欲しい。(2ヶ月前位)職場の休みの調整に関わるため。もっと個別対応を考慮して欲しい。
5	事前案内届くのが遅い為、仕事の休みが取りづらい。
6	日程の連絡を、もっと早くしてほしい。健康診査にかかわらず、年間の行事、決定しているものは4月に配布する等。以前、浪岡町の時は、カレンダー(健康カレンダー)に福祉行事等が記入されたものが配布され、それに沿って休みをとっていた。
⑦診査以外の情報提供(子育て情報、保育情報など)	
1	受診者にアイデアを求めるよりも、こう育てた方が良いなどのアドバイス、知識を植えつけてほしい。人員などで出来ないのであれば、リンクで良いので指針となってほしい。
2	様々な機関からの子どもの成長に合わせた情報提供、及び学習会。
3	子育ての情報が少ない
4	タバコの害や、歯磨きの仕方、離乳食など、大変参考になるいい話をされるが、配布される資料は皆無。子供の相手をしながら聞くので半分位しか記憶に残らない。会場で話されることと同等のものを渡してほしい。タバコなど、なぜダメなのか家族に説明したくても、根拠となる資料がなくて、結局うまくやめると理論的に言えない。市では、これだけやってるのだから、あとは母の責任でと、突き放されるように感じる。市として子育てをよくしたいという姿勢に感じない。
5	初めて子育てするママは不安だらけで分からない事が多い。他自治体では、離乳食の進め方を、初期、中期、後期にそれぞれ公共施設で集まり、細かく指導してくれました。また、他の自治体では、歯磨き指導が徹底していて、乳歯の時のブラッシング仕上げ磨きの大切さを、具体的な写真を使って丁寧に教えてくれ、定期的にフッ素塗布してくれた。一人目の子供でしっかり教えてもらえれば、次の子の時にもつながるので、ぜひ青森でもやってほしい。

6	子育て支援の情報提供はあったのかもしれないが、あまり目にとまることがなかったように思う。
7	健診の時に、子育て支援の方が実際に来て支援内容を説明する。(待ち時間を利用して)(歯にいい、体にいい)簡単にできる手作りおやつなどの作り方を実際やってみせる。試食させる。
8	離乳食の進め方がよくわからなかった。
9	診査会場で支援センターや保育園等の情報が分かるようになったらいいなと思う。母子で参加できる施設やイベントなど。
10	子育て支援の情報提供について、子育て制度を幅広く分かりやすく教えてほしい。
11	予防接種の具体的な指導があれば助かります。何ヶ月、何歳までに、どの注射を受けるとか、日程の組み方とか、組み方用紙とか
12	子育て支援の情報を市でやっているもの以外の幅広い情報がほしい。
13	子供がまだ、0才児なので、4か月児健康診査にしか行っていませんが、離乳食の進め方の説明の時に、食べる量など具体的な写真を使って教えていただけたら…と思います。
14	トイレトレーニングの方法や、箸の持ち方等、教えるのが難しいことをうまくトレーニングできる方法を教えてほしい。
15	具体的な情報が欲しい。食に関して、色々な情報があって、健診では、疑問が解消しない。
⑧診査対象児以外の子どもの受け入れ(一時預かり、サポートサービスなど)	
1	兄弟姉妹を連れて行かなければならない際に、手助けがあると良い。
2	4か月健診の際、最初の受付のときは子供を抱っこしてしてくれたので、その間に靴を脱いだりコートをハンガーにかけたりできたが、健診が終わって帰る時は抱っこしてくれるスタッフがおらず、特に真冬だったので、ぐずる子供を抱きながらコートを着たりブーツを履いたりするのが大変だったので、もし可能ならママのお手伝いスタッフを増やしてほしい。
3	職員の方と面談している間、手が空いている職員に、子供の面倒を見てもらいたい。
4	悩み相談の時、子供が気になってゆっくり相談できないので、子供が遊べる場所や、面倒を見てほしい。
5	母親がトイレに行く時など、困るので、もっとボランティアなどの手を増やしてほしいです。
⑨その他	
1	1ヶ月目の保健師が家に来る以外にも、3ヶ月、6ヶ月など、一番育児が大変な時に相談に乗ってもらえると助かります。
2	生後1ヶ月健診にもクーポンや補助が欲しい。
3	自宅での視力検査は、子どもがふざけて遊んでしまい、困りました。
4	出産の項目で、普通分娩以外は異常というふうに書かれていて、帝王切開で出産した私にとっては、異常なことなのかと、ショックでした。異常でない表現の仕方にした方が良くおもいます。
5	3歳児の視力検査できない子が多いのでは？ 他県等、やり方をもっと調べてほしい。
6	最後の紙芝居のお知らせは、ネットの普及で、ある程度知りえている情報なので、なくてもいいのでは。
7	病気(うつるもの)なのに、来ている人もいたので、病気の際は、控えるように呼びかけてほしい。
8	1ヵ月健診でもらえる絵本は、絵本だけでなく、おもちゃなども追加し、選択させてほしい
9	絵本の読み聞かせは、任意にして欲しかった。ぐずって、それどころじゃなかった。
10	カウプ、BMIの記入
11	保育所で働いているのですがもっと保健士や健康診査で疑問を訴えた子供に対し、その子が通っている園に問い合わせ様子を見にきたり、踏み込んだ見解がほしいと思う。
12	新版K式の実施方法が教示どおりでなかった。
13	フッ素を市でも土日やってほしい。
14	体調や気持ちのアンケートに丸をつけても、何も解決しない。丸をつければSOSに気付いてもらえるかと思っても、何の対応もしてもらえない事があった。でも、その家庭の環境にまで足を踏み入れなければいけないので、解決は難しいと思う。
15	なかなか仕事の休みが取れないので、健診時にフッ素塗布行えないのか？ 券あるも未だに行けず…。

問3-7【記載内容】

①ジュース、甘いものは控える(おやつ時はお茶や水)	
1	甘い物が好きなので飲み物はお茶と決めて飲ませています。
2	なるべく、おやつに気をつけている。甘いもの、やわらかいものではなく、おかき、せんべい等食べるようにしている。
3	甘いものはひかえる。
4	ジュース(アクエリ)は、水で3~4倍にうすめている。
5	主に、水か麦茶を飲ませている。
6	砂糖をとらないようにして、果物にしたり、せんべいにしたりしている。
7	飲み物は主に、お茶。おやつには、チーズを食べさせてます。
8	おやつ時は、ジュースではなく、水またはお茶にしている。
9	甘いものや、味のあるものは、あげない。
10	あめ、チョコなどむし歯になりやすそうなものを、おやつとして与えない。
11	ジュース類は、あまりとらない。
12	甘いものは1日2個くらいと決めている。
13	キャラメル、ハイチュウを控える。
14	食事時、お茶や水を飲ませるようにしている。ジュースは量を決めて、それ以上飲ませない。もっと欲しがる時はお茶
15	ジュースなどあまり飲ませず(お茶、水が多いです)
16	ジュースはあまり飲ませず、麦茶中心で飲ませている
17	お菓子とジュースは、一緒に出さないようにしている。お菓子の時は、麦茶。アメ、ガム、ハイチュウなどの高リスクなものを食べた後は、お茶を飲ませるか、うがいをしてもらっている。
18	ジュースを飲まない。
19	あまりお菓子を置かない。
20	ジュースは買い置きしない。おやつは、できるだけ甘すぎないものを
21	寝る30分前から甘い物(食べ物、飲み物)禁止
22	あめや、キャラメルは与えない。固いものを良く噛んで食べさせる。
23	砂糖使用のお菓子(飲料)はなるべく控える。
24	キャラメルなど、歯に残りやすい甘い物は与えない。
25	ペットボトルのジュース、スポーツドリンク類は、必要最小限にしている。
26	あめ、ガム、チョコは食べさせない。なるべく麦茶を飲ませる。(おやつの際に、たまにジュース)
27	あめ、チョコレートは、さけるようにしている。
28	虫歯になりやすい、お菓子をなるべくさける。
29	甘いジュース類を飲む習慣をつけない。専ら、お茶しか飲まない様になりました。
30	甘い物は、ほとんどあげないようにしている。
31	砂糖が入っている飲み物を飲ませないようにしている。アメやチョコレートを与えないようにしている。
32	あめ、チョコは、あげない。
33	食事(おやつなど飲み物)に注意する。
34	食事時の飲み物をできるだけお茶にし、ジュース類をひかえる。
35	水を飲む、お茶を飲む。水やお茶を与えると、祖父母にそんな物を子供に与えるなんてかわいそう、子供には甘いジュースを好きなだけ与える方が良いと言われるので、別居した。
36	家では、おやつ等あまり与えておらず。
37	ジュースより水をよく飲ませる。
38	保育園でのおやつは、野菜中心。家でも甘い物は控えめにしたいと思っている。
39	ドリンクはなるべく、お茶か100%ジュース。砂糖いっぱいジュースよりは、マシかなと思ひまして。
②食後のケア(お茶や水を飲む、うがいをする、ハミガキする、ハミガキ後は食べさせないなど)	
1	家に居る時は、歯磨きの時間を長めにする。
2	寝る前や、食べた後に必ず歯磨きしている。
3	食後に、お水を飲ませる
4	なるべく食べた後は水を飲ませるようにしている。
5	ジュースを飲ませた後は水を飲ませています。

6	アメ、ガム、ハイチュウなどの高リスクなものを食べた後は、お茶を飲ませるか、うがいをしている。
7	食べたら、磨くようにしている。
8	甘い物を食べたら、お茶を最後に飲ませる。
9	うがい
10	甘いものを食べた後は、ぬるま湯で口をゆすぐようにしています。
11	食後、口をゆすがせる。
12	食べた後にはいつも、水かお茶を飲ませている
13	食事やおやつの後、うがいをしている。
14	甘い物を食べた後は、お茶を飲ませている。
③大人による仕上げみがき、ハミガキ確認、フロスの使用	
1	フロス
2	毎日の歯磨きのみ
3	フッ素と毎日の歯磨き
4	毎日歯磨き
5	朝、晩は必ず仕上げ磨き、晩はフッ素ジュレ、フロスをやる。
6	最低でも1日1回は、仕上げ磨きをする。
7	夜に寝る前は必ず歯磨きをする。
8	糸ようじ。
9	1日1回の歯磨き
10	フロスを使っています。
11	フロス
12	フロス
13	仕上げ磨き後、フッ素とフロスを使っています。
14	仕上げ磨き
15	フロスで隙間をとる。
16	夜の仕上げは、丁寧にする。
17	必ず大人が仕上げ磨きし、歯のチェックをしている。
18	歯磨きだけ
19	できるだけ、毎日、糸ようじと歯ブラシをする様にしている。必ず、仕上げ磨きをしている。
20	たまにフロスも使ってます。
21	毎日、フロスで歯間掃除。
22	たまに、糸ようじ
23	朝晩の歯磨きをしています。
24	仕上げをしっかりと行う。
25	寝る前は、大人が仕上げ磨きをする。
26	糸ようじを、たまに使用しています。
27	フロスをしている
28	デンタルフロス
29	仕上げ磨きをなるべく丁寧に行っている。
30	朝晩の仕上げ磨
31	歯磨きをさせる。
32	夜、寝る前、必ず仕上げ磨きをするようにしている。
33	仕上げ磨きをする。
34	極力大人が仕上げ磨きを行っている。
35	歯磨き
④フッ化物歯磨き粉、キシリトール等を使用	
1	キシリトール入りガムを与えている。
2	キシリトールのタブレットなどを食後3回食べさせています。
3	毎朝のハキラ
4	キシリトール入りの歯磨きジェルを使用しています。
5	フッ素配合の歯磨き粉(ジェルタイプ)を使用し、朝、夕磨いている。
6	歯磨き後に、ごほうびとしてフッ素入りの歯磨きラムネをあげています。

7	キシリトールのガムをかんでいる。
8	フッ素ジェルでの歯磨き
9	歯磨き後、キシリトールのタブレットをあげています
10	キシリトール入りのガムをかませたりしている。
11	歯科医で購入する歯磨きペーストの使用。
12	キシリトールの虫歯予防のラムネを食べています。
13	キシリトール配合のタブレットお食べさせる(食後)
14	キシリトール100%タブレットやガムを食べさせる。
15	キシリトールタブレット、おやつの後、歯磨きの後食べてる
16	キシリトール(子供用)
17	キシリトールのガムを食べさせています。
18	フッ素スプレーの塗布。フッ素入りのタブレット。
19	キシリトールのガムを噛ませたりしている。
20	キシリトールのタブレットを食べさせている。
21	キシリトールタブレットを与えたりしています。
⑤歯科での定期検診(シーラント、フッ素塗布含む)	
1	定期的に歯医者へ行っています。
2	定期的な歯科検診
3	定期的に歯医者へ
4	定期的に歯科で診てもらっている
5	3~4ヶ月ごとに、歯医者さんで、フッ素を塗っている。
6	定期的に歯科受診している。
7	フッ素塗布4か月に1回
8	2か月に1度、歯科検診をうけている。
9	定期的に歯医者に行っている
10	月に一度、歯科医院で汚れ取りを兼ねて、診てもらっている。
11	定期的に歯科医でフッ素を塗ってもらっています。
12	定期検診、必要時の治療程度です。
13	歯科医にて、シーラント(虫歯予防)
14	3か月に1回歯科へ予防に行っている
15	定期的にフッ素を塗布しています。定期検診
16	定期的に歯医者に行っている。
17	定期的に歯医者に見せる。
18	歯科医院への定期受診3~4か月に1回のペースで。定期検診と、フッ素塗布。
19	定期的に歯医者で検診を受けている。
20	定期的な歯科メンテナンス
21	歯医者に定期的に通い、フッ素やシーラントを塗布してもらっている。
22	定期的に歯科医の検診を受けている。
23	フッ素塗布、定期検診
24	定期的に歯科へ通院
25	定期的に歯科受診
26	定期的検診
27	定期的に歯科でフッ素を塗っている。
28	今後、定期的にフッ化物塗布をしようと思っている。
29	月に1回、歯科医院で定期検診している。
⑥親と一緒にスプーン等は使わない	
1	子供が生まれてから1年間は、親から虫歯が移らない様に、とても気をつけました。それによってか、姉も5歳児も、それほど気を使わずとも、2人とも虫歯になった事はありません。
2	同じコップ、スプーン等を使わないようにしている。(子供専用)口移しなどしない。
3	大人と食器を分ける。はし、スプーン等、共用しない(祖父母への協力依頼)
4	口移しはしない。
5	同じ箸を使わない
6	健診で注意された事(親、兄弟で箸、コップ等の共有をしない)を守っている。

7	食べさせる時、介助用の箸を準備し、口移しや親と同じ箸を使わないように気をつけている。
8	大人が口をつけたもの(食べ物、箸など)は、与えないようにしている。
9	その他、出来るだけ、口に入れる(箸、スプーン、フォーク)は、大人とは別にしている。
⑦歯、むし歯について教える	
1	歯磨きの絵本を読み聞かせる。
2	子供に、どういう食品が虫歯になりやすいか伝える。
⑧子どもがハミガキを嫌がる	
1	嫌がっても、極力大人が仕上げ磨きを行っている。
⑨その他	
1	歯がはえていないため、何もできません。
2	歯科衛生士なので、なるべく歯磨剤などは、歯科専用に使っています。
3	フッ素塗布(無料)でやってくれるイベントに行き相談やフッ素塗布をやってもらっています。保育園によっては、歯のフッ素塗布をしてくれるという事をママ友から聞いたのですが・・・市内全ての保育園でフッ素塗布をやってもらえるように市から保育園へ指導してもらいたいです。(小さい時からの虫歯予防は大事だと思います。)
4	回数を決める
5	むし歯進行止めの塗布
6	先日、歯が出てきたばかりなので、今の所ありません。
7	固いもの、食物繊維の多いものを食べさせるなど、食事内容に気を付ける。
8	歯ブラシは仕上げ用と子供用と分けている。
9	どうしても毎日の歯磨きまで手が回らないのが現状。 妹がいて、手が回らない。
10	ダラダラ食べさせない。
11	夜20時以降は食べない。
12	時間を決める。
13	3食と、おやつの時間以外はダラダラ食べさせないようにしている。
14	まめに、口腔内に変化がないか、見てチェックしています。
15	夜の歯磨き後は、何も飲食しない。したとしても麦茶のみ。
16	ジュースや果物などの甘い物は、時間を決めて食べさせるようにしています。
17	一緒に歯磨き(鏡使用したり、真似したり)
18	フッ素が健康上問題がある可能性があるのをネットで見たので、実際やっていいのか、悩んでいる。
19	ダラダラ食べさせない。

問5-2【記載内容】

①遊び場がない(少ない、狭い)	
1	とにかく遊び場が無い事。デパート等に行くしかない為、不便を感じる。
2	こんなに雪が降るのに降雪期の遊び場があまりにも少ない。そのためその時期は大変混雑するし、乳児は幼児が走り回る場では危険を感じる。ある程度大きくなれば雪遊びできるが、そうでない小さい子が遊べる所が少ない。狭い。
3	近所に遊び場がないので、家にこもっていました。もっと場所を提供してもらいたい。
4	降雪期は子どもが遊べる広々とした場所が少ない。
5	遊び場がないと感じます。
6	遊び場がない。
7	遊べる所を知らない。
8	降雪期の子どもの遊び場自体が無いような気がします。
9	大人の目がちゃんと行き届き、なおかつ子供達(乳児、幼児、小学生)が、思いきり体を動かせる場が、なさすぎる。
10	イベントのみで遊び場ない。
11	雪が降ると遊ぶ所が全くない。
12	降雪期の遊び場は有料な所が多い。特に市内には遊園地もないし、子供たちのめいっぱい遊べるところがない。
13	子供の遊び場が少ない。

14	小さい子供の遊び場がない。無料施設がない。
15	思いっきり遊べる広い場所や遊び場が欲しいです。
16	どこも場所が無い、出来れば大きい子と小さい子がいる家庭でも、家族で行ける場所がほしい
17	安全で、十分な広さがある場所が近所にない。
18	降雪期の遊び場が近くにない。
19	思いきり体を動かす場所が無い。(料金が発生したりする)
20	近くに遊ぶ場がない。
21	冬になると遊べる場所が無くなるので、無料の施設を作ってほしい。
22	ほとんど遊び場がなく困っている。小学生も思いきり遊べる所ほしい。
23	遊べる場所がない。
24	歩いて行ける場所がないのです。
25	遊べる場所がない。
26	近場に遊び場所がない。
27	親も子供も楽しめるような施設が少ない。
28	徒歩でいける場所に遊び場が欲しい。
29	遊び場所がない。
30	幼稚園以外で、無料で広くて、楽しく安全な遊具がたくさんあり、子供が思いっきり遊べる空間がほしい。
31	青森市はとにかく遊ぶ場所(室内)がない。3歳以下の子供がたくさん遊べる施設を作ってほしい。
32	遊び場に限られる。
33	遊べる場所が限られている為、いつも同じ場所になってしまったり、家の中で過ごす事が多くなってしまう。
34	降雪期の遊び場はないです。
35	遊ぶ場所がない。
36	近くにない。
37	お金がかかってもよいので、体を動かせる場所がほしい。
38	遊び場がない。
39	雪が降って遊べる場所は、ほぼない。
40	冬場でも体を動かせる場所は雪国では必要だと強く思います。
41	無料の施設が少ない。
42	降雪期以外に遊んでいる場所は立ち入り禁止となり、遊び場所がない。
43	広く遊べる場所が無い。ちょっとしたスペースは地域の雪捨て場になる。だからゲームばかりになるのでしょうか…。休日は山へスキーに行く事が多いのですが。
44	雪山ばかりで、遊べる所がない。
45	遊び場がない
46	気軽に行ける所がない。
47	遊ばせる場所がない。
48	遊ばせる場所が本当にない
②屋外で雪遊びができる場がほしい	
1	雪の滑り台などで遊べる所を増やしてほしい。
2	外で遊ぶ場所は少ないと思う。
3	雪遊びする場所がない。
4	降雪期ならともかく、降らなくても近くに遊ぶ所がありません。空き地を買って、公園作って欲しいです。近くに子供たちも少ないので、あまり、交流する機会がありません。子育て支援だと色々やっている様ですが、遠くに足をのぼすのではなく、身近な場所で自然体で気軽に交流するには公園が良いと思います。きれいな公園があれば、近所の少ない子供達も集まってくるのではないかと
5	昔は、広場にスロープがあって、ソリ等できたので、そういうのが、あってもいいと思う。
6	雪が子供は大好きなので、かまくらやすべり台や雪合戦等、気軽に遊べるといいと思う。
7	ソリ遊びが出来るスロープが近所にあるとうれしいです。
8	雪遊びできる公園がほしい。(降雪期でも、トイレ使用可能にしたりすること。)
9	スロープなどを公園に作ってほしい。
10	わくわく広場など、大きい公園で冬でも遊べる様になったらいい。(ソリ遊びなど)親子教室みたいなものを開催する。

11	閉塞でなく、公園を利用して、かまくらや滑り台を作って、遊ばせる等しては
12	公園がほしいです。
13	雪を利用して安全に遊べる場所を用意して欲しい。
14	大きな公園が雪で埋もれてしまうので、そり遊びができるスロープがあれば良いなあと思っています。
15	遊ぶ無料の施設がない。大きな公園で雪遊びしたいが、駐車すら出来ない時がある
16	スキーやそりを楽しむ場所が少ない。
17	ソリ遊びすら近所でにくい環境
18	雪祭りの時だけでなく常に遊べる、雪の滑り台とかあればいいなあと思っています。スキー場まで行くのはちょっと大変なので。
19	広いスペースで、雪で遊べる所があればいいと思います。
20	車で山まで行かなければソリ遊びも出来ない。
③屋内で遊べる場がほしい	
1	室内遊具のある場所(無料、もしくは安価)がない。雨の時も可。
2	デパートの遊び場以外にも、広い室内で遊べる場がほしい。ハイハイの子でも遊び回れる所がほしい。
3	足りない。室内の遊び場が必要。浪岡地区にも「ヒロロ」の様な施設
4	室内でも遊べる施設がもっとあれば良いと思う。
5	室内で遊べる所が少なすぎる。
6	屋内で広い遊び場があれば良いと思う。
7	東方面で、室内で遊べる場所がない。保健大はあるけど、すごく狭い。
8	室内の広い遊び場が市内にあったらよいと思う。
9	室内でも幼児から学童まで楽しめる施設があると助かる。(遊具などがたくさんある)
10	室内で遊ぶ場所があまりない。
11	室内でもおもいっきり体が動かせる所が欲しい。
12	室内で思いきり体を動かせる遊び場が少な過ぎる。室内の遊び場は有料が多い事にも不満を感じる。
13	室内で体を動かせる施設が少ない。エルムのすくすくや八食センター2Fのような場所がほしい。しかも無料で。
14	雪が降ると、青森は子供の遊び場(屋内)は、少ないと思います。工夫して、市民体育館やイベントをさがしていますが、(上の子もいるので)冬休みの思い出的なものを作るのは、働く親には難しく思います。
15	室内で遊べる場がない。大型児童館、科学館などの施設があれば良いと思う。
16	遊び場が少ない。無料の広い室内遊び場がほしい。
17	身体を思い切り動かせる室内遊び場があると良い。
18	無料で遊べる室内の遊び場がない。
19	やはり冬は寒いので、かぜひくからと思い、どうしてもイトーヨーカドーやジャスコなどに行って、無駄金を使ってしまう傾向に。室内のテーマパークなど体を動かせるような施設があれば活用したい。
20	室内で特別な手続きなく、誰でも遊べる所があればいいと思います。(弘前ヒロロスクエアのような場所)
21	室内の遊び場が少ない。有料。
22	冬の屋内での遊び場が少ない。冬だからこそ、思い切り体を動かして遊べる子供専用施設を要望したい。
23	施設中で遊べる所が少なく、結局ゲームセンターなどになってしまうので、施設中でも体を思いっきり動かせる所が欲しい。
24	ヒロロのように室内の広い遊び場がもっとほしい。(昔アスパムのエネ館にあったアスレチックみたいなのか)
25	青森には室内の遊び場が少なすぎると思う。ショッピングセンター以外でレジャーランド的なものが欲しい。雨が降ると思いきり遊べなくなり、子供の成長にあまりいい影響を与えない気がする。
26	室内で遊べる場所(体育館とか)を個人に提供してほしい。結局、ゲームセンターのようなところに行ってしまうので。
27	体を思いっきり動かさないので、太ったりイライラする。アピオで遊ばせているが、一緒に兄が、小学生になり、使えなくなって困っている。小学生も遊べるアピオがあるといい。
28	西部地区に室内遊び場が欲しい。新青森駅にあったら人が集まるのではないかな

29	体育館のような大きな施設があれば良いと思います。
30	近所に室内で遊べる施設がないので、不便を感じる。
31	遊べる場が限られているので、そのような施設を増やしてほしい。弘前のヒロロのような場所がほしい。
32	室内で思いっきり遊べるような広い施設が少ない。
33	外で、雪遊びできる時は良いが、吹雪で外遊びできない時に、気軽に出かけられる場所がない。
34	雨や雪の日に、体を動かして遊べる無料の施設を作してほしい。
35	岩手の子どもの森のような、屋内の施設がほしいです。
36	屋内の無料の遊び場が少ない。
37	雪遊びもいいのですが、屋内で遊ぶ場所がないので困っています。小規模でも公園の室内版みたいなものがあれば…とっています。
38	冬は雪遊び以外、室内無料で遊べる所がない。
39	室内で無料で体を動かして遊べる場所がない。どんな施設があるのかわからない。
40	体育館とまではいなくても、体を動かして遊べる所があるといいのですが…。
41	屋内で、お金をかけずに遊べる所があまりないし、あっても十分なスペースがなく、危なく感じることもある。
42	屋内で遊べる公園や遊園地のようなものがあればいいなと、思う。岩手県の「こどもの森」のような。
43	室内で遊べる場所がない。
44	室内で遊べる場が少ない。
45	弘前のヒロロのように、室内でも遊べる場所(無料で)があれば良いと思う。
46	弘前ヒロロにあるような遊び場が、もっとあればと思います。青森にも何ヶ所かあると思いますが、アウガは区切りが狭くて、利用しづらい。ワンフロア走り回れるとか…。
47	小さいうちはデパートなどで体を使って遊べる所があるが、学校に入ると、そうしたところが使えないので、室内で体を使って遊べる施設がもっと増えれば体力づくりにも役に立つと思います。
48	外で遊べない時は、わざわざ弘前などに行かないとダメだから大変です。浪岡にもあれば助かります。
49	まだ外で遊べないくらい小さいので、ショッピングセンター等の中にある遊び場で遊ばせたいが、設備の整っている所は数少ないので、わざわざ車を使わなくても行けるよう東部、西部いろんな場所にあればいいなと思う。
50	室内で体をたくさん動かして遊べる施設がほしい。
51	雪や雨の日に室内で身体を動かして遊べる場所が少ないと感じます。
52	室内で遊べる場所が全くないと思う。有料でもいいので、外と同じように思いっきり走ったり遊べる環境が必要だと思う。正直、冬場などを考えると、よくこの地で子育てが出来ているなあと思ったし、子どもがかわいそうだと感じた。
53	室内遊具場は少ないし…。探すのに苦労する。
54	雪の期間が長いからこそ、室内でしっかり遊べる場所が必要。
55	とにかく、室内で遊べる場所が少ない。有料でもいいので、のんびり遊べる場所が欲しい。小さい子と小学生を分けて遊べると、なお良い。
56	室内で思い切り遊べる場所があれば助かります。(青森駅ビルのもくもく広場は好きですが、可能なら、もっと大規模なものがあれば)
57	室内で遊ぶ場所も少ないので、思い切り遊ぶ機会があまりない。
58	室内で遊べる(遊具等)場所がほしい。無料か低料金で。
59	無料で遊べる場所があったら行きたい。(さんぼぼ、アピオには、よく行きました。)
60	室内で走り回れる施設があれば良い。
61	室内の遊び場が、他都市と比べ少ない。
62	室内で遊べる所が、本当に無い。ジャスコやイトヨーなど、そのくらいしかなく、思いっきり体を動かして遊べるような所が無い。
63	雨、雪が降っても遊べる屋内施設が市内に殆どない。
64	室内の遊び場が少なすぎる。
65	もっと、室内の遊び場を増やしてほしい。
66	弘前のヒロロの遊び場のような連日行っても、飽きないような広い場がほしい。青森にはラビナやアピオのような小さい場が点在していて利用しづらい。すぐ飽きる。

67	ショッピングセンター通いになってしまうので、室内でも体を動かして気軽に遊べる施設を増やしてほしい。
④除雪されていないので遊べない	
1	家の前の道路除雪がきちんとされていないため、外で遊びにくい。
2	除雪がされておらず、遊び場がない。家の前の駐車場で遊んでいて、駐車場に車がたくさん止まっていると遊べず家にこもってること多い。
3	駐車場の除排雪の不十分さ。立体駐車場が欲しい。
4	浜館に住んでいるのですが、支援センターまで雪が多くて外出がおっくうになります。雪かきをこっこの地域まで入って欲しい。
5	公園らしき所はあるが、除雪がされていない為、入れない。
6	公園は除雪していないので遊ぶ事が出来ません。遊具は使用出来ないのは仕方ありませんが、雪だるまを作ったり、ミニスキー等出来ます。公園に入れるようにして欲しいです。
7	歩道すら確保できないのに外で遊ばせられない。
8	降雪期だと、室内で遊ぶ事が多く、冬の雪まつり等のイベントに参加するだけで、公園では遊ばせる事が出来ない。雪山なら(モヤヒルズなどの)ソリなどでも遊べるが、近くの公園では設備されていないので容易に遊べない。
9	公園が使えるようにしてほしい。(広場で雪合戦できるように、埋まらないように少し、ならしてほしい)
⑤道路が狭くなるので遊べない	
1	道が狭くなるので危険。
2	車が危なく、雪遊びをしても十分な広さが無い。
3	家の前の道路の交通量が多く、幅も狭くなるため、雪かきを一緒にしながら遊ばせたいが、危険で、できない。
4	道路状態が悪く、遊ばせようとも思わない。
5	道路が狭くて危ない。つらら、排雪溝が危ない。
6	家の周りで遊ばせているが、車がすぐ近くを通るため、一人では絶対遊ばせることはできない。
7	すぐ道路なので遊ぶ場所が無い。
8	雪が高くなっていると、道路を歩かせるのも怖い。
9	家の前がすぐ、道路の為なかなか遊べない。
10	車がどこから出てくるか分からないくらい、積もっていて、こわい。雪が積もりすぎて遊ぶところではない所がほとんどである。
11	雪が多く道路も狭いので、あまり遊ばせる事が出来ない。家にいる事が多くなってしまうのでかわいそう。
12	家の前などに雪山を作っても、すぐ道路なので危ない。
13	除雪車がこわい
14	道路の雪が多く、狭いので外に出して遊ばせられない。
15	歩道の雪が多すぎて歩いていても姿が見えないので、外には出たくないです。
⑥公園が雪捨て場で遊べない(狭い、危険)	
1	公園が雪捨て場崖なので遊ばせたくても危険すぎる。広さがなくて外では遊べない。
2	いつも遊んでいる所が、雪捨て場。積もりすぎて遊べない。
3	子供がまだ幼児なので、雪の中で安全に遊べる場所が少なく、どうしても室内ばかりになります。公園も雪捨て場になっている所が多いので、小さな雪だるまや、かまくらが作る場所も限られていて...
4	公園が雪捨て場になっていたりして、そもそも外で遊ぶ場所がない。
5	雪山遊びは危険を感じるが、他に遊ぶところがない。
6	遊ぶ場所がない。ただの雪捨て場になっている。
7	除雪がメインで、広場だった所は、雪で遊べない気がする。
8	雪捨て場も狭く、雪がたまっているため、遊ぶ所はあまりなく、危険である。
9	冬は近場に遊べる所がない。空き地の雪捨て場の山から子どもがソリで滑ったりして、道路に出てくるのは危ない。
10	雪遊びを公園でしたくても、雪捨て場になっているため、危険
11	公園が雪捨て場になるため、遊ぶ場所がない。
12	公園が雪捨て場になっていて、あまりに高い山でソリ滑りもできない。
13	場所があっても、雪捨て場になっている場合が多いため、汚さと危険を感じます。
14	雪捨て場の雪山で遊んでいる子供を見かけるので、危険だと感じています。

15	ちょっと広い場所は、雪捨て場となり遊ぶ場所がなくなる。近所の雪捨て場では、子供たちが雪山に登って危険ではないかと思う。雪捨て場と、雪遊びができる(ソリができる坂とか)場所と区別できませんか？
16	公園が雪捨て場になっていて、外で遊べない。
17	雪の山の上に登って遊ぶ子供達が多く、危険。
18	公園は雪捨て場になり、どこも遊ばせるところがない。
19	雪で遊ぶにも、雪集積場になっていると危ない
20	いつも利用している公園が、雪捨て場になってしまうため、遊ぶ事が出来ないので困ります。
21	公園はどうしても、雪捨て場になってしまう。ただ捨てるだけでなく、積まれた雪で坂を作ってもらえたらいいなあと思う。
⑦既存施設を開放してほしい(体育館、公民館、校庭等)	
1	学校の校庭など、ソリやスキーで遊べる場所として開放してほしい。
2	近所に公園等ない為、市民センター等、開放してもらえると助かります。
⑧公園、施設への要望等(駐車場、利用料金等)	
1	アーケードのある公園があれば・・・
2	室内で遊ぶにも、お金がかかる。駐車料がかかる。子ども、大人の料金がかかるとなかなか行けない。授乳スペース足りない。
3	遊ばせたいがやはり機会が減ってしまう。親も雪かきで疲れてしまう。スキー場、スケート場の利用料金を子育て世代には優遇してほしい。大人料金が高い。
4	スキー場、スケート場の利用料が高い
5	外に新しい公園を作るなら、サンドームみたいなところに遊具を置いてほしい(建ててほしい) 屋根付きで、地面も土にすれば、降雪時も変わりなく遊べるし、夏は日よけにもなり、いいと思う。無料だと市も大変だから入場料として2~300円ならとるべき。
6	もくもく広場などに、連れて行きますが、駐車代も料金もで、お金がかかってしまう。
7	サンドームやマエダアリーナ内に子ども達が遊べる広い施設があればいいと思います。
8	ポールプールなどは時間制限があり高い。アウガのさんぽぽは、駐車場代が高くて行きたくても行けない。
9	やっぱり有料なのは二の足踏みます。
10	冬季だけでも中央市民センター内で未就園児が遊ぶ部屋があればいいと思う。
11	スキーetcやらせたいので、モヤヒルズ等、無料にしてもらいたい。
12	各スーパーに、遊ぶスペースがあれば助かります。(大きなスーパーやショッピングセンターまで遠いので)
13	イトーヨーカドーやサンロードなど、買い物に行く先がもっと、遊び場として充実していればと思う。
14	市民センターが近くにあるが、おもちゃが少ない。
15	室内で遊んだり、本を読んだりする場所を「あぴねす」などに、冬期間だけ設置すれば良いと思う。
16	この前の冬は、アピオが工事中で使用出来なく、大変困った。アウガのさんぽぽ等は駐車代を気にして、長居出来ない。無料時間を延ばして欲しい。
17	弘前の支援センターのように、アウガなどの広いスペースに遊ばせる所がほしい。
⑨その他	
1	体を動かして遊べる施設が欲しい。あるなら、教えて欲しい
2	雪かきの手伝いは融雪溝が危なくて気が気でない。
3	まだ、小さいのでない。
4	雪は、積もるものだし、仕方がない。
5	下の子がまだ小さいので外で雪遊びもできず困る。
6	すぐ近くが川なので、なかなか遊べない。車でどこかへ行って遊びに行くことが多い。
7	雪国なんだから、しょうがない。雪で遊ぶ。
8	屋内の場所となると限られてしまい、バスなどでは行けない場所が多い。
9	家の前でしか雪遊びは出来ないけど、屋根からの落雪が心配で、ほぼ家の中で過ごしている。
10	冬だけでも、18:00まで、遊べる場所がほしい。ママランティの様に場所を借りてやってほしい。
11	危険な所が多く、外では遊ばせられない。
12	雪が多すぎて、遊び場どころじゃない。
13	子供だけでなく、親もゆったりできるスペースも欲しい。
14	西方面にも、無料で遊べる施設がほしい。

15	雪が多く、屋根からの落雪の危険もあり、あまり外に出せない。
16	自家用車がないと、どこにも行けない。
17	家の庭
18	公園があるので、そこにたまった雪で遊んでいます。
19	室内で遊ぶことが多く、ジャスコ3F、イトヨ2Fのフリー広場で遊びに週1位で行くのですが、冬休み期間になると小学生の子供達が危険な遊びをする子が多いので、安心して遊ばせられなくなる。滑り台の上からジャンプをして、その子の親は注意しないで笑っているだけなので、ハイハイ時期の子、幼児はその場にいらなくなり、帰るしかなくなる。
20	自分達が小さい頃は、公園や空き地へ行って、子供達で坂を作ったり、雪だるまを作って遊んだが、最近の子供は自分たちで遊び方を見つけることができない感じがします。
21	ほとんど家の中でだけで、遊びます。近くに公共の施設もないので、出かける事が少ない。
22	冬は、ほとんど身体を動かして遊ぶ場所へ行けずに、買い物など中心の生活になる。
23	子供が小さいので、まだ遊べないが、将来、遊ぶ場所が近所にほしい。
24	遊び場があっても遠い。お金がかかる。
25	雪祭りも新町になってからは、つまらないようです。
26	雪遊びしても、1時間が限界。
27	雪が降ると外で遊ぶことが難しいので、屋内で遊べるところに連れて行くことになるが、有料だったり、狭く混んでいるため、なかなか連れて行けない。
28	ショッピングセンターに行くしかない。
29	空き地があるので、助かっている。
30	雪捨て場も少なくなってきて、以前は出来ていたソリ遊びも出来なくなった。
31	降雪期の子供の遊び場というのは、自宅の近くにはなく、商業施設の遊び場に行くためには、車で40分もかかる。
32	敷地内のスロープで遊ばせるくらい。
33	車が1台しかなく、通勤で主人が使用している為、普段はバスや徒歩です。アピオ等、市の遊び場はバス等の本数が少なく、また冬期は交通ダイヤが乱れるので、もう少し交通の便が良い所に公共の遊び場があればうれしいです。
34	雪捨て場で遊んでいる。危険なので声がけをするが家の中だけで遊ぶのはストレスが溜まるだろうなあとと思う。冬場でも体を動かせる場所は雪国では必要だと強く思います。
35	車がないと行けない場所が多すぎる。(県外から嫁いだため、車の運転ができず、また交通機関も少なすぎて使えません)
36	車なしでは遊べる場に行けない。
37	新町は駐車料金がかかるし、ゆっくりご飯を食べれて、長居できるようなキッズスペースとカフェが併設されている所も無い。不満しかない。遊び盛りの子供がいる人は、みんな思っていると思う。
38	除雪後の雪の塊が、保育園までの通り道に、ごそっと置かれたりして、細くなる道を更に狭くしていて、とても危ないです。
39	通行する道が雪でなくなる。
40	狭い、道がない、街灯少ない。
41	自宅の庭で遊ぶ事はできるけど、危ない場所もあるので少し不安があります。
42	どこに行けばいいかわからない。何をしたらいいかわからない。
43	雪捨て場に子供達が登って遊んでいるので危ない。近所の子供達に注意してもらえないふりして遊んでいるので、いつか事故が起こるんじゃないかと心配している。
44	積極的に外で遊ぶメリットを伝えることが必要だと感じる。多少天気が良くなくても、外に子供を連れ出すことの大切さを多くの人に知ってほしい。
45	一人では外で遊べないので、困っている。
46	体育館の空き状況をHPに載せてほしい。(市内全域一覽で)
47	吹雪だと、まず外に出ないので運動不足になる。
48	時間があれば、アピオ、平日のイトーヨーカドー2Fのボールプール(無料)に連れていくが、ほぼ家の中。子どももストレス発散できず、親もイライラ。
49	室内にこもりきりになってしまう。どう遊んだらよいか悩む。
50	遊ぶ場がないので、家でずっとゲーム。不健康な気がする。
51	家の中で遊ぶことが多いので、健康的でないと思う。

52	家の中で遊ばせていると、ストレスも溜まると思うので、雪遊びをさせてもいいのですが、カゼをひいたりすると大変なのでなかなかできません。
53	室内遊びばかりで閉塞感がある。
54	自宅の中だけでは、子供達もストレスがたまってしまっている。
55	運転できないので、天気が悪いと基本、一日中家です。一日中家の日が続くと、気分が落ちてきます。
56	青森市には弘前や五所川原の様に十分な広さ、遊具が充実している場所がないので子供はイライラ・・・親もイライラ。
57	雪捨て場で遊んでいる。危険なので声がけをするが家の中だけで遊ぶのはストレスが溜まるだろうなと思う。
58	雪を使った子どもが参加しやすいイベントがあるとよい。
59	雪まつりなどのイベントでないと遊ぶ機会がないこと。平日のイベントは働く人には無理。
60	公民館などで行っているイベントは、小学生以上が対象のものが多く、2～3才児が参加できるような活動がない。私が知らないだけなのでしょうか？
61	体育館などでイベントをやってほしいです。(子育て広場みたいなもの)

問5-3【記載内容】

①遊具対策(遊具の充実、安全確保、修理、撤去など)	
1	キレイにする。カラフルにする。点検を怠らない。(サビていたり、色がはげていたり、アンケートを作る暇があるなら、改善してほしい)
2	古く危険のある遊具や設備は早めに撤去してほしい。
3	遊具のメンテナンス、交換をしてほしい。
4	新しくなくても良いので、きれいにする。
5	子どもの遊び場の管理の一元化をはかる。複数の部局に分かれているのは良くない。
6	遊具がなくなったので、設置してほしい。
7	遊ぶ所を増やして遊具等の点検は半年に1度行う。
8	遊具を新しくしてほしい。
9	町内会にある公園の遊具を充実させてほしい。
10	遊具が少なく、他の子供と仲良く遊ぶことが出来ないのではないかと思う。取り合いや、いつまでも遊びたい遊具を使えない等)ので、多人数で使えるような遊具を増やして欲しいです。
11	遊具が危険すぎる
12	泥んこ遊びができるような場所。芝生をソリで滑れるようなスロープ。木製アスレチック広場
13	公園があっても、ブランコ、すべり台のみ。小さい子ども向けの遊具じゃなかったり、ただの緑地。(ベンチだけ)←何の為にあるの？ 限りある土地を有効に使ってほしい。
14	点検をしているとは思いますが、やはり老朽化がひどく、サビ付いていたりして、気持ち良く遊べるとは思えません。
15	遊具はあっても、砂場はネコのトイレで遊ばせる気になれない。
16	遊具など
17	走り回るスペースと走らないスペースを分けて遊べると危険が少なくなると思う。
18	遊具の充実。
19	おもちゃや遊具を増やしてほしい。
20	小学生、未満児が別々で遊べる遊具がある公園を増やしてほしいです。
21	大きい子供達と小さい子供達と分けて遊ぶ場所を作ってほしい。遊具から落ちてても大丈夫なように、小さい子の遊具下にマット等をして安全にしてほしい。
22	セントラルパークに遊具を増やすべき
23	遊具の定期的な整備点検と修理。
24	公園の充実化
25	乳幼児のための遊具が少ないと思う。
26	遊具の充実をお願いします
27	遊具のある公園

28	全ての公園で遊具の点検やペンキの塗り替え等、安全に遊べる遊具への交換などを行ってほしいです。
29	古く、遊具もさびれた公園も多い、定期的に点検し、新しく整備して欲しい。
30	近所の公園の滑り台が、除雪で壊れて、そのまま直してくれません。ただでさえ遊具が少ないのに。早く直してほしいです。
31	危険がないかなど、地域などで1ヶ月に1回確認。
32	色々な遊具
33	以前、仙台の太白区に住んでいた事がありますが、公園の数も多く、きれいで、とても住みやすいなあと思いました。古い遊具は新しくするべきだと思います。
34	遊び場の点検を頻繁に実施して欲しい。壊れた遊具や柵がそのままになっていて危険です。
35	広さ、大型遊具(滑り台、カート、大きい積み木、マット)小型遊具(パズル、積み木、ままごとセット、フラフープ、ボール)の配置
36	兄弟がいるため、年齢に応じた遊具があると、子供たちを連れて行きやすい。
37	多少の料金が、かかっても小さな子供、幼児、小学生がそれぞれのエリアで体力に合った遊びができる遊具があるといいと思います。
38	遊具の管理をする人を遊び場ごとに決めた方が良くと思う。
39	遊具の点検、新しい遊具の種類を増やす。
40	近所の公園はブランコしかないので、遊具がもう少し欲しい。
41	遊具の安全面
42	未就園児と小学生対象の遊具が同じ空間にある遊び場が欲しいです。また、遊具がいつ設置されたか、安全点検がいつされたか、誰が管理しているのか分かると安心です。
43	遊具を増やす。
44	アスレチック的な体を使う遊具が増えれば良いと思います。
45	アスレチック遊具や、現在置かれている遊具の設備。
46	上の子が一緒に行ってもある程度楽しめる設備が欲しい。
47	遊具などのメンテナンスを定期的にしてほしい。
48	高齢者の方も来やすいよう、高齢者用遊具も設置したら良いのではないか。
49	千刈小が近いので、もっと遊具があれば良いと思います。(昔の古小のように)
②公園の増設(広い空き地含む)	
1	西大野地区に遊び場が出来たが安田地区には遊び場がないため子どもたちは家でゲームをやっている事が多い気がします。安田地区にも遊ぶ所を作って欲しいです。
2	まずは、場所づくりから行ってほしい。原別地区は、遊ぶ場所がないです・・・
3	泥んこ遊びができるような場所。芝生をソリで滑れるようなスロープ。木製アスレチック広場
4	公園がない。
5	明らかに団地、住宅地なのに、公園の数が少なすぎる。
6	公園をもっと増やしてほしい。
7	仙台の杜の湖畔公園が青森市に欲しい。
8	公園を増やしてほしい。
9	公園が近所にほしい。
10	車通りの少ない所に広い公園(ボール遊びできるくらいの)
11	公園を増やす。
12	全体的に、遊び場の絶対数を増やす。
13	公園がある所は人の多い所、うちの近所は公園もないので、少し大きめの公園がほしい。(横内地区、土地はたくさんあるのだから)
14	広い敷地
15	近くにもっと遊び場があるといい。
16	近くに公園がなく困っています。
③屋内施設の増設(デパート内への増設、多目的施設の設置など)	
1	屋内アスレチックなどの場所があると良いと思う。
2	室内公園
3	室内の遊び場をもっと増やして充実させる。
4	児童館をもっと増やす。

5	雨でも遊べる大きな体育館のようなところ。そこに、工作など作れる部屋を別で作り、小さい子用の遊べる部屋も作って集いの場。新青森駅の近くに作れば待ち時間も遊べるし、色んな人が駅に来る。
6	降雪期の子どもの遊び場をもっと充実させるべきだと思う。
7	屋内の遊び場が増えればいいなと思います。(多少お金がかかっても) 1才の幼児と、上の子がいる私の場合、常にオムツ替えの事もあり、外で遊ばせるのは大変です。都会の方みたく、屋内のプロジェクションマッピングとか、アスレチックとかできればいいのになと思います。
8	外の公園も大切ですが、室内の無料で小さい子が歩き回って、遊べる安全そうな場所が無い。
9	児童館の増設
10	弘前のヒロロみたいな無料の遊び場があったらうれしい。
11	冬場は、遊び場が少ない為、体育館など遊べる場があるとありがたいです
12	屋内で遊べる公共の場が近くにほしい。
13	アウガを改装して子供が遊ぶフロアをつくる。
14	屋根付きの公園がほしいです。
15	いわて、こどもの森が青森市に欲しい。
16	雨や雪でも遊べる施設
17	ヒロロのような大きな遊ぶスペースがほしい。(アウガは小さすぎる)
18	室内で遊べる所を作って欲しい(無料の)
19	市民センター、地域会館等でも遊べる所が欲しい。公園の様に気軽に行けるように。
20	0才~小学生ぐらいまでが利用でき、十分に体を動かして遊べるような屋内施設があればよいと思う。異年齢の兄弟と一緒に連れていって遊ばせるとなると、利用できる施設や場所が限られている。
21	屋根付の大きな遊ぶ施設があると良い。アウガの一角を子供が遊べる場所(もくもく広場のような、でも無料で)にする。(さんぽぽではなく)
22	小学生以下の幼児の遊べる所が少ないように感じる。もっと増やせるなら、増やして欲しい。
23	降雪期の遊び場の充実。(ヒロロのような場所)
24	県が考えても結構ですが、県外企業を誘致し、有料でもいいので、室内で遊べる場所があるといい。(もっと、色々な県を参考にしてください。)
25	室内の遊び場を作ってほしい。柏のジャスコにある室内遊具場みたいなもの。(ここは有料ですが...) ヒロロみたいに無料で遊べる所。
26	室内で無料で遊べる施設を増やす。(弘前のヒロロみたいな所)
27	ショッピングセンター(例えばジャスコ、イトーヨーカドー)内に広い子供の遊び場を作って欲しい。
28	うちの近所には児童センターや市民センターがないので、そういう施設をつくってほしい。不公平感を感じる。
29	児童館のような施設が各地にあって、小学生以下の子でも遊べるようになれば良いかなと思う。
30	ヒロロのようなわりと広い乳幼児が遊べる場所をつくる。
31	冬場だけでなく、雨が降っている時なども遊べるような施設を作ってほしい。
32	ヒロロみたいな場所を青森にも作ってほしい。
④公園の改善(遊具以外)(ベンチ等休憩場所確保、外灯設置、駐車場確保など)	
1	崖の柵をもっと高くしてほしい。ボールもすぐ落ちてしまう。
2	ハイハイなどしても、危なくないよう、芝生などの場所があったらよい。
3	日陰があると良い。
4	砂場も欲しい。
5	芝生を増やす。
6	ボール遊びができるように、ネットをはると、かなり嬉しいです。
7	隣の公園からボールが飛んできて窓ガラスが割れ、子ども達が謝りに来て、なんだか可哀相だったので、住宅に近い公園にはボールよけのネットや雑木を増やしてほしい。
8	フェンスなど新しくして安全に遊べるようにしてほしい。ボールが道路に転がっていかないように
9	子供を見守っている親もゆっくりできるイス、屋根がほしい。
10	日陰を増やしてほしい。
11	ベンチはできるだけ、日陰にした方がよい。
12	清潔な環境を整える。(公園、砂場)
13	大きな公園に駐車場を併設する。路上駐車している人が多いので、近隣住民への配慮として
14	車を止められるスペースの確保
15	最近、ものすごく暑いので、もう少し公園などにも日陰の場所を増やしたり、水飲み場を増やす。

16	屋根付の休む場所があると、落ち着いて遊べると思います。
17	雪が降る為、囲いが無い公園が多いが、小さな子供を持つ身としては(双子です)囲いがあった方が安心。
18	遊具だけがある公園ではなく、木陰を作ってくれる小さな木々が公園の所々にあればいいと思う。日射が強いと長い間公園にいられない。赤ちゃんから老人まで集える緑豊かな公園造りをして欲しいと思っています。
19	大人の日陰になる場所も少ない。
20	砂場の管理をきちんとしてほしい。小さな公園でもベンチを置いてほしい。
21	少し日陰になるスペースがあるとうれしいです。
22	あと、夏場の暑い日に公園で遊ぶ時に思う事が、屋根や日陰が少なく、とても暑い事。小さいテントをはっても結局暑さがこもってしまって、とても困る。
23	夏場はある程度の日陰がほしい。
24	駐車スペースがあること。
⑤公園管理について(雑草、ゴミ、トイレなど)	
1	ゴミなどが落ちてないようにする。
2	草が伸び放題だったり、アンケートを作る暇があるなら、改善してほしい
3	公園の草刈り、虫の駆除などもっとちゃんとやってほしい。
4	雑草を刈って欲しい。
5	近くの公園は、ほとんど使用されてないため草木が手入れされておらず、入ることができない。
6	最近の公園は木が少なく日影がない。
7	トイレを設置してほしい。
8	ゴミの片づけ。
9	清潔な環境を整える。(トイレ、遊び場のゴミ拾い)
10	定期的に清掃
11	トイレを置く
12	ゴミ箱を置く。
13	公園などをキレイにしてほしいのは、もちろん。
14	公園内にガラスなどの危険なゴミがたくさん落ちている。掃除を地域でした方がいいと思う。
15	清潔さ
16	トイレ、おしめ替え場所など、あればいいと思います。
17	ゴミ箱がある事
18	子供用のトイレを設置してほしい。
19	遊具が新しいとか古いとかよりも雑草がたくさん生えていたり、動物のフンとかがあって不衛生な環境をよくしてもらいたい。田舎の方なので、特に他に遊ぶ場所もないし…。
20	ガラスの破片や、カラスの糞等で、遊ばせるのをためらう時があります。定期的に公園を清掃していただくと大変助かります。
21	定期的に清掃をしてほしい。
22	管理できないせいか、地区の公園がほとんど遊具なしの緑地になっており、冬は雪捨て場、それ以外はクモの巣だらけの土地でしかない場所が多すぎる。少子高齢化云々というなら、そういう場所をキレイにする活動をすればよいのでは。
23	雑草が生い茂っていたり、枯葉ばかりの公園に遊びに行きたいとは決して思いません。子供にとっても、虫の温床ばかりで清潔とは思えない。
⑥遊び場の安全対策(防犯、大人の目、カメラ設置、周辺道路環境など)	
1	うちの子供は公園で不審者に会った事があります。中高生が夕方ベタベタしたり平気でキスしたり…小学生や幼児には見てほしくないと思うのでパトロールなどしてほしい
2	遊び場にも資格のある人がいたら安心
3	児童館指導員の増員。
4	町内会の方の、定期的な見回り等あればいいと思います。
5	子供をのばなしにしない。常に大人の目が届くようにする。
6	ガラの悪い人の排除
7	小さい子を見してくれるなど、協力があつたら嬉しいなど
8	子供を一時的にみってくれる保育士ボランティアがいると助かる。
9	スマホで確認できるカメラの設置

10	有料でもいいから、人員を配置して、日曜日だけでも公園や施設で遊ばせたい。どうしても兄弟いると手が回らない。
11	保育士等職員がその場において目が届くようにする。
12	年上の子ども(小学高学年)が公園にいと遊びづらそうにしているし、危険なことをしていることもあるので、こちらも気になって注意深くなってしまうので、大きな公園には指導員を配置するのはどうか？
13	遊び場へ行くまでの歩道など、道路の完備。
14	近くに公園があって子供が飛び出してくるかもしれないということを伝える看板などを、公園の近くの道路に立ててほしいです。けっこう、ビュンビュンとばしてきます。
15	今の時代、不審者が怖いです。
16	ある程度、大人の目が届くことも必要。
17	もっと遊びやすく安心、安全に出かけられるように、きちんと整備してほしい。
18	ダメなこと、していいこと、場所の表示など子供にも分かりやすい看板を作してほしい。
⑦屋内施設の改善・管理について(学校・体育館、施設の老朽化など)	
⑧公園、施設における問題点、苦情、要望など	
1	親も楽しめるようにするとか…。遊具の隣にcafeみたいな
2	無料で遊べること。同じ建物に飲食スペースがほしい。
3	小さい子供でも遊べるような場所づくりが必要。
4	青森の降雪期は、どこへ行っても危険です。また、室内の遊び場は、無料にするべきです。
5	わくわくらンドの様に緑があったり水遊びや色んな事ができるといい。
6	アウガにある、さんぼぼは、狭いし、アピオも広くしてほしい。八戸のはっちや、弘前にあるような、年代に分けたブースを広めに作してほしい。
7	水で遊べる公園、定期的に清掃しているのか分かるようにして欲しい。
8	自販機があればいい(水分補給のため)
9	公園にゴミが多い。
10	(アウガは)駐車場がとめにくい。お金がかかる。行きにくい。
11	登録とかでなく、いつ行っても、すぐ自由に遊べるような場所が欲しいです。
12	スペースを作って、0~3才まで限定のスペースを作るなど
13	BBQできる環境があればいいなと思う。
14	幼児や小学生など、年齢別に遊べる場所を用意して欲しい。(大きい子達と一緒にだと危険)
15	さまざまな年齢の子供と遊ぶいい機会だとは思いますが、やはり大きな子供達と一緒にになると、危ないと思います。なので、同世代の子供達が遊べる様に、遊び場を別けてほしいです。
16	市民センターに児童室などがあっても、小学生と、それ以下の年の子供が遊ぶスペースを区切っておらず、危なくて使えなかった。ちゃんと分けてほしい。
17	プレーパークを作り、水や泥遊びができる環境がほしい。
18	年齢に合わせて分けた遊び場があればいいと思います。
19	年齢別、はっきり分けずとも、大まかにでも
20	遊ばせるのに有料だと少しためらう。無料で時間を気にせず遊ばせたい。
21	青森市には子供支援センターがあるが、どこも行きづらいし、駐車場代もかかる(アウガは1時間無料になるが、短い。もっと長くいたい。)
22	公園内を禁煙にしてほしい。
23	大人の休憩スペースを併設して欲しい。
24	地区のイベントなど老若男女集える場所作りなど。
25	場所によっては、年齢制限があるため(3歳過ぎたら入れない)上の子と下の子、同時に入場できたら助かります。
26	走り回れる広さと安全性は必須。
27	わがままを言うと、小学生と小さい子供が遊ぶ場所を分けられたらいい。
28	ボール遊び(小学生、中学生)を禁止してほしい。本当に危ない。何度も子供の体に当たっている。
29	駐車場代がかからない(または、安く)ようにしてほしい。
⑨その他	
1	中学生、高校生を出入り禁止にする。

2	グループや集団で遊び場を占領している事も多く、子ども親も嫌な思いをする事は悲しい。よりよい環境にするため、ある程度のルール付けも必要なのではないか。
3	地域の人達が声がけをし合って、子供を集めて遊ばせればいいのか？
4	地域での学校、園以外の活動充実。スポ少など。
5	サビにくい塗料を使用したり、低予算でも安全な遊具を設置してほしい。
6	保育園などの園庭を開放する時間をもうけるとか？
7	大きい子から小さい子までいる家庭は、なかなか小さい子に合わせてしまうので、大きい子があきてしまう。
8	使用していない空き地や駐車場など、安全対策をして、ソリやスキーなどで遊べるように開放して欲しい。
9	駅などの主要な場所から子育て支援センターなどへの100円バスみたいなものがあれば、多少遠くても行けると思います。
10	大人の都合による過剰な遊び制限はやめた方が良いでしょう。
11	公園マップがほしい。(トイレの有無、駐車場の有無、台数等)
12	ベニーランドが青森市に欲しい。
13	遊び場MAPのようなものを作成する。
14	市報等でも見ても、子供が参加できる講習や講座が小学生以上が多いため、幼児を対象とした又は、親子参加型の講習や講座を増やしてほしい。
15	それぞれのお子さん、公共施設の使い方を、親がきちんと教えておくべきだと感じます。親自身のマナーの問題もあるかと思っています。子供の見本は親だと思いますから。
16	小学校の体育館等開放してほしい。冬場青森は、体を動かさない。
17	スキー場のリフト代の値下げ、イベントを増やす。
18	大野のユニバースの近くの公園のように、開放感のある公園であれば、一目で遊んでいる状況が分かるので安心できる。
19	降雪期の遊び場、そこでのイベントなども充実させてほしい。
20	子供、高齢者…と区別する事無く、昔の日本の様に、あらゆる年代の人が集まれる工夫を行う事が大切であると思う。その為には、イベントを多く企画するとか、例えば、夏休みだけではなく、ラジオ体操を毎日やるとか、誰でもが参加しやすく、憩いやすい環境作りと、行政がもっと介入して、市民の考え方を変えていく必要があると思う。
21	親子で行けるおしゃれなカフェも作ってほしいです。
22	ポーネランドの様に子供の遊び場を提案している所に協力を得るのもいいと思います。
23	小さい子から小学生位の子と一緒にいても安全に遊べるような工夫。
24	子ども会の充実
25	流れるプールをつくる(市で)。
26	情報交換できる掲示板を設置してほしい。
27	住宅ばかりなので、もう少し市で均等に遊び場を確保してあげればよいのでは？
28	ウォータースライダーがあるプールもないし、海も温水シャワーもついてない。
29	入りやすい(利用しやすい)雰囲気であること。
30	市役所の機能を一部備えた場を併設して欲しい。
31	家でゲームやパソコン、TVなどを見て過ごすのは、友達と触れ合って、子供達が人間関係を学ぶ機会を減らしていることに大人が気付いて、外で遊ぶよう声がけしたり、メディアとの接触をルールを決めていく必要性を確認し、具体的なルールの決め方も学校や行政が指導していくこと。とにかく、地域みんな、考えていく必要があると思う。

問6-2【記載内容】

①生活のため(仕事優先)

1	生活がかかっているから
2	仕事と家庭生活を両立させたいが、現実では仕事が第一優先となっているため。
3	仕事しないと保育料も払えない。
4	生活していくには、収入も必要なため。
5	家庭生活を優先させたいが、お金のためには働くしかない。仕事を中途半端にする事もできない。

6	職業柄、そしてシングルマザーなので仕事をしないと、食べさせていけない。
7	どうしても仕事優先になってしまう。
8	育てていく為には、「仕事」が一番の優先です。今のところ両立は難しいです…何があっても働かなければ…
9	やはりお金がないと(働かないと)何もできないから。
10	今の時代は、共働きで生活がようやく成立しています。家庭も大事ですが、生活して、かつ、将来の事を見据えると、もっと仕事をして将来に備えたい。
11	楽しい家庭生活のためには仕事が必要不可欠である。
12	働かなければならない。
13	お金を稼がないと生活が出来ない為
14	子供と一緒にいたい為、生活のために共働きしている。
15	仕事をしないと生活が成り立たない
16	賃金が少ないので、仕事を優先せざるを得ない。
17	家庭生活を優先したいが、生活して行く上でお金が必要なので、仕事優先になる。
18	仕事による収入があつての生活だから
19	家庭を優先させたいけれど、仕事を優先せざるを得ず、家庭に負担をかけているため。
20	できることなら、仕事をしないで母親が子供を見ていることが理想だが、現実的には、金銭面、将来への不安、女性の職場復帰の難しさから共働きで生活せざるを得ない。
21	二人で仕事をしないと、生活できないので、やや仕事の方が優先かもしれませんが、専門職なので、できれば長く続けたいのですが、今は、会社にも協力してもらっていますが、本当は家庭生活を優先させたいです。
22	母子家庭なので、どうしても仕事優先になってしまっている。
23	女性は家庭に入り、家事と育児をしていくべきだと思う。現実、仕事をしなくては、食べていけない為、仕事と家事で女性は、男の役割と女の役割の2つをこなさなくてははいけなくなっている。時間とお金におわれている毎日である。
24	子供も3人の為、家事育児を優先したいが、経済的にフルタイムで働かなくてははいけない。家事も育児もおろそかすぎる…。
25	育児に専念し、子供との時間を増やしたいが、経済的に難しい。仕事が忙しく、毎日疲れてイライラしてしまい、理想の育児とは程遠い状態である。
26	家庭生活を優先したいが、もっと楽しく過ごせる為には、収入を得る為には、働かないといけいないので。
27	子供を余裕のある環境で育てたい。働かなければ生活できないため、子供のために働いている。(忙しかったり、ストレスで家族にあたってしまうが…)
28	食べる為には、仕方がない。
29	働かないと、生きていけない。生活が苦しい為。
30	家庭生活を充実させる為には、仕事をして、収入を得ないとはいけいないから。
31	収入が減る、無いのは、この先不安。ただ現状は、ほぼ仕事で一日が終わり、家庭のこと(子供と過ごすこと)が、全く出来ていない。①で選んだ4がその理由です。
32	働かないと、生活できない。
②子どものため(家庭優先)	
1	子どもが3歳になるまでは、自分で育児できるころまでは、やりたい気持ちがあるため、何事も家庭生活優先していきたい。
2	家庭を優先すると仕事をなかなかみつけにくい。仕事したい気持ちはあるけど家庭がやっぱり一番だから
3	子供が小さいので、働いていないため。
4	子供が小さいので、その間はできるだけ一緒にいられる環境が良いと思っている。
5	まだ、仕事してなく、子育てに集中できるから。
6	子ども優先で考えざるを得ない。
7	今、体調が良くないので仕事はしていませんが、子ども達の成長にともない、出費が多くなっているのので、仕事をしなければなりません。
8	家庭生活を大事にする上で、仕事も不可欠なので、どちらも優先だが、今は、育児中なので、家庭生活を優先してすごしている。

9	無理のない程度に仕事もして収入があって、家庭を守れると思います。(理想) しかし、現実はそうもいかないでしょう・・・
10	働く事は永遠と続くが、子供達が成人するまでの時間は、その時しかないから。
11	下の子が病気のため、上の子も一緒に家で育てているので。
12	現在は働いていないが、いずれは働きたいと思っているが。しかし、仕事と両立するには、現況では難しい。
13	仕事と家庭生活の両立が理想ですが、主人の仕事帰りが遅いため、私が家庭を優先せざるを得ない為
14	小さい子がいると「子供を優先して当たり前」という目で見られる。 特にお年寄りから
15	仕事を優先したいが、まだ子供が小さいために、家庭優先になってしまう。 でも子供のためには仕事もおさえていきたい。(残業など)
16	職場で、子の看護休暇があり、とても休みやすいため。
17	子供が2人いて、1人はまだ赤ちゃんで母親が子育てしている。手が離れたら、仕事をしたいと思っているため
18	仕事も大事ですが、一番は家族を大事にしたいですし、今は一番優先しています。
19	子どもが小さいうちは、急な病気でよく病院に行くので、家庭が優先となる。
20	子供が小さく人数も多いので、家庭が優先となる。
21	仕事をしたいが、まだ下の子供が小さいから。
22	仕事を始めたいが子供の年齢で実現しにくい状況にあります。
23	子育てが一段落したら、仕事をしたい。
24	病気になると、やはり仕事を休んだりしないといけないので。
25	子どもが生まれる前は仕事を優先していた為、家族ができてからは自然と自分の優先順位が変わった。
26	働かなければ生活が苦しいが、子供が小さいうちは自分で育ててあげたいと思うから。
27	②子供が一日中一緒なので。 でも、学校に入学までの短い期間なので、楽しみたい。
28	今は、子供が小さいので家庭優先だが、子供が大きくなったら仕事もしたい。
29	子供が小学校を卒業するまでは、家にいて、いつでも子供のために動けるようにしたいので。
30	家族の中に障害児がいる。保育園にも協力してもらっているが、他の子より早く迎えに行かなければならず、仕事が出来ない。
31	仕事と家庭生活が同等に行われれば良いのですが、子供が病気をすれば、仕事を休んだり、早退、遅刻をしなければならないから。
32	まだ、子供が小さいので。
33	出産するにあたって仕事をやめざるを得なかったの。
34	できることなら、仕事と家庭を両立していきたいが、子供がまだ小さいので、子供のことを考えると、家庭を優先しなければならない。
35	家庭第一
36	子供のため
37	子供が病気で通園できない時は、私が休むしかない
38	現在、子供中心の生活をしている為
39	生活がきびしいが、子供が小さい為、子供を優先した時間の仕事が出来ない。
40	子供、家庭を優先した生活をしたいと希望し、それを実行しているから
41	子育ては、今しかできないものだと思っているので、子供が大きくなり、自分から離れていくまで、出来るだけのことはしたいと思っています。
42	子供が風邪(高熱)をひいているのに仕事には行けない。
43	今は育児がメインですが、入所したら仕事がメインで、育児との両立になるかと思っています。園入所次第で、優先度が決まり(結局は子中心の生活にはなるのですが・・・)ますので、考えてもらいたい問題です。
③両立している・したい	
1	働く事になった時は、家庭生活優先して両立できる事を望む。
2	仕事をしている上で、家庭生活だけでなく、仕事を優先する必要もあるから。
3	全てにおいて両立したい。
4	これから職場復帰の予定なので、仕事も頑張りたいが、家庭もちゃんと考えて、家族との時間も大切にしたい。

5	忙しいので、上記2点で精一杯です。希望＝現実になりました。
6	仕事は自分の責任。家庭は守るもの。
7	パートなので責任がない。事務仕事がない。家事、育児の時間はとれている。
8	子供のために働き、子供に何かあれば仕事を休むため。
9	家庭優先だと社会から離れてしまい、取り残された気分になる。どちらもバランスよく、子供が病気の時は、気安く休め、子供との時間も大事にしたい。おこづかいもほしい。
10	公務員だから
11	生活していく上で、どちらも欠かせない。
12	①の回答としては、項目「7」が最も理想的だが、3つともを完璧にしようとする、どこかにシワよせが起きるような気がするため「仕事」「家庭生活」に絞って充実させたい。
13	家庭に専念したいが、仕事をしないと生活していけないから。
14	職場の人達が協力的で子どもの病気などの時には、休みが取りやすい。
15	一番大切なのは、子供たちとの生活だが、その為に仕事をきちんとやることも大切。
16	仕事も家庭生活も(家事、育児)も両立させたいと思う
17	家庭、子供のことを優先させたいが、我慢等してもらい仕事をしているから。
18	子供の行事や体調不良の時は、優先して休みをもらう事が出来ている為。
19	生活していく上で、当たり前的事だと考えている。
20	仕事を始めて、精神的に安定してきており、子供達も保育園を楽しんでるようで、お互い良くなった。そういった意味で仕事を続けたいが、子供との時間もきちんと持ちたい。今の仕事は、小さい子供がいる事を理解してくれている所なので、仕事と家庭のバランスがとれていて、充実しています。
21	職場と家庭どちらも理解いただけの優先
22	バランスのとれた生活、ゆとりのある生活がしたいと考えているが、現実には、仕事と家事、育児で忙しいから。
23	生活する為には、仕事しなければ。けど、子供たちにさびしい思いをさせぬ様、とても気をつけている。
24	子供が発熱等で保育園に預けられない時、会社を休んでも相互に協力する体制が整えられている。
25	仕事が忙しく、疲れると家庭生活に支障をきたしてしまう。家庭生活が充実してないと、仕事に支障をきたしてしまう。両立させたいけど、子育て中の今、体力的にも精神的にも家庭生活だけで、いっぱい입니다。
26	子供の発熱等、仕事を早退し病院に連れて行く等、両立することが大変な時がある。
④家庭の時間がとれない	
1	仕事で帰りが遅くなってしまうと、夜は、寝かしつけるだけになってしまう。もう少し早く帰れたら、一緒に食事を取り、一緒におフロへ入り、と一緒にいる時間をもてるのではと。
2	子供と一緒にいる時間ももっとほしい。子供がやりたいと思うことをやらせてあげたいと思うが、仕事が忙しすぎて、時間が取れない。
3	仕事に関わる時間が長く家庭で子どもに接する時間を取りにくい時がある。
4	午後8時すぎに帰宅しており、子どもと過ごす時間がとても少ない。そして、家庭が安定していないと子どもがよく育っていかないと考えます。
5	家族と過ごす事が少ない。
6	子どもとの時間が取れない為
7	家に帰っても、子供になかなかかまってくれないです。
8	正社員として働いているので、もう少し家族の時間が欲しいと思ったから
9	休みが少なく平日のみ休みなため子どもといる時間が少ない。
10	もっと子どもとの時間を増やしたいが、残業や持ち帰りの仕事が多い。
11	家族との時間を最優先にしたいが、仕事が忙しく時間を共有できない。
12	不規則な仕事がおよぼして、家族に、生活環境や、食育を思うように出来ない。
13	子供といる時間が少ない。
14	子供との時間が削られているため。
15	仕事を常勤でしているため、家庭生活の時間が限られている。
16	仕事のために、子供と過ごす時間がとれない。
17	①は、仕事がどうしても忙しくて、ほとんど保育園任せになってしまっています。なので、子供とコミュニケーションをとる時間がほしい。
18	延長保育になり、一緒に過ごす時間が短くなってしまいうため。

19	子供とゆっくり、話す時間がとれず家事だけでバタバタになる。
20	一人で子育てしてるので、長時間仕事中心になっていて、子供と接する時間が少ない。
21	とにかく時間が足りない。
22	もう少し子供と過ごす時間を増やしたいから。
23	子供達との会話や遊ぶ時間がとれない。
⑤仕事・個人の時間がとれない	
1	パートをしているが、家事も育児も手抜きはしてないつもりです。(正直、自分の時間なんて全くなくて時間だけが刻々とすぎてますが…)
2	育児に手がかかり、とても時間がない。本当はフルタイムで仕事をしたいのだが…。
3	個人としての趣味を充実させたい気持ちもあるが、実際は家族との時間にとられてしまっているの
4	で。
4	1日の空いた、隙間の時間に、手に職をつけるため勉強しているが、家事、育児に追われてしまいがちになる。
5	自分の時間に余裕がなく、趣味や友達付き合いの時間がない。休みは家事で終わってしまう。
6	子供が小さい、また対象の子の下にも2人兄弟がいるため、自分のための時間がとれない。
7	子どもが小さい上に妊娠している場合は、自分の趣味などは後回しになるから。
8	子育てとPTA活動で、毎日が過ぎます。
9	自分の好きなことをやる時間があればいいなと思いますが、家事をして、子供を寝かしつけると一緒に寝てしまいます。それはそれで特に不満はないですが
10	子供が小さいので、なかなか自分の時間を取ることができないこと。
11	自分の趣味に時間をかけたいという欲が出て来たけど、なかなかそうもいかないの。
12	仕事と育児で手いっぱいです。
13	自分の事は全て後回しになる。
14	子供から手が離れたら、自分の時間を持ちたいです。
15	バランス良く日常生活を送りたいが、自分の好きな事をやれる時間は、ほぼ皆無であるという現実。
16	娯楽、趣味など、自分の為に使える時間がない。仕事で預かってもらうことはできても、娯楽のために預かってもらうことは不可能。
17	趣味の時間をもっと作りたいが、まだ子供が小さくお世話をしていると、なかなか自分の時間をもてないから。
18	趣味や仕事をしたいが、時間もなく、子供のことを考えるとできない。
19	とにかく時間が足りない。
20	子供がいてフルタイムで仕事していると自分の時間は、ほぼない。
21	自分に時間をとって使うより、子供達優先した生活をしているし、それを不満とも思わないから、自分の事は、今のところ後回しになっている。
22	子供に手がかからなくなるまでは、自分の趣味は制限せざるを得ないです。
23	子供がまだ小さいために、自分自身の趣味に時間を使うことができないため。
24	まだ子供が小さく放置するわけにいかないの、自分の趣味等に使う時間がまったく取れない為。
25	自分の時間が限られていて、家事で大半を過ごしてしまうこと。
26	現実には子供の世話と家事に追われて、自分の時間なんてありません。
⑥職場の問題(休暇、早退が取りづらい、仕事量、マタニティハラスメント等)	
1	休暇が取りにくい。
2	家庭を大事にと思うものの、仕事も休めず、休んだり、早退すると、上司に文句つけられるのが嫌でムリしてしまう。
3	行事などがあっても仕事を休めないことがある。
4	仕事の休みが少ない。
5	仕事が間に合わず、家に仕事を持ち帰ってやる事が多い。
6	自分が休むことで、他のスタッフに迷惑がかかり休みづらい。
7	子供の事を考えて、休みを取りたいですが、現実的には難しい。
8	残業が多く、家庭が二の次になることがほとんど。
9	子供が具合の悪い時は、どうしても休まなければならない、休みすぎると職場に迷惑をかけてしまう。
10	家庭を優先させたくても、仕事の状況に応じて行事や休みなど優先できないことが多い。
11	子どもが小さい時は、やはり親がそばにいて見守りたいが、仕事は他の人に迷惑をかけてしまうため、優先せざるを得ないため。

12	仕事がパート制度がないため、就業時間が20時～21時までと遅い。
13	家庭を優先したいが、仕事がなかなか休めない。
14	休みがほぼ無い。
15	仕事を休みづらいつ感じます。看護休暇などがあつたら良いなと思います。
16	休みが取りづらい職場環境である。
17	子供が発熱した時、女性が迎えに行くという、スタンスが当然になっている。結果、復職しても元の地位に戻ることは難しい現状。
18	仕事の負担が大きく、家庭生活を優先できない場面も出てくるため。
19	子育て(子供をもっと産みましょう)支援を充実してくれている自治体には感謝しているが、企業の取り組みはどうだろう。一応休暇(育休等)は、もらえたが、マタハラを受け、この会社に居る以上、次の妊娠はないと思っている。
20	風邪をひいた時など、子供の面倒みたいけど、仕事を急に休むのは気がひけてしまう。
21	仕事時間が多すぎる。
22	育休が取れない。休みにくい。
23	子供との時間が仕事(残業など)により、削られている。
24	休みが少なく、朝も早いので、ほぼ仕事している感じ。行事があれば休みを取るようにはしていこうと思っております。
25	職場の人材不足
26	②は、責任のある仕事を任されているので、気持ちが仕事優先になってしまいます。
27	仕事が定時で終わるのが難しい
28	勤務時間があっても残業があつたり、休日出勤することがある
29	勤務時間がばらばらで、夜勤もあるので、やはり仕事が優先されているのかと。休日も合わないことが多いし。
30	残業が多く、家庭生活が二の次状態。
31	なかなか仕事を休みづらい。(他のスタッフに迷惑がかかるため)
32	子供が具合が悪くても仕事を休めない事が多い。
33	仕事の時間がどうしても長い為、優先的になってしまう。
34	子供がまだ小さいので、急に体調が悪くなった時、仕事を抜けられないこと。
35	育児休暇がとれない為。
36	子供が病気の時、そばにいてあげたいが、仕事を休めず、祖父母に、お願いしている。
37	家庭を優先させたくても、仕事が忙しく、業務内容も子供がいるということ、あまり配慮されないの
38	職場の有給休暇が思うように取得できない為、家庭生活を優先出来ない。
39	家庭を優先したいが、仕事が忙しい。
40	仕事が365日年中無休。どんなに働いても安月給。公務員が羨ましい。
41	子供の熱が続くと期限のある仕事に支障をきたす為、精神的につらい。
42	実際問題として、仕事が忙しいので、仕事優先にならざるを得ない。
43	毎日帰宅が遅い。
44	仕事をせず、子供とじっくり向き合いたいが、今の社会では無理なので。
⑦子どもの預け先(場所、人等)がない	
1	頼れる身内が近くにいないため、仕事と家庭生活を両立する、自信がない。
2	子供が小さく仕事が長くできない。近くに親戚がいないので頼れない。幼稚園の保育代が高くなり、延長代も兄妹二人で高いので困る。夏休みなどの長期休みだとさらに高いのでなかなか生活が楽になるくらい働けない。
3	保育園に入れなため、仕事ができない。一時保育が利用しにくく、個人の生活もできず、ほぼ家にいる。
4	本来なら、仕事もしたいところではあるが、保育園が空いていない為に仕事が出来ない。
5	仕事を始めたいが実家が遠方で、実現しにくい状況にあります。
6	子供が2人小さいが共働き、近くに頼る者がいない。
7	もっと働きたいが、子どもを見てくれる人がいないので、仕事を中断して帰ることになる。できれば仕事をもう少しがんばりたい。
8	友人も家族も、近くにいないため。子供がいるのでそれしか、やることがない。

9	家族の中に障害児がいる。子供に合った療育等で改善したいが、希望の療育施設が一杯で入れない。
10	子供が具合が悪くなった時に預かってくれる所がないと仕事の就くことが困難。
⑧地域活動に参加する余裕がない	
1	地域活動の必要性は理解しているが参加しにくい。
2	仕事や家庭生活を優先しているが、地域活動等には興味もないし、参加できる余裕がない。
3	他の事は今のところ余裕がありません。
4	家庭生活が優先になっている現状では、地域活動に参加することは難しいから。
5	子供がまだ小さいために、地域活動に時間を使うことができないため。
⑨その他	
1	職場が子供の病気等の時は、常に優先して休みをくれる。子供最優先で考えてくれる。
2	自宅でデザイナーなので、自由に時間を作れる。
3	世の中、まだまだ女性が仕事をしづらい。
4	仕事をしながらでも、PTAなどの活動もしていきたいと思っている。
5	納める税金などが高い。保育園料なども。
6	学習、趣味、娯楽にかけるお金に余裕がない。
7	社会との係わりがほとんどないので、何か地域に貢献したい。
8	パート(シフト制)なので、休み希望を出せば、それに合ったシフトにもらえるので。
9	①復帰したら、時短勤務をするから。②今、育休を一年とっているから
10	仕事をしていれば、家庭はおろそかになる。家事と育児は全く別物。
11	現在は育休中のため
12	自分の将来を考えた上で、子育てを終えてからのスキルUPが難しいため。(年齢的に30代の今に基盤を築かないとダメだから)
13	現在無職の為、必然的に。
14	自分の考えているようにしている。
15	家庭を優先すると、給料の安いパートでしか働けないのが現実である。子持ちの女性にも職員になれるチャンスが欲しい。
16	仕事もしたいが、勤務内容が合わないものが多い。(時間)
17	どれも、大事だから
18	とりわけ生活に困っていないし、楽しくやれているから。
19	家事、子育てを手抜きせず、かつ自分の時間を作り好きなことをして、日々充実していきたいという気持ちがあるため。
20	フルタイムで働きたいが、幼稚園等の開園時間が合わない。夫が転勤族であるため、一緒についていくと、働く場所がない。
21	家族との時間を一番大事にしたいが、そのために仕事を投げ出すことはできないので、仕事を優先させて、結局は育児や家事がないがしろに、になってしまう。
22	現実には、2ですが、悩んだり苦しかったりする時には、誰かの助けが必要だと思うので、地域活動も希望しています。
23	子供の成長のために周りの人間との付き合い方も覚えて欲しいし、何かあった時協力し合えるような関係を築きたいからです。
24	仕事の勤務時間に合わせて子供を起したり、遅い時は、子供も寝る時間が遅くなってしまいうから。
25	旦那が転勤族なので、なかなか仕事を選べない。また、下の子が来年幼稚園に上がるが、10:00～14:00までの短時間で働ける場所があるのか不安。
26	仕事したいが仕事がない。子持ちという時点で断られることもある。時給が安すぎて、保育料分、稼げない。
27	すべて大切だから
28	子供をどこにも預けず、自分でみていると、お金がかかる。その時間を子供をどこかに預けて、仕事をする時間に変えれば、家計もプラスになる。でもそれは、保育料以上に稼げた場合。
29	今は、仕事をほとんどしていないが、全くしなくても良いようになりたい為。
30	父親がいない為、働く姿を子供にも見せたい、でも子供と関わる時間と気持ちのゆとりも欲しいので、自分の時間も欲しかったり、という理由から希望はわがままです。
31	主婦の為、必然的に家庭中心の生活です。
32	希望だから

33	専業主婦のため。下の子が三歳(幼稚園)になったら仕事もしたいと考えている。
34	現在、母親が育児休暇中のため
35	専業主婦になりたくて、実際そうだから
36	仕事をしている以上、休みの日数も決まっているし、仕事の時間などで家庭生活など、おろそかになっていると思う。
37	男性の家事への意識が、まだ主に女の人がやるといいと思っている人が多いこと。男性の意識改革は、個人の力では限界がある事。

問6-3【記載内容】

①職場の理解(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境)	
1	会社が制度を整えることが第一。さらにその制度を皆が利用できるように運営することが必要であると感じる。
2	子どもの休みに合わせて休める環境。
3	職場の理解と対応。
4	男性も気軽に、子供が風邪をひいた時、休みがとれる環境。
5	産休、育休制度を始め、会社の意識をそのように変える必要がある。
6	子供の体調が悪いときなど、休暇が取れやすい職場環境。
7	何かあったら休みやすい環境づくり。
8	上辺だけでなく、育休の取りやすさ、周囲の理解が無いと無理だと思います。
9	参観日など園や学校行事へ参加しやすいための休み保証をしてほしい。
10	職場での理解。(病気の時の急な休みの対応)
11	子供が病気になった時に母親が仕事を休むケースが多いので、父親も休みやすい環境作り。
12	男性の育休取得100%。周囲の理解。
13	子どもの急病なんて、誰もなりたくてなっているわけじゃない。休みたくて休んでるわけない。子の病気看護休暇は小学生だって必要。産休、育休が、いまだに取りづらい。そんなのだから子ども産まなくなるに決まってる。マタハラ、パワハラ
14	男性にもっと育児休暇や子供が熱を出した時にもっと気軽に休める環境になればいい。現実はやはり厳しいなど。
15	子供が病気になった時に休みやすいなど職場の環境や理解が必要だと思います。
16	休みやすい職場作り
17	子供が熱を出した時など、男の人でも有休を使って子供の看病をしやすくしてほしい。
18	子供の行事で仕事の休みを取りやすくする法
19	育児休暇が当たり前にとれない。法律にしてほしい。とればクビに現実なったりするし。
20	休みたくても休めなかったり、いやな顔をされたりするのが現実。
21	育児休暇や有休などとりやすい職場環境。
22	休みを取りやすい環境を作らないと働けない。
23	職場が有給休暇を取りやすいようにしてくれる。
24	行事や病気時に気軽に休める環境
25	どの職業でも育休があれば良いと思います。
26	育児休暇をもっと取りやすくする必要がある。
27	子どもの病気などで休みを取る場合、上司の理解が必要。上司がいやみを言ったり、休みづらい環境をなくしてほしい。
28	男も育児休暇を取れる環境整備。女性だけが取得するのが当たり前という現状は、おかしい。
29	子供が熱を出した時に急な早退、休みなどを快く受け入れてくれる会社が増えればよい。
30	男が休みやすい職場の雰囲気づくり
31	子どもが病気になると、急に会社を休んだり、早退しなければならない時に、会社の理解がほしい。
32	女ばかり負担が多い(男は仕事を休めない) 男の育児時間をもっと増やしてほしい。(休みやすくする)
33	休暇や有休の取りやすい社会を
34	有給休暇等が取り易い雰囲気の職場づくり
35	育休を取りやすい職場の雰囲気になってほしい。

36	休み、遅刻、早退など取りやすい職場環境作りが大切だと思います。
37	子育て中の女性が働きやすい意識改革。子供が病気になったら母親が看病したいと思うのが当たり前と思うが、なかなか休みを取りづらい。
38	職場の理解、有給など。経営者が子育てについて勉強してもらいたい。
39	男性の育児休業の取得促進
40	子どもが風邪をひいた時に休みをくれる職場環境。
41	男性の育休取得率の向上
42	男の人にも、子供看病休暇がほしい。
43	急な、お休みでも理解してもらえるような職場のシステムであれば、心おきなく働き続けられると思います。
44	男の人も、育児の休みを取りやすくしてほしい。
45	男女関係なく育児休暇を取りやすい事。父母共に子供に関する事での融通がきくような会社、職場での待遇。
46	各事業所がもっと子供のいる職員のことを考えて欲しい。
47	職場の理解、協力
48	職場での理解。
49	職場の理解と協力が必要だと思います。
50	職場での子育てへの理解
51	子供が病気した時に、きちんと対応してくれる会社が増えたら、安心して働ける。
52	会社の理解、職場上司、同僚の理解。また、働くためのサポート。
53	子どもが居る人、居ない人で考え方が違うために、どうしても早退や休みを取りづらい。やりにくい。
54	周りの理解が大切。特に職場の！
55	職場のサポートも必要不可欠。
56	男女共に働きやすい職場作り
57	職場の理解。
58	子供が急に熱を出した時などでも、すぐ対応できる職場環境であってほしい。
59	病時保育も必要だとは思いますが、病気の時くらいは、そばにいてあげたいので、一人二人休んでも仕事に支障のない職場の人員対策もしてほしいです。(これは本当にしていただきたいです。)
60	男性が子の看護の為の休暇を取得できるようにする。
61	職場の配慮
62	男性も、積極的に育児休暇や、病気の時に休めるようになれば、女性も仕事などもしやすいと思う。
63	男の職場では、ほとんどが育児休暇がとれない現実がある事。もっと取りやすくする職場の雰囲気や上司の対応を変えるような制度をつくる。
64	子供の体調不良に仕事を休みやすい環境作り(企業への働きかけ) 男性も女性と同じく休みやすいように
65	職場での理解、協力が必要。
66	大きい企業は、育児休暇等の制度がしっかりしているが、実際に休暇等を取得できない現実がある。会社での子育てに対する理解がもっと必要なのではないか。小さい企業は人手が足りず、育児休暇等は取得できない。
67	職場が子育てに理解のある事。
68	男女平等に有給休暇が取れる。
69	子供の病気などの時、もっと仕事の休みを取りやすくする制度がほしい。
70	休みが取りやすい環境が必要。
71	父も育休を取りやすくするとか
72	男も育休を取りやすい環境になってほしい。
73	子供が病気、けがなどで保育園等を休まないといけなくなった場合の職場で取得できる休暇をつくらせてほしい。
74	会社での評価、査定にひびくことを考えることなく、お休みできる風潮、社会になるようにしてほしい。
75	職場での理解。その為に有休や子供を看病するための休暇を与える。
76	男女関係なく、子供が病気で休まなければならない時に、職場にうしろめたい気持ちを持たずに休むことが出来るようになること。
77	育児休暇をとらない人には、会社から、お金を出す等して、なるべく休暇をとれるようにしてほしいです。出産して3年程は、有休を増やしてほしいです。

78	休みが少ない。子供の行事のために休みやすいことを求める。
79	男の人でも育休を取得しやすい会社の雰囲気にしていくことが必要。育休を取得することによって昇進に影響したり、不利になったりしないような。取得の実績を上げて全員が取得するようなシステムにしないと普及していかないと思う。
80	急な子供の病気でも、休める環境。
81	休みを取りやすくするための企業への支援
82	休みやすい環境
83	育児の為に、仕事を少し休んでも、休み明けの人をあたたく受け入れる雰囲気。
84	子供が病気をした時に、職場の方の理解が必要と考えています。
85	企業側の努力。
86	会社側の意識次第。市や県で何かを提案したとしても、受け入れるかどうか。
87	有休の取りやすさ
88	育休、産休等からの復帰しやすい環境や周囲の理解。
89	仕事がサービス業なので、ほぼ不可能だが、産休、育休、有休がしっかり取れる環境。現状は、結婚、出産で辞めてしまう。復帰しても両立できず、辞めてしまう。会社のサポート、理解、産休育休時の人員サポート。
90	看護休暇が子供3人で、年間3日間と少なく、有休を使う事になり、自分の時間のための有休がとれない。自分のリフレッシュや用事を足すための時間がとれるような保障が必要。
91	会社の制度を理解している上司と利用できる環境が必要。制度があっても結局、上司の理解がないと利用できない。
92	職場で休みを取りやすい体制。
②子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、施設数増など)	
1	託児施設の充実。
2	預かり保育の内容の充実、子供を常時気楽に預けられる環境が必要です。
3	子供を預かってくれる施設を市で安い料金で運営。民間の同様の施設への補助。
4	子供を安全で、一定の時間預けられる環境。
5	入所しやすい環境。
6	できれば、子育て経験者のシッターや託児所が必要。
7	実家が近くにないので、いざという時に頼れる、ファミリーサポート制度をもっと気軽に利用できるようにしてほしい。
8	保育園や認定こども園を充実させてくれたら、もっと女の人でも仕事ができると思う。
9	保育施設の預けやすさ。
10	保育園、未満児を預けやすくしてほしい。
11	保育園等施設の充実。
12	認定こども園になり、幼稚園代の値上がりで生活が苦しくなりました。2号のクラスの定員をもっと多くしてほしい。2号の動く時間をもう少し少なくとも2号に入れるようにしてほしい。
13	安心して子供を預けられる環境。
14	休日保育の充実。
15	仕事の時間(例えば少し残ったりした際)子供を預かってもらえる場所をもっと増えたらいいと思います。※今の保育園も定員いっぱい、入るのもギリギリだった為
16	どうしても、仕事を優先させなければならない時など半日や数時間でも子供を見てくれる機関などがあれば助かる。
17	職場や家の近くで、利用できる保育園がある。一時保育を必要時にすぐ利用できる。
18	保育施設の充実
19	休日や夜間でも、安く子供を預けることのできる施設を作ってほしい。
20	夜遅くまでみってくれる保育園や休日でもみってくれる保育園が増えればよいと思う。
21	保育園にすぐに入れる
22	いざという時のために気軽に家政婦さんや、お手伝いしてくれる人を、やとえるようにしたい。3時間だけとか、1日のみとか
23	休日保育の普及
24	時間外などで子供をみってくれる所があればいい
25	一番は緊急の時に頼りになる場所、人がいることだと思います。急な病気の時でも仕事を休めなかったりした時など。

26	保育園の充実。
27	保育園が厳しい。
28	両親の仕事が遅くなった時に代わってお迎えに行ってくれる人、子供を見てくれる人。子供タクシー？があるが、男性の運転手の性犯罪が怖くて頼みづらい。休日の仕事の時に見てくれる人。児童センターの時間延長。心のケア。
29	夜勤の時に預かってくれる所があればよい。
30	夜20時までの保育。放課後児童会の時間の延長。
31	子どもが体調を崩して預かってもらえない時や、入院で付き添いが必要な時に、助けてくれる人がいると良い。
32	希望する保育園に入れるようにしてほしい。
33	安心して遅くまで遊べる所であったり、預かってくれる所があればよい。
34	保育園に預けられるのが、日曜日もあること。子供が居ると、日曜も出勤するような仕事は選べない。
35	子供を預けられる環境
36	安心して子供を預けられるところ、急病などの時も、親代わりに受診に連れて行ってくれると助かる。
37	延長保育の充実。
38	就学前児童には、直接関係ないのですが、小学校に入ってから、家に誰もいないので児童館に行きますが、小学校内に、そのような機能があれば安心なのですが…。児童館までかなり距離があるので心配です。
39	子供を預ける場が、もっと気軽に利用できる位置にあるといいと思う。(生活の中で)
40	預かり時間を長く。預けやすい事。
41	小学生になっても、ちゃんとした、預け先がある事。そして、無料に近い事。
42	放課後児童会19:30まで。
43	やはり、保育園に入りやすいという事につきます。
44	子育てサポート施設
45	保育施設の充実。
46	子供を安心して預けることができる環境
47	朝早くから夜まで子育て支援をしてくれる施設の充実。
48	保育園、幼稚園の充実
49	充実した保育園が近所にある事。
50	子供を預けられる十分な施設と充実した環境。母子家庭なら、なおさら、働く環境も大事になるので様々なケースに応じた環境整備に積極的に取り組んで頂きたい。待機児童ゼロをめざして。
51	保育園で待機させない。
52	認定こども園、保育部の定員拡大。
53	保育園の園長時間の見直し。(現在19時のところを20時など)
③病児対応施策等の充実	
1	病後児保育の内容の充実
2	子供が熱を出した時に預かってくれる所がほしい。
3	病児保育
4	病気(カゼ)の時に子供を預かってくれる所があれば良いと思う。
5	病児保育施設を増やす。
6	土曜日、日曜日に働いている人でも参加できるものがなければいけないと思う。病気の時の子供の預かり体制をつかってほしい。
7	病児保育の充実。
8	病児保育(病後だけでない)の増設。もしくは、定員増。
9	病児保育を必要時にすぐ利用できる。
10	病児保育所を増やしてほしい。
11	病児保育施設の普及
12	病児を預かってくれる場所がたくさんほしい。
13	病児保育の普及かと思えます。
14	子どもの病気、病後の時の支援
15	子供が病気の時でも預かってくれる施設、支援があればいい。

16	市のファミリーサポートは、いつも利用し大変助かっている。市の病児保育は、一緒になるお子さんが自分の子より重度の病気だと預ける気にならない。例えば、重度の子と軽度の子を分ける等、何か対応をとってもらいたい。
17	病気の時に見てくれる人。
18	子どもの病気時に、預かってくれる所があればよい。
19	保育所に預けられない時に、利用できる病児保育施設をもっと充実させてほしい。
20	病気の子でも見てくれる施設を増やして欲しい。
21	病児保育を充実させてほしい。
22	病児保育室についての情報がもっとほしい。
23	病気の子供を預かってくれる体制が、もっとあればいい。
24	病児保育施設を充実させる。
25	熱等で子供を急に迎えに行かなければならない場合、急病でない限り保育園や学校内でとりあえず時間まで看護してくれる。病児保育の充実。
26	子供が病気で早退などの時、親の仕事が一段落つくまでの間、代行してみているなど…。
27	普通の保育園はたくさんあるが、障害や病気の子供を預かってくれる所が少ない。専門の保育園がもっとあってもいいと思う。
28	子供の病気時(かぜ等)迎えに行ってくれたり、数時間でも見てくれる人がいる施設や支援
29	夫婦共働きで、子育てをしてみて、近隣に何かあった時に子供を見てくれる人が住んでないと、共働きを続けていくことは無理だと感じた。(特に病気の時) 病児保育はあるが、病気で弱っている時に初めて、あるいは慣れない場所に子供を預けるのは心配。普段通っている保育園に病児保育の機能があれば、料金別払いでも利用したい。
30	保育園と病児保育が同じ園で、お迎えしなくてもいいようなもの。
31	病児保育は必要か…と思います。
32	全ての保育園で、病児保育が出来ると良いです。
33	支援より、給料が安い為、働かなければ生活できない。
34	子供に何かあった時(病気やケガ)気がねなく(あまりお金もかからず)見てもらえる環境があればいいと思う。
35	「いざという時に安心して子供を頼める先がある」のは、どの子育て世帯でも欲しいことなのではと思う。それがないと母親の負担は増すばかりであると思います。
36	急な時、事前登録等行っていないだけでも預けられる施設があれば…。
37	病児保育も増やしてほしい。
38	病気(カゼの熱あり等)でも、家で走り回ったりするので、保育園で違う部屋に分けて通園させるなど、とにかく頑張りたい。
39	急な病気の際の支援
40	どうしても、両親の仕事が抜けられない場合もあるので、病児保育が利用しやすい環境が整えられていけばよいと思います。
41	病児保育の充実
④経済的支援(各手当増額、保育料軽減、給料増額など)	
1	金銭面の保証。
2	保育料高すぎ。学校に行かせる貯金もできない。最低賃金上げてほしい。
3	お金
4	育児休業中の給与保証
5	ファミサポの利用料金を減額する。ファミサポは高すぎます。
6	もう少し給料を上げて欲しい。その為に、市が、国が、もう少し、働く親の為に、お金の事を考えて欲しい。やはり公務員と比べて不平等である。
7	賃金が上がるといい。
8	保育料の見直しと経済の活性化
9	保育園に預けなければいけないが、保育料が高い。保育料を安くしてほしい。
10	勤務時間が短縮しても、賃金の確保と保証。
11	女性の給与水準が低い。女性であっても、仕事も家庭も両立と、むしろ、男性よりも働いているのに、1か月の賃金は悲しいくらい低い(私は)自分の時間が全くない中、クタクタになり、自由に使えるお金も少なく、気晴らしもできない。
12	少子化なのだから、第2子から色んな優遇があっても、いいと思う。

13	第3子以降保育料無料。
14	男性が、家事、育児で仕事を休む時、県から補助金が出ればどうですか？
15	働けば働くほど保育料が上がる。扶養になれば生活ができない。
16	子育てにおいて、圧倒的にペースを子供に合わせ、自分を犠牲にするのは、女性の方です。だから、女性側の支援を手厚くするべき。短時間労働で給料が下がるなら、その分、国などで保証してくれるとか。
17	働いても、保育料にもっていかれる。高すぎる。
18	パートの給料が安すぎる。
19	3人目出産の為の軽自動車→普通自動車買い替え時の経済的支援。小学生未満の子供3人世帯で放課後児童料免除。
20	児童手当の金額や、支給頻度、もう少し改善して欲しい。
21	保育士がやりがいを感じて働ける環境。(特に給与をもっと上げること)
22	保育施設の無料化。
23	もう少し手厚い子供手当的なものがほしい。それか、保育料を安くしてほしい。
24	金銭面での支援
25	保育料が高いので、安くしてくれたら延長保育も出来るかな……。小1～3年がいなくても、補助を増やしてほしい。下の子を幼稚園に通わせるお金がない。(小4、年中、今年3歳の3人で、小4の子は就学援助を受けている)
⑤労働時間の短縮(定時帰宅、残業なし、仕事量軽減など)	
1	勤務時間の短縮。
2	時短を始め、会社の意識をそのように変える必要がある。
3	働きやすい時間の仕事(短時間)が増えること。
4	仕事の削減(日常の仕事がとても多い)。
5	週休2日
6	女性のパート勤務の仕事をもっと増やしてほしい。フル勤務で子育てしていく自信がないため。
7	時間外勤務の軽減。
8	男女関係なく、仕事先での子育ての優遇時間を取ることが出来ればと思います。
9	時短が当たり前。
10	子育て家庭は時短などできる制度をつかいたしやすい環境になって欲しいと思います。
11	夫の会社の子育て支援。定時に帰れて、土日に休みを月1日でもいいから、あれば、なんて思います。
12	働く時間を選べたりしないと働けない。
13	子どもが手のかかる期間は決まっているので、その期間は家庭を優先。
14	どの職業でも時短制度があれば良いと思います。
15	労働時間が長すぎる為、帰宅しても子どもが寝ていたり、なかなかふれ合う時間がありません。小さい子供がいる家庭は労働時間短縮などの制度があれば良いと思います。
16	4週8休のきちんとした休み作り。
17	ワークシェアリングの拡大。
18	時間を選べる職場作り
19	日、祝の勤務を緩和。
20	短時間が可能な仕事が増えるといい。
21	男性が短時間勤務できるようにする。
22	受診などするための時間の配慮(時間休み)
23	夫の労働時間短縮制度、利用の手助け
24	職員になると、時間通りの勤務にならず、家庭での時間が減る。
25	時間外、就業時間、仕事量の配慮
26	時間と、子供の状態に合わせて変更できるような仕事でないと難しいと思う。(フレックスなど) 周囲の見方も変わってこない、制度などができても、活用されていないと思う。
27	どの仕事も終わる時間に関して、子供がいる場合、時間が早めになればよいと思います。
28	夫の帰宅時間が、ほぼ毎日22時以降で子供と過ごす時間がない。長時間労働への対策を望みます。
29	勤務体制→どんな職業、職場でも、夜勤免除できること。(夜は、母が子の側にいた方がよいと思う)
30	平日の日中のみで残業なし、短時間でもOKの仕事がたくさんあったらいいと思う。

31	職場の増員。
32	残業しなくて済むような、職場の体制づくり(人員配置など)
33	職場での配慮、給料が少なくても良いので、定時で(もしくは時短制度をもっと活用しやすくして)帰ってほしいと思います。
34	子供が小さいうちは、短時間での仕事のための企業への支援
35	定時退社の促進。
36	残業をなくす
37	就業時間の選択肢を企業側に増やして欲しい。フレックスタイム制
38	職場が子育てしているのを考慮して早くに帰宅させる。
⑥父親の家事・育児への参加意識	
1	家族の協力。
2	女性だけがメインで家庭の仕事をするのではなく、男女共に仕事も家庭も協力するのが普通にならないと難しいと思われま
3	男性の育休取得100%。周囲の理解。
4	男性にもっと育児休暇や子供が熱を出した時にもっと気軽に休める環境になればいい。現実はやはり厳しいなど。
5	夫の助け(家事を手伝う等) 家事が完璧にできなかったとしても、仕事があるから仕方ないと理解してくれること。
6	子供が熱を出した時など、男の人も有休を使って子供の看病をしやすくしてほしい。
7	男も家庭生活を仕事と同じくらい優先する意識をもつ。
8	男性の育児休業の取得促進
9	男性の育休取得率の向上
10	パートナーの家事協力は、ささいなことでも大切だと思います。
11	夫、パートナーの協力。どちらも仕事をしているのだから、50%は無理としても、20~30%位は協力して欲しい。
12	家庭内(配偶者)の協力
13	男性も育児に協力できる体制。
14	男性の意識を根本から、変えて欲しい。
15	協力しあわないと、両立は無理。
16	夫の家事分担
17	お金を稼ぐことと、家事、育児は、どちらも同じ価値がある大切なことで、どちらが立場が上とかいうことではなく、平等という意識を持つことが男女とも必要。
⑦就職しやすい環境(子どもがいると雇ってもらえない現状)	
1	就職しやすい環境。
2	求人が増えるといい。
3	育児が落ち着いてから、社会に復帰したくても働ける場所がない。
4	就職活動支援。
5	求職をしていると、「子供が熱を出したりした場合どうしますか?」と聞かれるところもあり、呼び出されたら迎えに行きたいと、言うと、必ず落とされる。実際、会社側の気持ちも分かるので、子育て中や、特に産休、育休する人がいる会社にメリットがあることを教えて欲しい。
6	子育てが一段落した主婦が、家庭を優先しながらも仕事出来るように支援、もしくは職業訓練、仕事紹介。
7	外に働きに出ず、家で出来る仕事があるといい。
8	短時間でも女性が働ける場所があると、助かる。
9	休みが取りやすい職場へ転職したいが、仕事が無い。
⑧事業所内託児サービスの提供	
1	各会社が、もっと理解を深めてほしい。大企業に関するなら、独自の園を持てば色々とスムーズになる。
2	単純に保育園を増やすのではなく、会社や職場に子供を連れて行ける(保育士さんが常駐するなど)状況を作る支援があればいいと思います。
⑨その他	
1	地域の子育てに関する情報提供の場(気軽な)
2	女性が子育てしやすい環境づくりをしている会社が増えるように、会社に働きかけをしてほしい。

3	子育てについて、理解や協力体制が整っている環境が少ないため、「赤ちゃん・幼児先生」のように現代の子育てを理解してもらう活動をする。実際に赤ちゃんや幼児が会社等に訪問して、子育ての現状をわかってもらう活動。
4	1学級の人数を20人くらいにする。
5	全員が社会保険の加入ができるようにしてほしい。個人事業でも、従業員1人から社保加入業務をお願いしたい
6	「子育て」をしないと駄目なくみにする。子育てをしない人、子がない人が犠牲になるのはやむを得ないという厳しい態度で望むしかない。
7	夫も気持ちよく行事に参加できるよう、男子に対しても優遇される支援、周りの人達も偏見をなくするような環境が必要。
8	職場の育児支援制度が、なかなか利用できない。
9	休息をとる、ストレスをためこまないような・・・
10	具体的に話す場。講師ではなく、親同士の会話の場
11	学童の充実(小6までの地区を増やしてほしい)
12	妊娠した人に対して、正職員をやめさせたり、働く時間を短くするということが現実におきているので、そういう人達を助けてほしいです。自分も実際そうでした。
13	泊り出張の際のサポート機関があったら助かる。
14	育休、産休時の人員補充。周りに迷惑をかけたくなくて、自分も育休の人の分働いた経験もあり、子どもができたら、仕事をやめようと決めていた。
15	子育て家庭の転勤(住居をかえるほどの場所へ)になる場合、本人の意思確認、拒否できる権利がほしい。
16	職員の人員配置が適正であれば、少しは負担が減ると考えています。女性は、男性よりも、様々な面で負担が大きい場合が多いです。
17	子どもが体調を崩して預かってもらえない時や、入院で付き添いが必要な時に、助けてくれるサービスを受けれる情報をもっと配信してほしい。
18	「結局女性だけが大変」という状況が変わっていない。
19	会社が有休等、取りづらい環境なので、何かしらの支援があれば、して欲しい。
20	今の制度に満足している。(子供の医療費が無料である事、認定こども園の新制度等)
21	分からない
22	支援ばかりを考えすぎる傾向にあると思います。子育てしながら働けるように本人の工夫も必要。
23	「男が仕事、女は家庭」というのが本質だと思うので、支援をしたところで根本を変えることは、ムリだと思う。
24	家事は家族でやるというCMでも流して下さい。
25	すべての保育所(園)等に、年2回のお泊り保育制度を。たまには、のんびりすごしたい。
26	マタハラに対して、もう少し考えてほしい。
27	男女がともに、現状の社会では、不可能だと思う。
28	ご夫婦や家庭への支援もそうですが、祖父母と一緒にいられることも大切なことだと思います。面倒見てもらえて助かるので。中心部以外でも仕事などあればいいのかなど。
29	養育費、未払いは犯罪とする。
30	まだ、職場や地域では、男は仕事、女は家庭という考えが、一般的であるため、仕事を続けての子育ては、女性は難しいと思う。
31	学校や幼稚園の休み、夏、冬休みには、休みを取りたいが、そういう制度がないため、パートや正社員になるのをためらってしまうので、子どもに合わせた働き方を選択できたら、働きたいと思う。
32	個人にではなく、企業に対しての支援がもっと良くなると困難だと思う。これが改善しないと格差社会も広がるし、不公平に感じる。
33	学校の教育から、学問以外に家事の教育を取り入れるべきであると思う。また、有給の休み以外に、子供との時間を持つ仕事の体制を国がもっと考えるべきと思う。最後に、核家族化により、親も子も、逃げ場がないので、逃げ場の確保が犯罪の抑止力になると思う。(昔だったら、おじいちゃん、おばあちゃん、実家など)
34	保育時間を、仕事の時間とかで「短時間」とか決めない方がいい。「短時間」とはいえ、働く時間帯とかも考えていただかないと。働いてなくても、精神的な問題で、保育を必要とする人もいる。
35	笑っている時間が多くあればいいなあと思いますが、どうすればいいのかわかりません。

36	独身の男女の割合をこれ以上増やさないようにする。上司が独身だと理解が得られず、働きにくい。子供を産める体を持っているのに、面倒という理由で結婚しないなら、独身税のような税金をとればよいと思う。
37	意識改革。やはり女は家庭、子育て、男は外で働くという意識が根付いているし、自分の親、祖父母の代だと特にそうなので、子供を置いて外に働きに行くことに反対される。
38	生活していく為に仕事と家庭の事をもう少し気楽に出来たら・・・と思います。仕事から帰ってからの家事で、子供の時間も限られ、時間に追われて・・・。
39	子育て世代に関係ない人へ理解してもらうような働きかけ。
40	気軽に心の相談ができる場所を広めてほしい。
41	平等という意識を持つことが男女とも必要で、そのような啓蒙活動を、行政の方からもしていただきたい。

問11【記載内容】

①医療費について(現物給付、所得制限撤廃、対象児童拡大など)	
1	医療費無料を中3までにしてもらって、とても助かります。
2	医療費は無料で助かっている。
3	通院、入院の費用がかからないのは、とても助かっています。今後も、ぜひ続けて欲しいです。
4	人の子育てをしています。乳幼児医療助成や児童手当など本当に助かっています。
5	青森市は子供の医療費の助成に力を入れているよって、その点は、とても助かっています。(前の市町村では、所得制限が厳しく非該当でした)
6	青森は、医療の助成も頑張ってくれていますし、とても感謝しています。
7	今回から医療費助成が除外され、とても不安を感じています。それ程所得が高くないのに、まだまだ受診の機会の多い2才と5才の子供の自己負担が正直気がかりです。医療費は全国一律なもので物価等とは違います。せめて、もう少し落ち着く小学校入学まで、もしくは入院に関してだけでも助成の対象を広くしてもらえたら安心して受診し、早めの治癒にもつながると思います。
8	医療費無料、助かっています。
9	親の所得による医療費助成の枠を撤廃してほしい。同じ子どもなのに差別を感じる。実際少しの風邪でも頻繁に受診する人は常に助成があって、タダだから、ささいな症状でも通院して助成外の子は、ひどくなるまで病院に行くのを我慢しているという話を聞いたことがある。このような状況が起こるなんておかしいと思う。
10	医療補助は非常に助かっています。今後も引き続きお願いします。
11	収入額だけで、医療無料にならないのは、やめてほしい。他の家の方々とはちがう出費(別居している病気家族への支援)等があるのに、自分の子供の医療費無料が除外されるのは、悲しいし、苦しい。
12	小学生の医療費助成が始まり助かっている。
②経済的支援(保育料等軽減、各手当支給など)	
1	認定こども園保育料改正の子供の数え方、第一子は小学3年生以下というのが不満です。3人目を通園させていますが、2人目が3年生で来年からは3人目が第一子という数え方で保育料も上がります。去年までの方法でもよいと思います。年一回戻るお金もあったし3人目は半分でよかったし、子供を産め産め言うわりには子供が多いとかかるものも多く負担が大きいです。また、改正される事をお願いしたいです。改正とはいえやはり保育料高いです。
2	1ヶ月健診の無料化
3	子供に関する手当等、子育て家庭の負担軽減。
4	子供手当が少ない。子供に対してのサービスが少ない。
5	子どもは大好きだけど、保育園、学校にお金がかかりすぎる。
6	財政支援を強化してもらいたい。
7	お金の事など、今よりも少し楽になればいいなと思います。生活が苦しいまま、子育てをするのは辛いです・・・
8	就業前の保育料の負担を軽くしてほしい。
9	保育料負担軽減してほしい。

10	保育料が前年度の収入で決まっていますが、うちの場合下の子が病気となり、私も仕事を辞めることとなりました。上の子は保育園も好きで、通わせたかったのですが、下の子が退所するため、保育料の割引がきかなくなってしまい、経済的なこともあるので上の子も退所しました。下の子の看病をしながら元気な2才児を家で見るには正直きついところもあります。そういう家庭に対し、前年度の収入でなく、今現在の収入で保育料を決めてくれる制度があれば、すごく助かるなど常日頃思っています。
11	子ども手当は、とても助かっています。今後も、ぜひ続けて欲しいです。
12	乳幼児医療助成や児童手当など本当に助かっていますが、やはり実際のところ足りません。将来進学などの資金など、不安で仕方ありません。他の県などで4人目から一時金など出る所を見たら正直うらやましいなと思ってしまいました。今は、少子高齢化。たくさんの子育てをしている世帯に、もう少し配慮があれば嬉しいです。
13	幼稚園、保育園の保育料をもっと安くして欲しい。
14	保育料、学費の減免を拡充してほしい。
15	子ども手当等、子育て支援を充実して欲しい。
16	保育料が青森市は高い。その為パートで復職しようとしても、半分は保育料で取られてしまい、結局フルでの復職になってしまう。祖父母共に、近くにいない家庭で両親共に、フル勤務だと体力的にも大変です。短時間や標準時間などの拘りをやめて欲しい。
17	青森市は保育料が高いと感じている。所得が少ないのに、あの料金体制はひどいと思う。
18	子供の人数によってメリットも比例して欲しい。もっと金銭面で助けて欲しい。
19	子育て世代全て対象としたサービスより、低所得者の子供に、もっと力を貸してほしい。生まれた環境に左右されるのは、かわいそうだ。
20	保育料が高い。少子化なのだから、第2子も第3子位優遇制度があっても、良いと思う。
21	むし歯の治療は、費用がかからないが、予防としてフッ素をやりたくても無料ではない為、予防をする為にも無料にして欲しい。
22	保育料の負担を軽くしてほしい。パートの扶養の範囲内で、頑張っても保育料が上がるので意味がない。パートで、妊娠、出産時、働けない時の所得保証があれば3人目の子も望みたい。
23	児童手当について、3才以降減額になるのは、おかしい。3才以降も負担は増えるのに。
24	ミルクやオムツの引換券や、金銭的な援助が欲しい。予想以上に、お金がかかる。今以上に、出産費の負担(診察も含めて)を軽減して欲しい。安心して、出産できるようにして頂きたい。
25	赤ちゃんが産まれた家庭に、なにかしらの特典があったりすると、もっと子供を産もうと思うし、子供が増えるのではないかと思う。(例えば、一時金や赤ちゃんグッズのカタログギフトみたいなものなど…)
26	青森市も浪岡のようにランドセル(リュック)無料配布して欲しい。
27	他の市町村に比べて、保育料が高い。
28	もっと、もっと子供を産みたい、子供を育てたら、得をする様な制度を国、県、市町村が連携をしてどんどん進めるべきだと思う。子供達はこれからの生産者である。高齢者以上に力をそそぎ、国の活力を盛り上げていくべきだと私は思う。
29	子供が3人以上になると車の買い替えなど色々とお金がかかり、収入を増やせざるを得ません。1人卒園すると保育料も上がり、放課後児童会でも費用がかかります。これが何とかなればいいのですが…。
30	保育料をもっと安くしてほしい。
31	こども手当での増額
32	保育料が高い。もう少し安いと働きながら子育てしやすくなると思う。
33	保育料を安くして欲しい。
34	子供手当や、プレミアム商品券の配布など、私が子供の頃はなかった支援が充実してきているように思います。
35	限られた予算の中で総支出を増やさないとしたら、子供の数が多くなればなるほど手厚くしたら良いのではないかと思う。現金支給もいいと思うが、別の方法も考えられると思う。
36	小学校、中学校のジャージが高すぎます。制服なども。半額とか、入学時のみ無料とかのお金の面。
37	認定子ども園になって、奨励費がなくなったのが、かなり痛い。月々の費用がその分安くなると思っていたが、ほとんど変わらず、実質的に値上がりだった。1号認定の場合、今まで通り、奨励費を受け取れるようにするか、それ同等の月謝にして欲しい。専業主婦にとっては、全然メリットがない制度だと思う。
38	子育て世帯に対する住宅支援をしてほしい。(家賃、住み替え、新築など)

39	県内では手に負えない病気を他県で手術する時の交通費の援助があればと思う。
40	月々の保育料の負担は軽くなったものの、奨励費があった時の方が、年間で考えると負担が軽かったです。結果的に負担が増したというのは、いかがなものかと思えます。
41	保育料も負担が多いので、支援をお願いします。
42	子供の人数によって、何かメリットがあってもいいと思う。減税とか、行政からの祝い金とか。ある所もありますよね。働いた分全て、幼稚園代に消えてしまい、家庭優先にしたくてもできない。
43	幼稚園の補助を見直して欲しい。第二子は、お金がないので1年待って、2年保育にしました。なぜ1～3年生がいると金額が多いのか？ 高学年の方がお金がかかります。第三子を幼稚園に入れたくても、補助が少ないと・・・。
③子育て支援情報の充実(情報提供、イベント開催、相談機能など)	
1	もっと普段の生活で、権利条例などを知る機会を与えてほしい。現状では、興味が無いと知れない気がする。子育て支援をしてるなら、広報を厚くしてほしい。
2	合併してから、子育て支援が活用しにくい。情報がわかりづらくなった。他市町村に比べて、活用しにくい。就労しながらも活用できるよう、希望月日等があったり、2～3ヶ月前から情報(おしらせ)があればいい。
3	14ページの市のサービスについては、知らなかったもので、とても良いサービスだと思うので、もっと広報活動をして、市民に知ってもらえるようにしたらよいと思えます。
4	社会全体で子育てしやすくするため、様々な情報提供をもっとしていった方がよいと思えます。
5	土日に子育て講座がもっとあれば良いと思う。参加したい研修や講座は平日日中が多いため
6	食育をテーマに、離乳食期から指導してほしい。ステップアップの時期に特に。「青森県親子に優しい街マップ」のサイトが使いづらい。もっとわかりやすく、使いやすくしてほしい。
7	子育てサポートのサービス券を利用しています。割引やサービスを受けられて助かっています。サービスを行っている店のサービス内容が提示されていなかったりするので、わかりやすい場所に提示し、旗を立てるなど
8	(病児や放課後のサポート) どのようなものがあるか広報してほしい。
9	転居してきたばかりで、市でどのような支援等があるのか分からない。
10	保育所の定員に対する子供の在籍数などHPなどで確認できる環境を整えてほしい。(保育所選びの参考のため) 生後1年くらいまでの赤ちゃんを対象とした講習等増やしてほしい。(生後3、4ヶ月タッチケア、5ヶ月離乳食初期、7ヶ月離乳食中期、AEDを使用した人工蘇生等、救急法など)
11	支援センターの保育園では、月毎に色々なプログラムがあるが、人気の講座は、募集日の午前中に予約のTelをしても、なかなか参加できない状況があります。参加できる人数を増やすか、人気のあるものに関しては2日間で開催する等してくれとうれしいです。小さな子どもを持つお母さん方は、自由に体を動かす時間を取りにくいので、託児付きで運動する場があると、活用したい人は多いと思います。(市民センターなどで、ヨガ、水泳などをやって、別室で託児) アウガの託児は1才6ヵ月～になっているが、弘前では6ヵ月～可能です。できれば6ヵ月くらいからだと、うれしいです。
12	子どもが楽しめるイベントの情報提供、ネットで、見やすいものがあれば、ありがたい。
13	情報提供をもっと多く。
14	今年度からの認定こども園のシステムが分かりづらい。(金額や、第何号になる等) 過渡期なので仕方ないかもしれないが、分かりやすく紙におこしてほしい。
15	子供と一緒に参加できるイベントをもっと増やして欲しい。
16	Let's!げんきの配布場所を増やすべき。
17	育児制度や子どもの権利条例等、もっと身近に分かりやすく教えてほしい。制度の名前位は聞いたことがあるが、具体的な内容はよく分からないので、そういうことを教えてくれるセミナー等を開いてほしい。
18	気軽に利用出来れば良いと思えます。分かりにくいので、もっと分かりやすくしてほしい。
19	音楽や工作などのイベントもあれば参加したいなあと思えます。
20	児童館もあると聞いたが、どこへ聞いて良いか分からないので、小学校にあがる前にそういう情報を流してほしい。
21	病児保育やファミリーサポートについて、初めて知ったため、もっと宣伝する機会があれば、分かりやすいと思った。転勤族のため、なかなか地域の子供と一緒に利用できる施設などが分からなかったため、もっと広報をがんばってほしいと思う。
22	保育園(小学校、中学校も)の情報をもっと詳しく相談できると良い。(例えば、入園する際の保育園選びに役立てたい。)

23	青森市出身ではないため、保育園や幼稚園が一体どんな特色があるのか全く分からなかった。市役所や元気プラザ等で、保育園や幼稚園の一覧を見ても、よく分かりませんでした。もう少し、分かりやすいものがあると、よりよかったですなあと思いました。
24	いろいろな場所やネットで、青森で小さい子供がいるところでランチできる場所やサービス、遊べる情報が手に入るといいです。
25	パートで働き始めた場合、どのような労働時間、給料で2号認定になるのか分かりづらい。
26	離乳食から幼児食までの、食事のメニューの作り方や、食育の講座やイベントをやってほしい。保育園や幼稚園の情報の冊子を支援センターにあるだけでなく、ホームページにも載せてほしい。
27	はじめての子供(0才)で、不安や心配がたくさんありますが、支援センターやアウガにある「さんぽぽ」の先生方がいつも親切にしてくださり、大変ありがたく思います。同世代の子供を持つ、お母さん方とお話ができるだけで、不安や心配が解消されることも多いと思います。乳幼児向けの青森市主催のイベントや講座(ベビーサイン、離乳食づくり)などがあれば、家に子供という以外にも楽しみができるようになり、育児がさらに充実するのではないのでしょうか？
28	公園や無料の子供向けの施設があれば、もっと公告してほしい。人の意識が変わればいいと思う。子育てに対する世代の違いなどにより、傷ついたり、悩むことも多い。
29	もっと情報を発信してほしい。知らない事が多いし、すごく助かる、ありがたい、と思うようなサービスが少ない。無い。駅前とかアスパムとか、あんなに広いスペースがあるんだから、もっと楽しいイベントや子供が遊べるような所を作ってもいいと思う。
④子どもを預けやすい環境の充実(病児対応除く)(休日保育・保育時間の拡大、放課後対策など)	
1	保育所の充実。兄弟を優先して同じ保育所に通えるようにしてほしい。仕事に向かいながら数ヶ所の保育園に預けるのは負担がかかる。子ども達も、同じ保育所に通いたいと言う。
2	保育所の数が足りない。子育て支援として使えるサービスをもっと気軽に利用できるようにしてほしい。
3	買い物(新町など)する時、子どもを預かってくれるサービスを希望します。多少料金がかかっても仕方ない。
4	仕事をしている時、市外から転居してきた時は、保育園の空きがなかなかなくて、大変でした。他の家庭でも、良くこの事を聞いていたので、その辺の解消が早くなればいいと思います。
5	保育園に入りやすくしてほしい。認定こども園ができたのだからと、数値上、定員を満たすのではなく、兄弟が同時入所とか、家や職場に近いとか、利用しやすい園に入れることが共働きの場合、最低ライン。
6	認定こども園でも預かり保育をやって欲しい。
7	保育施設を充実させてください。一人目もやっと入所できましたが、二人目ができた時に同じ場所に預けられない可能性があると思うと負担になります。兄弟優先になっても年齢が低いと人数の枠が少ないので。
8	学童のしくみで、長期休暇のみという項目つくってほしい。いちいち申し込みが大変。
9	共働き家族のサポートを厚くしてほしい。(病児や放課後のサポート)
10	一時預かりやファミリーサポートを利用してみたいが、利用したい理由が、子供と離れてリフレッシュしたいということのため、このような理由で申し込むのは恥ずかしいと躊躇してしまいます。配偶者が育児に関わらず、親も市内にいない人は、少しでも自分の時間を持てたら嬉しいので、そういった支援がもっと充実していれば良いです。
11	保育園等の中身の充実など沢山お願いしたいと思います。
12	保育園へ確実に預けたい。
13	1年に何度も保育園の先生が変わるため、すごい困る。安心して預けられなくなる。先生の態度悪い(愛想)子供にとって、良くないですね。
14	私が産休明けに近所や職場の近くの認可保育園がどこも空きがない状態で、結局認可外保育園に入れたので、もっと保育園を増やしてほしい。このままだと、2人目にまた同じ繰り返しになりそうで子供を作るのも悩んでしまいます。
15	これから、小学校にあがる予定ですが、放課後預かってくれる所があると助かる。仕事をしていなくても、地域活動や、いろいろ用事がある時等、困る。
16	子供を預けやすくしてほしい。(休職中等)
17	土、日、祭も預かってくれる保育園が増えてくれると、うれしい。
18	小学生の子供を19時まで預かってくれる施設があれば利用したい。近所に預かってくれる人や、家に来てくれる人がいたら助かると思う。

19	保育園や認定子ども園の待機児童が多いこと、不満に思います。保護者が安心して働くことが出来るよう、保育施設の充実を切に願います。現代において、一番大切なことだと思います。
20	浪岡には幼稚園が1カ所あるが、3歳からの受け入れはしていないし、認定子ども園は、浪岡の中心部から遠く、保育園入所の対象になっていない子が入園する場所がないので、幼稚園や子ども園をもっと広げてくれるか、保育園でも入園できるようにしてほしい。
21	子供を朝から夜まで、安心して預けることができる施設を充実させてほしい。妻が働くということを考えた時に必要と思う。
22	今は、認定子ども園と、以前と変わらない保育所、幼稚園が混ざっていて、選ぶのがとても難しいです。仕事を始めたいと思っていますが、近所の保育所、幼稚園は認定ではないため、仕事が決まらなければ、入所させても3カ月で保育園から幼稚園へと移らなければなりません。幼稚園は制服があり、気軽に入ったり、やめたり出来ないなので、3年働きづらくなります。まだ、一人っ子ですが、二人目を考えると保育園にいれづらいです。毎日の送り迎えを考えると、近所に入れたいので、全て認定で統一してもらいたい、二人目出産後、仕事を辞めても、上の子が同じ保育園で学び続けられるようにしてもらいたいです。
23	他の保育園を利用したくても、場所等の問題で希望する保育園を利用できない。今の保育所には、不満が沢山ある。市で基本的なベース部分を統一化してもらいたい。最終的に保育所側での運営によることになり、保護者の意見が通らないことが多々ある。
24	現在も待機児童が多数いることと思います。それぞれ、家庭環境、生活環境は様々で、預けたいのに入所することができない。順番待ちの状況では何の支援にもなりません。少子化と予測するならば、なおさら、今の環境を少しでもプラスに出来る様、市長自ら、足を運び他の地方の取り組みを参考にしたいかがでしょうか？ 子供の成長は早いものです。乳児から幼児期にかけては、個人によって成長の度合いも違うので、集団生活に早くなじませて、外界と交流することも必要に思います。節にお願いしたいと思います。
25	自宅の近くの保育園に入れなかったのも問題だと思う。結局、年老いた祖母に手伝ってもらって幼稚園に通う始末。
26	なかよし会が、子供達にあまり評判がよくない。家の子供は、自由に出来ないのが嫌で、夏休みはずっと、留守番をして過ごしました。もっと、体を動かすことができたり、外に散歩に行ったり、友達と触れ合う機会になるように、活動の幅を広げていただけると、ありがたいです。
⑤子どもの遊び場について(公園・屋内施設の整備など)	
1	公園、冬期の遊び場の充実。
2	遊び場の環境整備。
3	さんぽぽのような遊べる場所がもっと増えたらうれしいです。
4	市民体育館や市民プール、大型公園などに子供用トイレや補助便座を置いて欲しい。
5	子連れで遊べる施設が少ないので増やしてほしい。市内に遊園地がほしい。
6	夏も冬も、子供がお金をかけずに遊べる場所がほしい。公園の遊具が撤去されると、撤去されたままで増えることはない。
7	もっと気軽に小さい子供が遊べる施設があるといいです。特に冬などにも遊びに行ける支援センターの様な所よりもラフでもいいです
8	新しい公園を作るのもいいが、昔からある公園の遊具を新しくしてほしい。
9	雨の日、子供を遊ばせる場所がほしい。(無料)
10	弘前のヒロロのような所がほしい。
11	公園の水飲み場、トイレをキレイで使いやすくしてほしい。
12	公園などおむつ交換のシートがあるが、汚く、あまり利用したくない。(利用側が悪いのかな・・・)
13	ヒロロのように遊ぶ場がほしい。
14	弘前のヒロロ内にあるような室内で無料で遊べる施設を増やしてほしい。アウガを新しい市役所にして、そこに遊ぶ施設を作ったらどうか。
15	遊ぶ所が少な過ぎる。西方面から筒井まで行くのに、子供は大変喜ぶが、親としてはガソリンはかかる、疲れてしまう。
16	荒川地区にも公園を作ってほしいです。子育て支援センターも少し遠いので、浜田地区辺りに1つほしいです。
17	小学生の遊び場や、参加できる事業などにもっと力を入れてほしい。
18	市営、県営の子供が遊べる施設を作ってほしい。

19	今のところ満足していますが、できたらアウガの中にもワンフロア、ヒロロのような子供の遊び場がほしいです。子供用の絵本図書館も作っていただいて、大人と別にしてほしい。アウガに、子供専用の服屋も増やしてほしいです。
20	屋内の遊具施設があると嬉しいです。無料だと尚更、嬉しいです。弘前市のヒロロの4Fのスペースをよく利用するのですが、木に触れたり保育士さんもいるので安心して遊ばせる事ができます。
21	スタッフが積極的に子供達の様子をみてくれる支援センターや子育て広場を増やして欲しい。今の所、さんぽぼには満足しているが、総合福祉センターの児童館ではスタッフが忙しそうにしており、声をかけづらい時もある。また、スタッフによって積極的な方とそうでない方がいたり…。アピオの広場にもスタッフの方がいると利用しやすくなると思う。
22	室内遊び場を増やしてほしい。おもちゃがたくさんなくてもいいので、人が集まれるところがほしい。
23	雪の期間(雨の場合もありますが)本当に子供の遊び場に困っています。走りたい子供に「ダメ！」思いつき遊びたい子供に「小さい子がいるからダメ！危ない！」遊びに行ったはずがストレスを溜めて帰ってくる…というのが現実です。早急に対応していただきたいです。私達は場合にもよりますが子供を遊ばせる為だけにエルムの2階のボーンランドやイオン柏の2階のUS. LANDを利用します。週1で最低でも行っています。それでもまだまだ子供のエネルギーは余っています。青森市内で対応できる場所があったら本当に助かります。
24	アピオやさんぽぼの様な室内施設の充実もお願いしたいです。
25	冬期間に室内で遊べる場所が欲しいです。使用料はかかっても駐車場は無料などがあると、なお良いです。冬は外遊びもなかなか出来ないのに、室内で安心して遊べる場所がなく、子供の運動不足が気になります。そういう所があると子供の肥満対策にもなると思います。
26	デパートにあるような子供が遊べるキッズスペースがいろいろな所に増えるとうれしいです。
27	室内の遊び場が少ないです。
28	浪岡の体育館や公民館などの施設の中に、雨や雪の日でも遊べる遊具を置いてほしい。(青森の市民体育館みたいに)
29	雨天や、雪の日に室内で遊べる所がほしい。支援センターやアピオでは4,5才になると、ものたりないです。弘前の支援センターに行ったとき、ねんど、積み木、プラレールと楽しめました。
30	青森市の子育て支援は素晴らしいです。やはり雪が多い地域ですので、冬期間に室内で思いっきり遊べるところがあればと思います。
31	歩いてでもいける、雪でもいける、近いのでたくさんの準備をしなくていい、(遠いと着替えなど持ち物が増えて苦労する)そんな支援施設が増えてくれれば助かります。
32	公園や無料の子供向けの施設があれば、もっといい。
33	物産フェアみたいのも好きな人はいるけれど、子供を対象にした方が人が集まると思うし、活性化されると思う。アウガやラビナもつまらない。ただ、どこにでもあるような店ばかり入れて、どこもかしこも似たようなものしか売ってないし、ぎりぎりゲームセンターがあるくらいで、小さい子供向けの遊ぶ所を作るなど、もっと工夫して、子供達も親も楽しく過ごせる青森市にしてほしい。
34	遊び場も駐車場代がバカ高い。他に用事もないアウガにあっても行きづらい。弘前みたいにヒロロみたいたくしたら、もっと利用するのに。
⑥子育てしながら働き続けるための支援について(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境など)	
1	共働き家庭が多いと思うが、子育て中の子どもの急病で早退しなければいけない時、やむを得ず休まないといけない時などの理解が足りない職場が多いと思う。むかしと違い、専業主婦(専業主夫)が減っている中、どうしても女性の方が負担が多い。マタニティハラスメント、パタニティハラスメントという言葉もよく耳にする。青森市男女共同参画をもっと普及させて、よりよい環境になればいいと思う。
2	社会全体で子育てしやすくするため、企業に対する働きかけをもっとしていった方が良くと思います。
3	職場の育児支援も利用しづらい環境にあると思う。これから職場復帰をするが、子どもが病気になった時、残業しなければならなくなった時など、不安は多い。
4	子供が病気の際は、妻が仕事を休む場合がほとんどである。男性が会社を休みやすくなる様な、社会となるように盛り上げてほしい。
5	男性の育児休暇が、まだ、とりにくい。子育て支援だけでなく、子を生みやすい環境を整える。プラスして、若年層の地元定着を図るようにしないとイケない。両方一緒に行うべき。「女性の社会進出を」といっているわりには子育て等の支援がおいついていない。

6	子育て支援というか…企業、働く場に対して、産休、育休とりやすい環境になってほしい。保育園など子どもを必要とする場ほど、取りづらいというか、出産するにあたり、退職させられる所もある。意味がわかりません。女性も働かないとやっていけない社会なのに、出産したら働けないなら、生まないし。少子化あたりまえ。まず産休、育休みんな使えるようにすること。産前の体調不良休みとか。つわりでクビとか…。死ねるか。
7	子供が急病などで、仕事を休まなければならない時など休んでも、理解のある職場作りが大切だと思う。
8	子育て家庭の仕事の両立の大変さを知ってほしい。(特に時短がない会社)
9	親がもう少し働きやすい環境づくりなど沢山お願いしたいと思います。
10	仕事をしながら子育ては、とても難しいと思う。けれど、仕事はしなければいけない。親も苦しいし、職場も嫌な思いをする。少しでも働きやすい時代になるといいです。
11	子供のために仕事が休める様に職場にアピールしてほしい。
12	男性の仕事休みを取りやすくしてほしい。
13	自分では、やりがいのある仕事をしているつもりですが、育児中ということもあり、異動をよぎなくされたり、妊娠中からいろいろなことがありました。若干、免除してもらっていることもあるので文句は言えませんが…。別の項目の所でも書きましたが、病気になり始めや病状が落ち着くまではできれば自分で受診し傍らにいてあげたいと思います。そういう休みが当たり前にとれるように職場の人員を考えてもらいたい(休んだ人がいたら、ヘルプで出勤できる人を定年後の人でもいいので、確保しておくとか)ギリギリの人数でやっているのだから、本当に休むことに罪悪感はありません。
14	パートでも扶養手当や住宅手当が欲しい。母子家庭で、時給700円で働いていて、いつも家計が厳しい。職員と仕事内容が同じなのに、パートだからボーナスも退職金もなにもない。小さい子供がいると、就職なんてなかなかできないし、安い給料だけど、有給が使えて、時間も定時に帰れる今の職場にいるしかない。
15	母子家庭でも普通に暮らしていける(子供との時間を少しでも多くできる)ようになれば、うれしいです。
16	育児しながらでも就労できる環境にしてほしい。(特に女性の就職が大変です。)
17	働く母親(フルタイム)をもっと支援して欲しい。行政が与える有給があってもいいと思う。
⑦母子保健関連支援	
1	乳児健診を1年ごとにしてほしい。(駐車場が狭いので、もっと広くしてほしい)
2	出生後の家庭訪問の回数を増やして欲しい。離乳の頃や、1年になる頃など、保健師の訪問で相談できると安心だと思う。
3	子育てもそうだが、産後のサポートについても充実を希望する。
⑧教育視点での子育て支援(教育費の無料化、多種教室等の開催など)	
1	子どもが通う予定の学校が古すぎます。外観も多くのヒビが見られ、きっと中も、ボロボロなのでしょう。と思います。小学校に入学まで数年ありますが、このままでは抵抗があります。建て替えは、難しい話だとは思いますが、せめてトイレなどだけでもキレイにしてもらいたいです…。
2	小学校がボロボロで古いところが多いので、大変だとは思いますが、直してほしい。
3	子供に色々な体験をさせてあげたいが、無料や安い料金で、色々な体験を面白く経験させてあげる場があるといい。
4	共働き世帯であるが、生活するのにやっとである為、幼稚園から高校まで学費が無料になってほしい。収入がある人や、両親がお金を持っている人等、余裕のある人からは、料金をもらうべきだと思う。
5	一人っ子で兄弟がいらないため、保育園での子供同士の遊びを楽しんでいます。家にいても遊んでいないと機嫌が悪くなります。もう少しかわってあげたい気持ちはあるのですが、両親ともフルタイムで働き、体力がありません。
6	中央市民センター等で行っているキッズスクールを古川市民センターでも、してほしいです。車も運転しないし、子供を3人連れて、遠いバス停まで行くのは辛いです。バスの本数も少ないですし…。
⑨予防接種について(無料化、助成制度、集団接種など)	
1	インフルエンザ、おたふくかぜや、その他の予防接種に助成金がでると助かります。
2	子供に必要な任意の予防接種(インフルエンザ他)は、すべて無料にしてほしい。高くて、受けられない人が多い。

⑩病児対応施策等の充実	
1	今の時代、共働きが多いと思いますので、保育園に看護師がいて、多少の病気(発熱など)の子ども、あずかって見てもらえたら、本当に助かると思います。
2	保育園入園後も送迎、病気時の預かりなど、不安要素はたくさんある。
3	病児保育所が8:00～となっていますが、働いていると、もっと早く預けなければ仕事に間に合いません。朝7:00や6:00位に預けられると助かります。病児保育所を増やしてほしい。
4	共働き家族のサポートを厚くしてほしい。(病児や放課後のサポート)
5	病児一時保育所へ問い合わせをした時、職員の方の対応が不親切であった。
6	保育園や幼稚園などに看護師を配置して欲しい(病児をみてほしい。)
7	子供が熱を出した時、古川まで預けるのに遠すぎる。仕事が間に合わない。各方面に施設があると助かる。
8	今の子育て制度には、概ね満足しています。大変ありがたいと感じていますし、これを維持してほしいと思います。子供の具合が悪くなった時、就労している場合は、いくら会社の有休制度があると言っても、仕事に対する責任もあるので、会社の就業時間まで、幼稚園や保育園で数時間ケアしていただくと、非常に助かると思います。
9	子供の病状が落ち着いてから、すぐ預かってもらえると、祖父母がそばにいない家庭では、とても助かります。(有休も日数が決まっているので)改善してもらえると嬉しいのですが・・・。
10	病児施設の対応の悪さ。救急施設の対応の悪さ。いくら、その組織が良くても個人が最悪では、利用しようとした時、必要であっても出来ない。
11	病児保育室を早く充実させてほしい。安心して預けられる職員を配置してほしい。
12	病児保育の先生？が恐くて行けなくなりました。とても威圧的で子供をあやそうともしません。私から見ても対応は悪かったです。病気の時に園の先生より怖い人では子供がかわいそう。(その後、一時間で職場に電話で迎えに来いと言われ、意味ありません。)あれは先生ですか？一般人？一般診察が20:00ころまでできる小児科、皮膚科がほしいです。土曜日の午前しか、どこもやってません。3人いると、それぞれ(耳鼻科や、眼科、歯科)病院にかかるので、予防接種もなかなか行けません。平日フルで働いているので病院が大変です。
13	夜間、休日の救急相談、対応をもう少し気軽に掛かれる様にして欲しい。子供が泣いたり苦しんでいるからTELするのに、「様子を見ましょう」とか、小児科医が不在の時間だから診てもらえるかどうか分からないと言われました。出来れば、夜間、休日、24h対応してもらえる小児科医がいると助かります。また、耳鼻科、皮膚科も子供は24h、いつ病気になるか分かりません。私の子供は中耳炎で苦しみました。痛みを伴います。医師不足ではありますが、よろしくお願いします。
14	働いているので、病気になった時に利用できる保育園がたくさんあるといいと思います。本当は預けたくないのですが、シングルであったり、休めない仕事の時もあるので。
15	浪岡に住んでいますが、夜間、休日に急病になった場合、救急で行ける病院に小児科医がいないことがあり、急病の子をかかえて、1人で青森や弘前まで行くのは遠すぎるので休日在宅当番医を浪岡まで広げてほしい。
16	子供はカゼをひきやすいので、保育園に病中預けられないのは本当につらいと思う。保育所に看護師がいてもいいと思う。
⑪子どもの安全対策(防犯、道路など)	
1	もっと子供を育てやすい環境を！！冬の子供の歩くスペースの安全確保を！！
2	通学路や公園の防犯体制の強化
⑫市政に対する苦情	
1	青森市は、子供に無関心すぎだと思います。他の自治体をよくみならうべきだと思います。青森市に子供の未来は無いと思い、成長したら、他県、他市に移住をすすめています。
2	体罰、虐待、いじめについては法的措置もいとわぬ、強い態度が必要だ。「子ども」の対応は教育委員会と福祉に分かれるのではなく一元化すべきだ。二元に分かれているおかげで、縦割りの行政が生じ、一体的な対応ができない原因となっている。それができないのであれば、何もかわらない。
3	公務員等、土日休日体制の職場だけではないので、何かを計画する時は配慮してほしい。
4	保育料について、「そう決まっています」の一言で片づけられてしまうことは反対です。
5	うわべだけの調査じゃなくて、リアルに各地域の子供の状況を知ってほしい。市役所の方々は、どの地域がどういう状況かを、ちゃんと把握しておられるのですか？この調査が私たちの暮らしに反映されることを強く希望します。

6	子供が3人いる家庭で2人保育園に入ってる人が自分の家庭より年収が100万多いのに2人子供がいて1人だけ保育園に入ってる人の方が保育料が2万近く高いのはどうなのかと思います。3人いればもちろん、お金はかかるかもしれませんが、手当も多く、2人子供がいる人の方が、お金がかかると思います。保育料が違い過ぎです。同じ保育で差があり過ぎです。
7	現在、認定こども園に通っているが、今年度から新保育制度の移行に伴い、保育料が約3万円から5万円に上がりました。保育内容は今までと全く同じなのに2万円も毎月上がることは納得できません。兄弟がいると安くなるとか意味がありません。待機児童対策も大事ですが、少子化対策も大事だと思います。「もう一人ほしい」と思う家庭が増えないと思います。早急に何とかしてほしいです。
8	仕事を探している時、市役所では「仕事が決まらない」と言われるし、仕事先では「預け先が決まらない」と言われました。優先順位があるのは分かりますが、申し込みの順番も考えて欲しいです。かなり苦労しました。私のように、身近に主人しかいない人は、本当に孤独です。でも第三者を頼るのにも引け目を感じてしまいます。身近に親戚がない中「仕事決まらない」と言われても、小さい子供を持っての就活は、難しいものです。そうすると「ファミサポとか…」と簡単に言われますが、お金もかかります。申し込み順も考えてあげてください。
9	青森市の給与体制に不満です。
10	市町村によって、子育てサービスが全然違うので、青森市に住んでいると他の村の人達より、損している気分になる。
⑬その他	
1	子供を育てやすい環境を整備しないと、少子高齢化に歯止めはききません。
2	地域の子ども会が無くなってしまったので、子ども同士、親同士のふれ合いが乏しくなってしまった。昔みたいに地域から広域といった、市内皆で活動するような機会が欲しい。地域対抗で何かするか…。キャンプとか…もっと子ども同士、大人同士が出会える場があればいいなと思う。まずは地域の子ども会の存続。
3	私は、子供が大好きです。
4	実際、行政サービスがあったとしても利用する事は、ほぼないと思います。(身近でないから) 保育園や小学校等の場所に「青森市子ども権利相談センター」の方が訪問して問題等を調査、支援を行っていったほうがいいのではないかと思います。
5	青森では聞かれることが少ないですが、全国のニュースを見て、親が子を殺す悲しい現実があります。連絡、確認のとれない子供宅へ、積極的に、被害が起きる前に子供達を守って欲しいと思います。青森で色々な試みをして、全国的に何か発信できることはないでしょうか。ニュース見ているかわいそうで…
6	子供がすくすく、のびのびと遊び育つ地域になるよう願います。
7	子どもとの時間を大切にしたい為に、専業主婦になった家庭の立場が弱いように最近とても感じる。(両親共働きに対する支援という言葉をよく見かける。)共働きでないと生活が成り立たない家庭と共働きすることで、より豊かな生活を得る家庭の区別をはっきりすべきと思う。
8	もっと働く親たちが、ストレスをためない環境づくりなど、今よりも少し楽になればいいなと思います。
9	青森は、他県に比べると、金銭的には子供を育てやすいと思います。でも、保育園(下の子)と幼稚園(上の子)に入れているのですが、やはり幼稚園の先生は、先生という感じですが、保育園は、この人に預けて本当に大丈夫かなと内心感じる事がたまにあります。
10	このようなアンケートはいいと思います。内容が早く反映されると助かります。
11	昔より今は発達障害とされる子が増え、幼稚園にもクラスにも居ることがあります。その中で、明らかにそうわかっている子はそれに合う支援を早めに受けることができると思いますが、グレーゾーンにいる子や親が気づかない子も多くいると思います。小さいうちから適切な対応が受けられるよう、幼稚園の教諭も学習する機会を設けたり、専門の方が、スムーズに出入りできる、システムを導入する。親も研修等、その他情報を得やすくできるよう、子供達が将来困らないよう小さいうちから、考えていただけたらと思います。
12	働きながら、家事をするのが本当に大変です。週に一度でも安い料金で、家事などをお手伝いしてくれるサービスがあれば、ぜひ申し込みたいです。
13	子育てにイライラし、疲れてしまっても現状どうすることもできません。
14	使わなくなったベビーカーやバウンサー、おもちゃなどを使わなくなった人同士で交換できるとムダなく使えていいかもしれません。

15	小児科医の不足や保育士の不足などで、生まれてくる子供に親が不安になるのは、少子化につながってしまう。 そうならないためには地域の協力が必要であり、地域の活動がもっと盛んであればいいと思う。
16	地域の子ども会の活気がなくなっているのので、盛り上げてほしい。
17	行政で行われている、子ども会だけでなく、行政外のサークルや、PTAも継続できるような支援をして欲しいです。 様々な窓口を開いてあげると、利用したい時に利用できる。
18	子育て支援は、今までも充実していると思います。
19	子供が行く様な施設、お店(食べ物屋さんなど)全面禁煙にしてほしい。 子供の優先トイレがあればいい。(こんでる時、子供がずっと順番くるまで我慢している)
20	保育時間の延長や保育体制など、保育サイドでは色々に対応してもらえるようになってきたと感じているが、更に、行政サイドからの支援が充実すれば、より良いものとなっていくと思います。 核家族で共働きの家庭においては、やはり負担が多いと思いますので、色々な意見を吸い上げて、優先する物から順に1つずつ体制を整えていってほしいと思います。
21	行政にお願いすべきか分からないですが、レストランなど、子供連れで行きやすい所がもっとあったら良いなと思います。 子供が遊べる場があり食事のできる場所。
22	働きやすく、育てやすい支援について、子育て最中の職員の本音を聞き、取り入れて欲しいです。 本音を活かしやすい環境を考えてほしいです。
23	私たちが子供の時、地域の子ども会や運営をしてくれていたのは、親世代でした。今は、その人たちがずっとやっていて、私たち親世代は何もしていません。母親が働いている事が原因だと思いますが、今のままでは10年後誰が?という地区が多いのでは? 地区ごとに、子供の年齢に応じて登録制にして、「手作りイベント」や「体験イベント」など親子参加でやると、親同士の関わりもできて、いいと思います。 実は、子供の為に話したい母親は多いはず。同じような悩みを持ちながら話せないのが現実。だから、子供を通じて自然に交流できるといいと思う。
24	赤ちゃんや幼児のことは十分やってくれていると思うが、小学生になると急に、突き放された様に感じます。 1年生の親はとても心配だと思うんです。
25	浪岡に産婦人科を開院してほしい。
26	母親も子育て支援に関わる方々も、ともに向上しあえるようなものになるといいです。「樂をしたいから」とか甘い考えの母親、父親も、多いような気がします。 ラク=育児放棄の方がほんとに多い、大変なのは分かるけど...
27	一時的に使う育児用具(ベビーベッド、チャイルドシート、安全確保のためのゲートなど)のレンタルや回収して別の人への再利用などのサービスがあると、便利だと思う。 粗大ゴミの減少にもつながる。
28	もっと、オムツ交換や授乳できる場所が増えると良い。飲食店にも座敷が無くて、ベビーカーなどで赤ちゃんを横に出来るように店側で準備してくれる所が増えて欲しい。
29	市役所内にもキッズスペースを設置した方が、子連れの方はスムーズに手続きが出来ると思う。 子連れの場合、窓口でたらい回しにされることに大変負担を感じるため、せめて次の窓口で案内したり、引継ぎをしてあげた方が不快感やクレームの軽減につながると思う。
30	市の財政状況を考えると、厳しいとは思いますが、青森市の子育て世帯には、いろいろなサポートが必要だと思います。他県、他市町村と比べて恵まれていることもあります。 青森市の子育て支援不足かな?という所もあります。子供の未来の為に、宜しくお願いします。
31	いろいろな要望があると思います。 一つずつでよいので、実行して欲しい。
32	行政に限らず、地域、社会が子育て世代を温かく見守ってほしい。子供を産み育てることは特別なことではないと思うけど、スーパーでレジの人がカゴを台まで運んでくれるだけでも、すごく有難いと感じる。 少しの気遣いが、頑張ろうという気になる。 独身の人が上に立つ世の中になると、青森から子供がいなくなってしまうと思う。自分達がえらいとは思わないが、自分達の子供が独身者の年金を支えるのは納得がいけない。
33	未来へ続く子供達のために、より良い世の中に...。心から願っています。
34	子供の発達障がい相談窓口が欲しい。 障害者支援課から、どこかを紹介するのではなく、相談窓口と養育施設が一体となっているような、子ども発達センターのような施設が必要だと思う。
35	子育てにあたって、何をやるにも遠すぎる。何もない事が辛いです。人口比率を考えると仕方ないと思いますが、子供が少ない→遊び場や公立の機関が減る。→不便なので県外へ出て行く→子供が減るの悪循環になっていると思います。
36	歩道にベンチがたくさんある町なら、お年寄り、子供、妊婦にもいいと思う。

37	色々な制度があっても利用者のごく一部では？ もっと住みやすいよう、働きやすいよう、子育てしやすいよう全面的にアピールが必要かと思います。私はひとり親ですが、知人達は一人でも子育て制度が充実している他県へ転居している人が殆どです。
38	とにかく、お金云々ではなく、サービスとして、私達に子育て応援の手をさしのべて欲しい。公共のオムツ交換台が汚いので何とかして欲しい。そして足りないと思う。
39	市の窓口に向った際には、とても親切に対応して頂きました。困った事があった時に同じように対応して下さるなら、私はとても満足です。
40	急病センターの駐車時間を充実させてほしい。
41	子供が少ないので、子供に対する支援は今後も継続して行っていただきたい。支援を減らすようなことがないようにしてもらいたいと思います。
42	子供は未来の宝物。子供が安心して成長していけるように、これからも支援よろしくお願いします。
43	0歳児のことは、答えにくい質問が多い。